



Tigermeeting

管理者ユーザーマニュアル

バージョン 3.4.1

内容

内容	2
翻訳の免責事項	9
ネットワーク要件の概要	10
紹介	12
主な機能	12
タイガーミーティング製品	14
タイガーミーティング予約画面	14
Tigermeeting 概要画面	15
Tigermeeting 管理アプリ	15
管理アプリの目的は何ですか?	16
どうやって始めるのですか?どこから始めればよいでしょうか?	17
Tigermeeting Admin のインストール	20
Windows への Tigermeeting 管理者のインストール	20
説明ビデオ:	23
Linux への Tigermeetingadmin のインストール	24
RPM パッケージ	24
DEB パッケージ	24
ApplImage ファイル	24
BSD バリエーションへの Tigermeeting admin のインストール	25
MacOS への Tigermeeting 管理アプリケーションのインストール	26
説明ビデオ:	27
ユーザーログイン	29
ユーザー登録	30
メニュー構成	31
ネットワーク	32
予約デバイスのプロパティ: 部屋を添付する前	36

予約デバイスのプロパティ:部屋の添付後.....	37
基本プロパティ	37
宿泊施設の予約	39
詳細プロパティ	42
概要画面のプロパティ	44
一般的なプロパティ	44
客室のプロパティ	46
Tigermeeting 管理アプリから AndroidAPK をダウンロードする	48
設定	50
[ライセンス] タブ	50
[カレンダー] タブ	52
[ルーム] タブ	55
[管理者ユーザー] タブ.....	58
[分析] タブ	60
解析学.....	62
管理者ログ.....	66
魔法使い.....	67
概要	67
ライセンス.....	68
カレンダー.....	69
客室	70
実際の使用例.....	71
管理アプリケーションをインストールする	71
デバイスの電源を入れる	71
管理者アプリケーションを起動する	71
管理アプリケーションでのウィザードの実行	71
Microsoft365 カレンダーの構成	73
Microsoft365 管理パネル	74

Windows PowerShell による構成	76
Microsoft 365 セットアップ ヘルパー スクリプトを使用した構成	77
Microsoft365 ヘルパー スクリプトの実行	79
手動構成	79
説明ビデオ:	79
Tigermeeting 管理アプリケーション	80
Exchange カレンダーの構成	81
Exchange 管理パネル	81
Exchange 管理シェルを使用した構成	84
Microsoft ヘルパー スクリプトを使用した構成	84
Microsoft365 ヘルパー スクリプトの実行	85
手動構成	85
Tigermeeting 管理アプリケーション	85
重要な注意事項	87
Microsoft365 ヘルパー スクリプト	91
紹介	91
ダウンロードとインストール	91
さまざまなオペレーティング システムへの PowerShell のインストール	92
MacOS PowerShell のインストール	92
Ubuntu PowerShell インストール	92
OpenSuSE インストール	92
Fedora のインストール	92
Windows PowerShell	92
ルームリソースを準備する	92
スクリプトの実行 (例)	93
重要な使用上の注意	95
一般的な使用例	95
重要な注意事項	99

Google Workspace の設定	100
重要な注意事項	103
説明ビデオ	103
Google カレンダーの設定	104
認証	104
iCalendar カレンダーの設定	108
一般的なカレンダー機能	111
複数の入り口のある部屋	111
ルームの「表示名」	112
編集可能で説明的な「会議室情報」	112
環境の選択	112
専用画面のサポート	113
LED バックライトカラー	113
LED 輝度	114
LED ライトの位置	114
LED オン間隔	115
画面オン間隔	116
周囲温度と湿度	116
気象情報	117
ルーム サービスの構成	119
メール送信	120
QR コード Webhook	121
NFC	122
Tigermeeting の NFC 認証実装	122
NFC の使用	123
NFC 検証サービス	123
Active Directory/LDAP 統合の手順	124
CSV ファイル統合の手順	125

API REST 統合の手順.....	126
GPIO 制御.....	127
GPIO とは何ですか?.....	127
GPIO の使用例.....	127
GPIO ピン/ポート.....	127
ドアロックおよびアクセス制御システム.....	128
テーマ構成.....	130
テーマの背景画像の構成.....	131
各デバイスのテーマ構成.....	132
テーマの縦向きと横向き.....	133
デバイスの変更 - 置き換える.....	134
ネットワークからデバイスを削除する.....	136
デバイスを別のネットワークセグメントに移動する.....	138
ソフトウェアとファームウェアのアップグレード.....	140
ソフトウェアのアップグレード.....	140
ファームウェアのアップグレード.....	141
タイガーミーティングの建築コンセプト.....	143
Tigermeeting の製品アーキテクチャ.....	143
ネットワークセグメンテーション.....	143
ブロードキャスト通信.....	144
ネットワークセグメントに関するタイガーミーティング.....	147
タイガーミーティングクラウド.....	148
Tigermeeting ネットワークの使用状況.....	148
タイガーミーティング運営.....	149
VPN 接続による管理.....	150
仮想ブランドと仮想ネットワークの概念.....	152
トラブルシューティング.....	153
管理者ログのダウンロード.....	153

デバイスログのダウンロード	153
デバイス UID (ユニット識別).....	155
デバイス情報の表示.....	156
Tiger 会議室のパラメータ.....	157
メンテナンスモード.....	158
POST コマンド.....	160
ハードウェア メトリック	161
デバイス検出の問題.....	162
ネットワークの再起動.....	164
ライセンスの欠落.....	165
異なる識別で同じデバイスを複数回使用する場合	166
会社のロゴ、背景画像、ブランディング.....	168
Microsoft / Google 認証トークンの有効期限が切れます.....	170
デバイスの時刻は正しいですか?.....	171
ビデオプレーヤーが起動しない	172
横向きモードのポートレートテーマ	173
ハードウェア固有の設定	174
ProDVX トークン.....	174
ロックチップシリアルデバイス.....	174
ShiMeta シリアルデバイス	175
アプリケーションのデータの消去	175
デバイスの工場出荷時設定へのリセット	175
クローズドなオンプレミス環境での Tiger サービス	176
Tiger ソフトウェアのアップグレード	176
テーマの変更	177
気象サービス	178
NFC / スキャナー認証サービス.....	178
解析学	178

重要な声明	178
Tigermeeting 管理アプリをアンインストールする	180
Windows オペレーティングシステム	180
MacOS オペレーティングシステム	180
Linux オペレーティングシステム	181
FAQ	182
互換性のある Android 画面はどこで入手できますか?	184
Tigermeeting ハードウェア互換性マトリックス	185
GDPR ステートメント	190
予約画面と概要画面	190
管理アプリ	190
解析学	190
ウェブクッキー	191
デモライセンスを依頼する	192
連絡先	193
ソーシャルメディア	193

翻訳の免責事項

当社のドキュメントは、Tigermeeting 製品、その機能、使用法に関する包括的かつ正確な情報を提供するために、もともと英語で書かれています。

世界中の視聴者に対応するために、高度で自動化された AI ツールと商用翻訳サービスを利用して、他の言語のバージョンを作成しています。

精度を確保するために最善を尽くしているにもかかわらず、翻訳やテキストの書式設定に誤りが生じる場合があります。

これらのエラーには、次のものが含まれますが、これらに限定されません。

- **誤訳:** 特定の専門用語やフレーズは他の言語に完全に翻訳されない可能性があり、誤解が生じる可能性があります。
- **書式設定の問題:** 翻訳された文書のレイアウト、スタイル、構造が元の文書と完全に一致しない場合があります、読みやすさに懸念が生じます。
- **文化的なニュアンス:** 原文の微妙な文化的参照や慣用表現は、翻訳版では完全には捉えられていない可能性があります。

ご不便をおかけいたしますことを心よりお詫び申し上げますとともに、翻訳の品質向上に継続的に努めておりますので、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

あなたのフィードバックは私たちにとって非常に貴重です。

公開されていない言語でこの文書が必要な場合は、お知らせください。

また、問題や不正確な点が発生した場合は、お気軽に support@tigermeeting.app お問い合わせください。

ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

ネットワーク要件の概要

重要:章で詳細をお読みください:タイガーミーティングのアーキテクチャコンセプト

Tigermeeting アプリケーションは、分散データベースアーキテクチャと独自の高水準点同期テクノロジーに基づいており、オンプレミスの中央データベースや外部クラウドデータベースなしで機能しますが、特定のネットワーク要件を設定するローカルネットワーク上のデバイス間のフローレス通信が必要です。

タイガーネットワーク要件を満たす:

- **ブロードキャスト要求は**、ネットワークセグメント上およびネットワークセグメント間で有効にする必要があります(リモート管理を使用する場合は VPN 経由でも必要です)。
- **UDP ポート: 6024、6025、6030、および 6031** は、ネットワーク セグメントで有効にする必要があります。
- admin->device、device->device、device->admin 通信では、**ネットワーク上で** TCP ポート 6026 を有効にする必要があります。
- Google Workspace、Microsoft365、Exchange Online、iCal ファイルの外部 URL などの外部オンライン カレンダーを使用する場合は、ファイアウォールを経由してこれらのリソースへの通信を許可する必要があります。
- TCP ポート 443 **を介した** Tigermeeting Cloud-tigermeeting.app へのオープン通信は、次の機能にのみ必要です。
 - 管理アプリ:管理者ログイン
 - 管理アプリ: パスワードのリセットを忘れた場合
 - 管理アプリ: 分析の表示
 - デバイスの気象サービス
 - デバイスの NFC 検証サービス(Tiger クラウドでホストされている場合)
 - デバイスのイベントログ(分析機能が有効になっている場合)
 - 管理者とデバイスの両方: テーマの設定とバックグラウンドの更新
 - 管理者とデバイスの両方:新しいソフトウェアのアップグレードチェック
 - 管理者とデバイスの両方:新しいファームウェアのアップグレードチェック

詳細については、GDPR ステートメントを参照してください。

ネットワーク要件が満たされていない場合、Tigermeeting アプリケーションが正しく機能しなくなり、ほとんどの場合、次のような問題が発生する可能性があります。

- 管理者ログイン中の「ネットワーク通信エラー」

- 管理アプリでの自動検出中に、ネットワーク上でデバイスが検出されません。
- デバイスは、選択したテーマに変更することはできません。

紹介

Tigermeeting ソリューションは、2018 年以来、市場で最も先進的なオンプレミス会議室管理製品の 1 つです。

どうすればこれを達成できるでしょうか?答えは簡単です:私たちはお客様の声に耳を傾けます。

私たちはテクノロジーを所有しています。私たちは業界を知っています。私たちは自分たちの仕事に情熱を注いでいます。

お客様のニーズに配慮します。それに応じて製品とサービスのロードマップを調整します。

当社の製品は、シンプルで機能的、効率的で信頼性の高い会議室管理ソリューションにより、学校、大学、オフィス、組織に優れた手頃な価格のサービスを提供できることがわかり、すでに世界中で高く評価されています。

主な機能

製品の機能は完璧に慎重に作られており、ユニークで独創的なデザインで革新的で手頃な価格の会議室管理製品を提供するという真の目的によって推進されており、巨大な市場の需要と高価なハイエンドの競争との間のギャップを埋めます。

- **一元管理** – すべてのデバイスにアクセスする時間を無駄にする必要はありません。すべての構成、設定、および更新は、管理アプリを介して一元的にデバイスにプッシュできます。
- **シンプルさ** - フロントエンド設計ではユーザーエクスペリエンスを最も重視していました。ナビゲートしやすいほど、より多くの使用が進みます。
- **柔軟性** - 異なる環境または混合環境で同じソリューションを使用します。オフィスでは会議室を予約します。学校では教室の時間割を表示します。必要に応じて、テーブル、机、キャビネットを別の場所に置きます。与えられた環境や目的に最適なさまざまなデバイスを自由に使用できます。成長に合わせて拡張します。
- **セキュリティ** - このソリューションは、外部データストアを必要としない独自の高水準分散データベース テクノロジーで実行されます。すべてのデータは組織の LAN 内に保持されます。
- **自動化** - 当社のユニークな重要な機能の 1 つです。ユーザーはいつでも利用可能なルームを見つけることができます。オンラインカレンダーまたは画面上で直接会議を予約します。
- **ローカライゼーション** - 画面上で独自の言語を使用する - 40 以上の言語をサポート

ートしており、ソフトウェアのアップグレードなしで、リクエストに応じて新しい言語を簡単に追加できます。

- **互換性** - 今日の相互接続された世界では、お客様のインフラストラクチャを尊重する必要があるため、オンプレミスの Exchange Server、Exchange Online、Microsoft 365、Google Workspace、Google カレンダー、iCalendar など、すべての主要なカレンダーアプリケーションをサポートし、最もネットワーク化された部屋の予約エコシステムに簡単に適合します。
- **分析** - 会社の会議文化、人々の習慣、ハードウェアの使用状況と健全性を垣間見ることができます。
- **カスタマイズ** - 画面のルックアンドフィールを変更します。自分だけのものにしましょう。すべてのテーマでロゴと背景を変更して、画面をオフィス環境に適合させます。
- **ユニークな機能** - 市場に出回っているすべての会議室予約システムが仕事をします - 違いは、Tigermeeting が競争力を高める革新的でユニークな機能にあります。
- **無料アップデート** - 製品の進化に伴い、新機能が追加され、バグが修正され、すべてのお客様は、永久ライセンスモデルを使用して環境を最新の製品リリースにアップグレードできます。これは、生涯にわたる簡単なアップデートと製品サポートを意味します。
- **総所有コスト** - Tigermeeting の永久ライセンスモデルと価格戦略により、Tigermeeting スイートは、TCO が最も低く、市場で最も費用対効果の高い会議室ソリューションの 1 つになりました。



タイガーミーティング製品

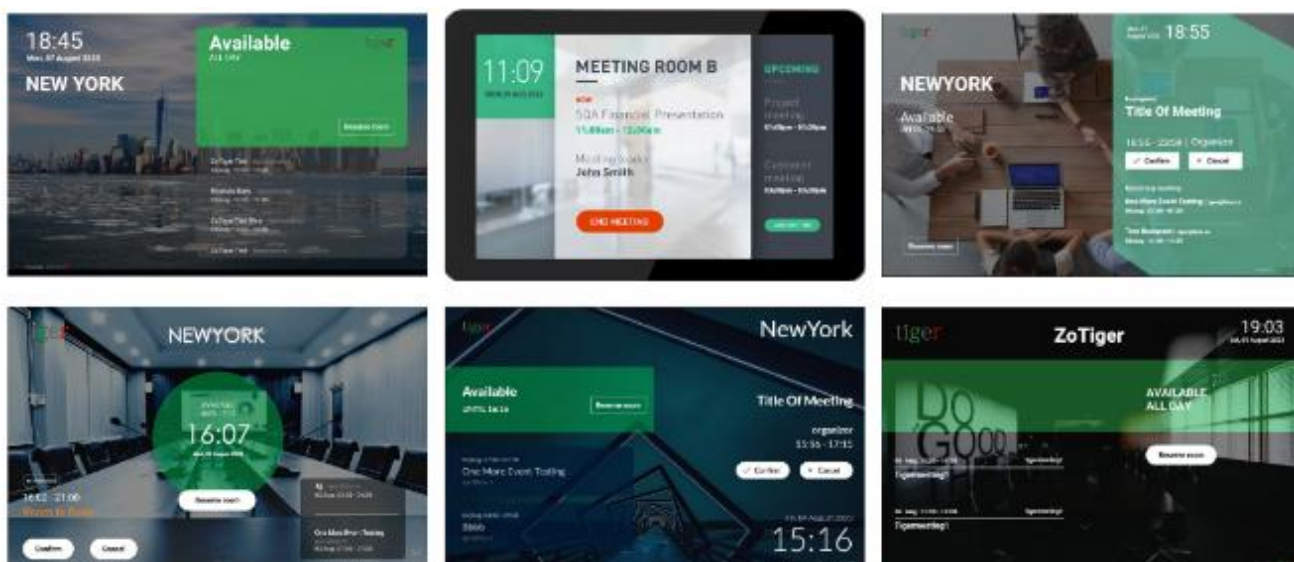
タイガーミーティング予約画面

この製品は、画面サイズが6インチから15インチのAndroidデバイスで実行するように設計されており、会議室、教室、会議ホールなどの前の壁に配置され、会議室の名前、進行中の会議ステータス、会議情報、将来の会議のスケジュール、会社のビデオの実行、および添付された企業オンラインカレンダーと同期された画面上の直接会議予約機能を提供します。

同じことが、オフィスの机や学校のキャビネットに取り付けられた画面サイズが3~6インチのマイクロデバイスでも実行され、リソースの空き状況を表示し、画面上の予約機能を提供します。緊急時に火災警報器のように機能します。



予約画面の外観は、管理アプリを介してさまざまなテーマを適用することで簡単にカスタマイズできます



Tigermeeting 概要画面

この製品は、会社全体の会議室のステータスをリアルタイムで包括的に把握できるように設計されており、公共の場に配置された Android オペレーティングシステムを搭載した巨大な画面で最もよく使用されます。

会議室の名前、スケジュール、ステータスが直感的なタイムラインで表示され、TV EPG と同様に表示されます。また、温度、湿度、部屋のサイズ、部屋の相対位置(左、右、二階など)を画面から表示します。

概要画面も独自の火災警報機能の一部です。



Tigermeeting 管理アプリ

管理アプリは、Tigermeeting インフラストラクチャ全体を簡単、直感的、効率的かつ安全な方法で構成、更新、管理するマルチプラットフォームの Web ベースの管理アプリケーションです。このツールは、トラブルシューティング、ネットワークのバックアップ/復元のメンテナンス、ログの取得、外部 BI ツールにエクスポートできる有用な分析データの提示にも使用されます。

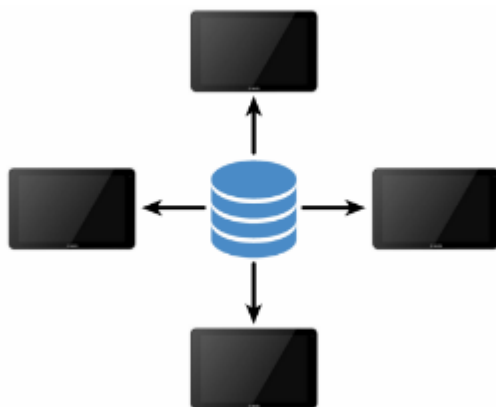
管理アプリは、Windows、MacOS、Linux オペレーティング システム用に提供されるインストーラーを備えた、プラットフォームに依存しない node.js アプリケーションです。

このドキュメントでは、この製品について詳しく説明します。

管理アプリの目的は何ですか？

最高の稼働時間とセキュリティを実現するために、Tigermeeting アプリケーションの動作は、分散データベースアーキテクチャと独自の高水準点同期テクノロジーに基づいています。

つまり、すべてのデバイスが最新の情報で最新の状態にあり、ユーザーに正しい情報を表示するために、一元化されたデータストア、外部クラウド環境、または最終的なローカルダウンタイムに依存しません。



...管理アプリ(中央管理コンソール)でさえ、管理者のローカルコンピューターにデータを保存しません。代わりに、開始すると、管理アプリは分散データベースの有機的な部分になり、ローカルネットワークセグメント全体の予約画面と概要画面の間で常に共有されます。

管理アプリの機能を明確にするために、基本的には次のようになります。

- ネットワーク上のデバイスを検出します
- デバイスの構成をフェッチします
- 構成を変更します
- 新しい構成をデバイスにプッシュバックします

デバイスは、次の管理者構成セッションまで完全に独立して動作し続けます(将来発生する場合と発生しない場合があります)。

したがって、サーバー上で常に実行されている管理アプリは必要なく、管理アプリには情報が保存されず、外部クラウドサーバーも必要ありません。

Tigermeeting では、このテクノロジーが独立したモジュール式アプリケーションエコシステムにとって最高の自立型ソリューションであると信じています。

どうやって始めるのですか?どこから始めればよいでしょうか?

ジャーニーは、デモ ライセンスの作成リクエスト、またはホーム ページ

<https://tigermeeting.app/en/contact> またはメールの送信から実行できる購入済みライセンスから始まります **info@tigermeeting.app**

続行するには、Tigermeeting には次の情報が必要です。

- **会社名** – ライセンスを保有するエンティティ
- **管理者ユーザー名** – 電子メール通信のパーソナライズにのみ使用されます。
- **管理者ユーザーのメールアドレス** – 管理者アプリでの認証に使用されます

要求されたライセンスを持つ会社が作成されると、管理者ユーザーには、手順、何をすべきか、および Tigermeeting アプリケーションの使用を開始する方法が記載された電子メールが届きます。

このメールが受信トレイに届かない場合は、スパムまたはプロモーション フォルダーを必ず確認してください。

手順が記載されたメールは、次の例のようになります。



親愛なる{{first_name}}!

あなたの会社が登録されている

Tigermeeting へようこそ - 永久ライセンス モデルを備えた手頃な価格のハイエンド カレンダー ソリューション。

これは、会議体験を新しいレベルに引き上げる会社の会議強化プロセスの始まりです。

Tigermeetingソリューションは、市場で最も先進的な会議室管理製品の1つです。

まず、以下の簡単な手順に従ってください。

1. <https://tigermeeting.app/en/downloads>

から**管理アプリ**をダウンロードします。管理アプリケーションをインストールして起動します(システムから要求された場合は、ファイアウォールを介したネットワークアクセスを許可します)

3. 次の資格情報を使用して、Tigermeeting

管理アプリにログインします。管理者アカウントはすでに作成されていることに注意してください。直接ログインできます - 登録する必要はありません。追加の管理者ユーザーの登録時に固有の会社コードが使用されますが、新しい登録ではライセンスプールが共有されるため、この情報は機密にしてください。

4. 管理アプリから Tigermeeting Android APK をダウンロードします

5. AndroidデバイスにAPKをインストールします(USB、Bluetooth転送経由...または、Google Play、Amazon Appstore、HUAWEI AppGallery、SAMSUNG Galaxy Store、Xiaomi GetApps、またはAndroidバージョン5.0以降を搭載したデバイス用のその他のアプリストアを介してデバイスで利用可能な場合)

6. Android デバイスでは、モバイル ネットワークをオフにして、Wi-Fi またはイーサネットをオンにします。

7. Tigermeeting APK と管理アプリを実行するデバイスが両方とも同じネットワークセグメント上にある場合、デバイスは自動的に検出されます。

8. デバイス間でライセンスを配布します。

9. Tigermeeting管理アプリを介してカレンダー、テーマ、言語、およびデバイスの動作を構成します

スムーズに始めるには、<https://tigermeeting.app/en/downloads> で公開されているマニュアルをお読みください

名: **{{first_name}}**

姓: **{{last_name}}**

電子メール: **{{email}}** パスワード
: **{{password}}**

ライセンスを共有したり、別の管理者ユーザーに登録させたりする場合は、

会社コード: **{{code}}**



ハイエンドの会議管理とカレンダー製品を手頃な価格のレベルに引き上げるスウェーデンの会社。ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

Tigermeetingのサポートは、会議室を輝かせるのに役立ちます support@tigermeeting.app

それだけです。

管理者ユーザーは、指示に従うだけです。

それ以上に複雑なことはありません。

Tigermeeting は意図的に非常にシンプルで、理解しやすく、ユーザーの観点から非常に直感的に保たれています。複雑で高度なテクノロジーをユーザーフレンドリーな表面の背後に隠すことが、広く受け入れられる設計と世界中で成功するビジネス戦略の鍵であることが証明されています。

確かに課題はありますが、このマニュアルの目的は、技術的すぎず、人間の物語のトーンを使用して、管理者ユーザーがほとんどの障害を乗り越えるように導くことです。

Tigermeeting カスタマーサポートは、会議室や教室を輝かせるためにいつでも利用できます。

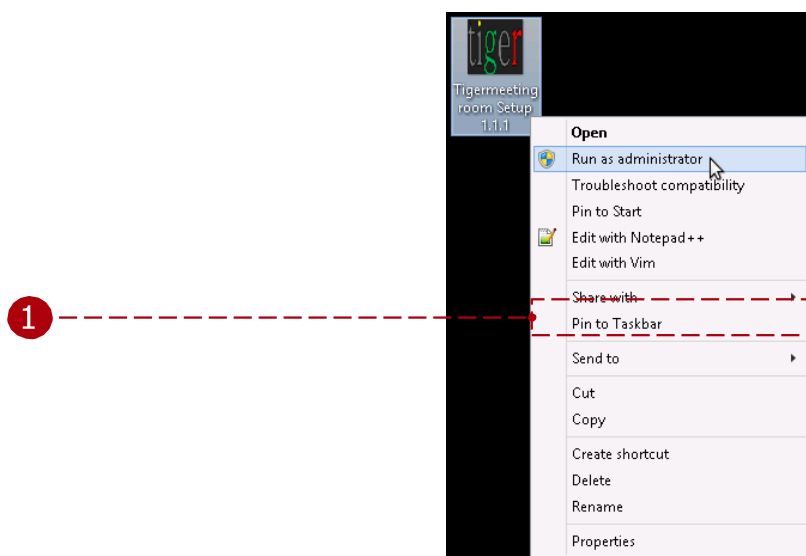
Tigermeeting Admin のインストール

Tigermeeting 管理アプリケーションは、Tigermeeting インフラストラクチャ全体を簡単、直感的、効率的かつ安全な方法で構成、更新、管理するマルチプラットフォームの Web ベースの管理アプリケーションです。インストーラーは、Windows、MacOS、Linux プラットフォームで利用できます。

Windows への Tigermeeting 管理者のインストール

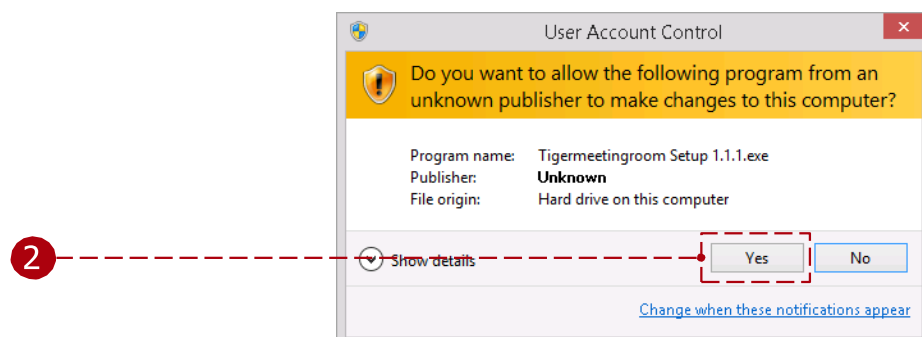
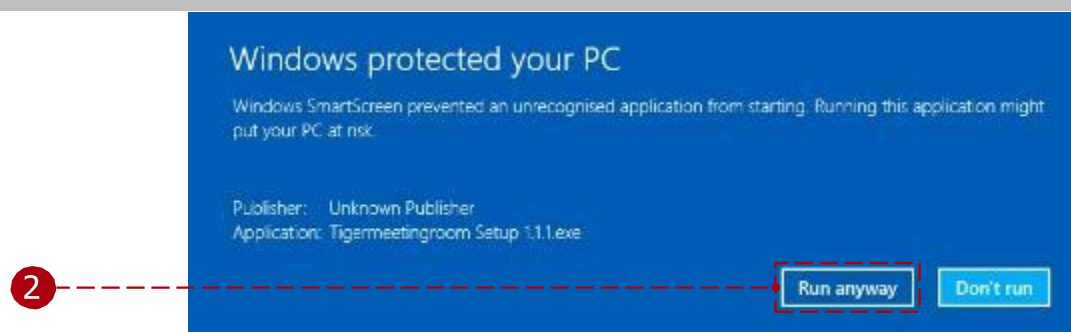
インストール手順に従います。

- Tigermeeting の Web サイトに移動します
: <https://tigermeeting.app/en/downloads>
- Tigermeeting 管理アプリケーションをダウンロードします。
- ① インストーラを管理者として実行します。

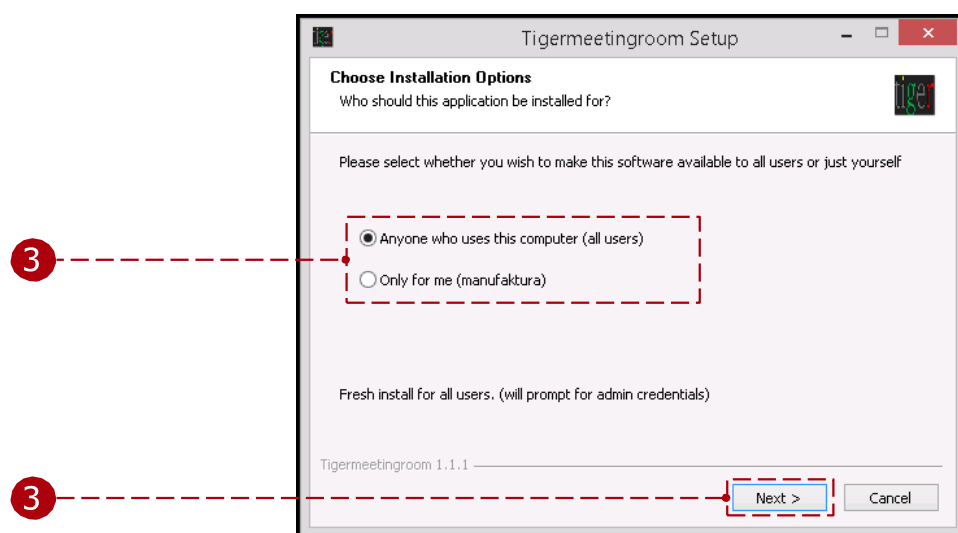


- ② Tigermeeting Admin は署名されたアプリケーションですが、拒否された場合は、認識されないアプリケーションのインストールを許可してください。

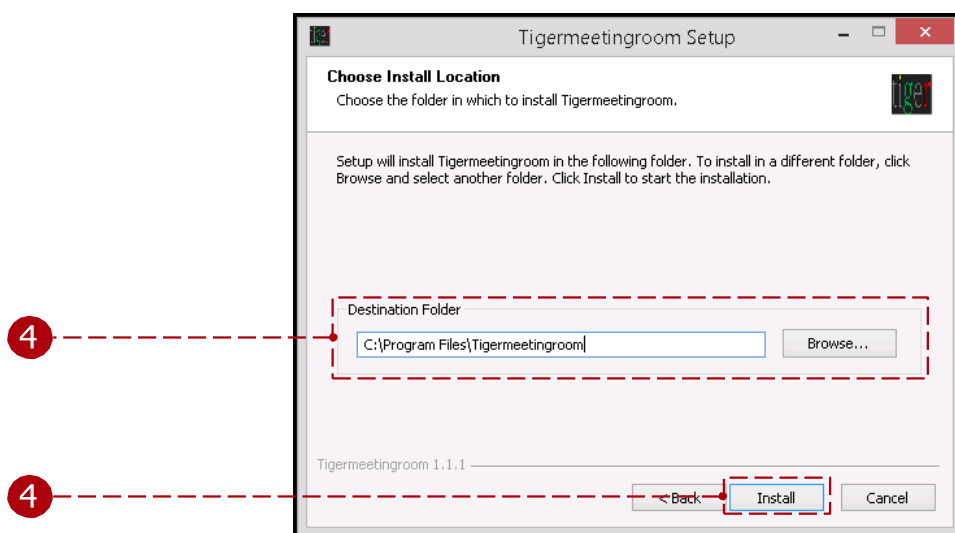




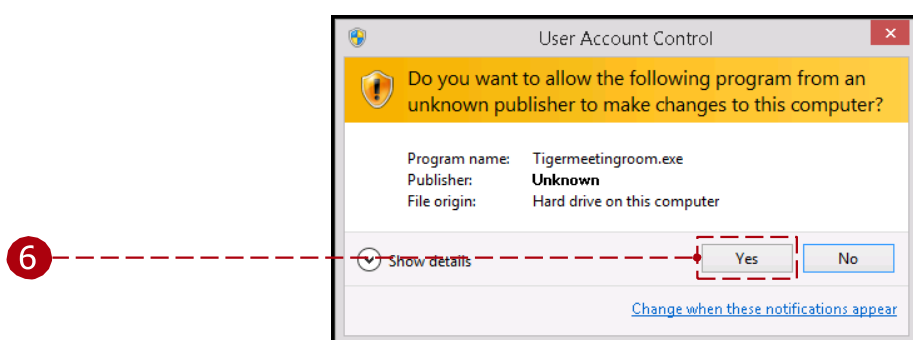
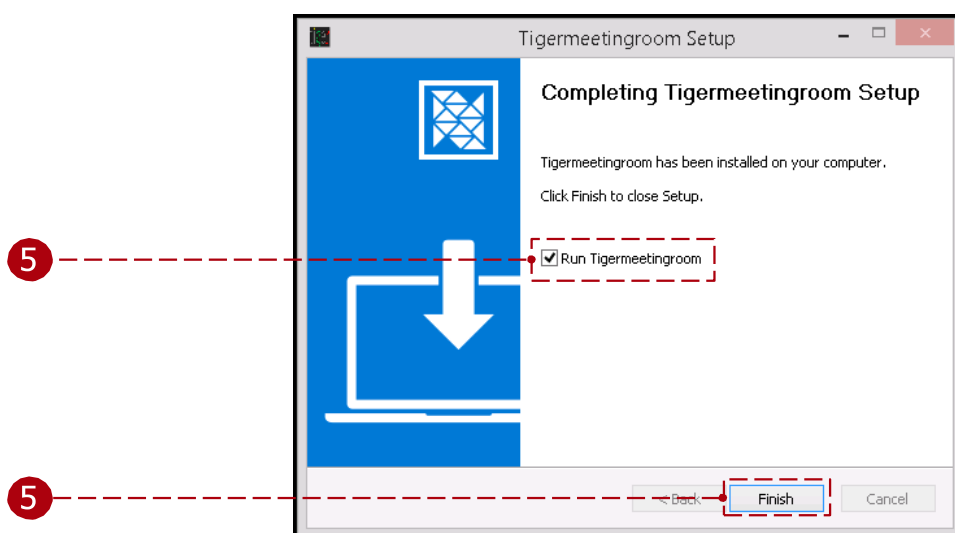
3 選択したユーザーのインストールを続行し、「次へ」ボタンを押します。



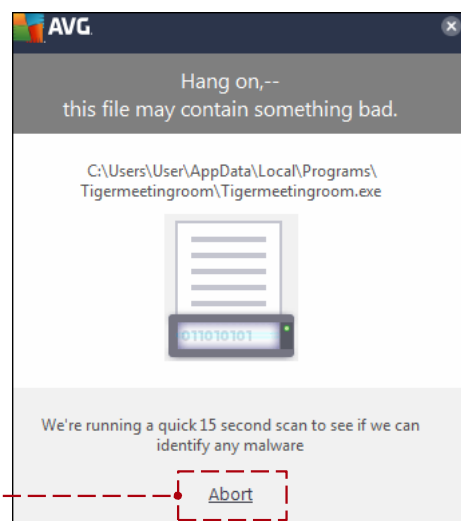
- 4 目的のインストール場所を選択し、「インストール」ボタンを押します。



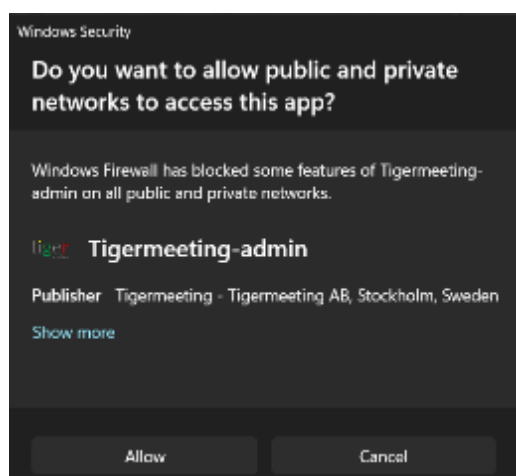
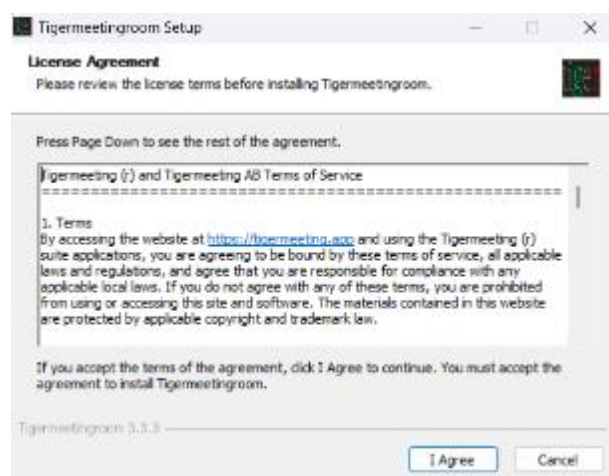
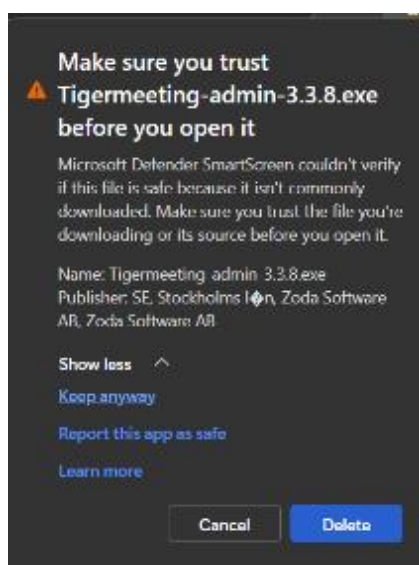
- 5 「Tigermeetingroom を実行」にチェックを入れると、インストール後、Tigermeeting 管理アプリケーションが開きます。
インストールウィザードを終了します。パブリッシャー 6 を許可す
Tiger 変更を加えるための管理アプリケーション 6 をコンピュータええと)



7 ウイルススキャンが完了するか、スキャンを中止します。



注: Tigermeeting は、検証済みの証明書を持つ署名付きアプリケーションです。Tigermeeting AB と Zoda Software AB (旧組織名) の両方からの証明書を受け入れてください。



使用許諾契約を読んで同意し、ネットワークへのアクセスを許可してください。

説明ビデオ:

<https://www.youtube.com/watch?v=sB8ea-VrYz8>

Linux への Tigermeetingadmin のインストール

Tigermeeting Admin Application インストーラーは、Linux オペレーティングシステム用の 3 つの形式で利用できます。

- RPM - Redhat パッケージマネージャー – RedHat、Fedora、SuSE など用。
- DEB – Debian ソフトウェアパッケージ– Debian、Ubuntu、Kali など用
- AppImage - アプリケーションと、さまざまな Linux ディストリビューションで実行するために必要なすべてを含む Linux 用のポータブル ソフトウェア パッケージ。

RPM パッケージ

ターミナルを開き、.rpm ファイルの場所に移動します。

スーパーユーザー権限で次のコマンドを実行します。

```
$sudo rpm -ivh ファイル名.rpm
```

デスクトップまたはコマンドラインからアプリケーションを起動します。

```
$/usr/bin/tiger 会議室
```

DEB パッケージ

ターミナルを開き、.deb ファイルの場所に移動します。

スーパーユーザー権限で次のコマンドを実行します。

```
$sudo dpkg -i package_file.deb
```

デスクトップまたはコマンドラインからアプリケーションを起動します。

```
$/usr/bin/tiger 会議室
```

AppImage ファイル

ターミナルを開き、AppImage ファイルの場所に移動します。

chmod +x filename **コマンド**を使用して AppImage ファイルを実行可能にします。

AppImage 実行可能ファイルを **./filename** コマンドで実行します。

注:Tigermeeting 管理アプリはグラフィカルアプリケーションです。

インストールはターミナル/コマンドラインから行うことができますが、実行には機能する X Windows 環境が必要です。

BSD バリエーションへの Tigermeeting admin のインストール

Tigermeeting 管理アプリなどの Node.js Electron アプリケーション用の BSD 実行可能ファイルのビルドは、公式にはサポートされていません。Electron Builder は主に Windows、macOS、Linux をサポートしていますが、FreeBSD やその他の BSD バリエーションはターゲット プラットフォームとしてリストされていません。

ただし、Linux 互換レイヤーを使用して、一部の BSD 環境で Tigermeeting 管理アプリを実行する回避策があります。

FreeBSD には Linux 互換レイヤーがあり、通常の Linux バイナリを実行できます。

NetBSD と Dragonfly BSD は、Linux バйнаリのサポートに非常によく似たアプローチを使用します。

MacOS への Tigermeeting 管理アプリケーションのインストール

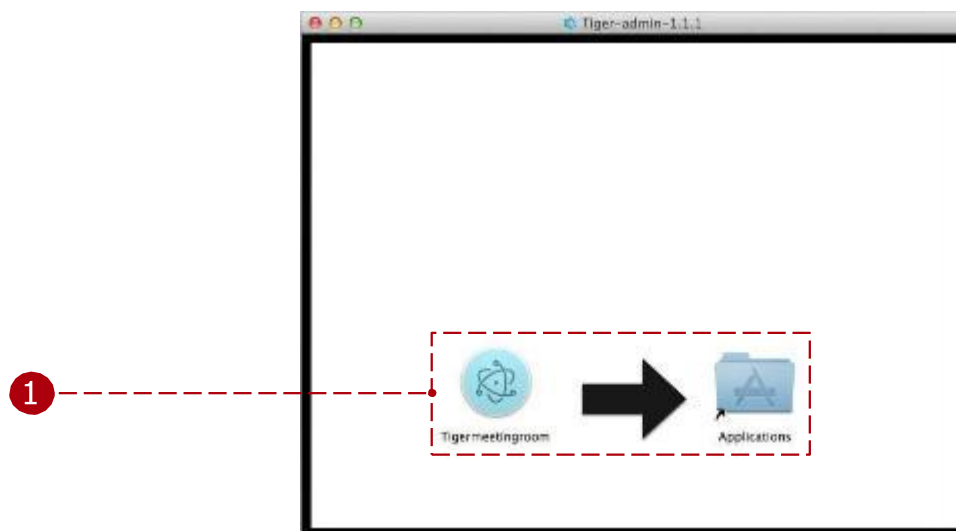
インストール手順に従います。

タイガーミーティングのウェブサイトに移動します

<https://tigermeeting.app/en/downloads>

Tigermeeting 管理アプリケーションをダウンロードします。

- 1 インストーラーを実行し、検証後、「Tigermeetingroom」を「アプリケーション」にドラッグアンドドロップします。



- 2 Tigermeeting 管理アプリケーションを実行します。まれに必要なに応じてセキュリティ設定を変更します(アプリケーションは Tigermeeting AB(検証済みの Apple 開発者)によって署名されています)



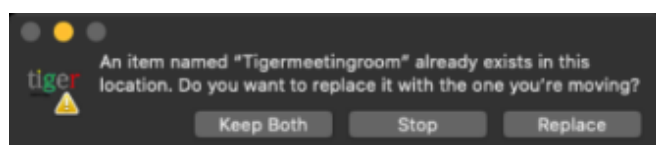
注: インストーラのスプラッシュイメージは、リリース間で変更される場合があります。Tiger アイコンを [アプリケーション] フォルダーにドラッグして、管理アプリをインストールしてください。アプリケーションが既に存在する場合は上書きすることをお勧めします(アップグレードの場合)。



インストール前に利用規約に同意してください。



古いバージョンがある場合は、アプリケーションを交換してください。



アプリを開く

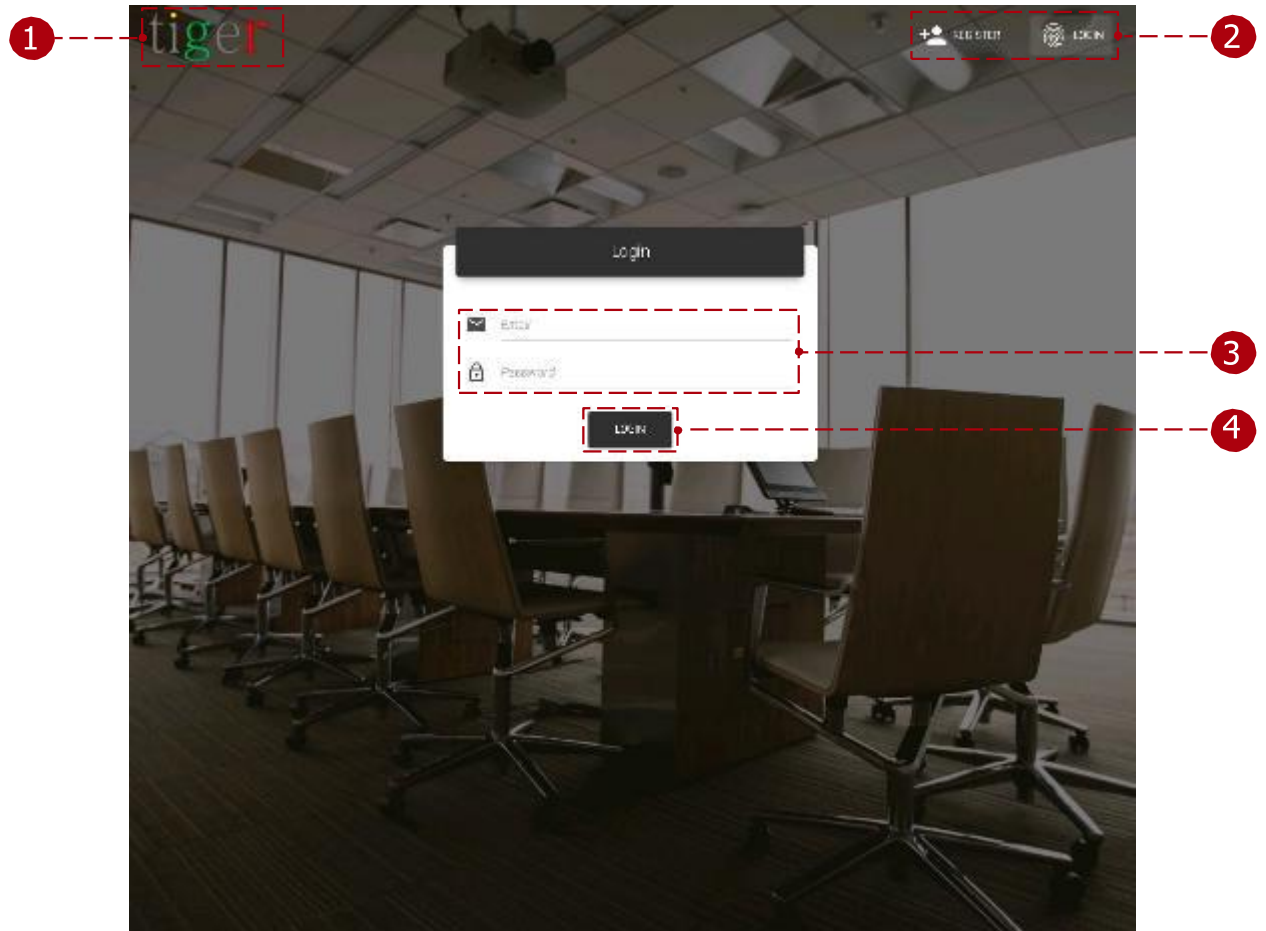


説明ビデオ:

<https://www.youtube.com/watch?v=MvmDbgB7dnk>

ユーザーログイン

Tigermeeting 管理アプリケーションを使用できるのは、登録ユーザーのみです。ユーザーは正しいメールアドレスとパスワードでログインできます。



ログインフォームには、次の3つの主要なコンポーネントがあります。

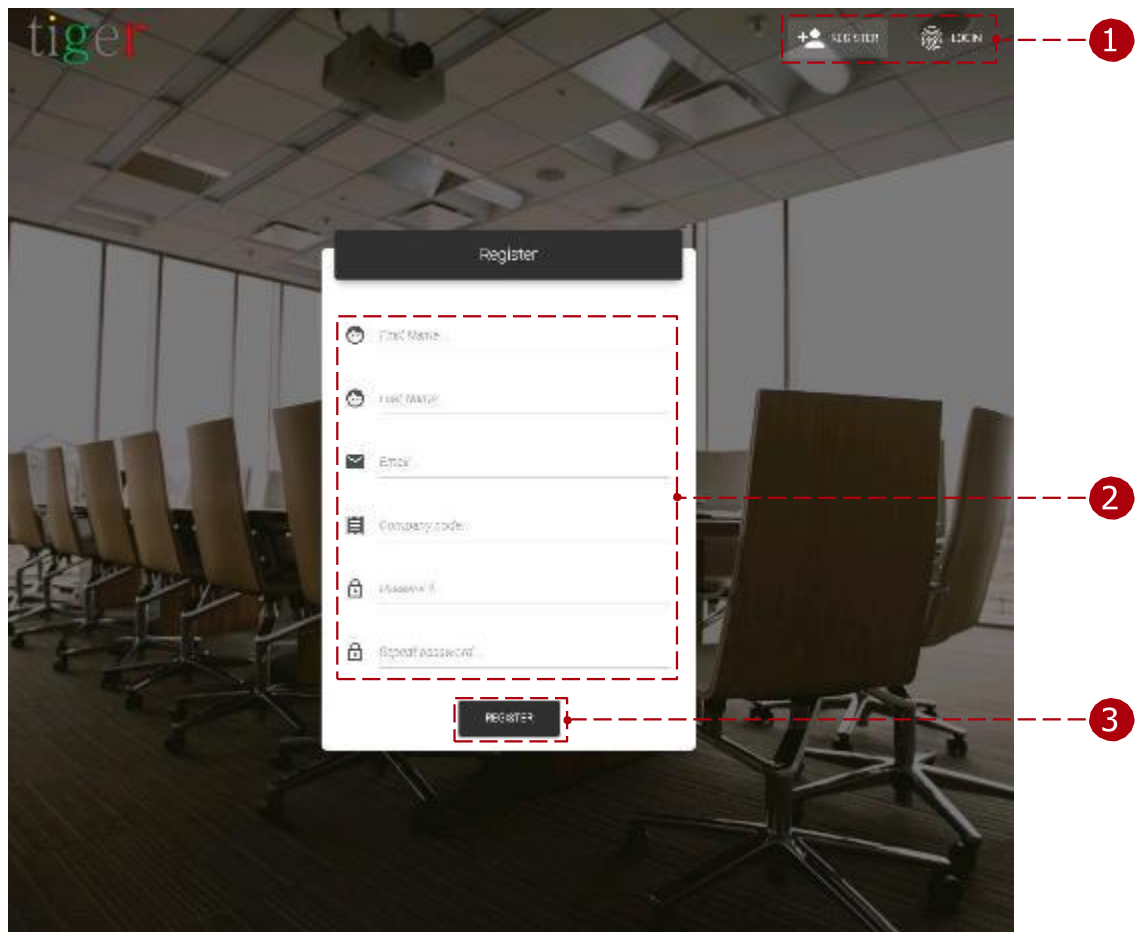
- ① **ロゴ**: いつ クリック オン ロゴ ブラウザー です 開けた そして <https://tigermeeting.app/> にリダイレクトされました。
- ② **ログインと登録**: ユーザーログインと登録機能を切り替えます。電子メールと
- ③ **パスワード**: 登録ユーザーのみが Tigermeeting 管理アプリケーションを使用で
- ④ **きます**。
システムにログインする: ユーザーは有効なユーザー名とパスワードを使用して続行できます。

注: 最初の管理者アカウントは Tigermeeting カスタマーサービスによって作成され、資格情報は電子メールで管理者に送信されます。

登録は不要です。直接ログインしてください。

ユーザー登録

Tigermeeting の管理者登録は、共有された「会社コード」で行うことができます。これにより、管理者ユーザー作成機能が別の既存の管理者ユーザーに置き換えられます。

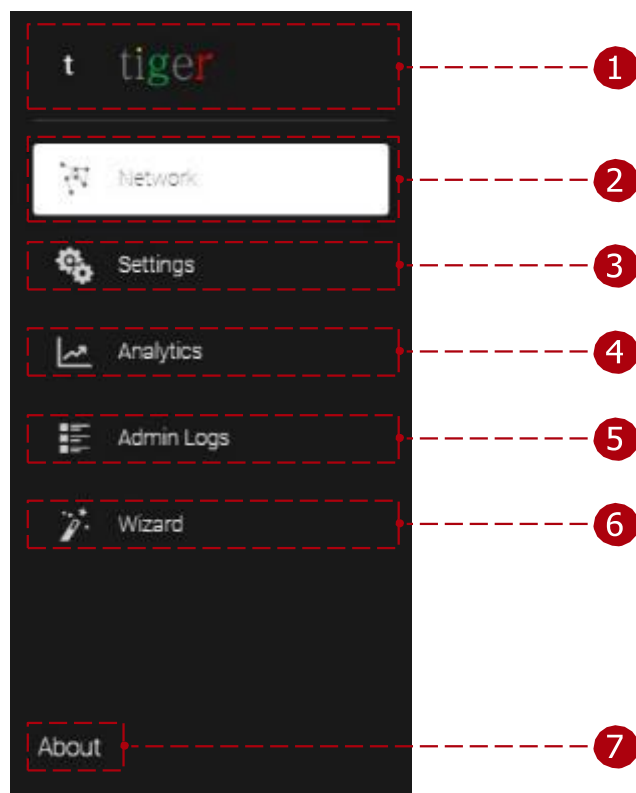


登録フォームには、次の 3 つの主要なコンポーネントがあります。

- ① ログインと登録: ユーザーログインと登録機能を切り替えます。
- ② ユーザーパラメータ: すべてのフィールドは必須であり、登録を完了するには入力する必要があります。
 - 会社コード: 会社コードは、デバイス間で配布できるライセンスの数を決定します。会社コードはメールで送信されます。
 - パスワード: ユーザーのパスワードには、8 文字以上を含める必要があります。
- ③ 登録: すべてのフィールドに有効なデータが入力されたら、登録を完了できます。

注: 追加の管理者ユーザーの登録時に固有の会社コードが使用されますが、新規登録ではライセンス プールが共有されるため、この情報は機密にしてください。

メニュー構成

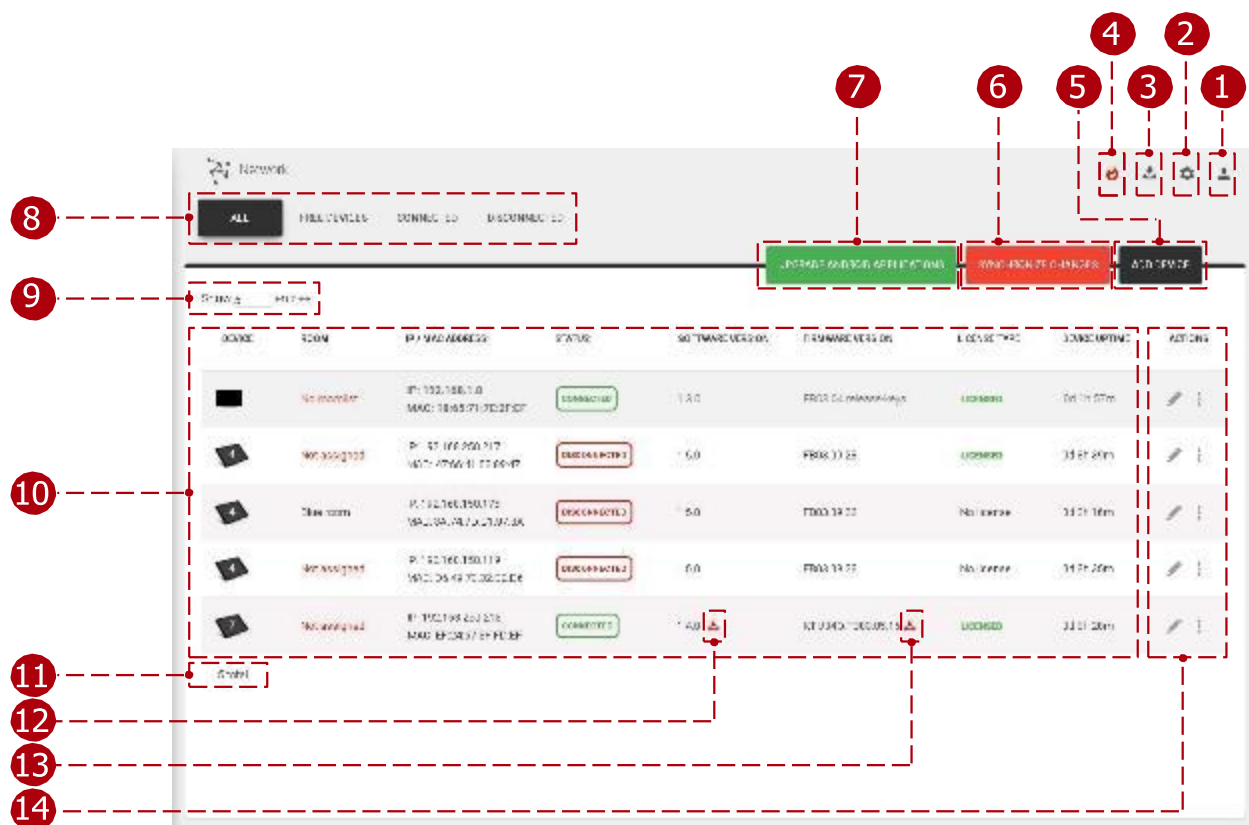


管理アプリケーションの主な機能は、次の 3 つの主要なカテゴリに分類されます。

- ① **ロゴ**: ロゴをクリックすると、ブラウザが開き、<https://tigermeeting.app/> にリダイレクトされます
- ② **ネットワーク**: デバイスのステータスを監視し、パラメータを変更できます。
- ③ **設定**: ライセンス、カレンダーの添付ファイル、デタッチ、ルーム管理、および管理者ユーザー設定を変更できます。
- ④ **分析**: デバイス分析は、デバイスの予約、デバイスの概要、管理者、および会社に対して読み込むことができます。
- ⑤ **管理者ログ**: ログイン、ログアウト、デバイス同期などのユーザーイベントが記録され、表示されます。
- ☐ **テーマ**: テーマ設定により、すべてのデバイスでテーマとバックグラウンド操作が許可されます
- ⑥ **ウィザード**: ユーザーは、デバイスの構成に役立つステップバイステップのウィザードによってガイドされます。(主に管理アプリを初めて使用するときに使用します)
- ⑦ **バージョン情報**: Tigermeeting 管理アプリケーション、プライバシー ポリシー、利用規約、Cookie ポリシー、オープンソース ライセンスに関する情報。

ネットワーク

ネットワークパネルでは、デバイスの状態を監視したり、部屋やライセンスのタッチメント、デタッチ、その他の重要なパラメータを編集したりできます。ネットワークは常にデバイスがスキャンされます。



ネットワーク機能:

1 ユーザー設定:

- 現在のユーザー: ユーザーの電子メール アドレスに現在ログインしています。
- ユーザー設定: 現在ログインしているユーザーのデータを開いて編集します。(リダイレクト先: 設定、管理者ユーザー、編集ユーザー)
- ログアウト: セッションを終了し、Tigermeeting 管理アプリケーションからログアウトします。ユーザーは、5 分間非アクティブになると自動的にログアウトされます。

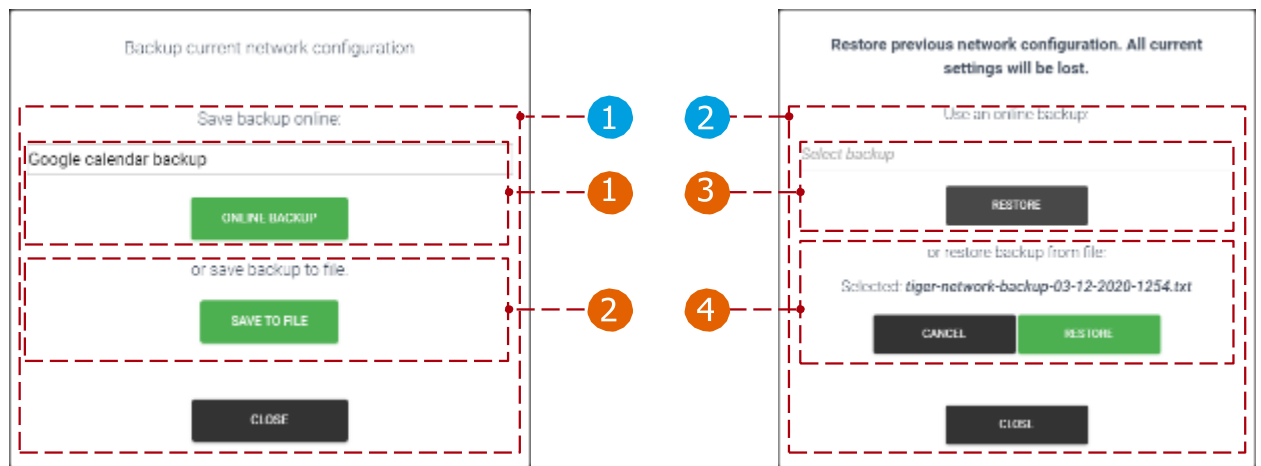
2 システム設定:

- バージョン番号: Tigermeeting 管理アプリケーションの現在のバージョン。
- デバイスロゴの設定: ロゴは Tigermeeting 管理アプリケーションにアップロードでき、同期後、アップロードされたロゴ(120x60px)が接続されたデバイスで使用されます。
- 管理ログのダウンロード: Tigermeeting 管理アプリケーションのログをエクスポートします。エラー追跡に使用されます。

ネットワークのリセット: 管理アプリケーションと接続されているすべてのデバイスをデフォルト設定にリセットします。カレンダー、会議室、会議室リストは、デフォルトに戻されたデタッチされたデバイス設定です。(予約デバイス、概要デバイス、管理アプリケーション)バックアップ
 ネットワーク: バックアップ予約、概要デバイス(接続された部屋、デバイ

ス設定など)、Tigermeeting 管理アプリケーション設定(オンラインカレンダー、部屋など)。ネットワーク設定をバックアップするには、次の 2 つのオプションがあります。

- ① バックアップをオンラインで保存します。バックアップをファイルに保存します。
- ② ネットワークの復元: 予約および概要デバイス(接続された会議室、デバイス設定など)のバックアップ設定を復元し、Tigermeeting 管理アプリケーション(オンラインカレンダー、会議室など)も復元します。
 - ③ オンラインバックアップから復元します。
 - ④ 保存したバックアップファイルから復元します。



- ③ Android アプリのダウンロード: TigermeetingAndroid アプリケーションの APK ファイル(4+または 5+Android 予約または概要デバイス)またはオフィスをダウンロードし、セットアップスクリプトを目的の宛先に交換します。また、新しい管理者の更新はここからダウンロードできます。
- ④ 火災警報器: 火災警報器を作動させるには、「アクティブ化」ボタンを押し続けます(3 秒間)。アクティベーション(同期)後、すべてのデバイス(予約と概要画面)が点滅し、火災警報音が鳴ります。



- ⑤ デバイスの追加: Tigermeeting 管理アプリケーションによって検出されない IP アドレスを持つデバイスを追加します。デバイスが別のサブネットワークにある場合に使用されます。
- ⑥ 変更の同期: デバイスのプロパティが変更された場合(部屋、ライセンスの接続または削除、パラメーターの変更(容量、部屋情報、オープン時間など)、そのプロパティを有効にするには、すべてのデバイスに同期する必要があります。すべてのデバイスが切断されると、同期は許可されません。
- ⑦ デバイスの更新: 接続されているすべてのデバイスのソフトウェアバージョン

を更新します。

デバイスフィルター:

- すべて: すべてのデバイスがフィルターなしで一覧表示されます。
- 無料デバイス: ルームのないデバイスが一覧表示されます。
- 接続済み: ステータスが「接続済み」のデバイスが一覧表示されます。
- 切断: ステータスが「切断」のデバイスが一覧表示されます。

9 デバイス数: ページごとに表示されるデバイスの数。

10 検出されたデバイス: ネットワーク上で検出されると、すべてのデバイスが表示されます。ネットワークは 30 秒ごとにスキャンされます。

- 数字()は、Android オペレーティングシステムのバージョンを示します。

11 デバイスの合計数: デバイス フィルターでフィルター処理されたデバイスの合計数。(すべて、空き、接続、切断)

12 ソフトウェアの更新: 選択したデバイスのソフトウェアバージョンを更新します。

13 選択したデバイスのファームウェアを更新する: デバイスのファームウェアを更新します。数分かかりますが、ファームウェアを更新するときは、デバイスの電源を切らないでください。

14 アクション:

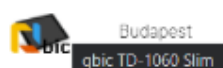
- デバイスのプロパティ: 選択したデバイスのプロパティを編集します。デバイスの再起動: 選択したデバイスを再起動します。
- ログのダウンロード: デバイスのログを .Json ファイル。デバイスが接続されている場合にのみ表示されます。エラー追跡に使用されます。
- スクリーンショットの表示: デバイスからスクリーンショットが取得されます。
- デバイスの削除: 切断されたデバイスを管理アプリケーションから削除します。デバイスが切断された場合にのみ表示されます。
- メンテナンスモード: デバイスをメンテナンスモードに設定します。
- Post コマンド: ベンダー固有の API メッセージをデバイスに送信します。

Tigermeeting はデバイスに依存せず、ほとんどの Android デバイス、特に広く認知されているブランドをサポートすることを目的としているため、さまざまなデバイスブランドをグループ化して簡単に識別するのに役立つさまざまな画面アイコンがネットワークリストに表示される場合があります。

デバイスアイコンの例:



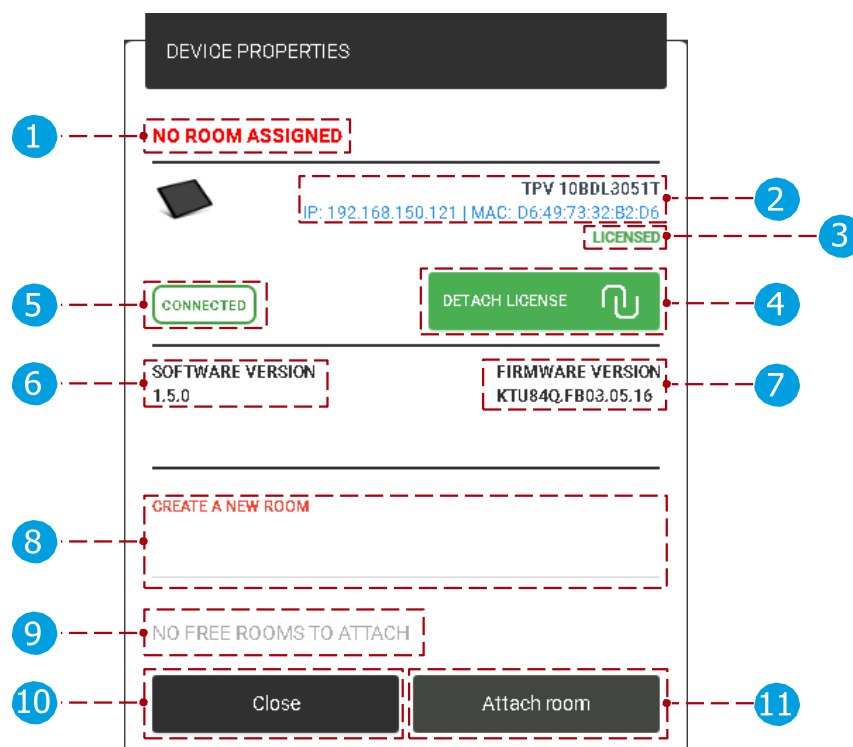
アイコンの上にマウスポインタを置くと、デバイスモデルが表示されます。



IP: 192.168.10.168
ID: b9006c9278a0c72c

注: Tigermeeting 管理者は、デバイスの構成中に管理時間のほとんどをネットワークビューで費やすため、Tigermeeting はこの機能の改善とカスタマイズに非常に熱心です。お客様のご提案を大歓迎いたします。

予約デバイスのプロパティ: 部屋を添付する前



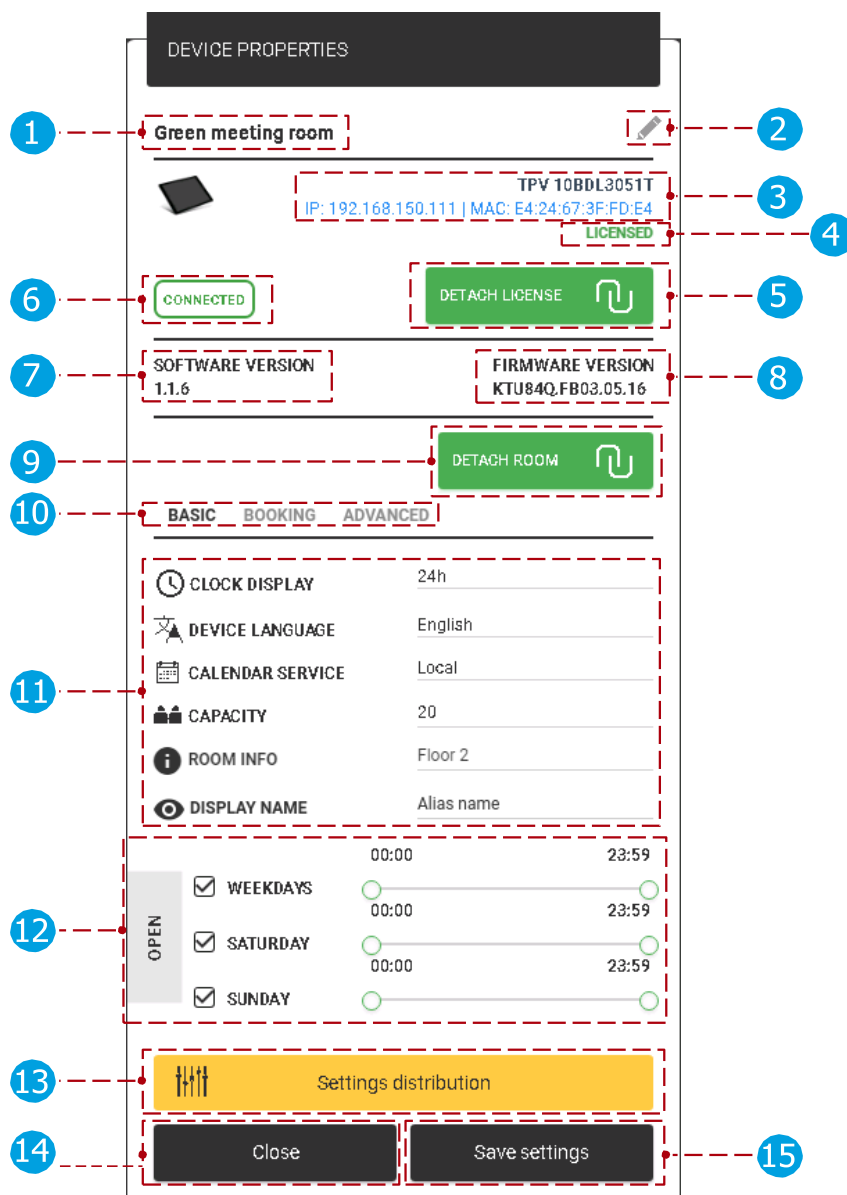
デバイスのプロパティ:

- 1 デバイスのルーム: 現在接続されているルームの名前。
- 2 予約デバイス情報: 選択したデバイスの IP アドレスと MAC アドレスが表示されます。
- 3 ライセンスステータス: 選択したデバイスに接続されているライセンスのタイプ。(ライセンスなしまたはライセンス(予約画面ライセンスのみ添付可能))
- 4 ライセンスのデタッチ: 現在のライセンスをデタッチします。切り離すと、選択したデバイスは「ライセンスなし」に戻ります。切り離したライセンスは、再度アタッチできます。
- 5 デバイスステータス: 選択したデバイスのステータス。(接続または切断)
- 6 ソフトウェアバージョン: 選択したデバイスの現在のバージョンが表示されます。
- 7 ファームウェアバージョン: 選択したデバイスの現在のファームウェアバージョンが表示されます。新しいルームの作成: デバイスにライセンスがない場合、選択したデバイスにルームを接続できません。添付ファイルの後に新しいルームの名前を追加すると、() ルームが作成され、選択したデバイスにアタッチされます。
- 8 接続可能なルーム リスト: 以前に作成したルームがある場合は、(リストから) 選択して、選択したデバイスに接続できます。
- 9 閉じる: キャンセル アクションを実行すると、すべてのパラメーターが以前の状態にリセットされます。
- 10 ルームのアタッチ: 選択したデバイスにルームをアタッチします。
- 11

予約デバイスのプロパティ:部屋の添付後

デバイスのプロパティは、基本プロパティ、予約プロパティ、および高度なプロパティに分けることができます。

基本プロパティ



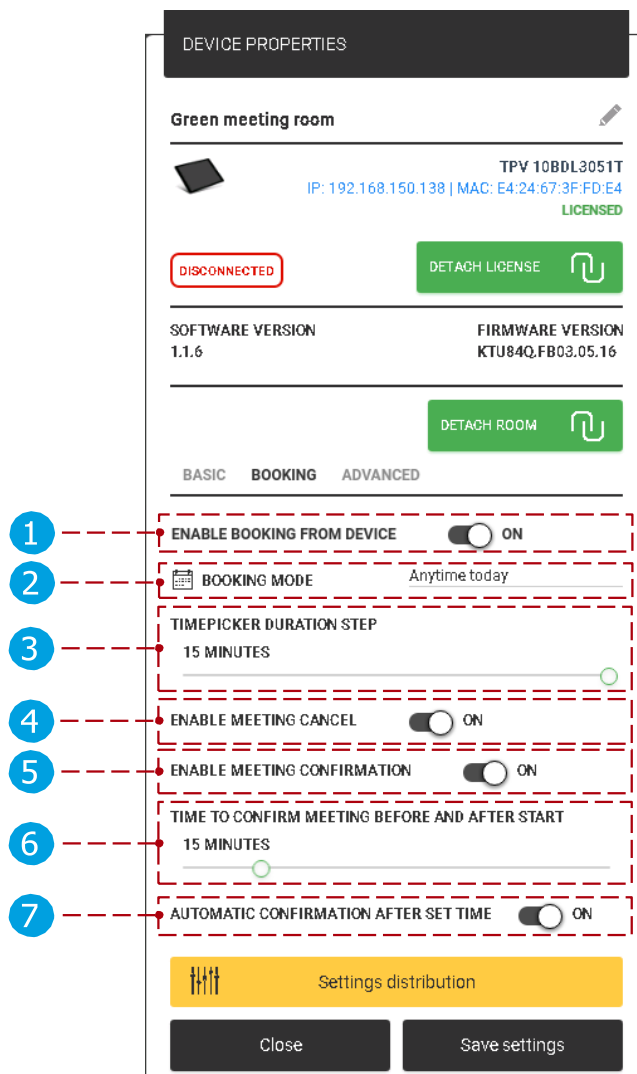
基本プロパティ:

- ① デバイスのルーム: 現在接続されているルームの名前。
「設定」メニューの「部屋」タブ、部屋のプロパティの編集、「表示名」で部屋のエイリアスが追加されていない場合、元の部屋名が表示されます。エイリアスを追加すると、元の名前の代わりに表示されます。
- ② 接続されたルームの名前を編集: 接続されたルームの名前を編集できます。設定を保存すると、名前が変更されます。会議室の名前は、ローカルカレンダー、iカレンダー、Google カレンダーが添付されている場合にのみ編集できます。インポートされた会議室の名前は、オンラインカレンダーの管理パネ

ルでのみ、Tigermeeting 管理アプリケーション(Microsoft365、Exchange、Google Workspace)で編集できません。

- 3 デバイス情報:選択したデバイスの IP アドレスと MAC アドレスが表示されます。
 - 4 ライセンスステータス:選択したデバイスに現在接続されているライセンスのタイプ。(ライセンスなしまたはライセンス(予約画面ライセンスのみ添付可能))
 - 5 ライセンスのデタッチ: 現在のライセンスをデタッチします。切り離すと、選択したデバイスは「ライセンスなし」に戻ります。デタッチされたライセンスは再度アタッチ可能
 - 6 デバイスステータス: 選択したデバイスのステータス。(接続または切断)ソフトウェアバージョン:選択したデバイスの現在のバージョンが表示されます。
 - 8 ファームウェアバージョン:選択したデバイスの現在のファームウェアバージョンが表示されます。部屋をデタッチする: 現在接続されているルームを選択したデバイスからデタッチします。会議室が切り離されると、同期後、デフォルトの「会議室」が使用されます。
 - 9
 - 10 基本、予約、および詳細プロパティ: 選択すると、基本、予約、および詳細パラメータが表示されます。
 - 11 基本パラメータ:
 - 時計表示:デバイスの時計表示を変更します。(24 時間または 12 時間形式)。
 - デバイスの言語: デバイス上のテキストは、選択した言語で表示されます。デフォルトの言語は英語です。
 - カレンダーサービス:ローカルカレンダーまたは添付されたオンラインカレンダーにすることができます。オンラインカレンダーが添付されている場合、デバイスはオンライン会議室のみを使用できます。オンラインカレンダーがついていない場合は、ローカルルームのみ使用できます。
 - 収容人数:付属の部屋の収容人数。
 - 会議室情報: 会議室情報は、デバイスの [利用可能な会議室] の下に表示されます。詳細については、「設定、ルームタブ」を参照してください。
 - 表示名:エイリアスを使用し、ルーム名として表示されます。追加されていない場合は、代わりに部屋の元の名前が使用されます。
 - 12 営業時間:
 - 日: デバイスは選択した日の予約を受け付けます。
 - 時間:デバイスは設定された時間の間に予約を受け付けます。
 - 13 設定分布:
 - すべてのデバイスに設定:チェックされたパラメータは、すべてのデバイスに対して保存されます。
 - 14 閉じる: キャンセル アクションを実行すると、すべてのパラメーターが以前
 - 15 の状態にリセットされます。
- 設定の保存: デバイスのパラメータを保存し、ダイアログを閉じます。

宿泊施設の予約



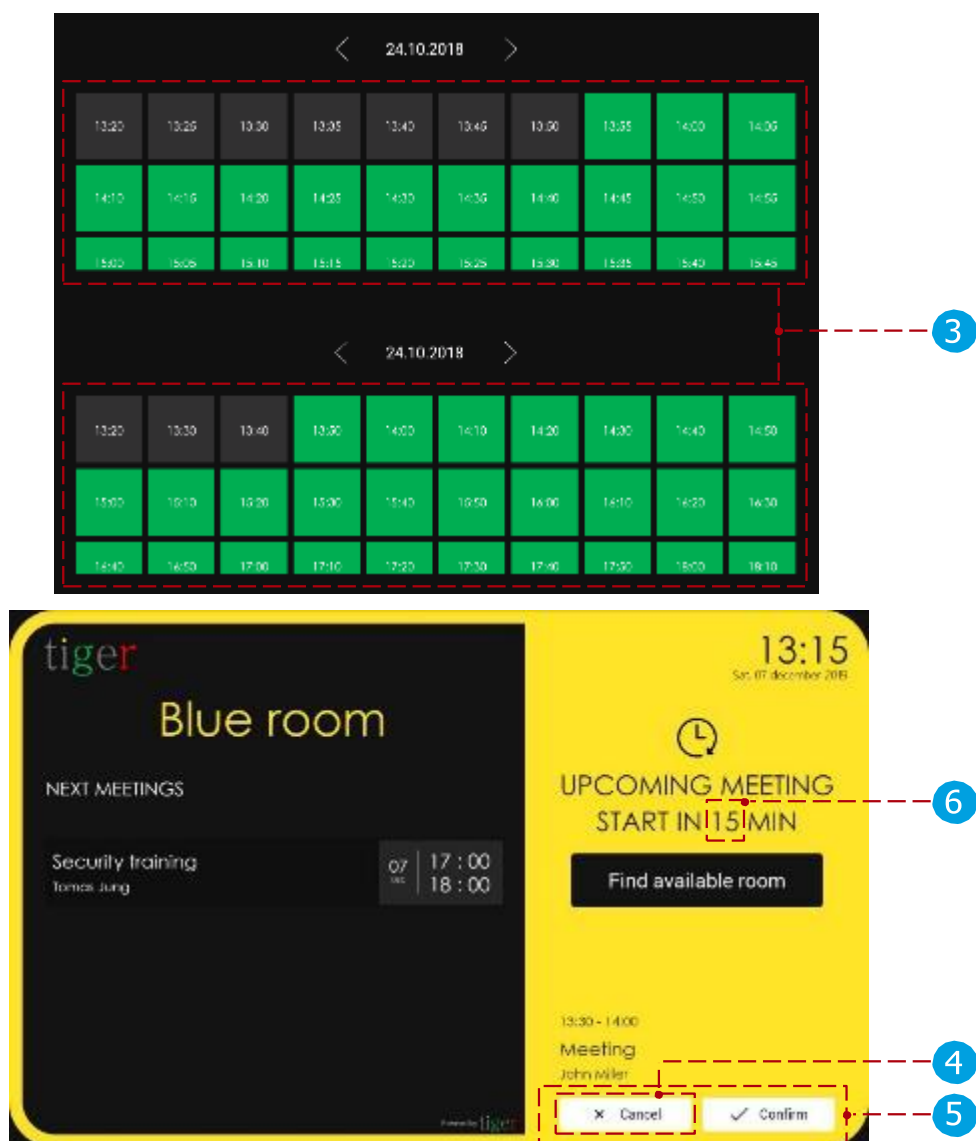
予約物件:

- ① デバイスからの予約を有効にする: パブリックスペースモード。オンにすると、デバイスからミーティングを予約できます。それ以外の場合、デバイスで予約することはできません。(オンラインカレンダーが添付されている場合のみ)
- ② 予約モード: 3つの予約モードを使用できます。
- ③ 時間ピッカーの期間ステップ: 会議の予約の既定の期間。タイムピッカーは、設定値で調整されます。(5分、10分、15分、20分でも構いません)
- ④ 会議のキャンセルを有効にする: 有効にすると、会議が予定されているときに「キャンセル」ボタンが表示され、無効にすると「キャンセル」ボタンが表示されません。
- ⑤ 会議の確認を有効にする: 会議の開始前に、今後の会議の確認が表示されます。会議が確認されると、承認されます。キャンセルされると、今後の会議は削除されます。オフにすると確認ボタンが表示されず、設定した時間が経過すると会議が確定します。
(開始前後のミーティング確認時間())。
- ⑥ 会議の開始前後の確認時間: 会議の開始時刻の前後に、確認コントロールが表示されるのはいつですか。

- 7 時間後の自動確認:「会議の確認」時間が経過したとき(定義済み)
 ポイント 6 今後の会議が確定しているか、現在の会議が確定している
 別

自動的に。「会議の確認を有効にする」がオフになっている場合、このオプションは表示されません。

Android デバイスの場合:



- 5 オンライン予定表が添付されている場合にデバイスで会議を確認する: 会議が確認され、開始されていない場合:
 会議をキャンセルでき、会議は添付された会議室のカレンダーから削除されます。
 ミーティングが確認され、開始された場合:
 会議はキャンセルでき、会議は接続されたカレンダー ルームから削除されず、会議の終了時刻のみが会議がキャンセルされた時刻に変更されます。

2 デバイスの予約モード:

1 この瞬間から:会議は現在の時刻から、当日のみ予約できます。

12.10.2019

13:20	13:30	13:40	13:50	14:00	14:10	14:20	14:30	14:40	14:50
15:00	15:10	15:20	15:30	15:40	15:50	16:00	16:10	16:20	16:30
16:40	16:50	17:00	17:10	17:20	17:30	17:40	17:50	18:00	18:10

2 今日いつでも: 会議は、当日のいつでも予約できます。

12.10.2019

13:20	13:30	13:40	13:50	14:00	14:10	14:20	14:30	14:40	14:50
15:00	15:10	15:20	15:30	15:40	15:50	16:00	16:10	16:20	16:30
16:40	16:50	17:00	17:10	17:20	17:30	17:40	17:50	18:00	18:10

3 いつでも: 会議は、今後いつでも予約できます。

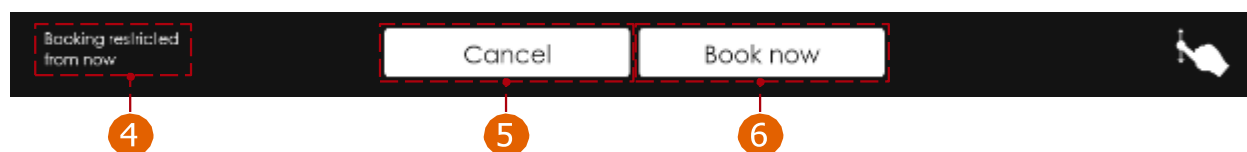
< 12.10.2019 >

13:20	13:30	13:40	13:50	14:00	14:10	14:20	14:30	14:40	14:50
15:00	15:10	15:20	15:30	15:40	15:50	16:00	16:10	16:20	16:30
16:40	16:50	17:00	17:10	17:20	17:30	17:40	17:50	18:00	18:10

4 予約タイプは、タイムピッカーの下部に表示されます。キャンセル:

5 キャンセルしてメイン画面に戻ります。

6 今すぐ予約: 選択した会議室への会議を確認します。



詳細プロパティ



詳細プロパティ:

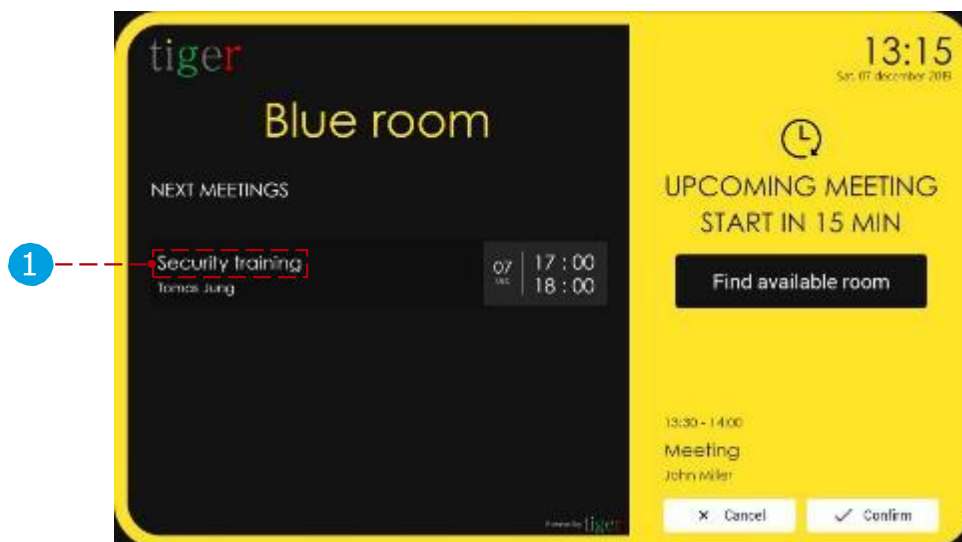
- ① デバイスのタイムゾーン: 選択したデバイスの時刻は、選択したタイムゾーンと、デバイスで予約されているミーティングに設定されます。
- ② 会議タイトルの表示: オンにすると、会議のタイトルが表示されます(タイトルが追加されていない場合は、「会議室が忙しい」というテキストに置き換えられます)、オフにすると、会議のタイトルが「会議室が忙しい」というテキストに置き換えられます。
- ③ 今後の会議を表示する: 会議が予定として表示されるまでの時間。(たとえば、20分に設定され、会議が14:00に開始されると、13:40に予定として表示されます)
- ④ ビデオプレーヤーを有効にする: 有効にすると、追加のビデオ設定を設定できます。(今後の動画再生が一時的に停止された会議と表示されている場合)
 - ⑤ ビデオプレーヤーのタイムアウト: 設定されたタイムアウト後にデバイス
 - ⑥ でビデオが再生されます。動画の URL: 動画へのリンク。
 - ⑦ 動画要件: ファイルタイプ: MP4、最大サイズ: 200MB、解像度: 720p
 - ⑧ テストビデオ: ボタンを押すと、ビデオがポップアップウィンドウに管理アプリケーションに表示されますが、これはテスト目的です。

サンプルビデオ:

<https://tigermeeting.app/uploads/videos/Tiger-Full-HD-Animation.mp4>

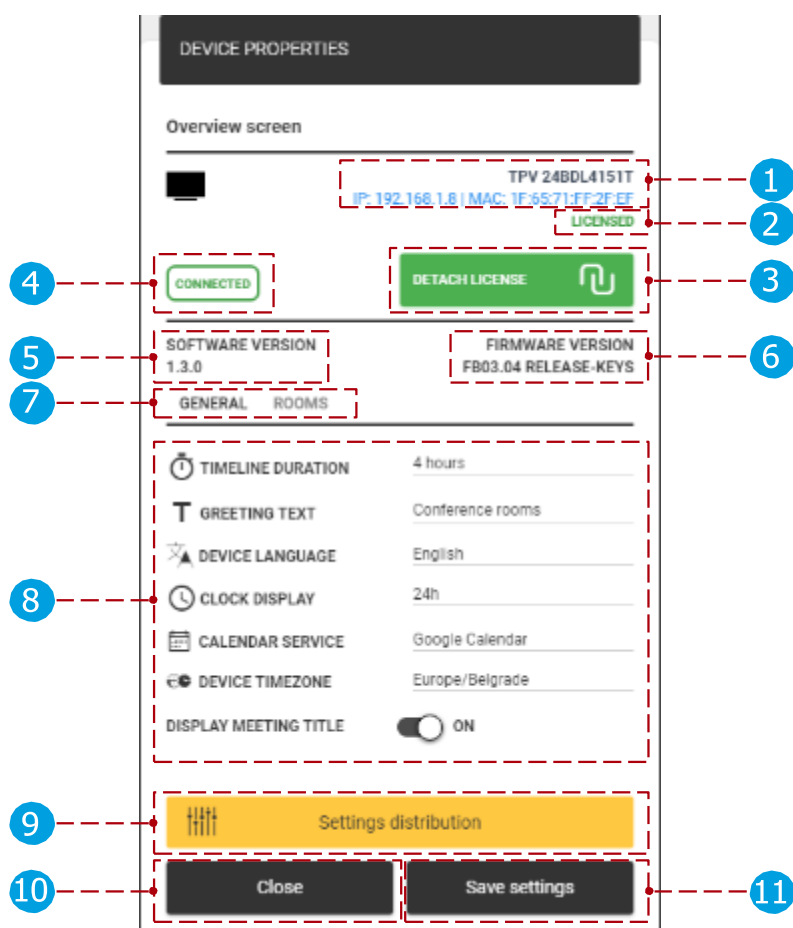
注:Tigermeeting は 5 から最新の Android バージョンをサポートしていますが、Android デバイス上のローカルファイルへのアクセス権はバージョン間で大幅に変更されています。タイムアウト期間を過ぎてもビデオが開始しない場合は、メディアファイル、ストレージアクセスがアプリケーションに許可されていることを確認してください。詳細については、Android のセットアップマニュアルをお読みください。

Android デバイスの場合:



概要画面のプロパティ

一般的なプロパティ



一般的なプロパティ:

- ① 概要画面のデバイス情報: 選択したデバイスの IP アドレスと MAC アドレスが表示されます。
- ② ライセンスステータス: 選択したデバイスに現在接続されているライセンスのタイプ。(ライセンスなしまたはライセンス(概要画面ライセンスのみ添付可能))
- ③ ライセンスのデタッチ: 現在のライセンスをデタッチします。切り離すと、選択したデバイスは「ライセンスなし」に戻ります。切り離れたライセンスは、再度アタッチできます。
- ④ デバイスステータス: 選択したデバイスのステータス。(接続または切断)
- ⑤ ソフトウェアバージョン: 選択したデバイスの現在のバージョンが表示されます。
- ⑥ ファームウェアバージョン: 選択したデバイスの現在のファームウェアバージョンが表示されます。
- ⑦ 一般および部屋の設定: 選択すると、一般または部屋のパラメーターが表示されます。
- ⑧ 一般的なパラメータ:
 - ① タイムラインの期間: タイムラインは 4 時間または 8 時間のセクションで表示できます。(たとえば、4 時間に設定すると、09:00~13:00 のタイムラインが表示されます)
 - ② グリーティングテキスト: タイムラインの上部にあるグリ

ーティングテキスト。

デバイスの言語: デバイス上のテキストは、選択した言語で表示されます。デフォルトの言語は英語です。

- 時計表示: デバイスの時計表示を変更します。(24 時間または 12 時間形式)。
- カレンダーサービス: ローカルカレンダーまたは添付されたオンラインカレンダーにすることができます
- カレンダーを添付すると、「部屋」の設定は()です。表示
- オンラインカレンダーがついていない場合は、ローカルルームのみ使用できます。
- デバイスのタイムゾーン: 概要画面のデバイスの時刻は、選択したタイムゾーンと会議の予約に構成されます。
- 会議タイトルの表示: オンにすると、会議のタイトルが表示されます(タイトルが追加されていない場合は、「会議室が忙しい」というテキストに置き換えられます)、オフにすると、会議のタイトルが「会議室が忙しい」というテキストに置き換えられます。

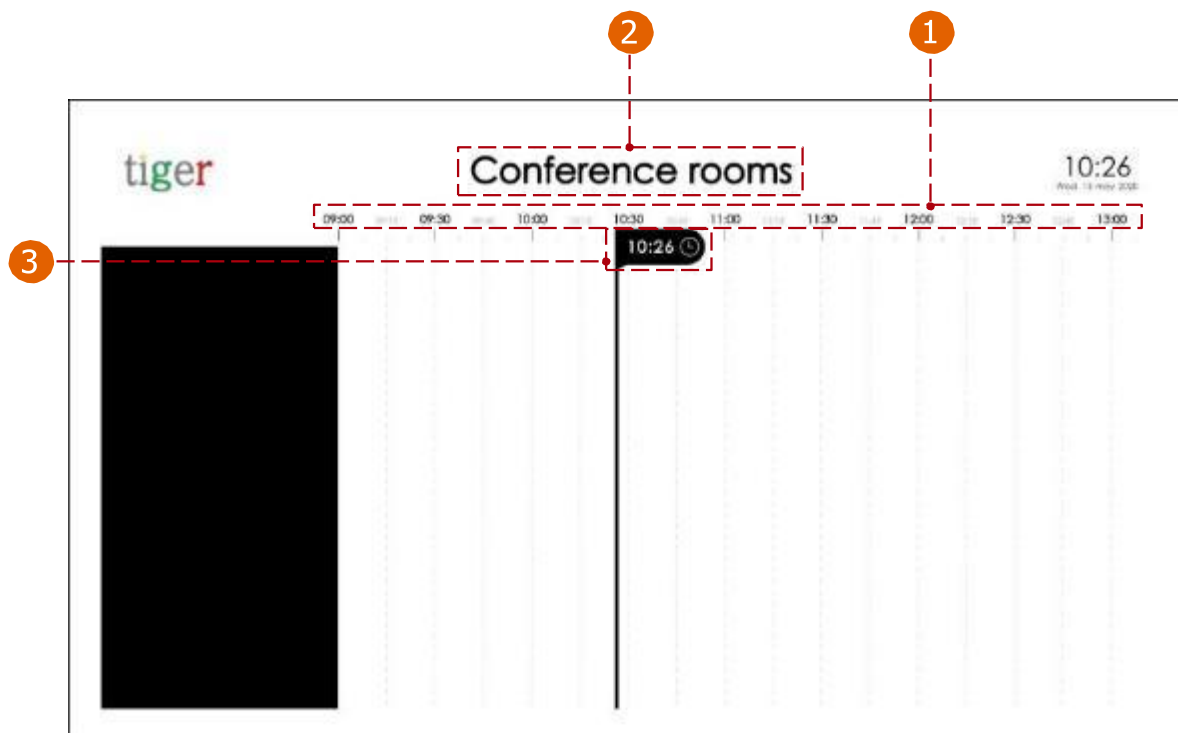
9 設定分布:

すべてのデバイスに設定: チェックされたパラメータは、すべてのデバイスに対して保存されます。

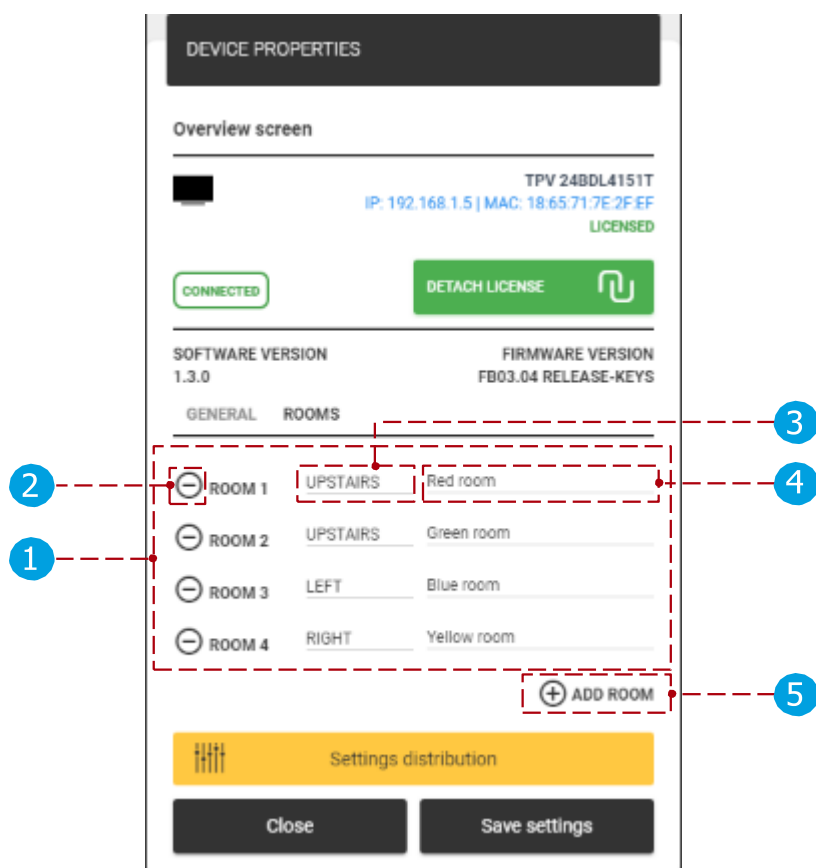
10 閉じる: キャンセル アクションを実行すると、すべてのパラメーターが

11 以前の状態にリセットされます。設定の保存: デバイスのパラメータを保存し、ダイアログを閉じます。

概要画面で:



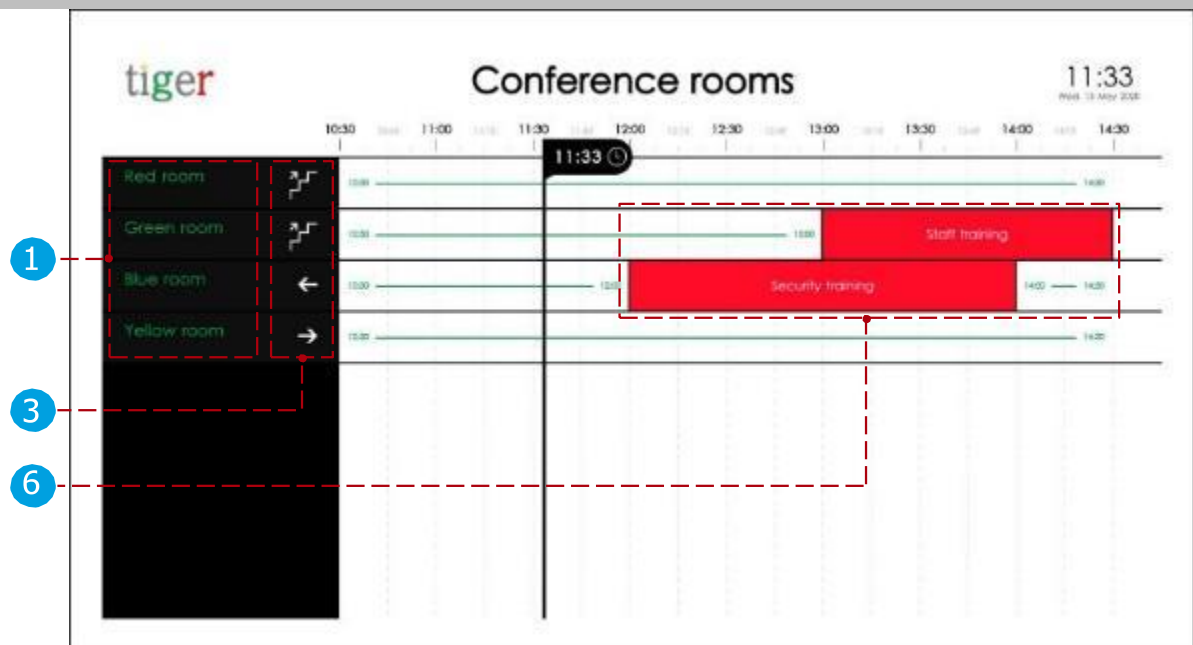
客室のプロパティ



客室のプロパティ:

- ① 会議室リスト: 概要画面デバイスに接続されている会議室が一覧表示されます
- ② 。ルームを削除: 選択したルームがルームリストから削除されます。
- ③ 位置情報: デバイスの位置情報アイコン (、) (上階、下階、左、右)。
- ④ 部屋: 以前に作成したルーム (ローカルカレンダーまたは添付されたオンラインカレンダー) をルームリストに添付できます。
- ⑤ ルームを追加: 新しいルームをリストに追加します。

概要画面で:



- 6 ミーティングリストが表示されます。「会議タイトルの表示」をオンにすると会議タイトルが表示され、オフにすると会議タイトルとして「会議室にビジ中」と表示されます。

Tigermeeting 管理アプリから AndroidAPK をダウンロードする

Tigermeeting Android APK は、予約画面と概要画面の両方で、Android 4.1 以降のほとんどのタブレット、携帯電話、テレビ デバイスと互換性があります。

APK は、管理アプリからダウンロードできます。

- Android 4.1 デバイス(4.x)をサポートする APK
- Android 5.0 – から最新の Android バージョン (5+) までのデバイスをサポートする APK

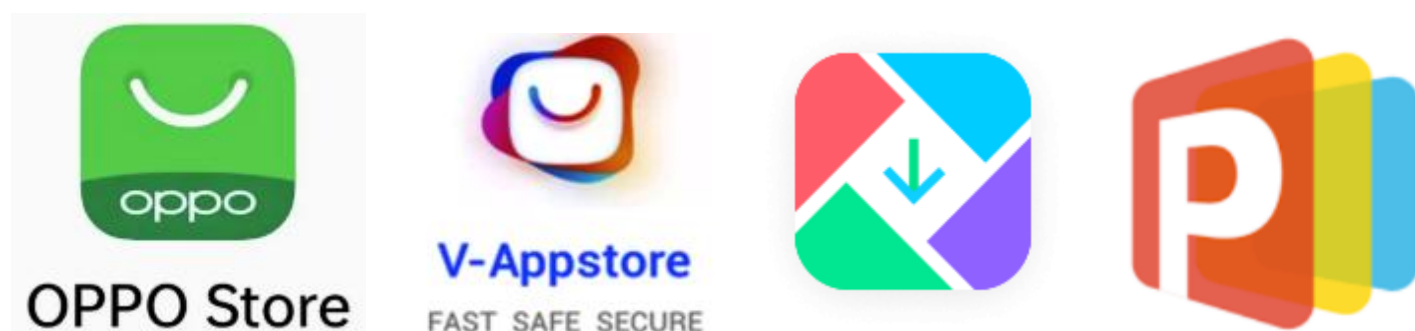
Google Play、Amazon Appstore、HUAWEI AppGallery、SAMSUNG Galaxy Store のリリースは、管理アプリからの Android 5 +バージョンの APK と同じです。

デバイスにインストールするには、アイコンをクリックするか、対応する QR コードをスキャンしてください。



Tigermeeting は、中国とインドのデバイスメーカー向けに、他の主要なアプリマーケットや携帯電話やタブレットのアプリケーションストアで認められ、認定されています。

OPPO 開発者の間で受け入れられているため、Tigermeeting アプリは、ダウンロード、およびアップグレード機能を提供する OPPO ストアのユーザーが多くの極東諸国で利用できます。



Tigermeeting が VIVO 開発者コミュニティのメンバーであり、香港、台湾、中国省、オーストラリア、バングラデシュ、インド、ネパール、スリランカ、ミャンマー、インドネシア、カンボジア、ラオス人民民主共和国、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム、ウクライナ、パキスタン、サウジアラビア、ロシア連邦、アラブ首長国連邦、その他 175 か国。

vivo Developers



GetApps Developers

Xiaomi Official App Market



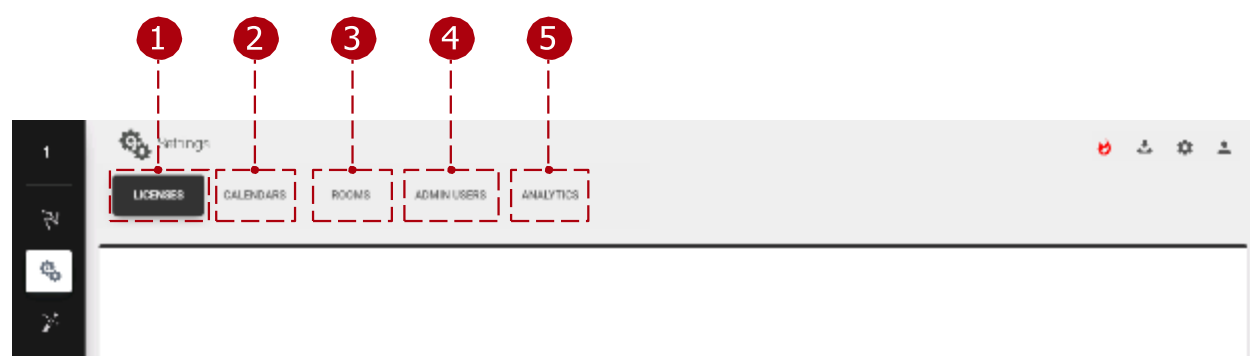
Tigermeeting は、Xiaomi 公式 GetApps マーケットで入手可能な Xiaomi デバイスでも認識および承認されており、同様に Transsion Palmstore でも Dlightek Developer として入手できます。

Android APK のインストールについては、Android セットアップ マニュアルに詳しく記載されています。

メモ: 緑色のデフォルトテーマが表示されたときに、デバイスは完全に動作します。

設定

設定は 5 つのセクションに分かれています。

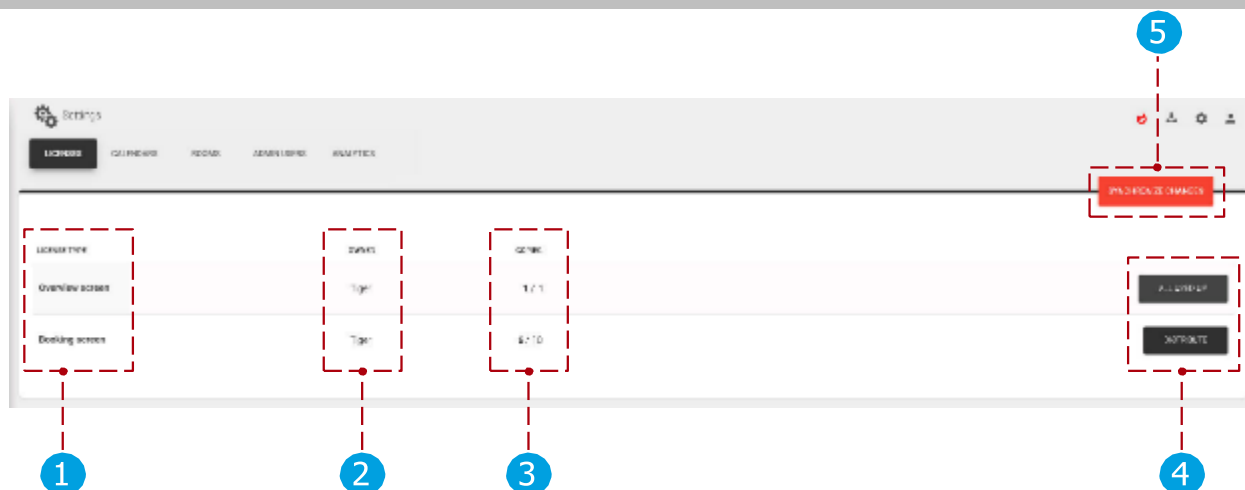


- ① [ライセンス] タブ: ライセンスをデバイスに割り当てることができます。
- ② [カレンダー] タブ: オンラインカレンダーは、添付または切り離すことができます。[ルーム] タブ: ルームを作成、削除、または編集できます。
- ④ [管理者ユーザー] タブ: 登録済みユーザーが表示されます。
- ⑤ 分析: 収集されたデータは、会議室の使用状況に関する貴重な情報を提示するために使用されます。明示的な要求に応じて、蓄積されたすべてのイベントログを要求または完全に削除することができます - GDPR、CCPA、LGPD、および POPI 規制に準拠しています。

[ライセンス] タブ

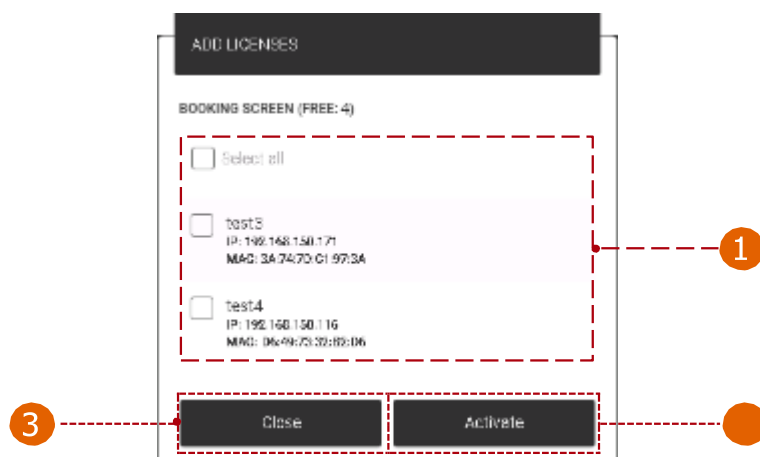
ライセンスは、このセクションで管理できます。会社コードには、定義された数のライセンスが含まれています。これらのライセンスは、デバイス間で配布できます。1つのデバイスに持つことができるライセンスは1つだけです。ライセンスは、一連の機能を定義します。

- **ライセンスなし:** ライセンスのないデバイスは、ローカルカレンダーのみを使用でき、他の会議室での会議を予約することはできません(これはデモモードです)。
- **予約画面ライセンス:** ライセンスは予約デバイスにのみアタッチできます。このデバイスは、どのオンライン カレンダーでも使用でき、構成されている場合は他の会議室での会議を予約できます。
- **概要画面ライセンス:** ライセンスは概要デバイスにのみアタッチできます。このデバイスは、任意のオンライン カレンダーを使用できます。



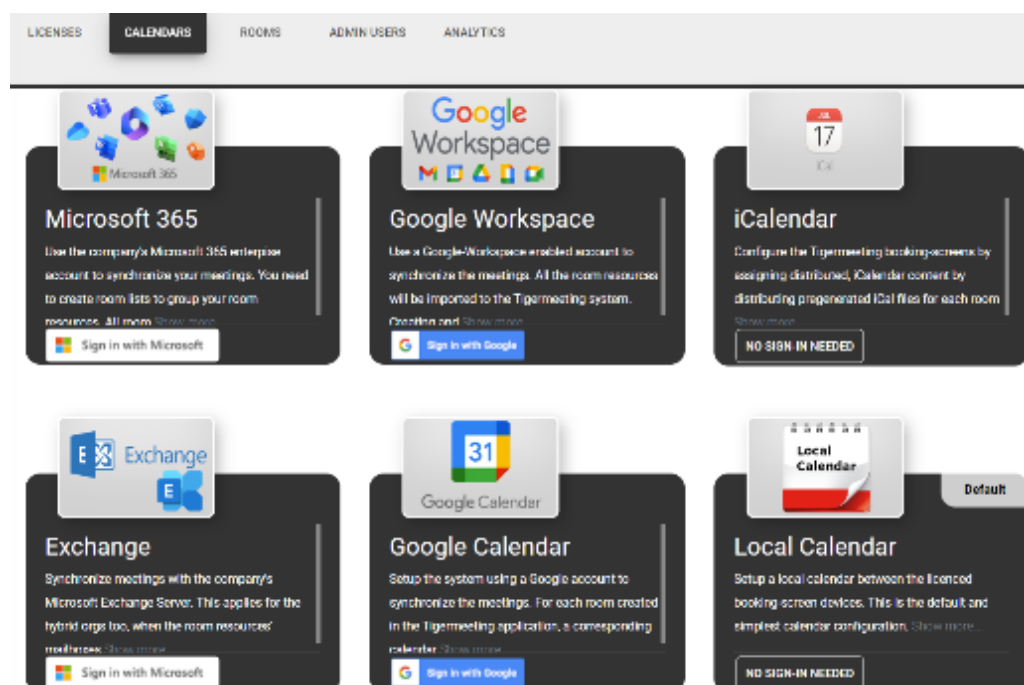
[ライセンス] タブ:

- 1 ライセンスタイプ: デバイス間で配布できるライセンスのタイプ。(予約画面ライセンスは予約デバイスにのみアタッチでき、概要画面ライセンスは概要スクリーニングデバイスにのみアタッチできます。
- 2 所有者: ライセンスの所有者。
- 3 コピー数: 現在使用されているライセンスとライセンスの総数。
最初の番号: 現在使用中のライセンスの数。2 番目の数字: ライセンスの合計数。
- 4 ライセンスの配布: 選択したデバイスにライセンスを配布します。
すべて使い果たした: すべてのライセンスが配布されたとき。
- 5 変更の同期: ライセンスが配布されるときは、デバイスと同期する必要があります。すべてのデバイスが切断されると、同期は許可されません。



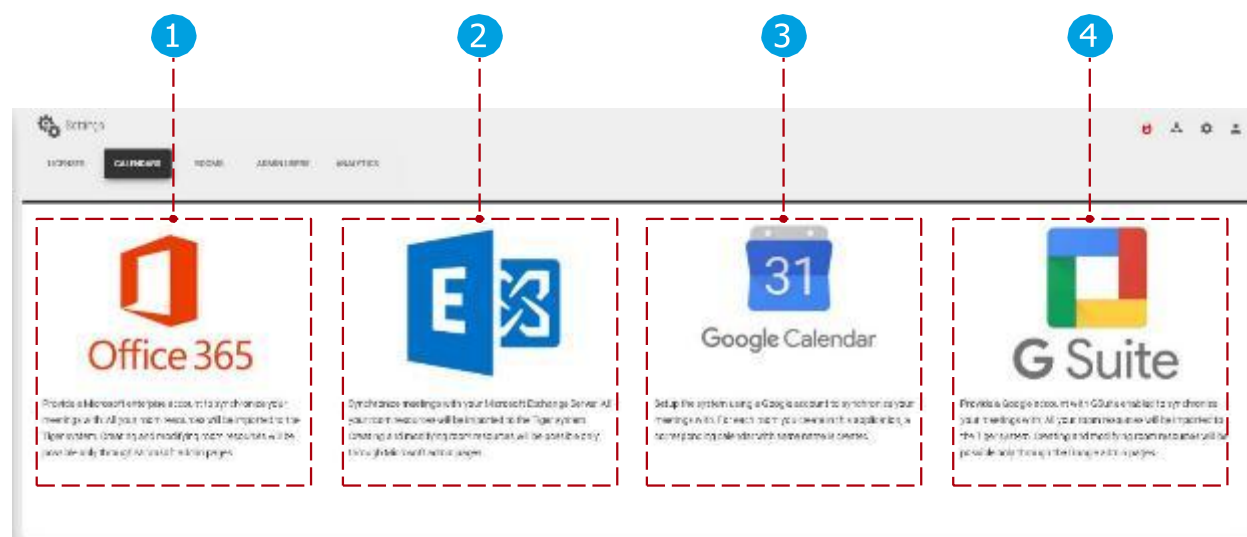
- 4 ライセンスの配布:
 - 1 デバイスの選択: ライセンス配布用に選択されたデバイス。アクティベート: 選択したデバイスのライセンスをアクティベートします。
 - 2
 - 3 閉じる: 配布をキャンセルして閉じます。

[カレンダー] タブ



一度に添付できるカレンダーは 1 つだけです。

- 1 **Microsoft365 カレンダー:** 会議を同期する Microsoft エンタープライズ アカウントを提供します。ルームリソースは Tigermeeting システムにインポートされますが、ルームリソースはオンラインで管理されます。
- 2 **Exchange 予定表:** 会議を Microsoft Exchange Server と同期します。ルームリソースは Tigermeeting システムにインポートされます。
- 3 **Google カレンダー:** Google アカウントを使用してシステムをセットアップし、会議を同期します。このアプリケーションで作成された部屋ごとに、同じ名前の対応するカレンダーが作成されます。
- 4 **Google Workspace カレンダー:** ミーティングを同期する Google 管理者アカウントを指定します。ルームリソースは Tigermeeting システムにインポートされます。Google 管理ページからルーム リソースを作成および変更します。



オンラインカレンダーの他に、Tigermeeting は、iCalendar とローカルカレンダーをサポートしています。

iCalendar: RFC 5545 仕様に準拠した形式で、10 Mb 以下の事前に生成された iCal ファイルを Web サーバー (http または https プロトコル) 経由で公開します。

これらのファイルは、利用可能な限り、ルームリソースとして扱われます。URL が変更されない限り、ファイルの置換は許可されます。

ローカルカレンダー:他のカレンダーが設定されていない場合のデフォルト設定です。予約デバイスは、画面上で予約することによって相互にのみ会議を同期します – これは主にデモ目的でのみ使用されます。

本番では他のカレンダーをご利用ください。(個人アカウントの Google カレンダーが最も簡単です)

The image shows a web interface for adding calendars. At the top, there are four logos: Office 365, Exchange (E), Google Calendar (calendar icon with 31), and G Suite. Below each logo is a form. The Office 365 form has fields for 'Username' and 'Password'. The Exchange form has fields for 'Username', 'Password', 'Host', and 'Server version'. The Google Calendar form has fields for 'Authorization code' and 'Authorization code'. The G Suite form has fields for 'Authorization code' and 'Authorization code'. Below each form are two buttons: 'Add' (green) and 'Cancel/Submit' (black). A red dashed box encloses all four forms. A blue circle with the number 5 points to the 'Add' button under the Office 365 form. A blue circle with the number 6 points to the 'Cancel/Submit' button under the Exchange form.

添付するカレンダーを選択した場合:

5 ユーザーパラメータ:

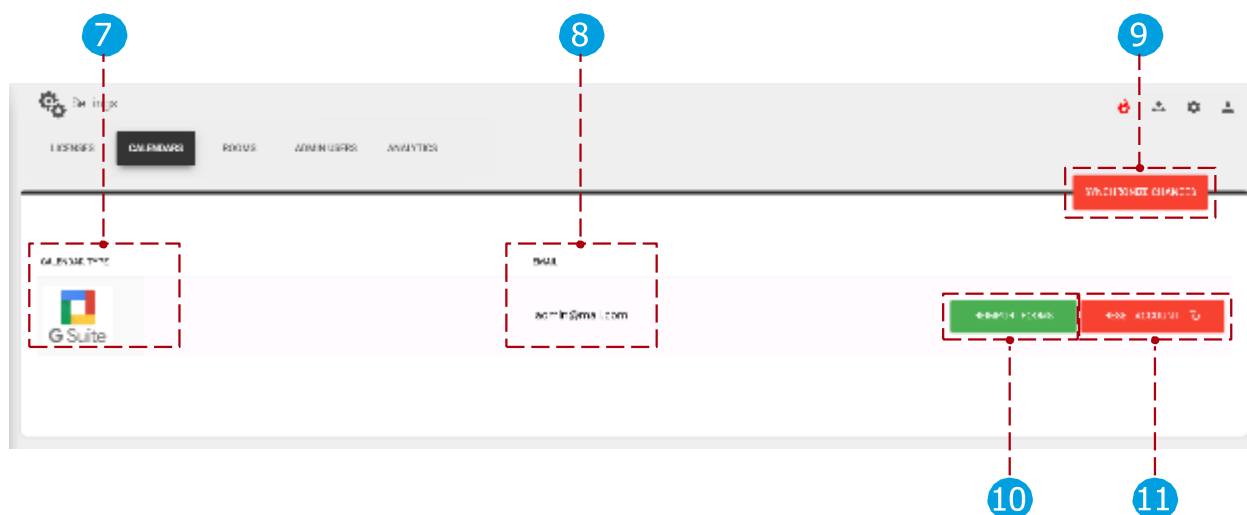
- Microsoft365 パラメータ: ルーム リストを選択した後 (ルーム リストの詳細については、「Microsoft365 カレンダーの構成」セクションを参照してください)、添付ファイルを完了できます。
- Exchange パラメータ: ユーザー名、パスワード、Exchange サーバー URL、およびサーバー バージョンを追加し、ルーム リストを選択した後 (ルーム リストの詳細については、「Exchange カレンダーの構成」セクションを参照してください)、添付ファイルを完了できます。
- Google および Google Workspace パラメータ: カレンダー アカウントを登録すると、添付ファイルを完了できます。
- iCalendar では認証は不要です。
- ローカルカレンダーでは認証は必要ありません。

6 コントロールを確認する:

- キャンセル: 添付ファイルをキャンセルします。
- 送信: 添付ファイルのプロセスを終了します。

カレンダー添付後:

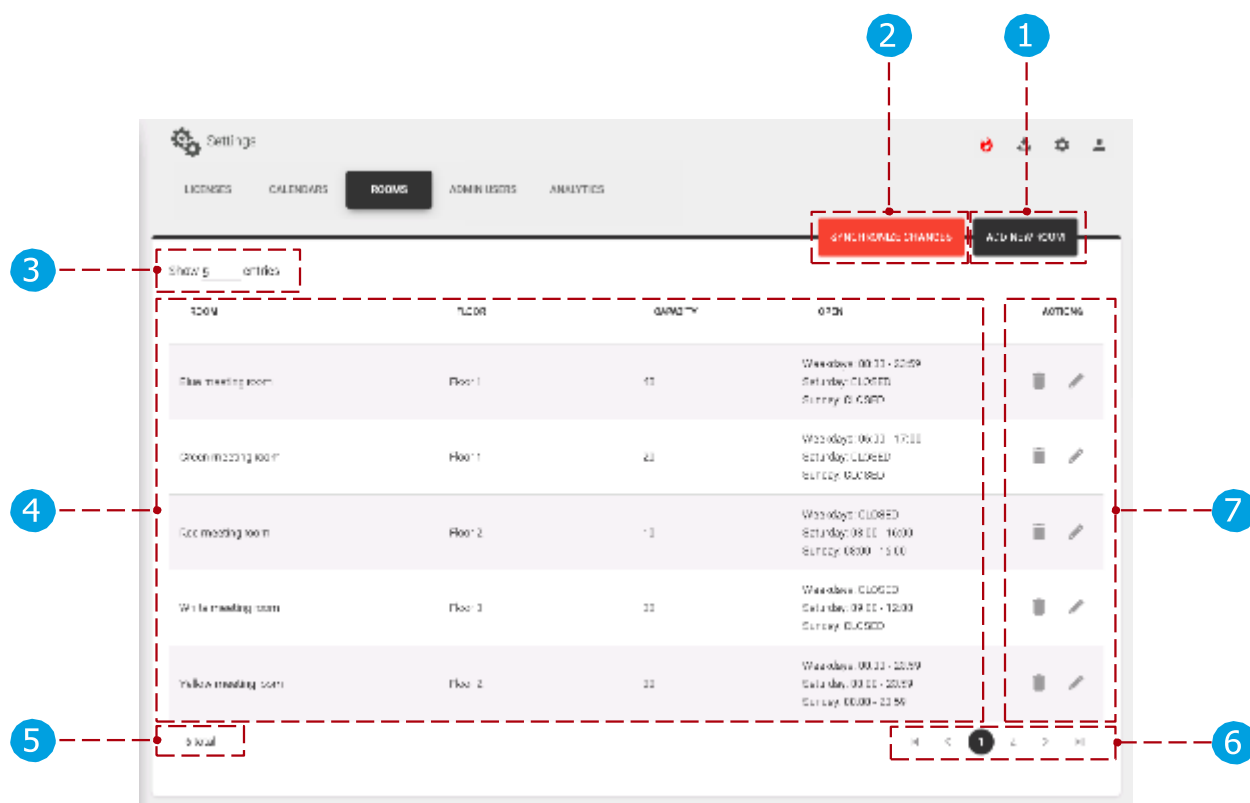
- 7 カレンダーの種類: 添付されているカレンダーの種類。
- 8 電子メール: 添付されたカレンダーユーザーの電子メールアドレス。
- 9 変更の同期: 添付後、変更をデバイスと同期する必要があります。すべてのデバイスが切断されると、同期は許可されません。
- 10 ルームの再インポート: ルームとそのパラメーターを Tigermeeting 管理アプリケーションに再インポートできます。これは、カレンダーの管理インターフェイスを介して部屋を作成、削除、またはそのパラメーター(フロア、収容人数)を変更した場合に使用されます。Microsoft365、Exchange、Google Workspace のカレンダーが添付されている場合に利用できます。
- 11 アカウントのリセット: 選択したオンライン カレンダーをデタッチしました。切り離した後、変更は自動的に同期されます。



Google Workspace カレンダーを Tigermeeting 管理アプリケーションに添付する方法の説明ビデオへのリンク: <https://www.youtube.com/watch?v=j1cN9OalDwU>

[ルーム] タブ

ルームの作成、削除、およびプロパティの編集が可能です。一度に1つのデバイスに接続できるルームは1つだけです。



[部屋] タブ:

- 1 新しいルームを追加: 新しいルームを作成します。Tigermeeting 管理アプリケーションにカレンダーまたは Google カレンダーが添付されていない場合、新しいルームを作成できます。
- 2 変更の同期: ルームを作成したり、そのプロパティを変更したりした後は、変更をデバイスと同期する必要があります。すべてのデバイスが切断されると、同期は許可されません。
- 3 部屋数: ページごとに表示される部屋の数。
- 4 ルームのリスト: 作成または同期されたオンライン カレンダー ルームのリスト。
- 5 デバイスの合計数: デバイス フィルターでフィルター処理されたデバイスの合計数。(すべて、空き、接続、切断)
- 6 ページング: ルーム数が多い場合は、他のページに表示されます。アクション:
- 7
 - ルームを削除: 選択したルームを管理アプリケーションから削除します。Microsoft365、Exchange、Google Workspace のカレンダーが添付されている場合は、ルームを削除できません。ローカル ルームと Google ルームのみを削除できます。
 - ルームの編集: ルームのプロパティを編集します。

オンラインカレンダーが添付されていない場合の部屋の作成:

- オンラインカレンダーが添付されていない場合(ローカルカレンダーを使用している場合)、制限なく部屋を作成、削除、編集できます。

Google カレンダーが添付されている場合の会議室の作成:

- ルームが作成されると、そのルームが Google カレンダーにすでに存在するかどうかチェックされます。存在する場合は、カレンダーのルームと同期されます。そうでない場合は自動的に作成され、添付された Google カレンダーにも作成されます。会議室を削除すると、管理者からのみ削除することも、カレンダーと管理者から削除することもできます。

会議室管理 (Microsoft365、Exchange、または Google Workspace カレンダーが添付されている場合):

- 以前に定義した会議室があり、Microsoft365、Exchange、または Google Workspace カレンダーが添付されている場合、以前に定義した会議室は削除され、オンラインカレンダーの会議室が同期され、管理アプリケーションで作成されます。

ルームのプロパティを編集します。

- 会議室の名前: 会議室の名前は、ローカルカレンダーまたは Google カレンダーが添付されている場合にのみ編集できます。インポートされた会議室の名前は、オンラインカレンダーの管理パネルからのみ、Tigermeeting 管理アプリケーション(Microsoft365、Exchange、Google Workspace)で編集できません。
- 容量: パラメーターは、Microsoft365、Exchange、または Google Workspace から取得されます。会議室情報: パラメータはすべてのカレンダーで編集できます。
- 表示名: ローカル、Microsoft365、Exchange、Google カレンダーが添付されている場合、パラメータを編集できます。

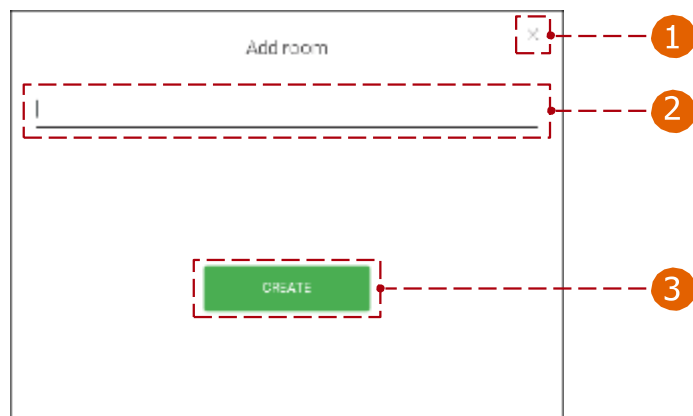
1 新しい部屋を追加:

1 閉じる: [ルームを追加] ポップアップ ウィ

2 ンドウを閉じます。ルームの名前: 新しいル

3 ームの名前。

作成: 新しいルームを作成します。同じ名前の部屋は許可されていません。



7 部屋のプロパティを編集します。

- ① ルームの名前: 選択したルームの名前。
- ② 名前の編集: ルームの名前を編集できます。ルーム名は、ローカルまたは Google カレンダーが添付されている場合にのみ編集できます。インポートされた会議室の名前は、オンラインカレンダーの管理パネルでのみ、Tigermeeting 管理アプリケーション (Microsoft 365、Exchange、Google Workspace) で編集できません。
- ③ 容量: 選択した部屋の容量。
- ④ 情報: 会議室情報は、会議室の名前の下に表示されます。
- ⑤ 表示名: エイリアスを使用し、ルーム名として表示されます。追加されていない場合は、代わりに部屋の元の名前が使用されます。
- ⑥ 時間: 設定された時間の間にデバイスを使用できます。(たとえば、06:00 から 17:00 の間)
- ⑦ 曜日: チェックした曜日が利用可能で、デバイスから予約できます。(例: 平日は予約可能、土日は部屋が閉まっており、予約はできません)
- ⑧ 閉じる: 会議室のプロパティをキャンセルして閉じます。
- ⑨ 設定の保存: 部屋のプロパティを保存します。保存後は、他のデバイスと同期する必要があります。

The screenshot shows the 'ROOM PROPERTIES' dialog box with the following elements and callouts:

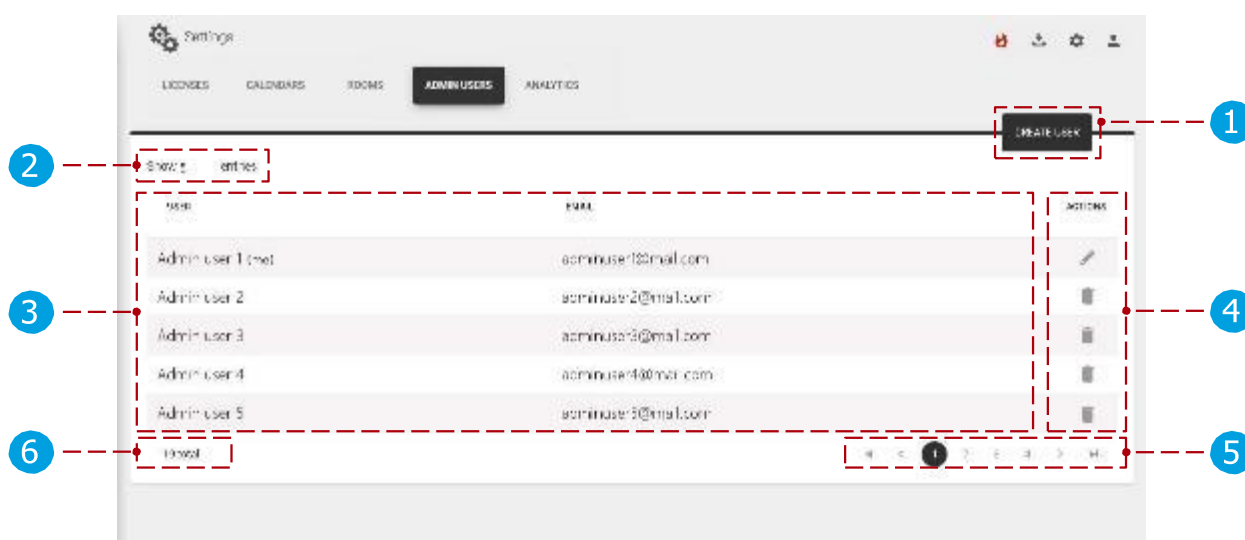
- 1**: Room name input field containing 'Green meeting room'.
- 2**: Edit icon (pencil) next to the room name.
- 3**: Capacity field showing '20'.
- 4**: Info field showing 'Floor 1'.
- 5**: Display Name field showing 'Not set'.
- 6**: Time range sliders for weekdays (06:00 to 17:00) and weekends (00:00 to 00:00).
- 7**: Weekday selection area with checkboxes for 'WEEKDAYS' (checked), 'SATURDAY', and 'SUNDAY'. A vertical 'OPEN' label is on the left.
- 8**: 'Close' button.
- 9**: 'Save settings' button.

Android デバイスの場合:



[管理者ユーザー] タブ

Tigermeeting 管理アプリケーションのすべてのユーザーがここにリストされています。



[管理者ユーザー] タブ:

- ① ユーザーの作成: 新しい管理者ユーザーを作成します。
- ② 管理者数: ページごとに表示される管理者の数。
- ③ 管理者のリスト: 管理者パラメータが表示されます。(アクティブな管理者ユーザーは「(私)」としてマークされます)
- ④ アクション:
 - 編集: 現在の管理者ユーザーのパラメーターを編集します。
 - 削除: 選択した管理者ユーザーを Tigermeeting 管理アプリケーションから削除します。
- ⑤ ページング: 管理者が他にいる場合は、他のページに表示されます。
- ⑥ 管理者の合計数: アプリケーション内の管理者の合計数。

- ① 新しい管理者ユーザーの作成: 新しいユーザーが作成されると、指定された電子メール アドレスにユーザー パスワードが記載された登録電子メールが送信されます。アクティベーションメールが迷惑メールフォルダにないことを確認してください。

- ① 名: 管理者ユーザーの名。
- ② 姓: 管理者ユーザーの姓。
- ③ 電子メール: 管理者ユーザーの電子メール アドレス。
- ④ キャンセル: アクションをキャンセルします。
- ⑤ 作成: ユーザーを作成し、アクティベーション メールを送信します。

The image shows a 'Create user' dialog box with a close button (X) in the top right corner. Inside the dialog, there are three input fields: 'First Name...' with a person icon, 'Last Name...' with a person icon, and 'Email...' with an envelope icon. Below these fields are two buttons: 'CANCEL' and 'CREATE'. Red dashed lines with numbered circles (1-5) point to specific elements: 1 points to the 'First Name' field, 2 points to the 'Last Name' field, 3 points to the 'Email' field, 4 points to the 'CANCEL' button, and 5 points to the 'CREATE' button.

- ④ 現在の管理者ユーザーを編集します。

- ① 名: 管理者ユーザーの名。
- ② 姓: 管理者ユーザーの姓。
- ③ 電子メール: 管理者ユーザーの電子メール アドレス。
- ④ パスワードの変更:
 - 古いパスワード: 古いパスワードがないと、新しいパスワードを作成できません。
 - 新しいパスワード: 新しいパスワードには、最低限の文字を含める必要があります。
 - 新しいパスワードの確認: 新しいパスワードとパスワードの確認はまったく同じである必要があります。
- ⑤ 閉じる: ユーザー プロパティ セクションを閉じます。
- ⑥ 変更の保存: 現在の管理者ユーザーのパラメーターを保存します。

USER PROPERTIES

Admin User

FIRST NAME Admin

LAST NAME User

EMAIL admin@mail.com

PASSWORD CHANGE

OLD PASSWORD

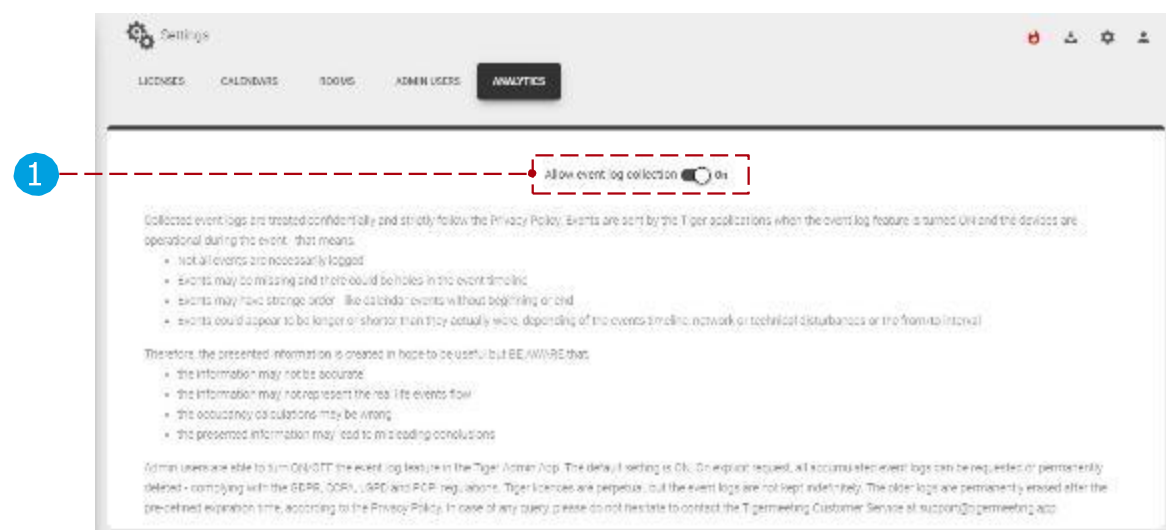
NEW PASSWORD

CONFIRM NEW PASSWORD

Close **Save changes**

[分析] タブ

収集されたデータは、会議室の使用状況、企業文化、イベント分析に関する有用で価値のある情報を提示するために使用されます。



[分析] タブ:

- 1 管理者ユーザーは、Tigermeeting 管理アプリのイベントログ機能をオン/オフできます。デフォルト設定は ON です。

収集されたイベントログは機密として扱われ、プライバシーポリシーに厳密に従います。イベントは、イベントログ機能がオンになり、イベント中にデバイスが動作しているときに、Tigermeeting アプリケーションによって送信されます。

- すべてのイベントが必ずしもログに記録されるわけではありません。
- イベントが欠落している可能性があり、イベントのタイムラインに穴がある可能性があります。
- イベントは、開始も終了もないカレンダーのイベントのように、奇妙な順序を持つ場合があります。
- イベントは、イベントのタイムライン、ネットワークまたは技術的な障害、または開始/終了間隔に応じて、実際よりも長くなったり短くなったりすることがあります。

したがって、提示された情報は有用であることを期待して作成されていますが、次の点に注意してください。

- 情報が正確ではない可能性があります。
- 情報は実際のイベントの流れを表していない可能性があり、占有率の計算が間違っている可能性があります。
- 提示された情報は、誤解を招く結論につながる可能性があります。

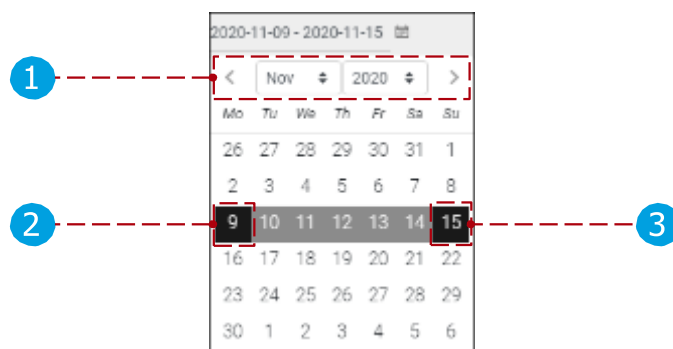
管理者ユーザーは、Tigermeeting 管理アプリのイベントログ機能をオン/オフできます。デフォルト設定は ON です。明示的な要求に応じて、蓄積されたすべてのイベントログを要求または完全に削除することができます - GDPR、CCPA、PIPEDA、CDR、LGPD、および POPI 規制に準拠しています。

タイガーミーティングのライセンスは永久的ですが、イベントログは無期限に保持されるわけではありません。古いログは、プライバシーポリシーに従って、事前に定義された有効期限が過ぎると完全に消去されます。ご不明な点がございましたら、お気軽に Tigermeeting カスタマー サービス (support@tigermeeting.app) までお問い合わせください。

③ 日付ピッカー:

- ① 年と月のピッカー。
- ② まず、開始日を選択する必要があります。
- ③ 次に、停止日を選択する必要があります。

月間で日付範囲を設定するには、年と月のピッカーを使用します。



⑥ グラフ:

① チャートオプション:

チャートデータは、印刷(チャートの印刷)またはダウンロード(PNG、JPEG、PDF、SVG 画像、またはデータを CSV、XLS としてダウンロード)することができます。データをテーブルビュー(データテーブルビュー)で表示できます。

- ② イベント (デバイスの予約、起動、会議の予約、会議の確認、会議の開始、会議の終了など) がイベント タイムラインに表示されます。グラフは、選択可能な領域をクリックしてドラッグすることでズームできます。タイムライン チャートとテーブル データには、最大 300 個のイベントが含まれます。他のチャートにはこの制限がありません。



- ③ イベントの上にカーソルを合わせると、イベントの詳細が表示されます。



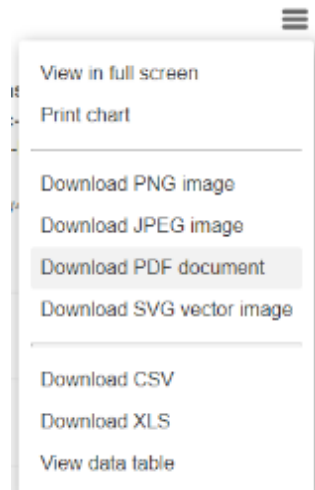
- ④ イベントタイムラインチャートフィルター。

イベントタイムラインフィルター。(チャートズームはここで変更できます)

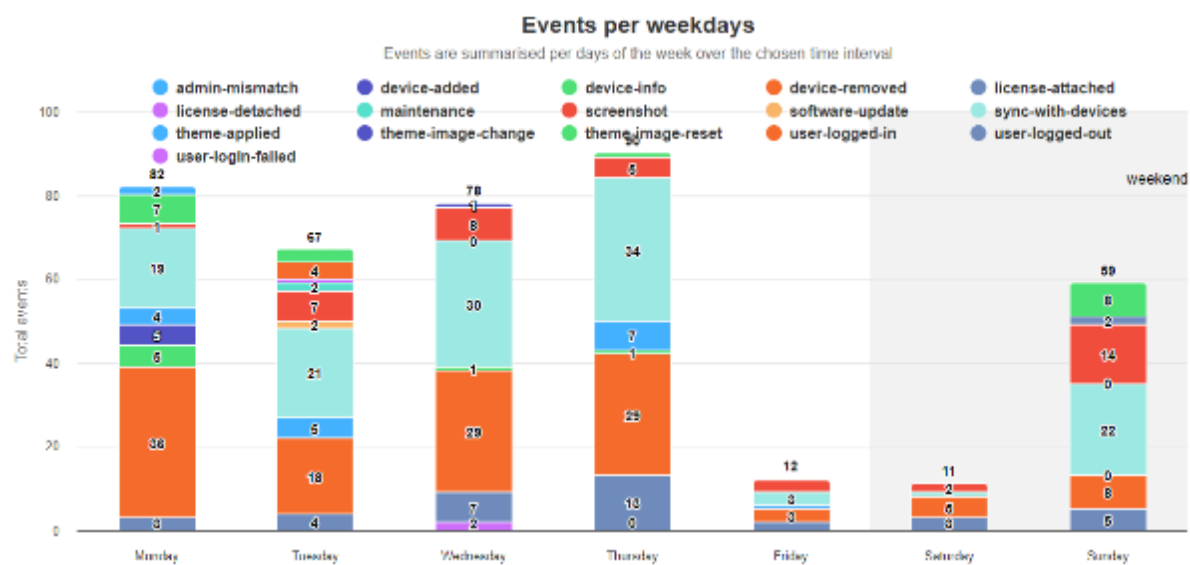
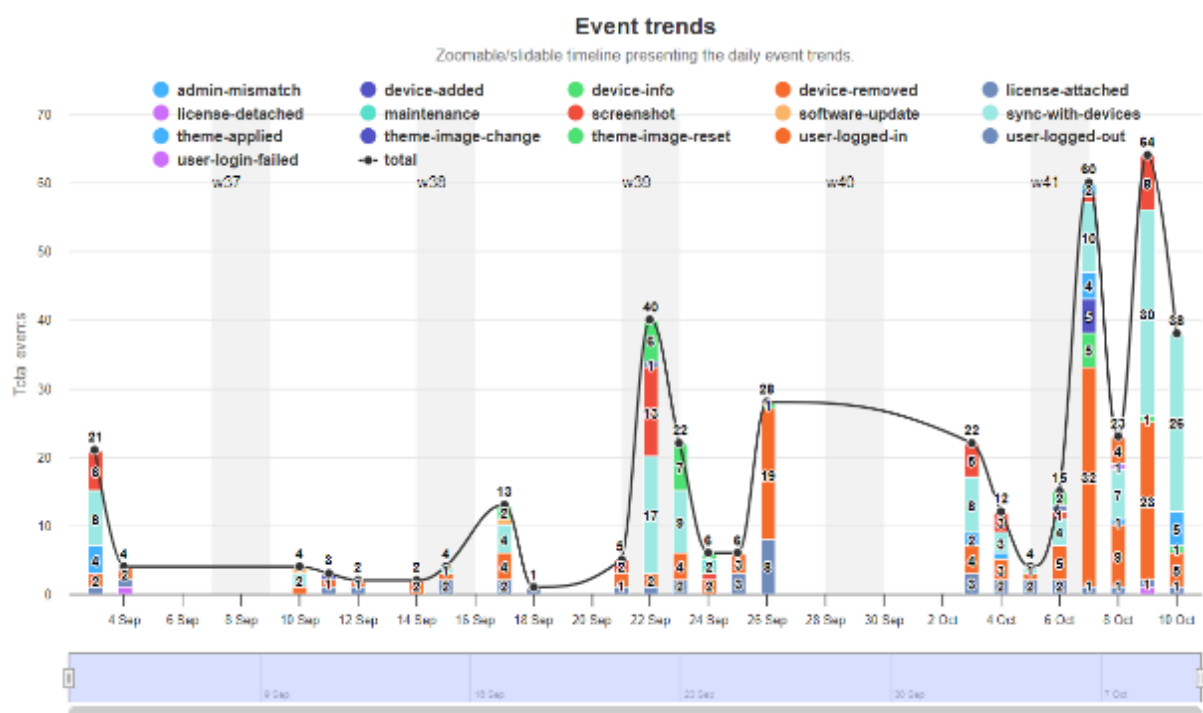


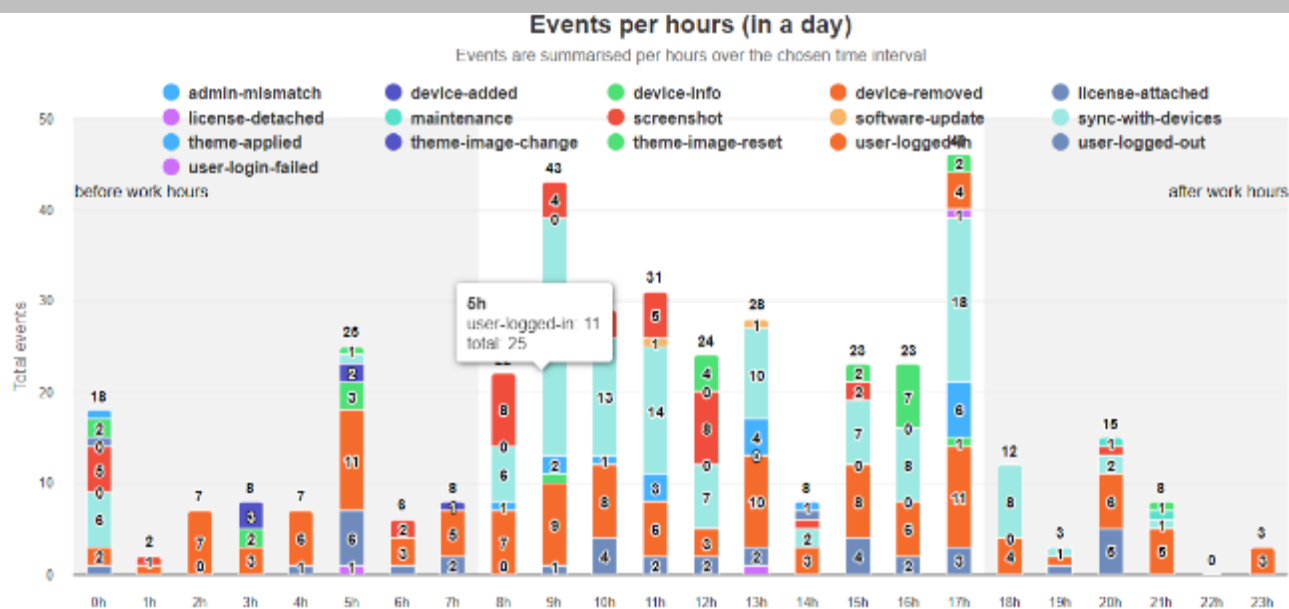
グラフとデータの視覚化は、今後のリリースで変更できます。

データはチャートに表示したり、Analytics エクスポート機能を使用して BI ツールにエクスポートしたりできます。

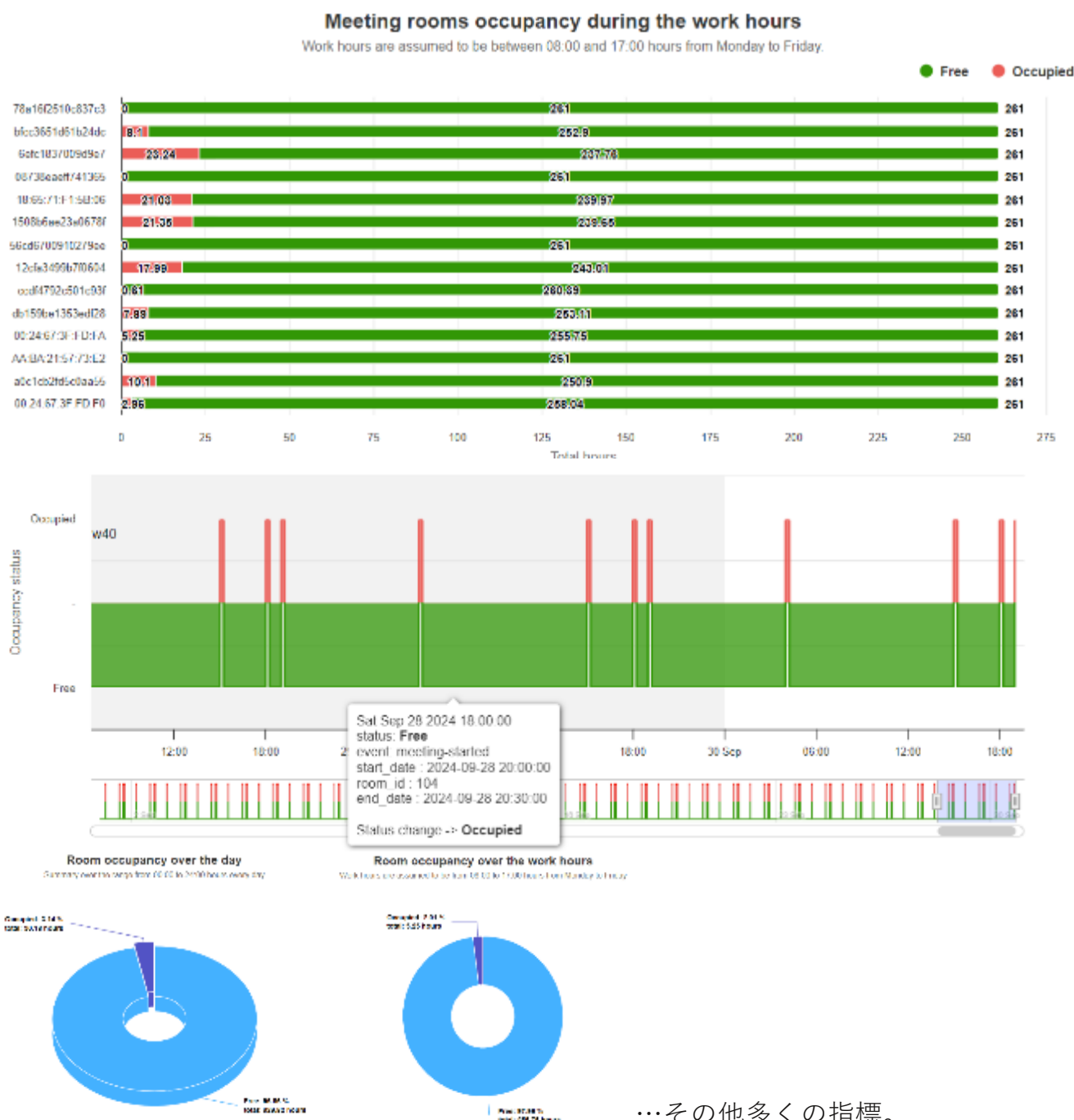


イベント関連のグラフ





会議関連のグラフ

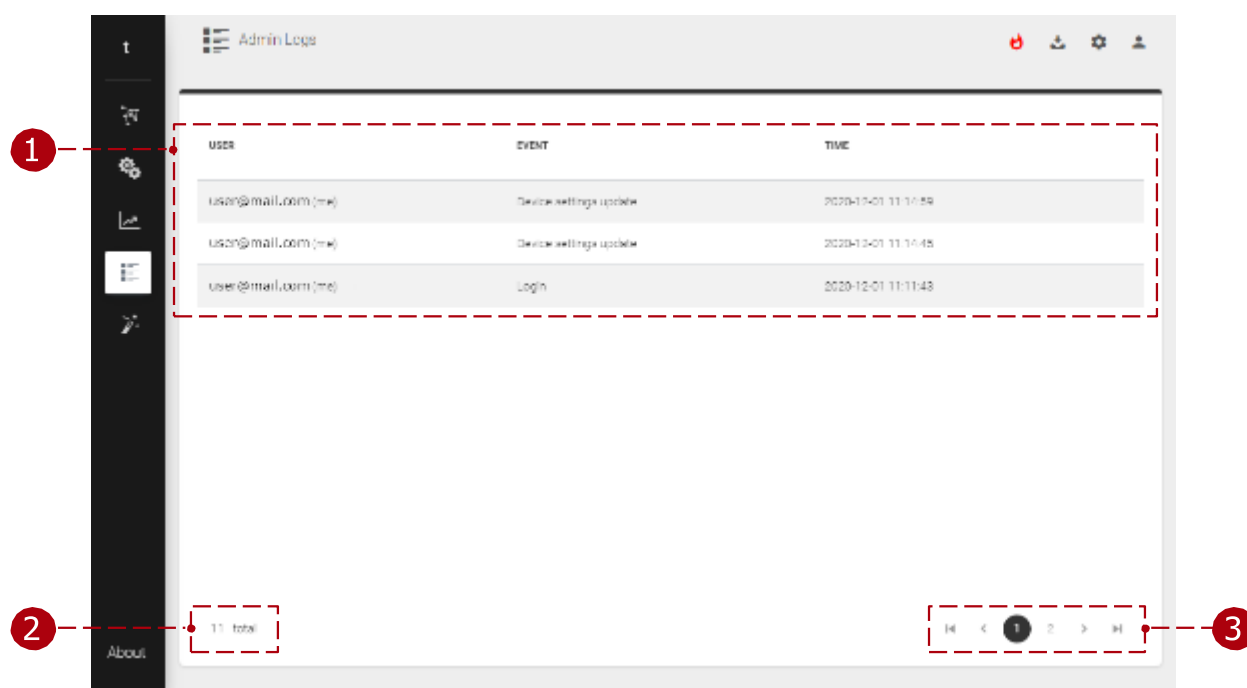


管理者ログ

Tigermeeting 管理アプリケーションで実行されたすべてのイベントがイベント リストに表示されます。管理者ユーザーのログイン、ログアウト、デバイス設定の更新、ソフトウェアの更新、ライセンスの添付、デタッチ、デバイスの再起動などのイベントが一覧表示されます。

管理者ログ:

- ① イベント、原因、日付、時刻のリスト
- ② 。イベントの総数。
- ③ ページング: イベントをページングします。



重要なイベントは赤色でマークされ、注意を向けます。

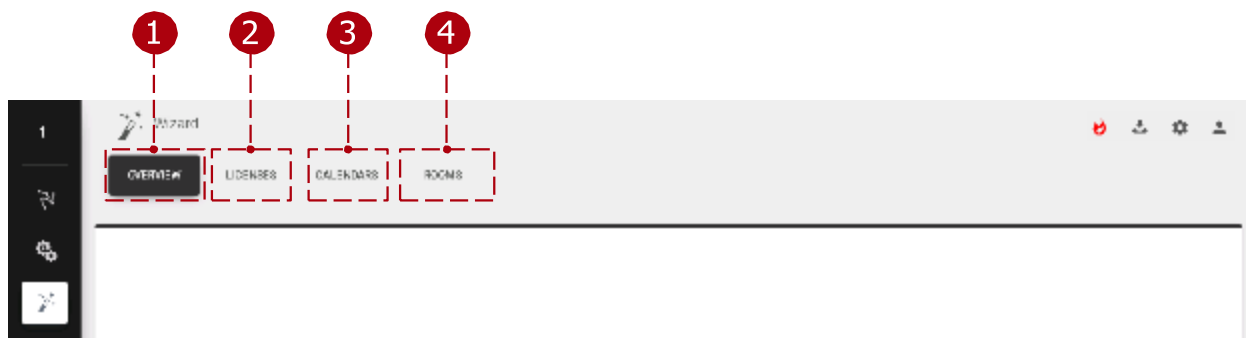
zoli@tigermeeting.app (me)	License attached (797259278f446f60)	2024-03-29 18:37:49	83.251.235.241	Windows (3.3.5)
zoli@tigermeeting.app (me)	Screenshot (797259278f446f60)	2024-03-29 18:18:08	83.251.235.241	Windows (3.3.5)
zoli@tigermeeting.app (me)	Device settings sync	2024-03-29 18:17:57	83.251.235.241	Windows (3.3.5)
zoli@tigermeeting.app (me)	Theme applied (manufaktura)	2024-03-29 18:17:55	83.251.235.241	Windows (3.3.5)

管理者ログは最後の 1000 件のレコードのみを読み込みますが、お客様はプライバシーポリシーに従って、使用可能なすべてのログの表示または削除を要求できます。

注: 管理者ログをオフにすることはできません。

魔法使い

通常、Tigermeeting 管理アプリケーションを初めて起動するときに使用されます。ユーザーは、ステップバイステップのウィザードによってガイドされます。

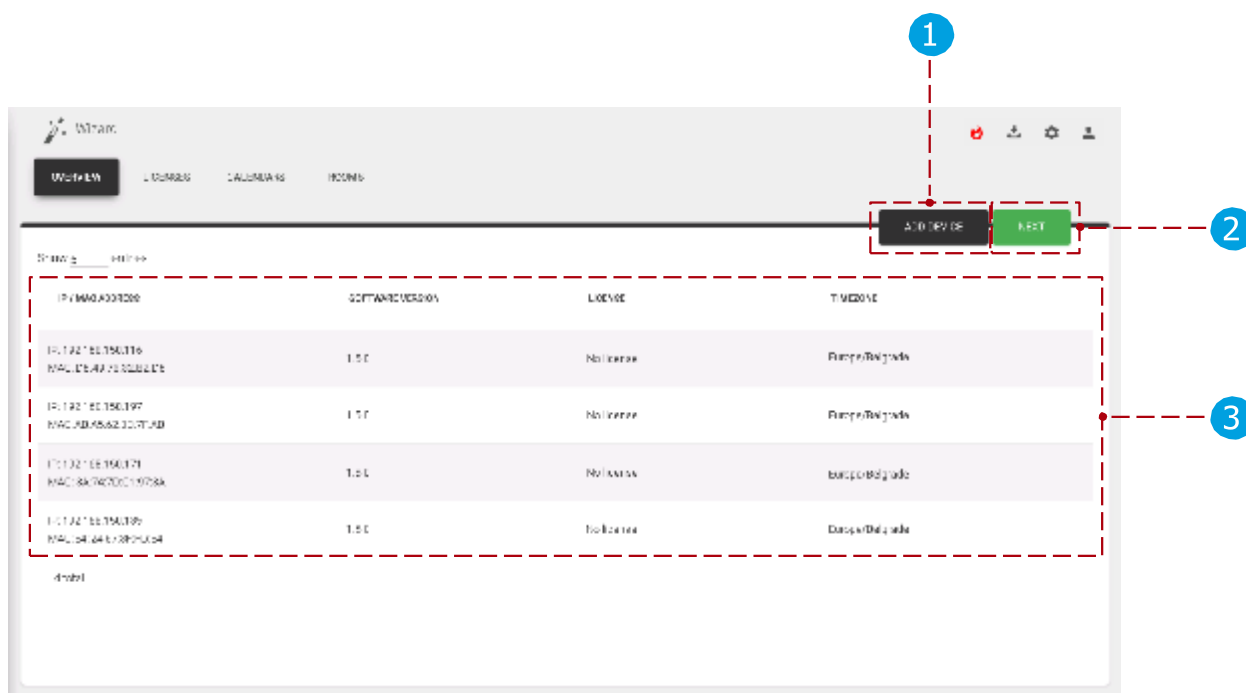


魔法使い：

- ① [概要] タブ: デバイスの基本的な概要。
- ② [ライセンス] タブ: デバイス間で配布できるライセンス。[カレンダー] タブ: 管理アプリケーションをアタッチするためのオンライン カレンダー。[会議室] タブ: デバイスに接続できる会議室。

概要

利用可能なデバイスの基本的な概要。

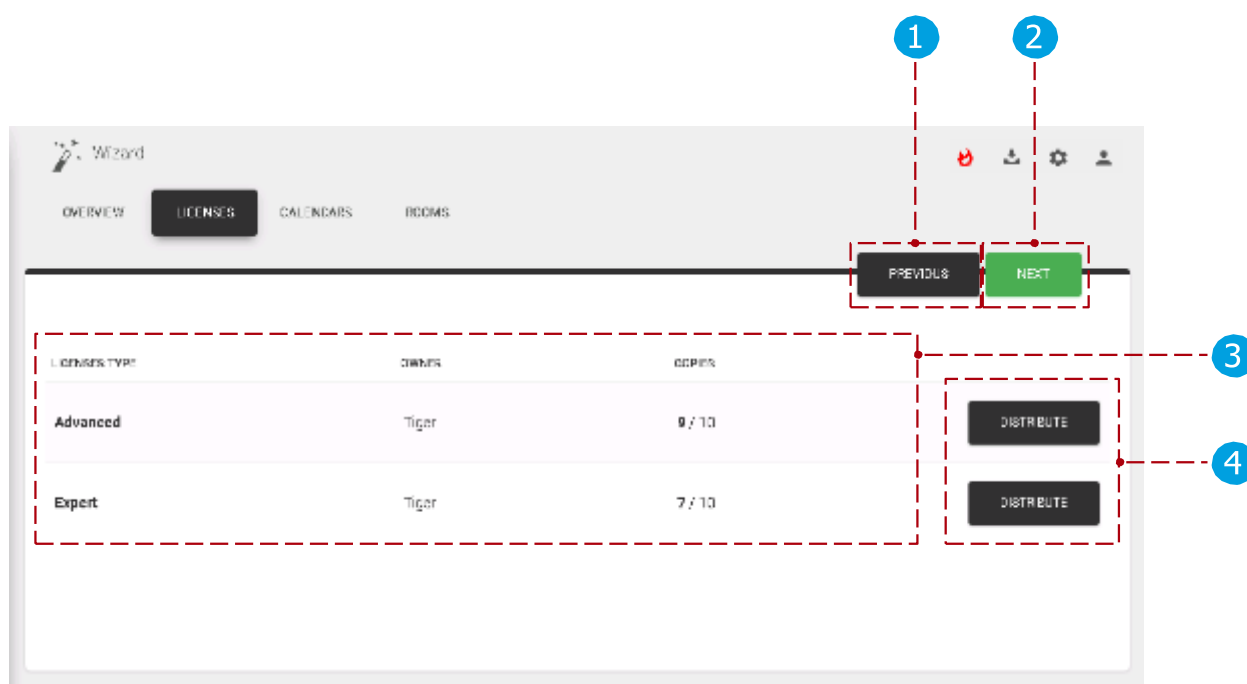


概要：

- ① デバイスの追加: Tigermeeting 管理アプリケーションによって検出されない IP アドレスを持つデバイスを追加します。デバイスが別のサブネットワークにある場合に使用されます。
- ② 次へ: 次の設定である [ライセンス] に移動します。
- ③ デバイスの一覧: 添付可能なデバイスが表示されます。

ライセンス

ライセンスはデバイス間で配布できます。詳細については、[設定]、[ライセンス]タブのセクションを確認してください。

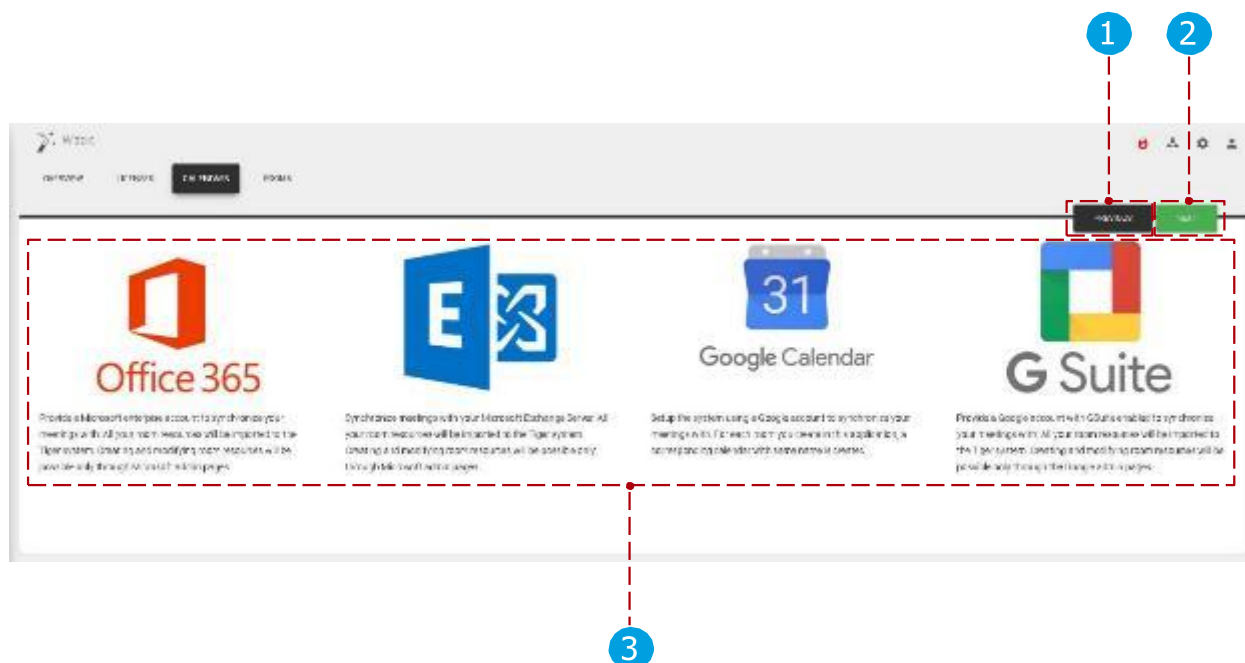


ライセンス：

- ① 前へ: 前の設定「概要」に移動します。次へ:
- ② 次の設定 [カレンダー] に移動します。
- ③ ライセンスのリスト: 使用可能なライセンスのリスト。
- ④ ライセンスの配布: 使用可能なデバイスにライセンスを配布します。

カレンダー

カレンダーは管理アプリケーションに添付できます。詳細については、「設定」の「カレンダー」タブのセクションをご覧ください。



オンラインカレンダー:

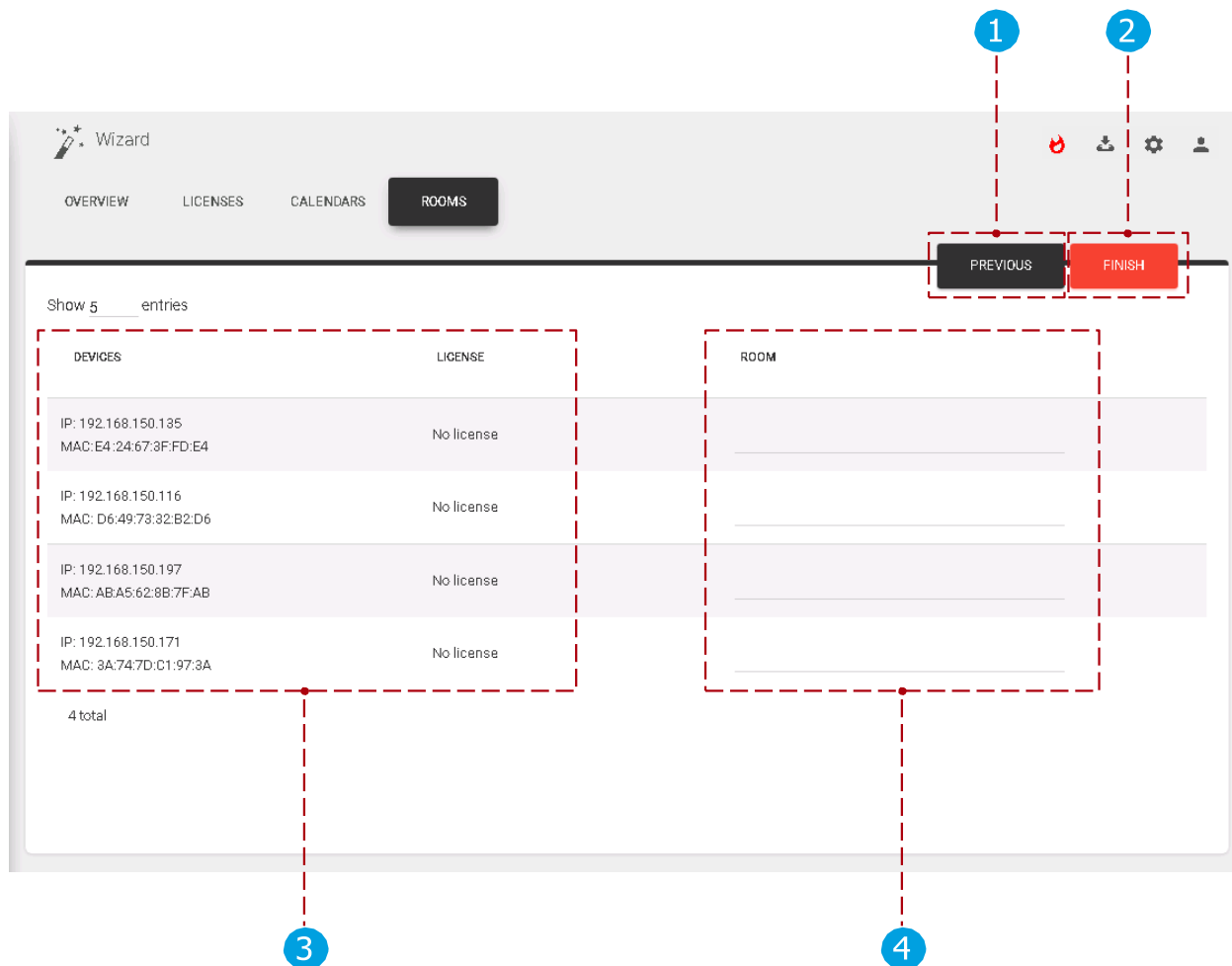
- 1 前へ: 前の設定の [ライセンス] に移動します
- 2 次へ: 次の設定 [ルーム] に移動します。
- 3 カレンダーのリスト: 添付可能なカレンダーのリストです。(Microsoft365、Exchange、Google、Google Workspace)

追加のカレンダー:

- iCalendar - iCal ファイル形式のファイルは、各部屋の URL を介して公開されます - 認証は必要ありません。
- ローカル カレンダー - 予約画面が相互に予約を交換するデフォルトのカレンダー。デモ用です。

客室

部屋はデバイスに接続できます。詳細については、「設定」、「会議室」タブのセクションをご覧ください。



客室：

- ① 前へ: 前の設定の [カレンダー] に移動します。
- ② 完了: ウィザード (ライセンスのアタッチ、カレンダーのアタッチ、ルームの作成、デバイスへのアタッチ) を完了し、設定をデバイスと同期します。
- ③ デバイスの一覧: デバイスの一覧。
- ④ 客室：
 - カレンダーまたは Google カレンダーが添付されていない: ルーム名を追加でき、ウィザードが終了するとルームが作成されます。(Google カレンダーでも)
 - Microsoft365、Exchange、Google Workspace カレンダーの添付: インポートした会議室をドロップダウンから選択できます。

実際の使用例

管理アプリケーションをインストールする

- 行く 宛先 「<https://tigermeeting.app/en/downloads>」そして 目的のオペレーティングシステム用の最新の Tigermeeting 管理アプリケーションをダウンロードします。
- Tigermeeting 管理者インストーラーを実行します。
- 「このコンピュータを使用するすべてのユーザー (すべてのユーザー)」を選択します。「次へ」ボタンをクリックします。
- 保存先フォルダを選択します。
 - デフォルトでは、「C:/Program Files/Tigermeetingroom」です。
- 「インストール」ボタンをクリックします。
- インストールが完了したら、「
- Tigermeetingroom の実行」チェックボックスを選択し、「完了」ボタンをクリックします。

デバイスの電源を入れる

- Android デバイスの電源を入れます。
- Tigermeeting Android アプリケーションをインストールします。
- アプリの中から Tiger Android アプリケーションを検索します。
- Tiger アプリケーションを実行します。
- 「他のアプリの上に描画する」権限をオンにします。

管理者アプリケーションを起動する

- 管理アプリケーションを実行します。
- 「登録」タブを選択して、新しいユーザーを登録します。
- 必要なユーザー情報を入力します。
 - 会社コードによって、使用可能なライセンスの数と種類が決まります。
- 登録を完了します。
- Tigermeeting 管理アプリケーションにログインします。
- 初めてセットアップする場合は、「はい」ボタンを押します。

管理アプリケーションでのウィザードの実行

- すべての Android アプリケーションとファームウェアが最新であることを確認してください。管理アプリケーションがすべてのデバイスを検出するまで待ちます。
- すべてのデバイスが検出されたら、「次へ」ボタンを押してライセンスを取得します。デバイスにライセンスを配布します。
- 「次へ」ボタンを押してカレンダーを表示します。
- 目的のカレンダーを管理アプリケーションにアタッチします。「次へ」ボタンを押して部屋へ。
- 選択したデバイスにルームをアタッチします。

- 「完了」 ボタンを押してウィザードを終了します。
- 同期後、すべてのデバイスを構成する必要があります。

Microsoft365 カレンダーの構成

このセクションは、Office、Office 365、Microsoft 365、Exchange Online など、すべての Microsoft Graph API ベースのカレンダー システムに有効です。

Tigermeeting 管理アプリケーションで Microsoft365 カレンダーを使用するには、Tigermeeting にアタッチする前に構成する必要があります。

ルーム リソースは、Microsoft365 管理パネルとルーム グループ (ルームリスト) を使用して作成し、Windows PowerShell を使用してアクセス許可を作成する必要があります。

要件: -少なくとも Office 365 E1 ライセンスを持つ管理者ユーザー
-定義されたルームリソース(リソースにはライセンスは必要ありません)

画面がカレンダーと通信しているときに権限の問題を回避するために、会議室リストの作成と Tigermeeting 管理アプリケーションでの Microsoft 365 カレンダーの添付には、まったく同じ管理者ユーザーを使用してください。

Microsoft 認定の Tigermeeting Azure アプリには、次の管理者ユーザー権限が必要です。

API / Permissions name	Type	Description	Admin consent req...	Status
▼ Microsoft Graph (8)				
Calendars.ReadWrite	Delegated	Have full access to user calendars	No	✔ Granted for tigermeetin... ***
Calendars.ReadWrite.Share	Delegated	Read and write user and shared calendars	No	✔ Granted for tigermeetin... ***
offline_access	Delegated	Maintain access to data you have given it access to	No	✔ Granted for tigermeetin... ***
openid	Delegated	Sign users in	No	✔ Granted for tigermeetin... ***
Place.Read.All	Delegated	Read all company places	Yes	✔ Granted for tigermeetin... ***
Place.Read.All	Application	Read all company places	Yes	✔ Granted for tigermeetin... ***
profile	Delegated	View users' basic profile	No	✔ Granted for tigermeetin... ***
User.Read	Delegated	Sign in and read user profile	No	✔ Granted for tigermeetin... ***
▼ Office 365 Exchange Online (3)				
Calendars.ReadWrite.All	Delegated	Read and write user and shared calendars	No	✔ Granted for tigermeetin... ***
Place.Read.All	Delegated	Read all company places	Yes	✔ Granted for tigermeetin... ***
User.Read	Delegated	Read user profiles	No	✔ Granted for tigermeetin... ***

これらのアクセス許可は、Microsoft のセキュリティで保護された管理者ユーザー認証プロセス中に受け入れられます。

Microsoft 365 と Tigermeeting の統合を成功させるには、次の手順に従います。

Microsoft365 管理パネル

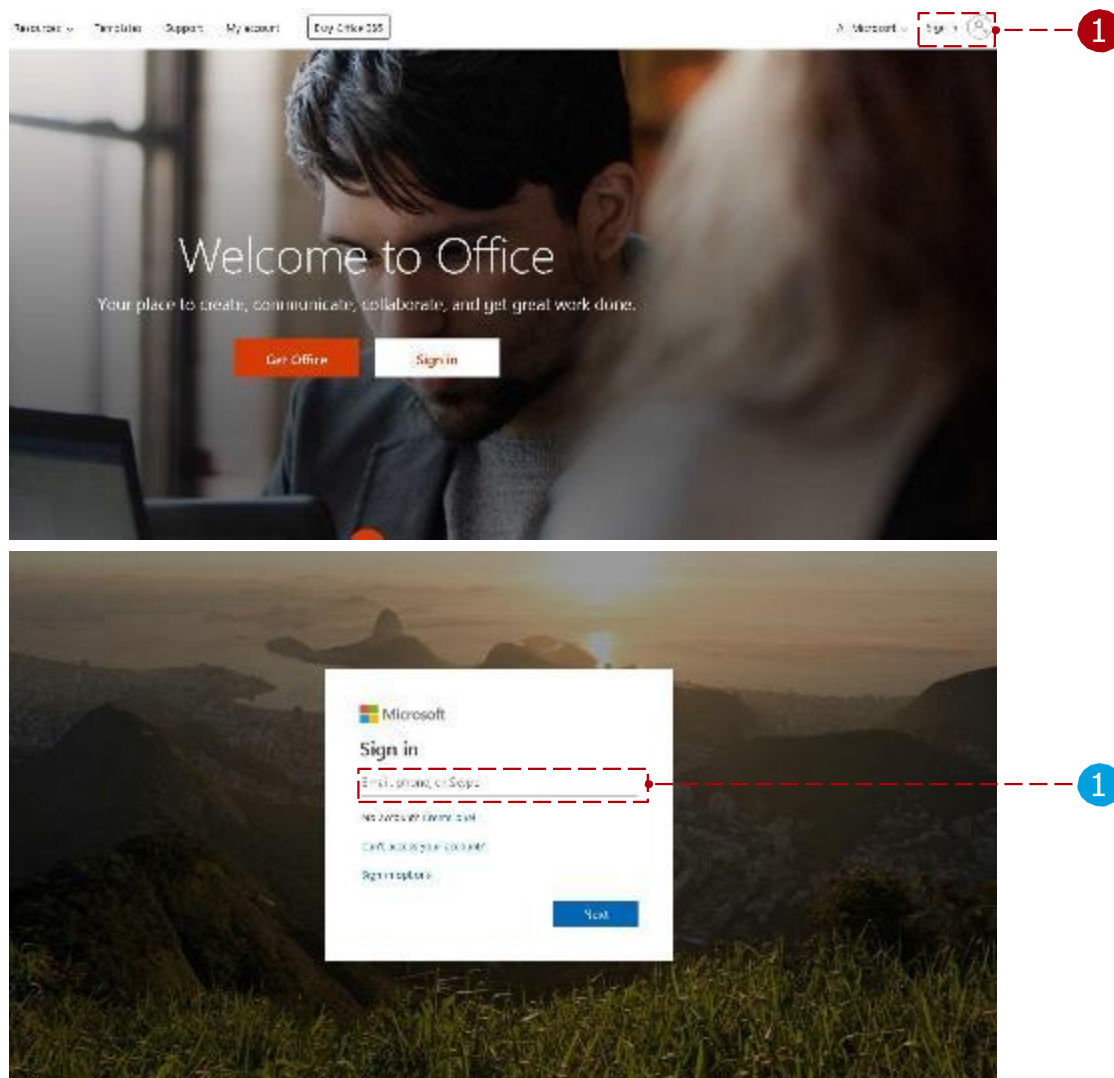
- <https://www.office.com> または <https://microsoftonline.com> に移動し
1 ます。

「サインイン」ボタンを押します。

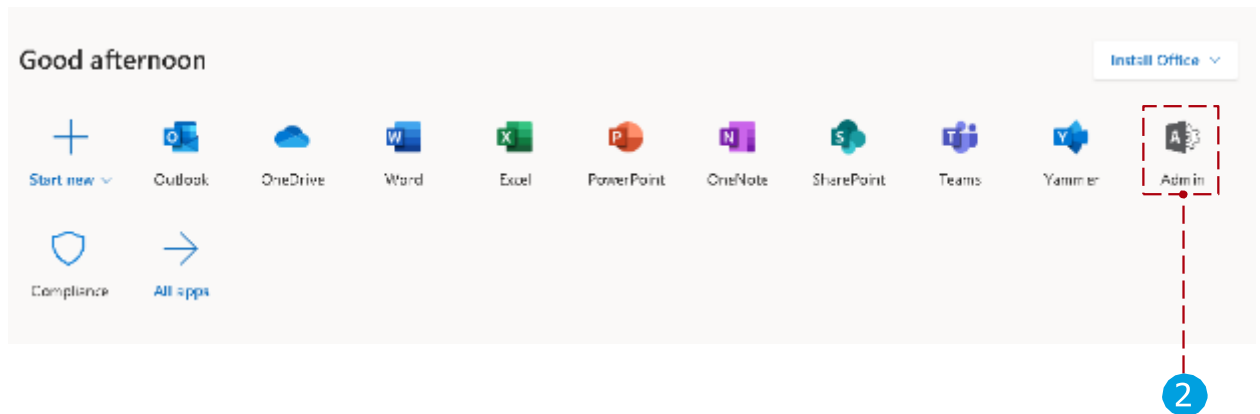
- 1 ユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名: admin@company.onmicrosoft.com パ

スワード: *****



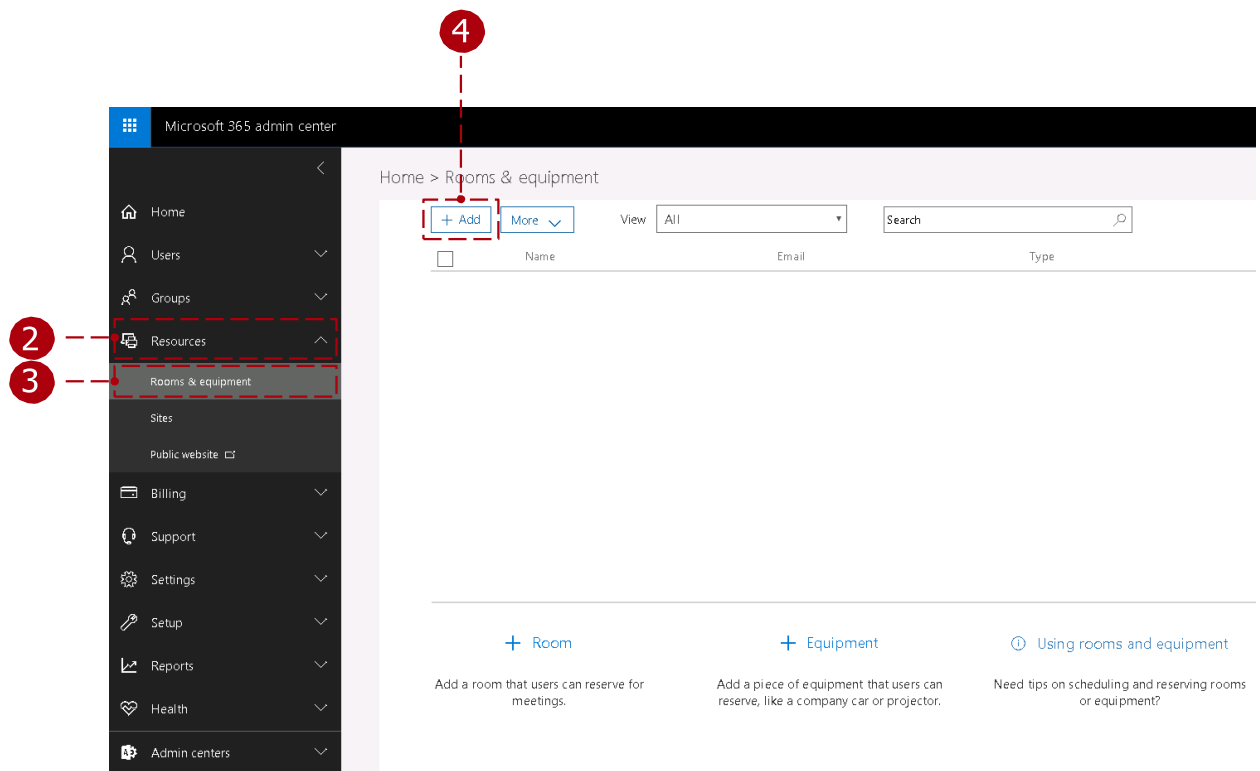
2 管理センターを選択します。



すべてのルームリソースがここにリストされ、これらのリソースは後でルームグループに追加できますが、ルームが定義されていない場合は、ここで追加または編集できます。

管理センターを選択した後:

- 2 「リソース」メニューを選択します。
- 3 「部屋と備品」サブメニューを選択します。
- 4 「+追加」ボタンで新しいルームリソースを作成します。



5 ルームパラメータを追加します。

- タイプは「部屋」である必要があります。
- 会議室の名前を追加します(例: "greenroom") メールアドレス(例: "greenroom")
- 定員(会議室の座席数)場所
- 電話番号

会議室の名前と電子メールのパラメーターは必須です。

The screenshot shows a web form titled 'Add' for creating a new room. The form has a header bar with a circular logo containing the letter 'g' and the text 'greenroom'. Below the header, the form contains several input fields: 'Type' (a dropdown menu set to 'Room'), 'Name' (a text box containing 'greenroom'), 'Email' (a text box containing 'greenroom' followed by a dropdown menu set to 'company.onmicrosoft.com'), 'Capacity' (a text box containing '20'), 'Location' (an empty text box), and 'Phone number' (an empty text box). The 'Name' and 'Email' fields are marked as required with red asterisks. A red dashed box encloses the 'Name' and 'Email' fields. A red circle with the number '5' and a dashed line points to the 'Email' field. At the bottom of the form are two buttons: 'Add' (blue) and 'Cancel' (white with a blue border).

さらに部屋が必要な場合は、繰り返し4すそして。

Windows PowerShell による構成

Microsoft Microsoft365 カレンダー ルームリストを構成するには、次の 2 つの方法があります。Microsoft365 ヘルパー スクリプトを使用します (詳細については、専用の章を参照してください)。

このスクリプトは、管理画面の Windows Power Shell で実行する必要があります。Tigermeeting 管理アプリケーションからセットアップ スクリプトをダウンロードします。

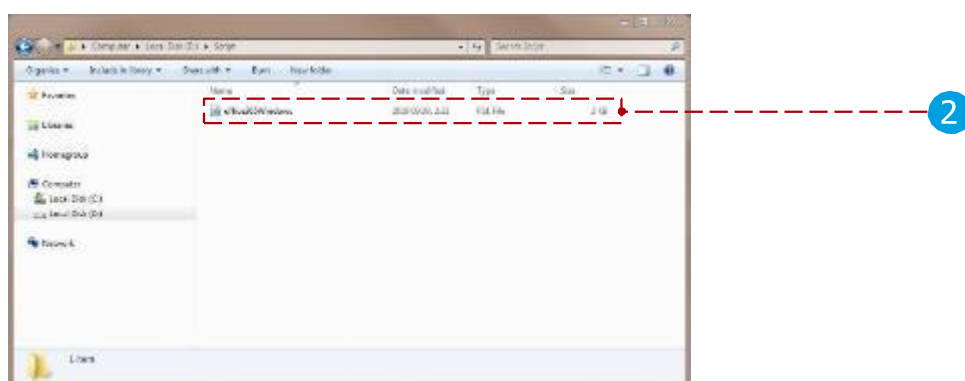
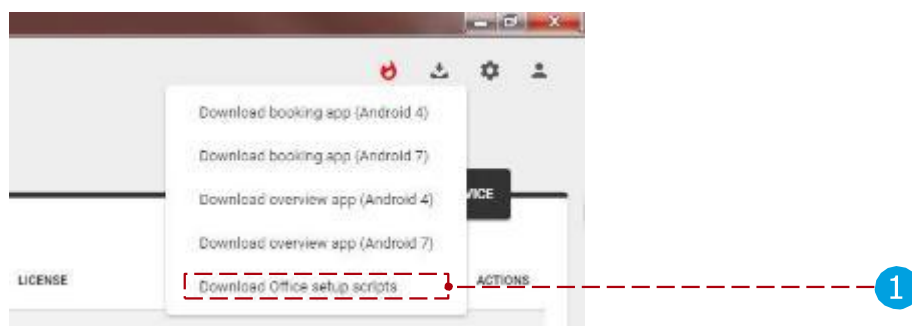
または手動で:

Microsoft365 カレンダーを構成するには、[手動構成] の手順に従います。

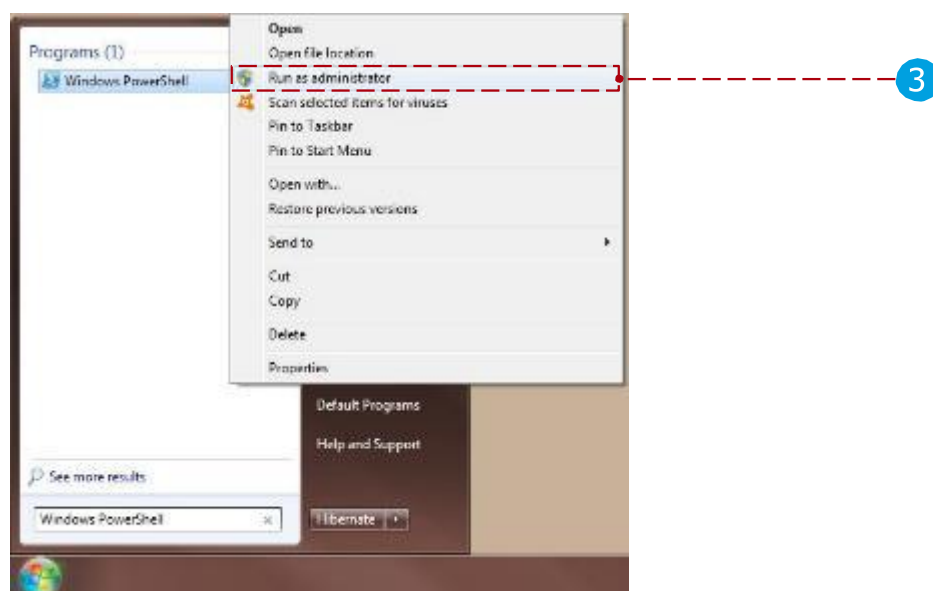
Microsoft 365 セットアップ ヘルパー スクリプトを使用した構成

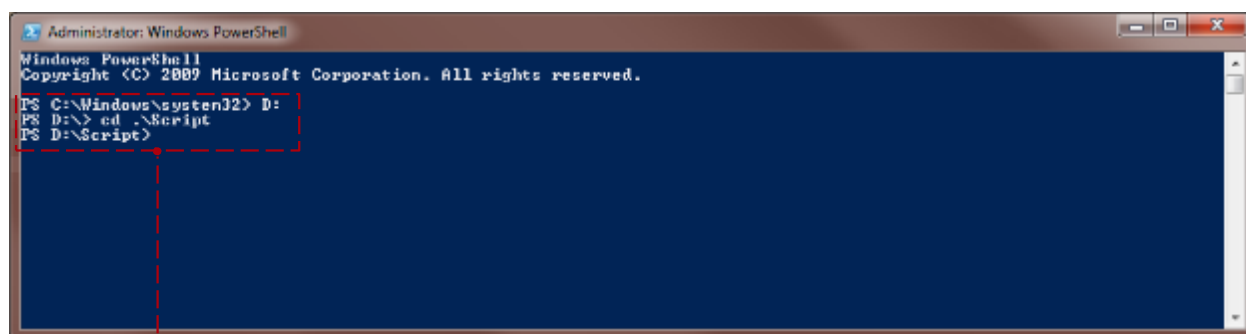
次の手順を実行します:

- 1 管理アプリケーションからセットアップ スクリプトをダウンロードします。
ダウンロードしたファイルでは、スクリプトは Linux、MacOS、および Windows オペレーティング システムで使用される Microsoft365、Exchange Online、およびオンプレミスの Exchange Server 構成で動作します。
- 2 ダウンロードしたファイルを解凍します。(この例では、Microsoft365 スクリプトは Windows オペレーティングシステムに使用されます)



- 3 Windows PowerShell を管理者モードで実行します。
- 4 Windows PowerShell 内で、抽出されたスクリプト ファイルに移動します。

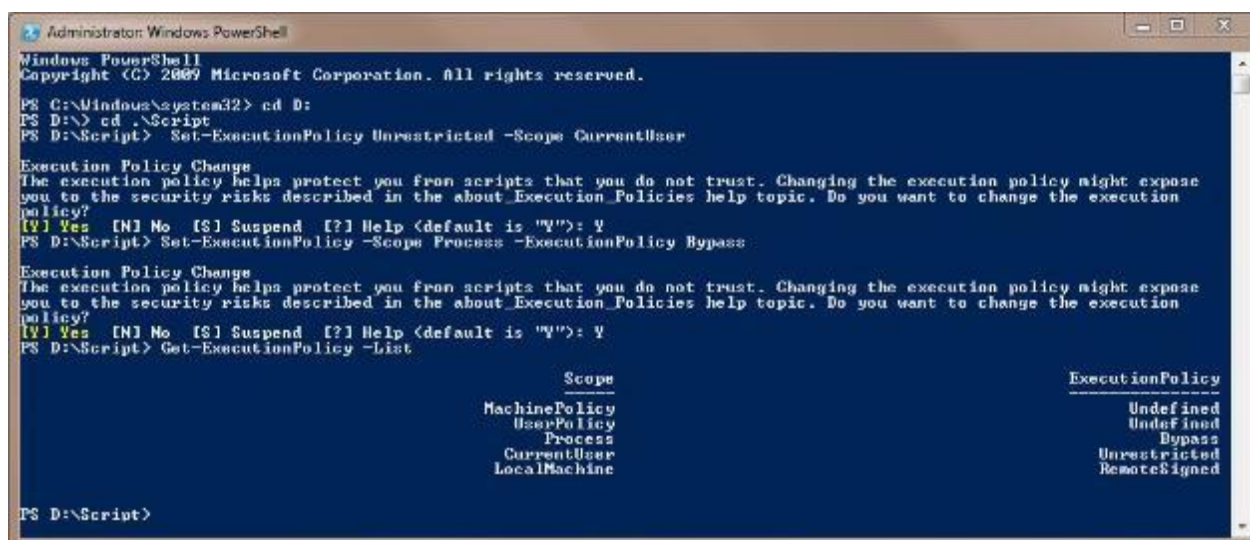




4

次のコマンドを使用します。

- 一. 実行ポリシーを変更してスクリプトを実行します。
 Set-ExecutionPolicy 無制限 -スコープ CurrentUser
 ポリシーの種類を変更するように求められたら、「Y」と入力して Enter キーを押します。
- 二. プロセスの「バイパス」ポリシーを設定します。
 Set-ExecutionPolicy -スコープ プロセス -ExecutionPolicy バイパス
 ポリシーの種類を変更するように求められたら、「Y」と入力して Enter キーを押します。
- 三. 実行ポリシー リストの表示: Get-ExecutionPolicy -List



Microsoft365 ヘルパー スクリプトの実行

注: これは、会議室リストを構成する推奨される方法です。Microsoft 365 ヘルパー スクリプト専用の章全体があり、以下のいくつかの章があります。最新の指示に従ってください。

手動構成

混乱を避けるために、手動設定の章は削除されました。RoomList 構成には Microsoft365 ヘルパー スクリプトを使用してください – 詳細な手順については、以下の専用章を参照してください。

説明ビデオ:

<https://www.youtube.com/watch?v=tzfgVGXUHV0>

Tigermeeting 管理アプリケーション

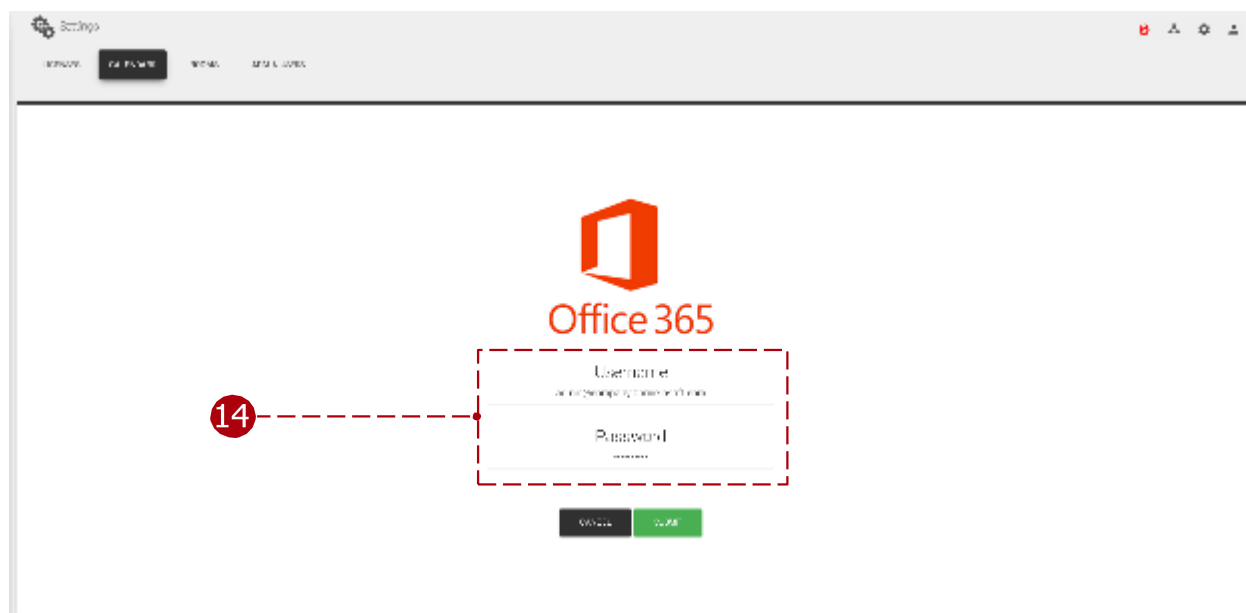
14 次のユーザー パラメーターを使用して Microsoft365 カレンダーを添付します。

ユーザー名:

admin@company.onmicrosoft.com パスワード

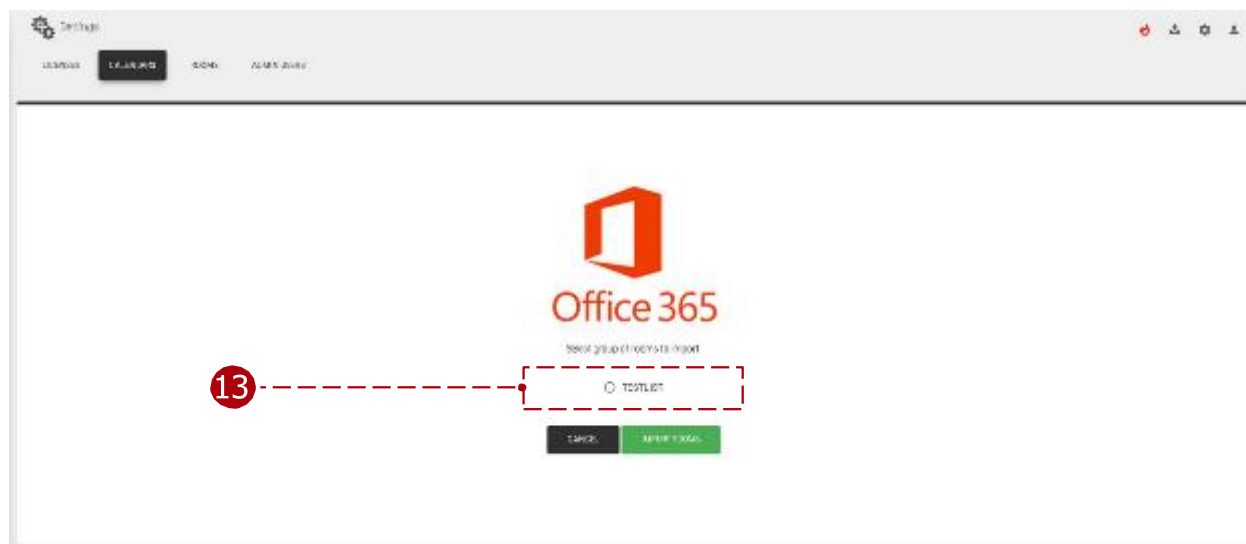
: *****

.



設定された会議室リストから目的の会議室リストを選択します。

注: 会議室リストが PowerShell で構成されている場合 (Microsoft 365 ヘルパー スクリプトを使用するなど)、Azure Apps で変更が利用可能になるまでに 1 日でも数時間かかる場合があります。



Exchange カレンダーの構成

Tigermeeting は、オンプレミスの Exchange Server カレンダー統合を完全にサポートしています。

注: Exchange Online は、Microsoft の Graph API を使用する別のカレンダー製品です – 構成手順については、Microsoft 365 カレンダー関連の章に従ってください。

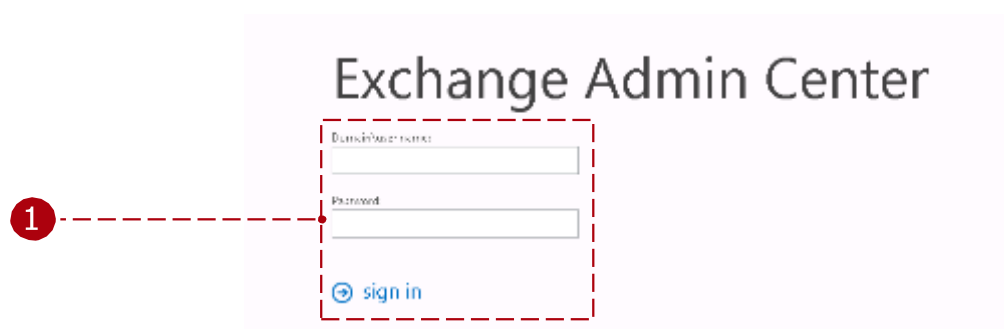
Tigermeeting 管理アプリケーションで Exchange カレンダー (Microsoft Exchange Server – オンプレミス) を使用するには、事前の設定が必要です。

ルームは Exchange 管理パネルを使用して作成し、ルーム グループとアクセス許可は Exchange 管理シェルの使用して作成する必要があります。これを実現するには、次の手順に従います。

Exchange 管理パネル

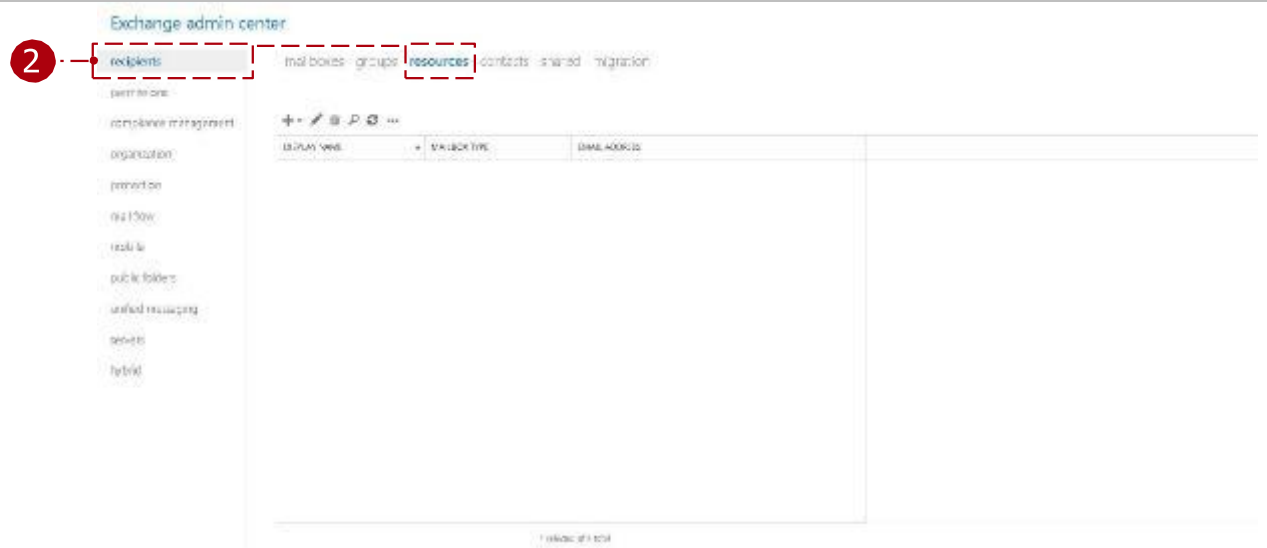
<https://exchange/ecp> に移動します。

- 1 ユーザー名とパスワードを入力します。
 - ユーザー名: admin
 - パスワード : *****

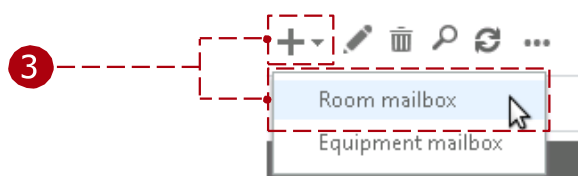


ログイン後:

- 2 [受信者]、[リソース] タブを選択します。(すべてのルーム リソースがここに一覧表示され、これらのリソースは後でルーム グループに追加できますが、ルームが定義されていない場合は、ここで追加または編集できます)。



- ③ 新規 (プラス) アイコンを押し、ドロップダウン リストから [会議室メールボックス] を選択します。



- ④ ルームのパラメータを追加します。

- ルームの名前を追加します(例: "redroom")
- エイリアス(メールニックネームとも呼ばれます)(例: 「redroom」)
- 場所
- 電話
- ☐ 収容人数(会議室の座席数)

ルームの名前とエイリアスパラメータは必須です。

さらに部屋が必要な場合は、繰り返し③すそして。

Exchange 管理シェルを使用した構成

Microsoft Exchange カレンダーを構成するには、次の 2 つの方法があります。スクリプトを使用します。

このスクリプトは Windows Exchange 管理シェルで実行する必要があります: Tigermeeting 管理アプリケーションからセットアップ スクリプトをダウンロードします。

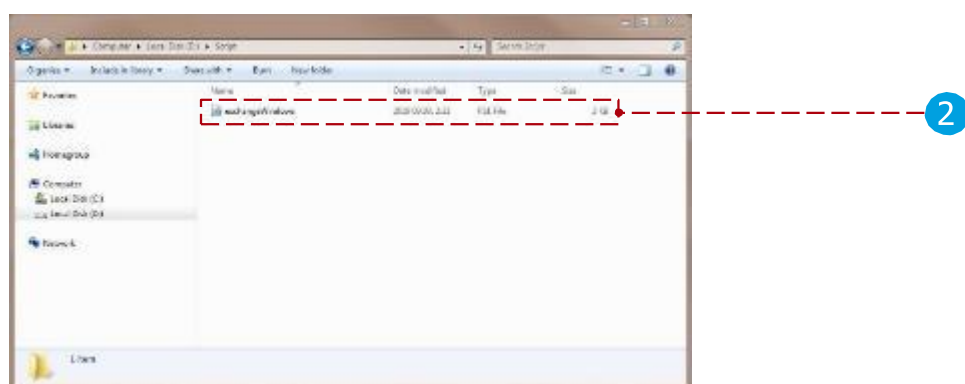
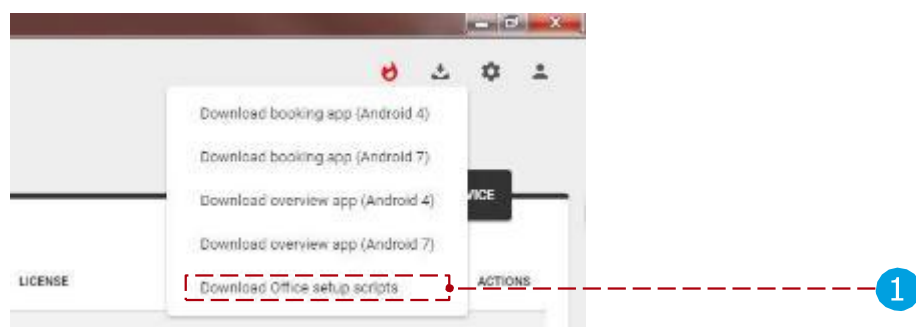
または手動で:

Microsoft Exchange カレンダーを構成するには、「手動構成」の手順に従います。

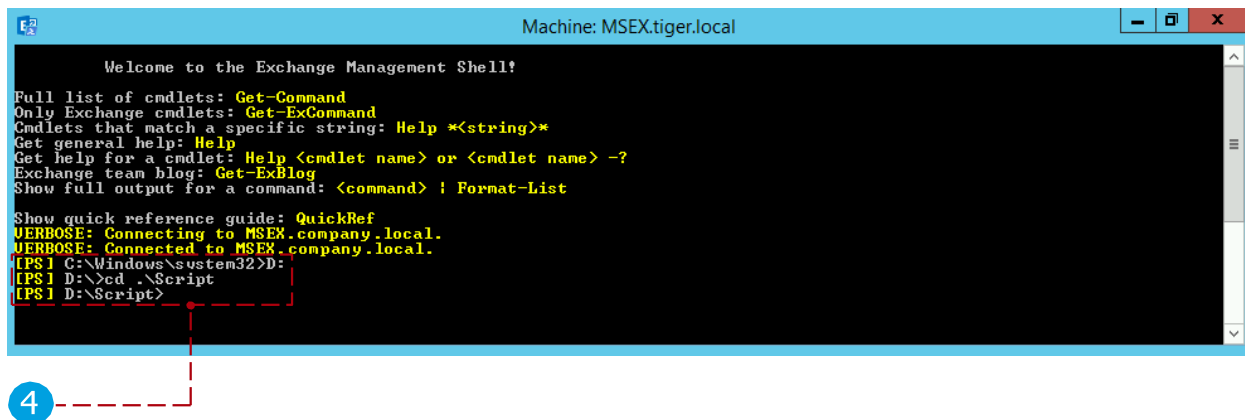
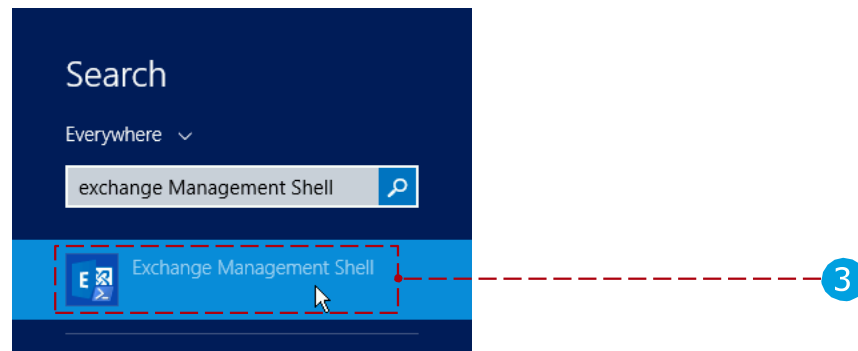
Microsoft ヘルパー スクリプトを使用した構成

Microsoft365 ヘルパー スクリプトをダウンロードするには、次の手順に従います。

- 1 管理アプリケーションからセットアップ スクリプトをダウンロードします。ダウンロードしたファイルでは、Linux、Mac、および Windows オペレーティング システム用の Microsoft365 および Exchange 構成用のスクリプトが記載されています。
- 2 ダウンロードしたファイルを解凍します。(この例では、Exchange スクリプトは Windows オペレーティング システムに使用されます)



- 3 Exchange 管理シェルを実行します。
- 4 Exchange 管理シェル内で、抽出されたスクリプト ファイルに移動します。



Microsoft365 ヘルパー スクリプトの実行

注: これは、会議室リストを構成する推奨される方法です。Microsoft 365 ヘルパー スクリプト専用の章全体があり、以下のいくつかの章があります。そこの指示に従ってください。

手動構成

混乱を避けるために、手動設定の章は削除されました。RoomList 構成には Microsoft365 ヘルパー スクリプトを使用してください – 詳細な手順については、以下の専用章を参照してください。

Tigermeeting 管理アプリケーション

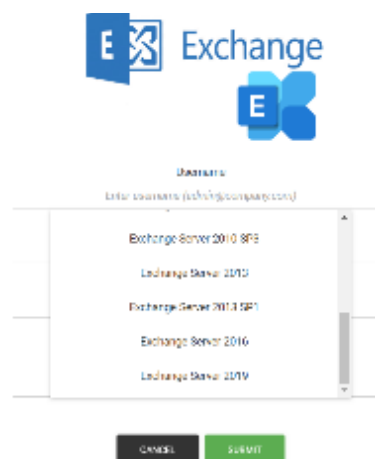
12 次のユーザーパラメータを使用して交換カレンダーを添付します。

- ユーザー名: admin@mail.local (完全な電子メール アドレスを使用) パスワード: *****
- ホスト: https://exchange.url.local (サーバーが 'http' または 'https' プロトコルを使用している場合 - サーバーが期待するものを使用します)
- サーバー バージョン: 例: "Exchange 2016"

注: Tigermeeting は、Microsoft Exchange サーバー2007 から 2019 と互換性が

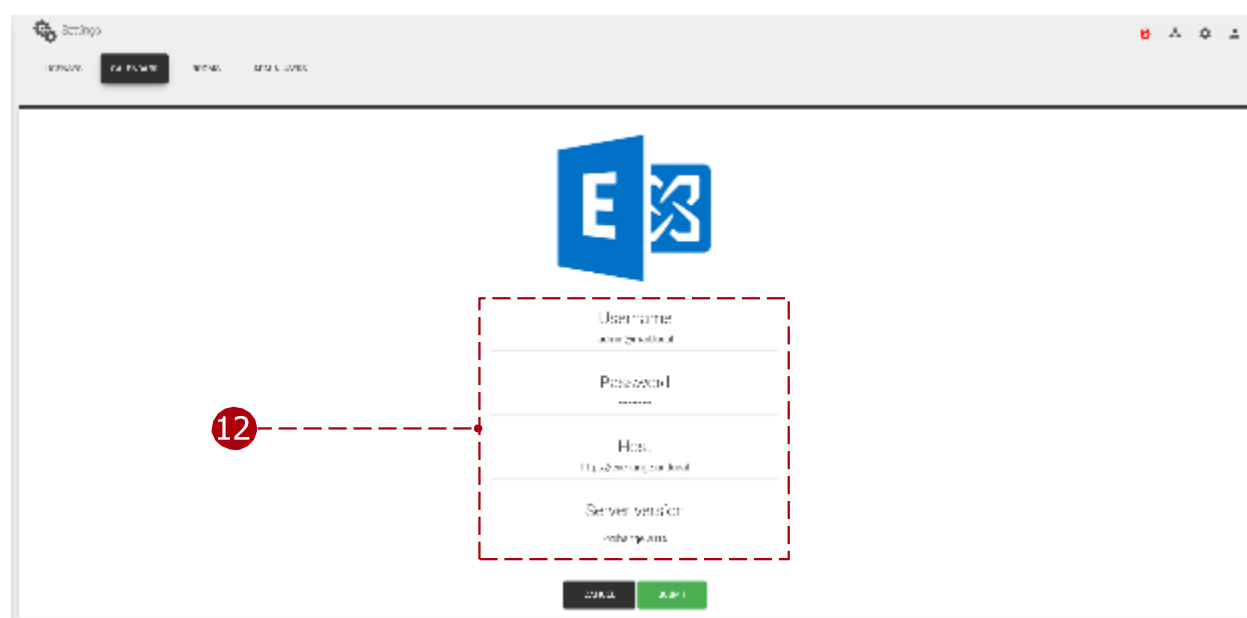
あります。

API スキーマは異なり、サーバーのバージョンに依存するため、実際に使用される Exchange サーバーのバージョンを設定することが重要です。



要件 : Exchange Server では **NTLM が有効になっている必要があります。**

詳細については、Windows Server と Exchange Server のドキュメントをお読みください。



認証が成功すると、設定されたルームリストが表示されます。

目的のオフィス/学校環境のルーム リソースを含むルーム リストを選択します。

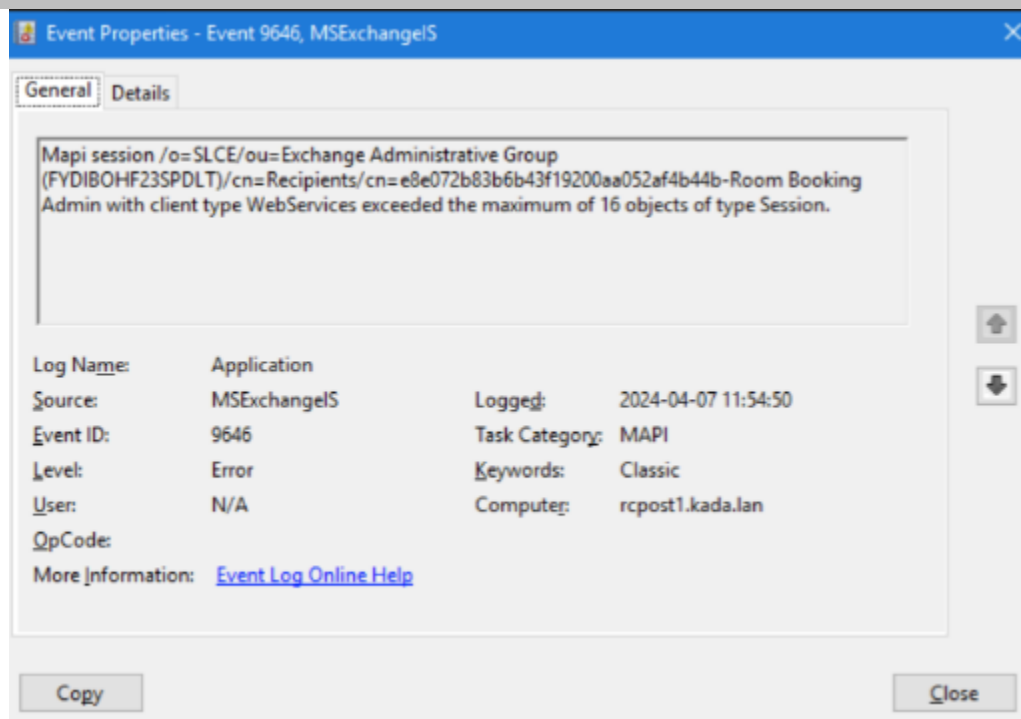


[ネットワーク] タブにリストされているデバイスにオンライン会議室リソースを引き続き割り当てることができます。

Tigermeeting Android アプリケーションを実行しているデバイスは独立したエンティティであり、通常の操作中に独自のセッションを維持するため、大規模なインストールでは Exchange Server の既定のセッション制限の一部に達する可能性があります。

エラーは、以下で説明するように表示されます。

- Tigermeeting を実行している一部の画面は、部屋の予約を取得できません
- Tigermeeting デバイスログには、アクション:[ACTION_GET_RESERVATION]:エラー:[リクエストに失敗しました。サーバーは現在、この要求を処理できません。後でもう一度やり直してください。]
- Exchange Server イベント ログ (MSExchangeIS) に、"**クライアントの種類 WebServices が "セッション" イベントの種類の最大 16 個のオブジェクト**を超えました



解決策は、Exchange Server の制限を引き上げることです

ユーザーあたりの最大許可セッション数

Microsoft ドキュメント (<https://learn.microsoft.com/en-us/exchange/managed-store-limits-exchange-2013-help> など) で説明されているユーザーあたりの最大許容セッション数の制限

セッションの最大数を増やすには、Exchange Server の Windows レジストリで次の値を調整する必要があります。この例では、同時セッションの最大数が 128 セッション(16 進数 80)に増加しています。

[HKEY_LOCAL_MACHINE/SYSTEM/CurrentControlSet/Services/MExchangeIS/ParametersSystem]

"ユーザーあたりの最大許可セッション数"=dword:00000080

その後、サービス「Microsoft Exchange Information Store」を再起動する必要があります。

NSPI セッション制限

デフォルトでユーザーおよびドメイン コントローラーごとに最大 50 セッションを許可する NSPI セッション制限にも到達できます。

この制限を増やすには、各ドメイン コントローラーの Windows レジストリで次の値を設定する必要があります。

[HKEY_LOCAL_MACHINE/SYSTEM/CurrentControlSet/Services/NTDS/パラメーター]

「ユーザあたりの NSPI 最大セッション数」=dword:00000200

その後、ドメインコントローラーを再起動してください。

詳細については、<https://support.microsoft.com/en-us/topic/error-trying-to-connect-to-microsoft-exchange-server-results-in-mapi-e-logon-failed-7d322bd7-0dce-1fe9-b446-90f153000286> をご覧ください。

調整ポリシー

Exchange は、次のようなメッセージで管理者ユーザーをしばらくロックアウトする場合があります: **ユーザー 'Sid~[一部のユーザー]' の予算は [しばらく] までロックアウトされます。最大バースト:480000、リチャージ率:1800000、カットオフバランス:-600000**

Exchange Server は、1 人のユーザーまたはアプリケーションが使用できるサーバー リソースの量を制限します。

インストール全体のすべての画面を提供する管理者ユーザーに、より多くのリソースを許可してください。

詳細については、以下をご覧ください。

<https://learn.microsoft.com/en-us/exchange/client-developer/exchange-web-services/ews-throttling-in-exchange>

専門家によるサポートが必要な場合は、Microsoft サポートにお問い合わせください。

オンプレミスの Exchange Server または Exchange

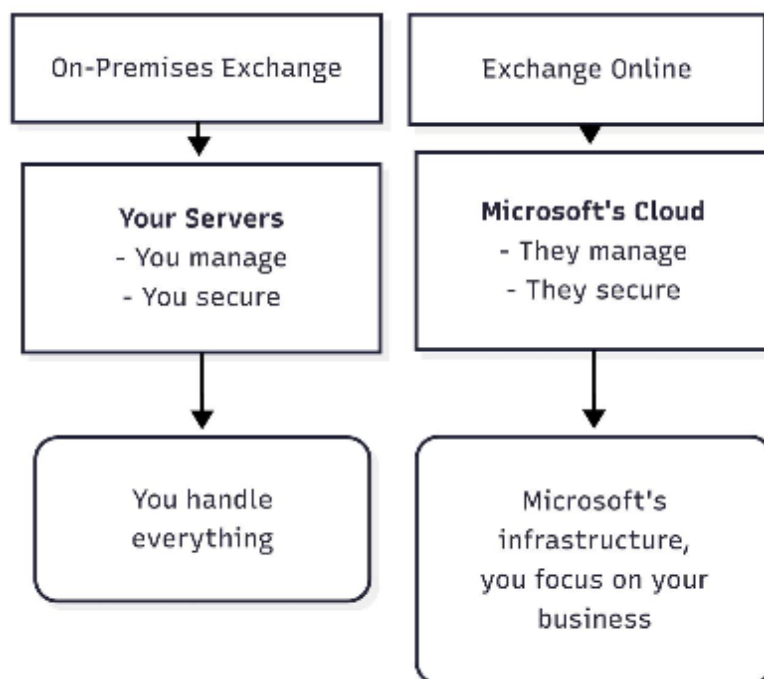
Microsoft Exchange Server (オンプレミスの Exchange) と Microsoft Exchange Online は、目的が非常に似ているにもかかわらず、異なる製品であるが、基盤となるテクノロジースタックは根本的に異なることに注意してください。

Exchange Online は、Microsoft 365 スイートの一部である Microsoft のクラウドベースの電子メールおよび予定表サービスです。

また、Exchange Online は、オンプレミスの Exchange でハイブリッドアーキテクチャを構築できる Graph API を使用しています。

Exchange Online の予定表を設定するには、Microsoft 365 のセットアップ ガイドを使用してください。

以下のグラフによる比較をご覧ください。



Microsoft365 ヘルパー スクリプト

紹介

Microsoft365、Exchange Online、Exchange Server は、 さまざまな環境で使える非常に洗練されたカレンダーです。

巨大企業は多くの大陸に広がり、多くの都市にオフィスを構え、多数の建物を持っていますが、すべてが単一のカレンダーに保管されています。

リソースを整理するために、Microsoft は "ルームリスト" という用語を使用して、1 つのエントリ (たとえば 1 つのオフィス) に属する部屋をグループ化します。

ルームリストの管理は、管理パネルまたは PowerShell コマンドを使用して行うことができますが、Tigermeeting のお客様は自分でセットアップするのに苦労していたため、Tigermeeting の開発者はルームリスト管理に役立つシンプルなメニューベースのツールを作成しました。

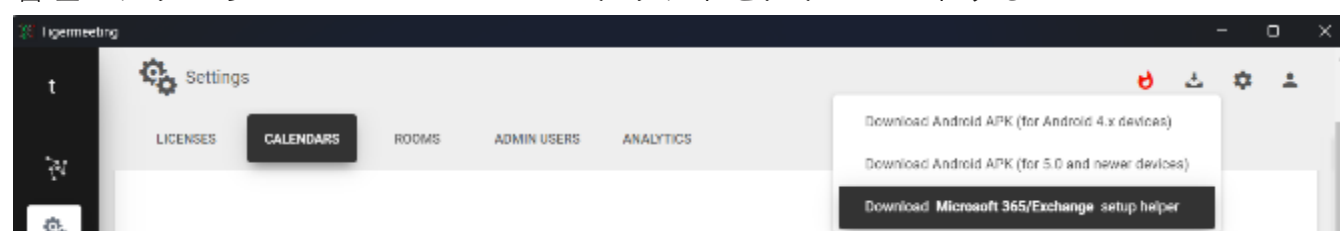
Tigermeeting Microsoft365/Exchange Online 構成ヘルパー スクリプトは軽量の PowerShell スクリプトであり、人間が読みやすいように、派手なスクリプト技術を使用せずに意図的に記述されています。

このヘルパー スクリプトを使用する予定のすべての顧客管理者は、RoomList 関連のすべての操作を確認し、理解し、確認することをお勧めします。

このスクリプトはお客様に役立つように記述されていますが、すべての操作は行ごと、または Microsoft365 管理セットアップ コンソールまたは Exchange 管理シェルを介して実行できます。

ダウンロードとインストール

管理アプリから Microsoft ヘルパー スクリプトをダウンロードする



ディレクトリ内の zip ファイルを解凍します。

スクリプトは、管理 PowerShell または Exchange 管理シェルから実行する必要があります

あります

さまざまなオペレーティング システムへの PowerShell のインストール

MacOS PowerShell のインストール

Brew Cask インストール PowerShell

```
$pwsh
```

Ubuntu PowerShell インストール

```
snap install powershell --classic
```

```
$powershell
```

OpenSuSE インストール

以下に従ってください <https://snapcraft.io/install/powershell/opensuse>

Fedora のインストール

以下に従ってください <https://snapcraft.io/install/powershell/fedora>

Windows PowerShell

Start->Windows PowerShell -> 管理者として実行

ルームリソースを準備する

注: このスクリプトは、RoomLists でのみ動作します。

注: ルーム リソースの作成と削除は、Microsoft365 管理または Exchange 管理センターを介して行われるスクリプトを実行する前に実行する必要がある管理タスクです。

Microsoft365 または Exchange Online で会議室リソースを管理するには

- Microsoft365 アカウントにログインします。
- 左上のメニューアイコンをクリックします。
- [すべてのアプリ] -[> 管理者] -[> [すべて表示] -> [リソース] -> [会議室と備品] を選択します。
- ルームリソースの追加、削除、編集

Exchange Server で会議室リソースを管理するには

- Exchange 管理センターにログインする

- 左側のメニュー: 受信者 -> リソース
- ルームリソースの追加、削除、編集

RoomList 関連の操作 - このスクリプトを実行するには、グローバル管理者、パワー ユーザーが必要です。

カレンダー操作には、Office365 E1 ユーザーの許可/ライセンスで十分です。カレンダー操作のタッチが完了し、Tigermeeting 管理アプリケーションから動作することが確認された後、グローバル管理者のアクセス許可を削除することをお勧めします。

スクリプトの実行 (例)

- 一.PowerShell を管理者として起動する
- 二.スクリプトがあるディレクトリに移動します。

cd Tigermeeting-Microsoft-helper

スクリプトを実行する前に、実行ポリシーを設定しなければなりません。

Set-ExecutionPolicy -ExecutionPolicy 無制限

```

Administrator: Windows PowerShell (x86)
PS C:\WINDOWS\system32> cd ..\..\Users\Zoli\Work\tigermeeting-github\meetingroom_setup_scripts\
PS C:\Users\Zoli\Work\tigermeeting-github\meetingroom_setup_scripts> Set-ExecutionPolicy -ExecutionPolicy Unrestricted

Execution Policy Change
The execution policy helps protect you from scripts that you do not trust. Changing the execution policy might expose
you to the security risks described in the about_Execution_Policies help topic at
https://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=135170. Do you want to change the execution policy?
[Y] Yes [A] Yes to All [N] No [L] No to All [S] Suspend [?] Help (default is "N"): Yes
PS C:\Users\Zoli\Work\tigermeeting-github\meetingroom_setup_scripts> .\tigermeeting_microsoft365.ps1

Tigermeeting Microsoft365/Exchange Online config helper

Setting the ExecutionPolicy - please answer YES to accept.

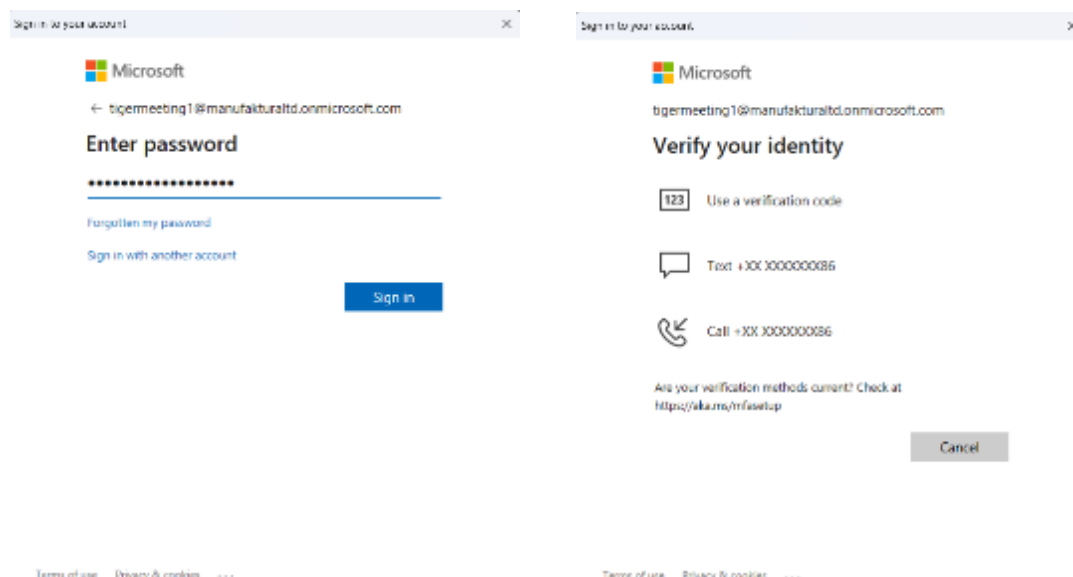
Set-ExecutionPolicy : Windows PowerShell updated your execution policy successfully, but the setting is overridden by
a policy defined at a more specific scope. Due to the override, your shell will retain its current effective
execution policy of Unrestricted. Type "Get-ExecutionPolicy -List" to view your execution policy settings. For more
information please see "Get-Help Set-ExecutionPolicy".
At C:\Users\Zoli\Work\tigermeeting-github\meetingroom_setup_scripts\tigermeeting_microsoft365.ps1:42 char:1
+ Set-ExecutionPolicy RemoteSigned
+ ~~~~~
+ CategoryInfo          : PermissionDenied: (:) [Set-ExecutionPolicy], SecurityException
+ FullyQualifiedErrorId : ExecutionPolicyOverride,Microsoft.PowerShell.Commands.SetExecutionPolicyCommand

If the ExecutionPolicy is accepted - the errors above can be safely ignored.
...but please make sure that the ExecutionPolicy is Unrestricted below.

The current ExecutionPolicy is: Unrestricted
  
```

管理者を認証します。認証とカレンダーの操作に使用する管理者ユーザーがルームリストにアクセスできるようにするには、同じ管理者資格情報を使用することがベストプラクティスです。

注:認証は MFA(多要素認証)もサポートしています。



認証に成功すると、次のメニューが表示されます。

```
Administrator: Windows PowerShell (x86)

-----
This V3 EXO PowerShell module contains new REST API backed Exchange Online cmdlets which doesn't require WinRM for Client-Server communication. You can now run these cmdlets after turning off WinRM Basic Auth in your client machine thus making it more secure.

Unlike the EXO* prefixed cmdlets, the cmdlets in this module support full functional parity with the RPS (V1) cmdlets.

V3 cmdlets in the downloaded module are resilient to transient failures, handling retries and throttling errors inherently.

However, REST backed EOP and SCC cmdlets are not available yet. To use those, you will need to enable WinRM Basic Auth.

For more information check https://aka.ms/exov3-module

The latest EXO V3.7 module is released which includes significant memory improvements. You're currently using an older version and we recommend upgrading to V3.7 for enhanced performance.
-----

ROOMLIST OPERATIONS MENU v2.1.2
-----

1 CREATE a new RoomList with rooms
2 ADD rooms to an existing RoomList
3 LIST rooms in a RoomList
4 LIST all RoomLists
5 LIST all rooms
6 DELETE a RoomList
7 DELETE a room from an existing RoomList

8 EXIT

Enter your choice (1 to 8):
```

ROOMLIST の操作メニューは非常に直感的で簡単です。

- 1 部屋を含む新しい RoomList を作成する
- 2 既存の RoomList に部屋を追加
- RoomList 内の 3 つの LIST ルーム
- 4 すべてのルームリストを一覧表示します
- 5 すべての部屋を一覧表示
- 6 RoomList を削除する
- 7 既存の RoomList からルームを削除する

• 8 出口

重要な使用上の注意

ご注意ください:

- このスクリプトは、ルームリスト(作成、リスト、削除)のみを扱います。
- 1つのルーム/ルーム リソースを複数のルームリストに含めることができます。
- ルームリストを削除しても、ルームリソースは削除されません
- ルームは、RoomList 関連の操作の影響を受けません。

重要: 変更は永続的であり、Azure/Exchange リポジトリで直接行われます。 **ロールバックオプションはありません**

RoomList とルーム ID は Microsoft365/Azure/Exchange リポジトリ内の電子メール アドレスですが、表示名は制限なく任意の名前にすることができます。

このスクリプトは、RoomList ID が 1 つの単語であり、電子メール ID に適した特殊文字や Unicode 文字がない場合に適切に動作します。

ルームとルームリストの識別には、PrimarySmtpAddress の "user" 部分を使用してください

Name	PrimarySmtpAddress
----	-----
p_Stockholm	p_Stockholm@manufakturaltd.onmicrosoft.com
p_Berlin	p_Berlin@manufakturaltd.onmicrosoft.com
p_กรุงเทพฯ	p_Bangkok@manufakturaltd.onmicrosoft.com
p_上海	p_Shanghai@manufakturaltd.onmicrosoft.com
SE-Conf-VHG Kylskåpet (Room 4p) - Väderholmens Gård	kylskap@manufakturaltd.onmicrosoft.com

この例では、ルーム識別子 p_กรุงเทพฯ または p_上海を使用しても、ルーム リソースとして識別されません。 **P_Bangkok** と **p_Shanghai** を使用する必要があります。

「SE-Conf-VHG Kylskåpet (Room 4p) - Väderholmens Gård」または kylskap@manufakturaltd.onmicrosoft.com も同様です。このルームリソースの正しい識別は **kylskap** です。

一般的な使用例

必要なすべてのルーム リソースが Microsoft365/Exchange 管理パネルで作成されているかどうかを確認します

5 を押す

```

Administrator: Windows PowerShell (x86)
Enter your choice (1 to 8): 5
~~~~~
List all rooms
~~~~~

Name                                PrimarySmtpAddress                  ProhibitSendQuota
-----
tigermeeting2                      tigermeeting2@manufakturaltd.onmicrosoft.com 49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
zoli-dev1                          zoli-dev1@manufakturaltd.onmicrosoft.com    49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
zoli-rel2                          zoli-rel2@manufakturaltd.onmicrosoft.com    49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
zoli-rel1                          zoli-rel1@manufakturaltd.onmicrosoft.com    49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
zoli-dev2                          zoli-dev2@manufakturaltd.onmicrosoft.com    49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
zoli-dev3                          zoli-dev3@manufakturaltd.onmicrosoft.com    49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
homedev2                          homedev2@manufakturaltd.onmicrosoft.com     49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
homedev1                          homedev1@manufakturaltd.onmicrosoft.com     49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
tigermmeting1room2                tigermmeting1room2@manufakturaltd.onmicrosoft.com 49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
tigermmeting1room1                tigermmeting1room1@manufakturaltd.onmicrosoft.com 49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
tigermeeting1Room2                tigermeeting1Room2@manufakturaltd.onmicrosoft.com 49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
tigermeeting1Room3                tigermeeting1Room3@manufakturaltd.onmicrosoft.com 49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
tigermeeting1Room1                tigermeeting1Room1@manufakturaltd.onmicrosoft.com 49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
tigermeeting1Room4                tigermeeting1Room4@manufakturaltd.onmicrosoft.com 49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
zoli-rel3                          zoli-rel3@manufakturaltd.onmicrosoft.com    49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
ZoTiger                           zotigerlist@manufakturaltd.onmicrosoft.com  49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
ZoTiger2                          zotigerlist2@manufakturaltd.onmicrosoft.com  49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
ZoTiger3                          zotigerlist3@manufakturaltd.onmicrosoft.com  49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
ZoTiger4                          zotigerlist4@manufakturaltd.onmicrosoft.com  49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
tiger1                            tiger1@manufakturaltd.onmicrosoft.com        49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
roomTest                          roomTest@manufakturaltd.onmicrosoft.com      49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
roomTest2                        roomTest2@manufakturaltd.onmicrosoft.com      49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
zoli-prod1                        zoli-prod1@manufakturaltd.onmicrosoft.com    49.5 GB (53,150,220,288 bytes)

```

リストされた部屋は、部屋リストにバンドルできます。

後で必要に応じて、ルーム名をコピーして貼り付けることができます。

現在定義されているルームリストを一覧表示: **4** を押します。

```

Administrator: Windows PowerShell (x86)

Name                                PrimarySmtpAddress                  DisplayName
-----
roomroom                          roomroom@manufakturaltd.onmicrosoft.com    roomroom
zoli-testlab                      zoli-testlab@manufakturaltd.onmicrosoft.com zoli-testlab
homedev                          homedev@manufakturaltd.onmicrosoft.com     homedev
TigerMeeting1RoomList3           TigerMeeting1RoomList3@manufakturaltd.onmicrosoft.com TigerMeeting1RoomList3
DelgateGroupList20210924091817   delgategroupelist@manufakturaltd.onmicrosoft.com DelgateGroupList
ZolTiger List 1                  ZolTigerList@manufakturaltd.onmicrosoft.com ZolTiger List 1
zoli-prodlab                     zoli-prodlab@manufakturaltd.onmicrosoft.com zoli-prodlab

~~~~~
The operation has completeted
~~~~~

ROOMLIST OPERATIONS MENU
~~~~~

1 Create a new RoomList with rooms
2 Add rooms to an existing RoomList
3 List rooms in a RoomList
4 List all RoomLists
5 List all rooms
6 Delete a RoomList
7 Delete a room from an existing RoomList

8 EXIT

Enter your choice (1 to 8):

```

まったく同じ方法で、新しいルームリストの作成、既存のルームリストへのルームの追加、ルームリストからのルームの削除、ルームリストのコンテンツの表示、ルームリストの削除が可能です。

最終結果(Microsoft365 または Exchange サーバーカレンダーをアタッチするときに Tigermeeting 管理アプリにインポートされるルームリスト)を表示するには、**3**を押します

```

Administrator: Windows PowerShell (x86)

List rooms in a RoomList
~~~~~
Please, enter an existing RoomList identity. (example: myroomlist) : zoli-prodlab

DisplayName PrimarySmtpAddress OrganizationalUnitRoot
-----
zoli-prod1 zoli-prod1@manufakturaltd.onmicrosoft.com manufakturaltd.onmicrosoft.com
zoli-prod2 zoli-prod2@manufakturaltd.onmicrosoft.com manufakturaltd.onmicrosoft.com
zoli-prod3 zoli-prod3@manufakturaltd.onmicrosoft.com manufakturaltd.onmicrosoft.com
zoli-prod4 zoli-prod4@manufakturaltd.onmicrosoft.com manufakturaltd.onmicrosoft.com

~~~~~
The operation has completeted

~~~~~
ROOMLIST OPERATIONS MENU
~~~~~

1 Create a new RoomList with rooms
2 Add rooms to an existing RoomList
3 List rooms in a RoomList
4 List all RoomLists
5 List all rooms
6 Delete a RoomList
7 Delete a room from an existing RoomList

8 EXIT

Enter your choice (1 to 8):

```

RoomList からルームを削除するには、**7**を押します

この場合、ルーム リソースの完全な電子メール/PrimarySmtpAddress が識別に必要になります。kylskap@manufakturaltd.onmicrosoft.com (以下の例を参照)

また、確認が必要です。[Y]はいまたは[A]すべてと答えて動作を確認してください

```

ROOMLIST OPERATIONS MENU v2.1.2
=====

1 CREATE a new RoomList with rooms
2 ADD rooms to an existing RoomList
3 LIST rooms in a RoomList
4 LIST all RoomLists
5 LIST all rooms
6 DELETE a RoomList
7 DELETE a room from an existing RoomList

8 EXIT

Enter your choice (1 to 8): 7

Delete a room from an existing RoomList
=====
Please enter the RoomList name where the room resides in: VaderholmensGard
Please, enter the EMAIL of the room you want to remove from the VaderholmensGard RoomList : kylskap@manufakturaltd.onmicrosoft.com

Confirm
Are you sure you want to perform this action?
Removing distribution group member "EURP193A004.PROD.OUTLOOK.COM/Microsoft Exchange Hosted
Organizations/manufakturaltd.onmicrosoft.com/SE-Conf-VHG Kylskåpet (Room 4p) - Väderholmens Gård" from distribution group
Identity:"EURP193A004.PROD.OUTLOOK.COM/Microsoft Exchange Hosted Organizations/manufakturaltd.onmicrosoft.com/VaderholmensGard".
[Y] Yes [A] Yes to All [N] No [L] No to All [S] Suspend [?] Help (default is "Y"):

```

すべての RoomList が作成され、すべての RoomList に属するすべてのルーム リソースが含まれたら、オプション **4** (すべての RoomList を一覧表示) と **3** (RoomList 内の部屋を一覧表示) を使用して結果を確認し、各 RoomList の内容を確認してください。

```

ROOMLIST OPERATIONS MENU v2.1.2
=====

1 CREATE a new RoomList with rooms
2 ADD rooms to an existing RoomList
3 LIST rooms in a RoomList
4 LIST all RoomLists
5 LIST all rooms
6 DELETE a RoomList
7 DELETE a room from an existing RoomList

8 EXIT

Enter your choice (1 to 8): 3

List rooms in a RoomList
=====
Please, enter an existing RoomList identity. (example: myroomlist) : VaderholmensGard

DisplayName                                PrimarySmtAddress                          OrganizationalUnitRoot
-----
SE-Conf-VHG Kylskåpet (Room 4p) - Väderholmens Gård    kylskap@manufakturaltd.onmicrosoft.com    manufakturaltd.onmicrosoft.com
SE-Conf-VHG Björken (TeamsRoom 10p) - Väderholmens Gård bjorken.hagvillan@manufakturaltd.onmicrosoft.com manufakturaltd.onmicrosoft.com
SE-Conf-VHG Eken (TeamsRoom 8) - Väderholmens Gård    eken.hagvillan@manufakturaltd.onmicrosoft.com manufakturaltd.onmicrosoft.com

The operation has completeted

```

オプション **8** を使用して、ヘルパー スクリプトを終了します。
 スクリプトを終了すると、認証されたセッションが切り離され、ユーザーは PowerShell または Exchange 管理シェルの終了します。

重要な注意事項

場合によっては、Microsoft365 セットアップの同期に時間（場合によっては数時間）がかかります。

スクリプト操作の結果は、Microsoft365 と Exchange Online 管理コンソールにすぐに表示されますが、Azure アプリ コンシューマーへのインターフェイスに使用される Azure アプリ (Tigermeeting 管理アプリなど) には、更新プログラムがすぐには表示されません。

PowerShell を介して行われた変更を反映する際に Azure アプリで遅延が発生するのは、Azure サービス内のキャッシュ メカニズムが原因である可能性があります。PowerShell を使用して変更が加えられると、同じインターフェイスからクエリを実行すると、変更が直接適用され、表示されます。ただし、Azure アプリでは同期間隔やキャッシュの更新レートが異なる場合があります、これらの変更の反映が遅れる可能性があります。

これは Microsoft 側の既知の問題であり、カレンダーを添付すると、新しく作成された会議室リストの変更が管理アプリに表示されるまでに時間がかかります。

症状は次のとおりです。

- 新しく作成された会議室リストは、認証が成功した後、Tigermeeting Admin アプリに表示されません。
- ルーム リストに新しく追加されたルームは、認証またはルーム リストのロード操作後にリストされません。

これまでのところ、唯一の既知の回避策は、数時間または 1 日後にルームリストを Tigermeeting 管理アプリにインポートすることです。

注: 会議室リスト管理にまったく同じスクリプトを使用するオンプレミスの Exchange Server は、この「同期遅延」バグの影響を受けません。

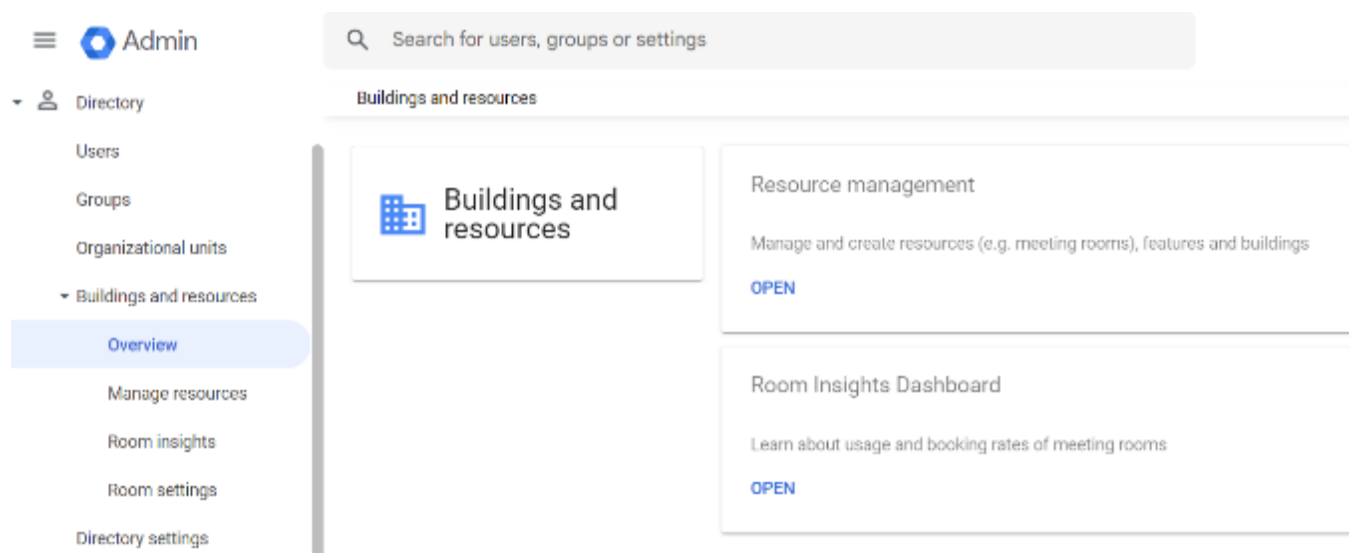
Google Workspace の設定

Google-Workspace 対応アカウントを使用して、会議を同期します。

ルーム リソースの作成と変更は、Google-Workspace 管理ページからのみ可能です。
Tigermeeting はルームリソースを変更しないため、「ルーム情報」と「キャパシティ」は管理アプリケーションで編集できません。

ブラウザを移動して <https://admin.google.com/u/2/ac/calendarresources/resources>

オープンリソース管理



部屋のリソースが配置されている建物を編集および管理します。

Buildings

Search tree

All buildings

Building not set

Building A

Building B

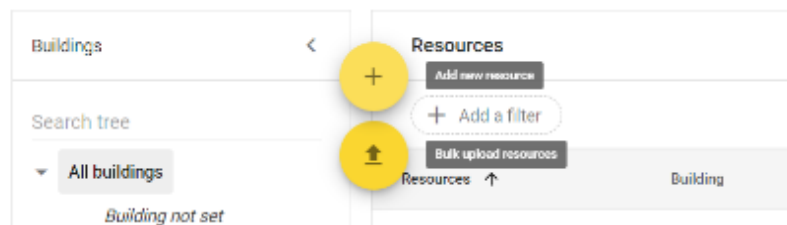
Building C

MANAGE BUILDINGS

Buildings and resources > Resource management > Buildings

Buildings			
	Add building	Bulk upload	Download all
Id	Name	Floors	Address
Test	Building A	First floor, Second floor, Thir...	Wall St, New York, NY, US
Test1	Building B	First floor, Second floor, Thir...	221B Baker Street, London, NW1 6XE, GB
Test2	Building C	First floor	Sorgels Torg, Stockholm, 111 57, SE

新しい会議室リソースを追加する



Add resource

Auto-generated resource name
Building C-First floor-Los Angeles (30)

Category * ⓘ
Meeting space (room, phone booth,...)

Type
e.g. phone booth, mother's room, bike etc.

Building *
Building C

Floor *
First floor

Floor section

Resource name *
Los Angeles

Capacity *
30

Features
Search features

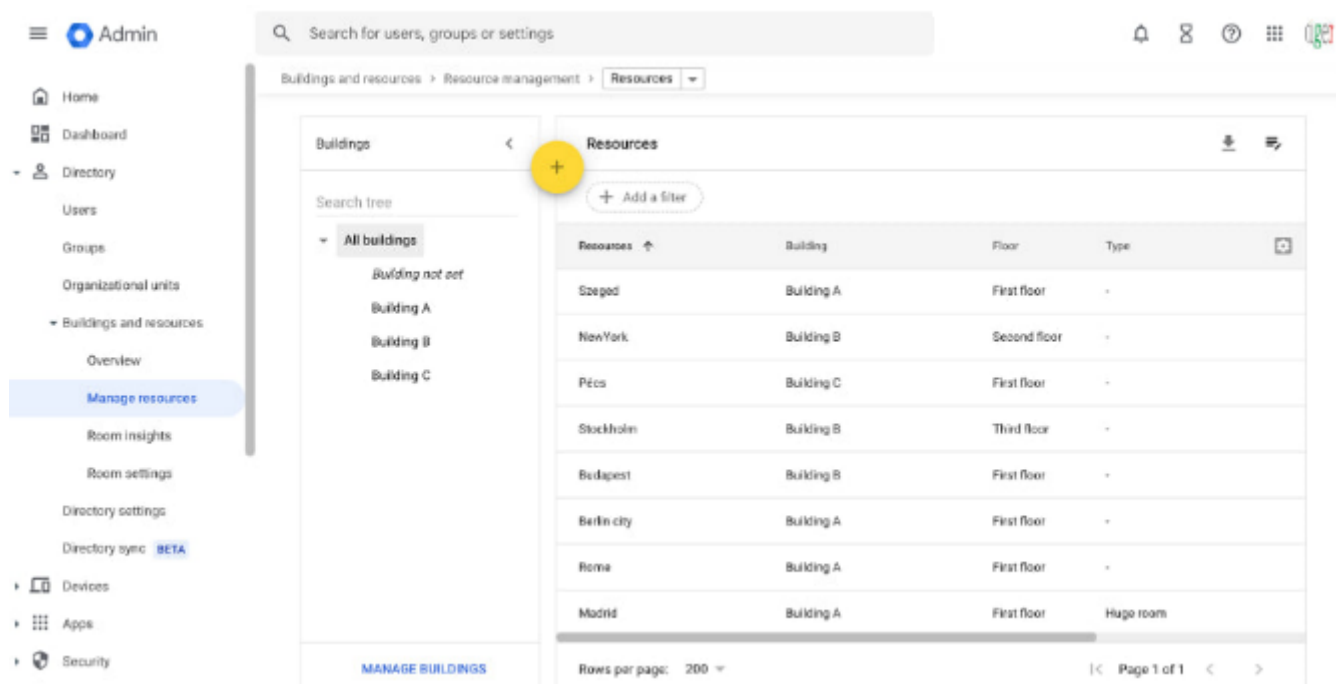
User visible description

[Add description \(internal\)](#)

* indicates a required field

CANCEL [ADD RESOURCE](#)

すべてのルームリソースを追加したら、リストが入力されます。

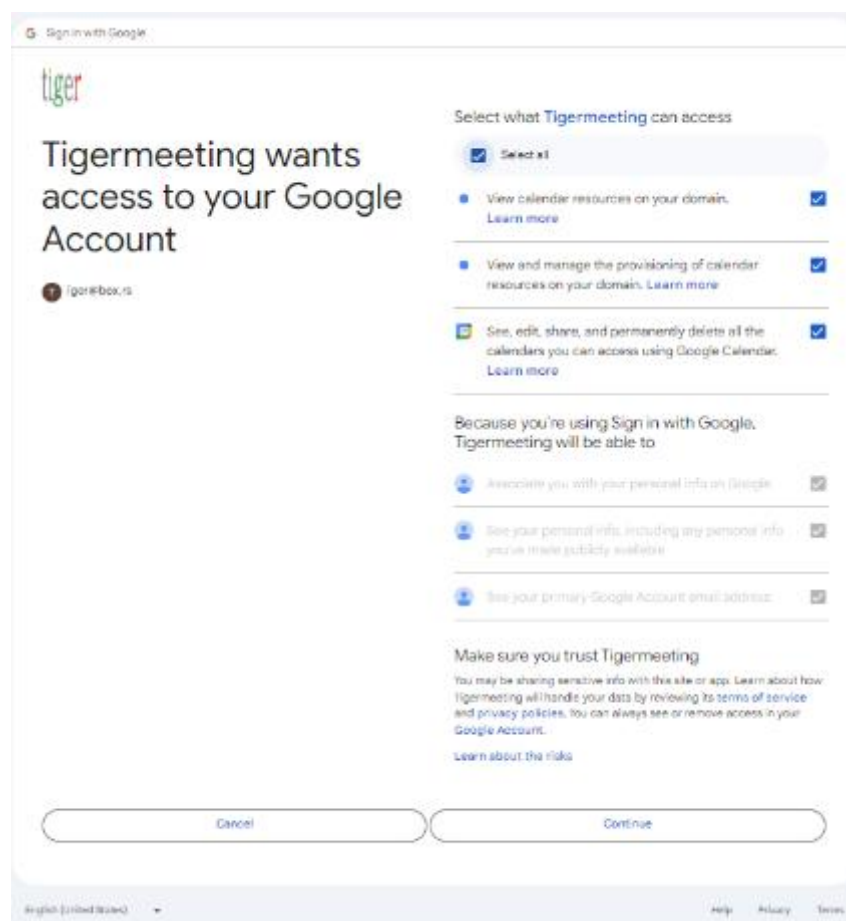
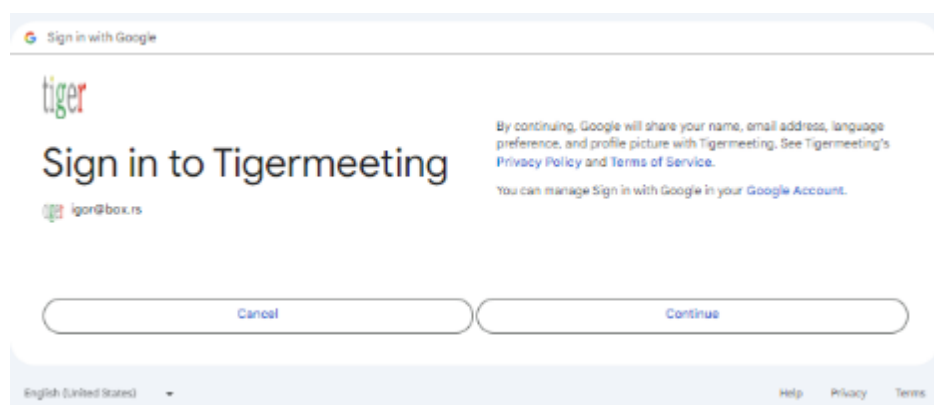


カレンダーが管理アプリに添付されると、すべての会議室リソースが Tigermeeting システムにインポートされ、ライセンスされた画面デバイスに添付できるようになります。

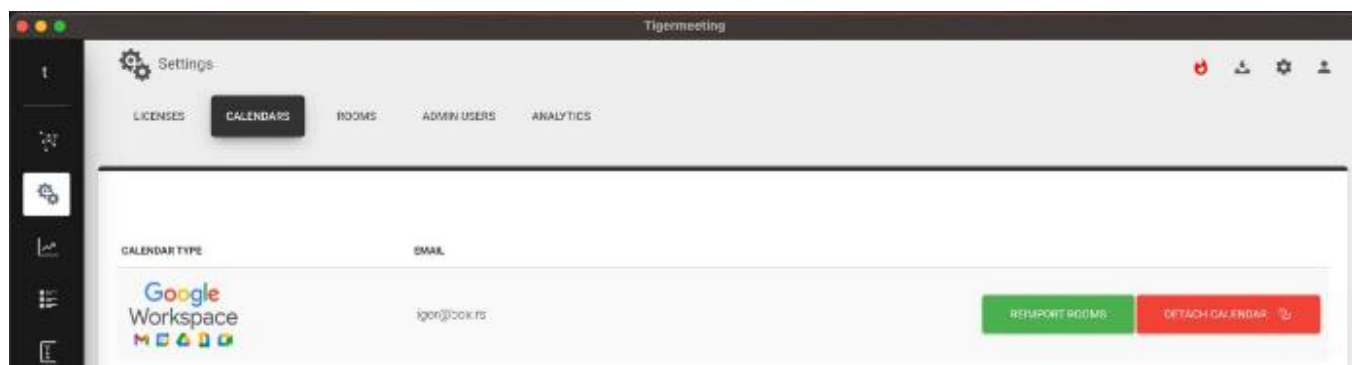
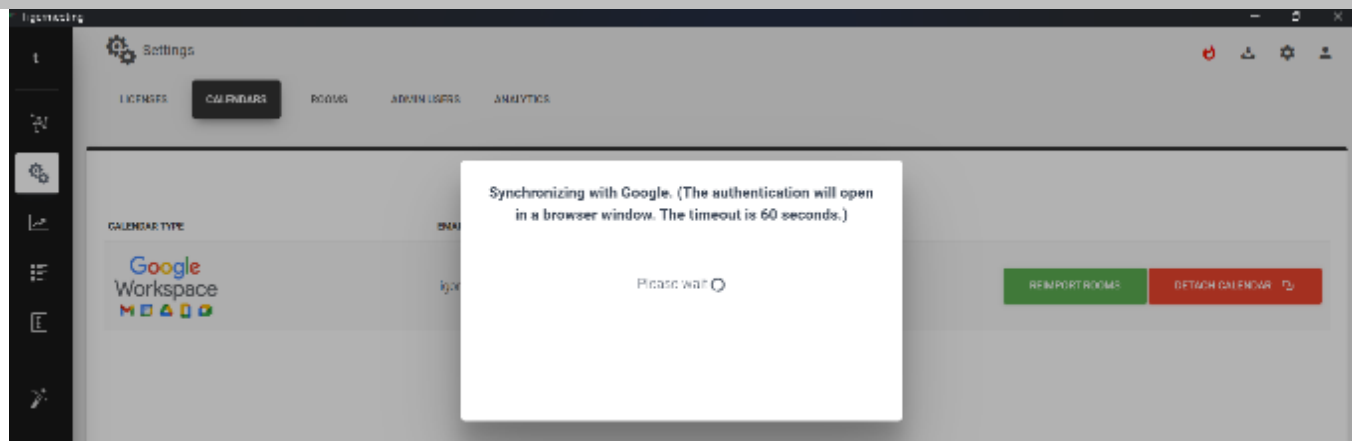
会社のポリシーで必要な場合は、Google 認定の Tigermeeting アプリをホワイトリストに登録してください。エンタープライズ アカウントの Google Workspace 管理者は、ユーザーがアクセスできるアプリケーションを管理できます。

注: 認証では、カレンダーが有効な管理者アカウントを管理者権限でを使用して、カレンダー関連の読み取り/書き込み/削除操作を処理する必要があります

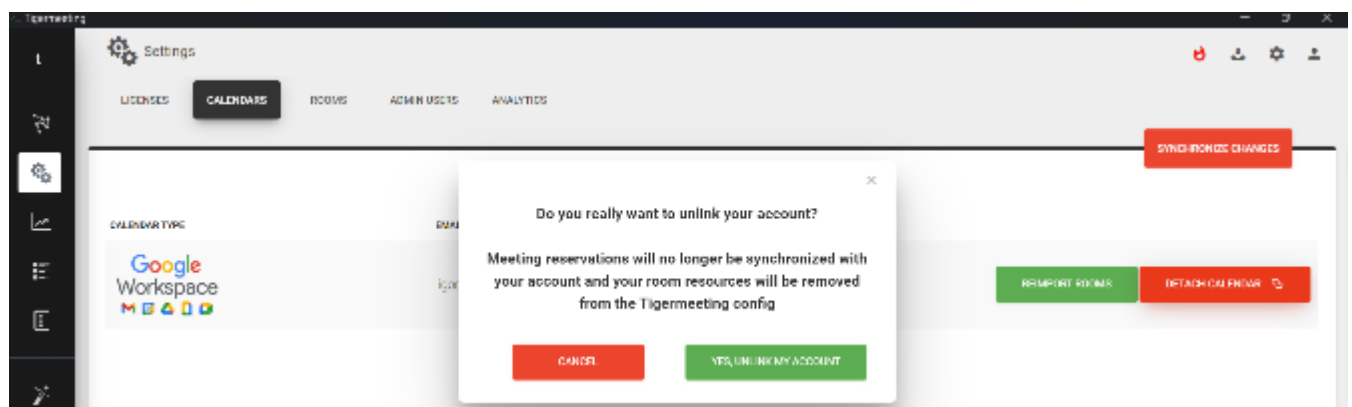
認証: 通常の操作のために Tigermeeting アプリケーションに必要な権限を付与するには、すべてのオプションを選択して同意してください。



認証は 60 秒以内に実行する必要があります。



カレンダーをデタッチすると、Tiger Admin アプリで構成されたすべての会議室設定が失われますが、以前のバックアップを復元すると、会議室の設定を取得できます。



重要な注意事項

- 一. 認証中にすべての権限を付与する必要があります。(次のページの Google カレンダー->認証の図を参照してください)
- 二. 認証プロセスには 60 秒の猶予が与えられますが、それ以降は認証プロセスに有効期限が切れ、繰り返す必要があります。

説明ビデオ

<https://www.youtube.com/watch?v=j1cN9OaIDwU>

Google カレンダーの設定

Google アカウントを使用してシステムをセットアップし、通常の Google アカウントを使用して会議を同期します。

Tigermeeting 管理アプリは、ルームリソースを管理します。Tigermeeting アプリケーションで作成された部屋ごとに、同じ名前の対応するカレンダーリソースが Google カレンダーに自動的に作成されます。

Google カレンダーのリソースは、Google 管理ページから管理できます。会議、定期的な会議、iCalendars のインポートなどを追加できますが、会議室リソースに割り当てられた会議室デバイスを介して透過的になります。

デバイスを介して予約されたミーティングは、実際には対応するリソース カレンダーでミーティングを予約します。

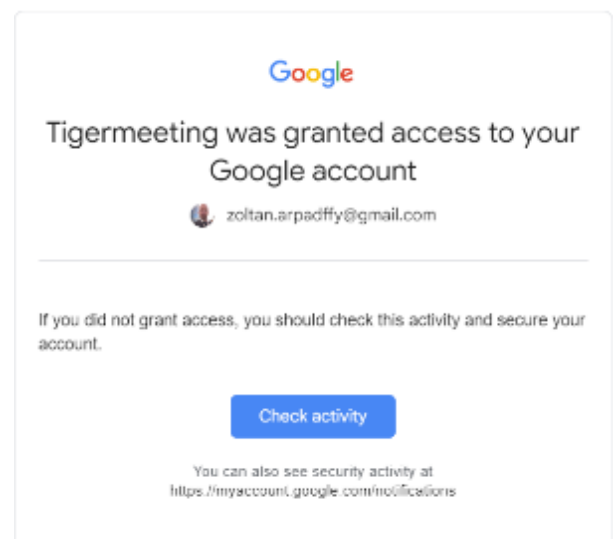
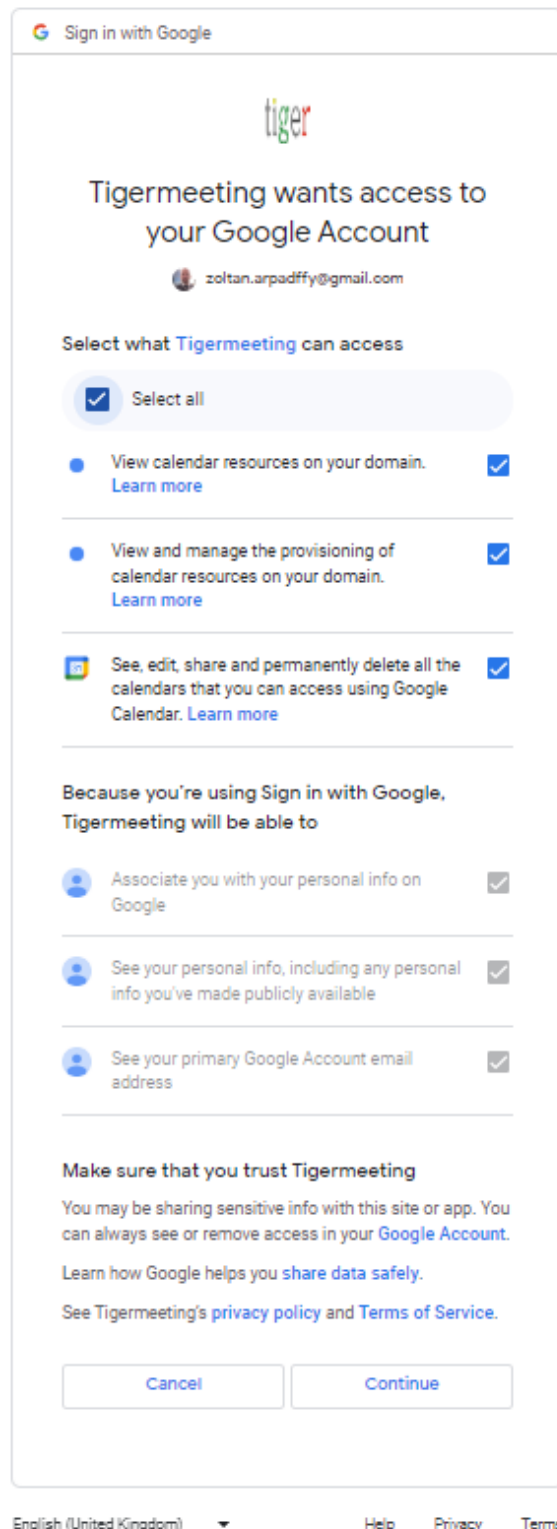
Google カレンダーが切り離されている場合、管理者は Tigermeeting 管理アプリによって作成されたカレンダーリソースを保持または削除することができます。

認証

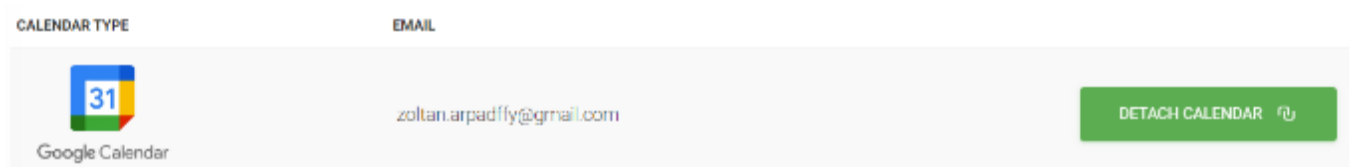
すべてを選択して、Google リソースへのアクセスを許可してください。これは通常の操作に必要です。

Tigermeeting Google 認証アプリ - 認証に使用されますが、カレンダーの操作に必要な絶対的な最小限の権限が使用されます。Google 仕様に従って多要素認証をネイティブにサポートします。

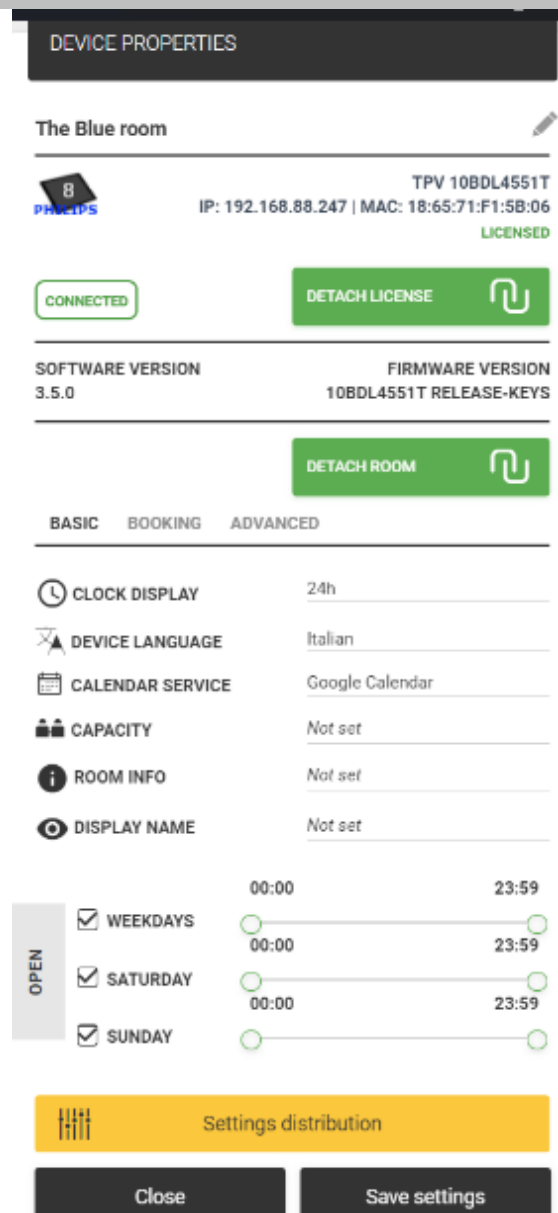
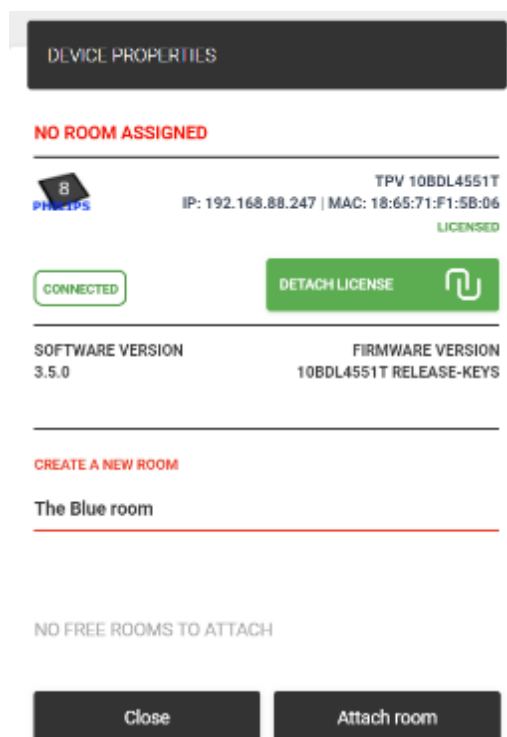
Tigermeeting の Google アプリケーションは Google の厳格な検証プロセスに合格しているため、すべてのオプションを選択して Tigermeeting を信頼することが安全な選択であると考えられています。



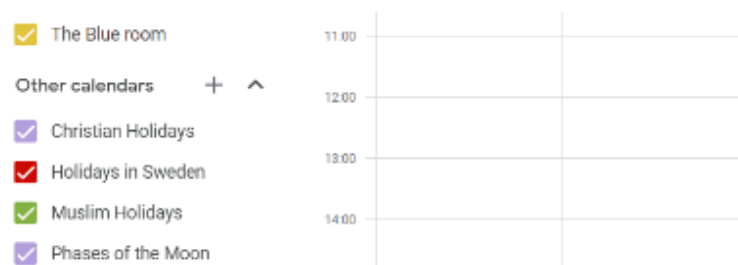
Google カレンダーを添付すると、部屋管理が可能になります。



デバイスのプロパティを編集するだけで、新しい部屋を作成できます。

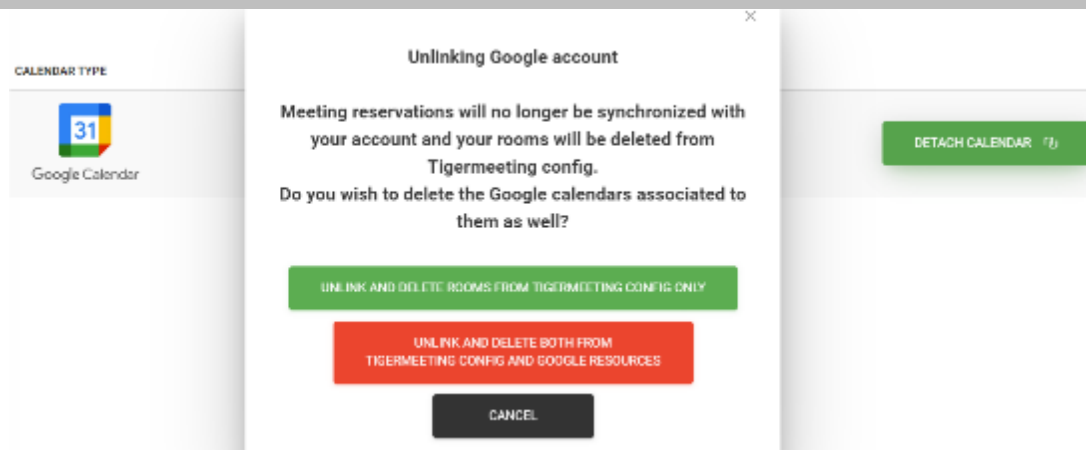


カレンダーはすぐに Google カレンダーに作成されます



作成したカレンダーのコンテンツとイベント(例:The Blue room)は、Google カレンダーでオンラインと予約デバイスの両方で編集できます。[概要] 画面には、他のカレンダーと同様にステータスが表示されます。

Google カレンダーが切り離されると、Tigermeeting 管理者は、管理アプリによって作成されたこれらのカレンダーリソースを削除するか、保持するかを選択できます。



オプションは次のとおりです。

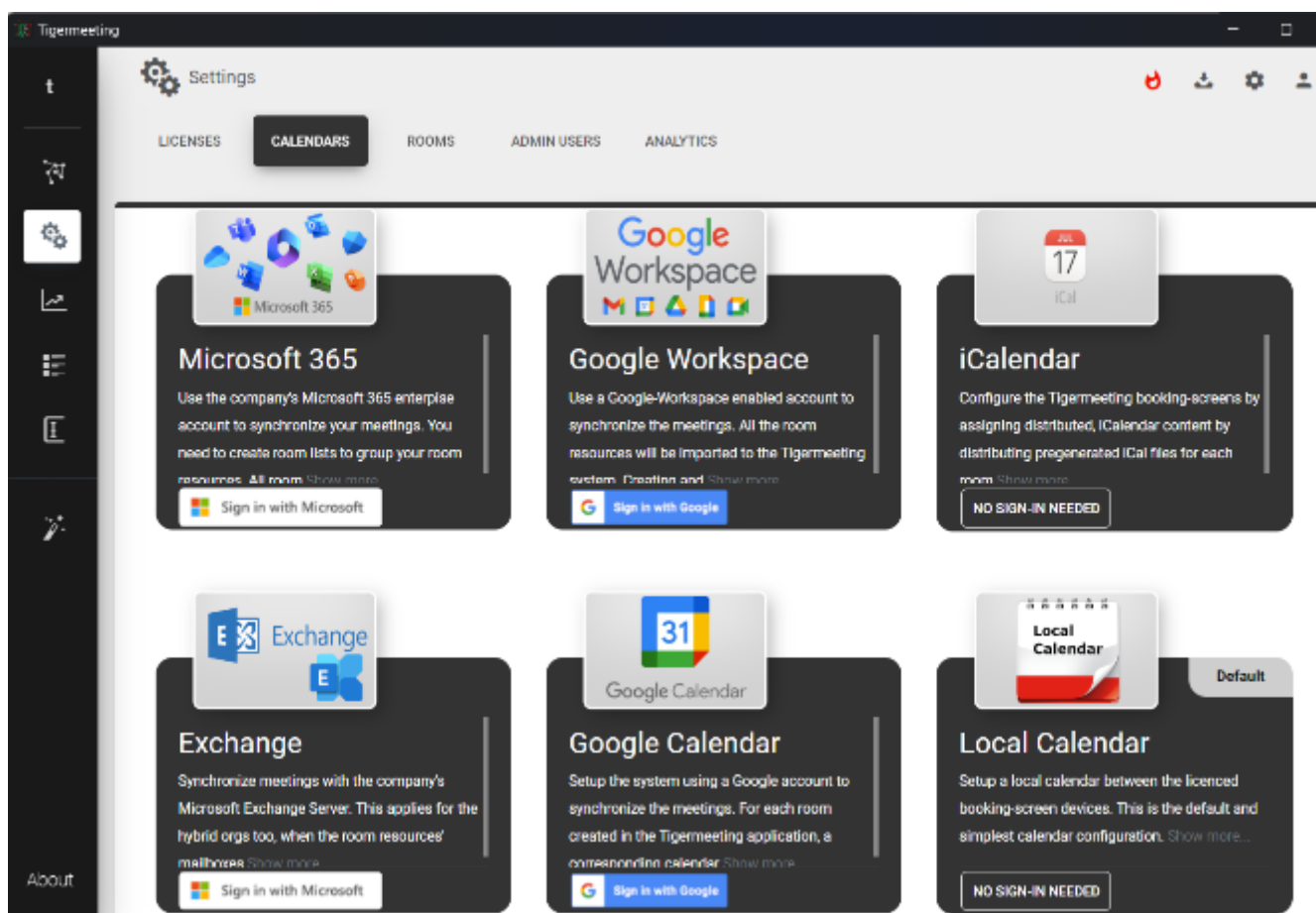
- Tigermeeting 設定からルームのリンクを解除して削除する(**緑色**)のみ–ユーザーの Google カレンダーに変更は実行されません。カレンダーのみが切り離され、Tigermeeting 構成が削除されます。
- もう一方の場合 (**赤色**) – 管理アプリは、ユーザーの Google カレンダーからすべてのカレンダー (「ルームの作成」プロセスによって作成されたカレンダー) をクリーンアップして削除します。他のすべてのカレンダーは変更されません。(このオプションは、カレンダーの削除が関係するため、より「暴力的」ですが、重複した部屋名やその他の混乱を避けるために、管理アプリがユーザーのカレンダーをクリーンアップして作成したカレンダーを管理アプリが削除するため、これは安全な操作です)
- キャンセル – 何もせず、カレンダーの切り離し操作をキャンセルします。

iCalendar カレンダーの設定

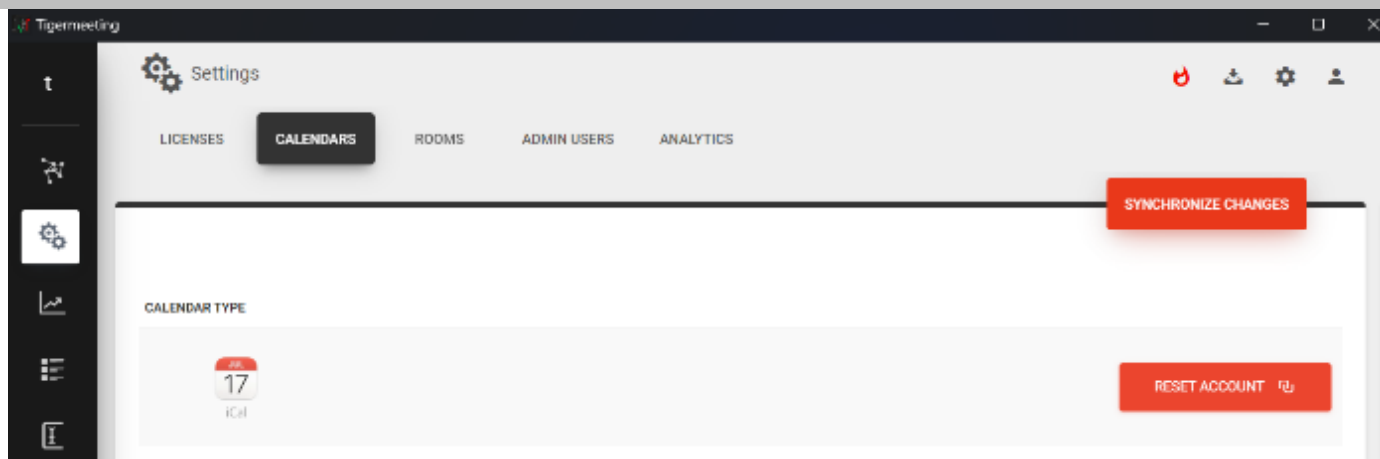
これは、事前に生成された iCal ファイルを通常の Web サーバー経由で RFC 5545 仕様に準拠した形式で公開する簡単で便利な方法です。これは、学校や大学の運用のユースケースに適した、比較的静的なカレンダーを大量に配布するための非常に効率的で費用対効果の高い方法です。

iCalendar ファイルは、ほとんどの場合、広く利用可能な iCalendar ジェネレーター プログラムの 1 つによって作成されます。Tigermeeting の柔軟な設計により、iCal ファイルの置き換えと更新が可能です。ファイルを指す URL が変更されない限り、ルーム構成を更新する必要はありません。

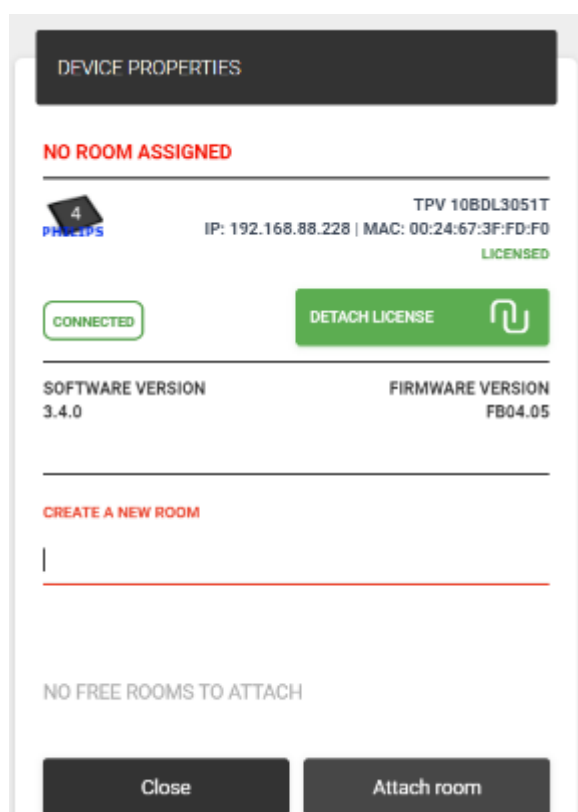
この機能は、商用オンライン カレンダー サービス (Google や Microsoft など) に高額なコストを支払うことができない、または高額な費用を支払うことを望まないすべての顧客にとって、費用対効果の高い会議室管理の新時代を開きます



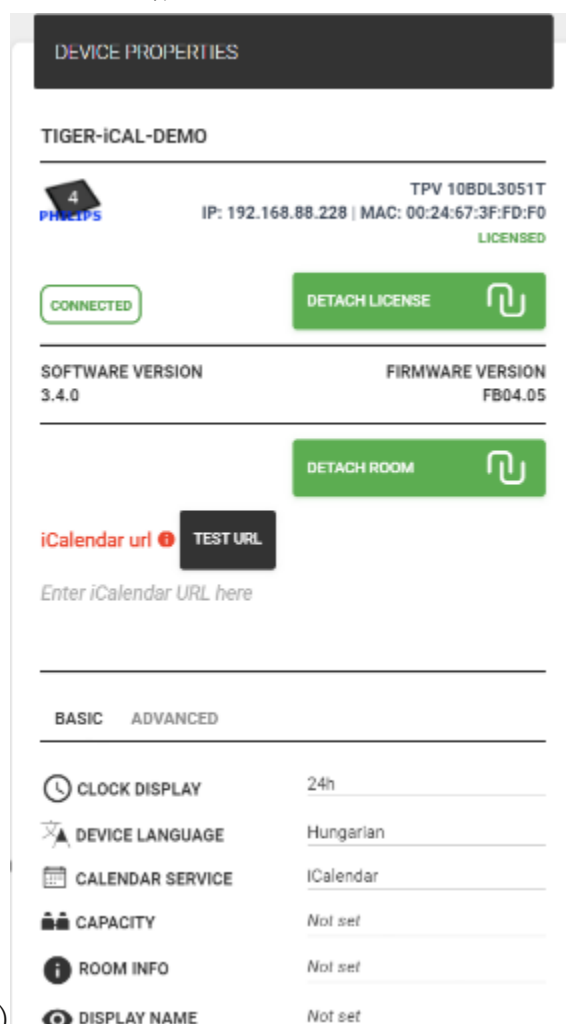
「iCalendar」を選択し、変更を同期します。



[ネットワーク] メニューでデバイスを選択し、プロパティを編集します



a) --> b)



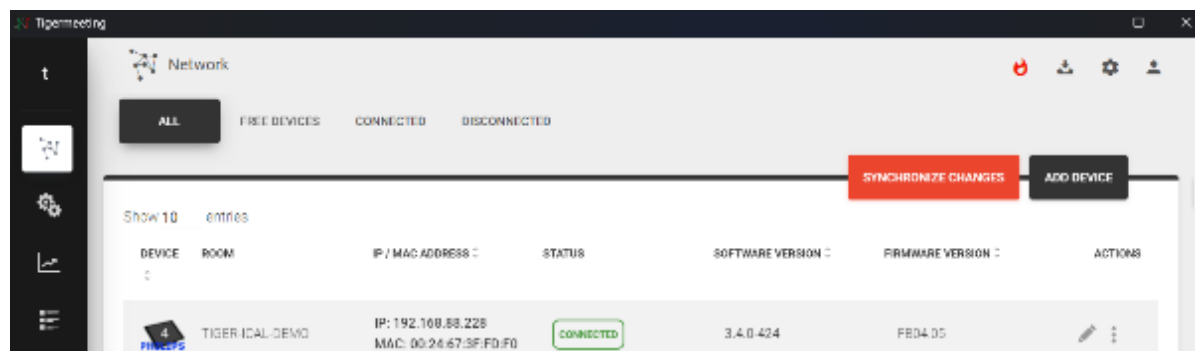
a) ルームの名前を入力して、新しいルームを作成します。

b) この部屋のカレンダーイベントを提供する iCal ファイルを指す URL を入力できます。URL の有効性とアクセシビリティをテストするには、TEST URL ボタンを押してください。

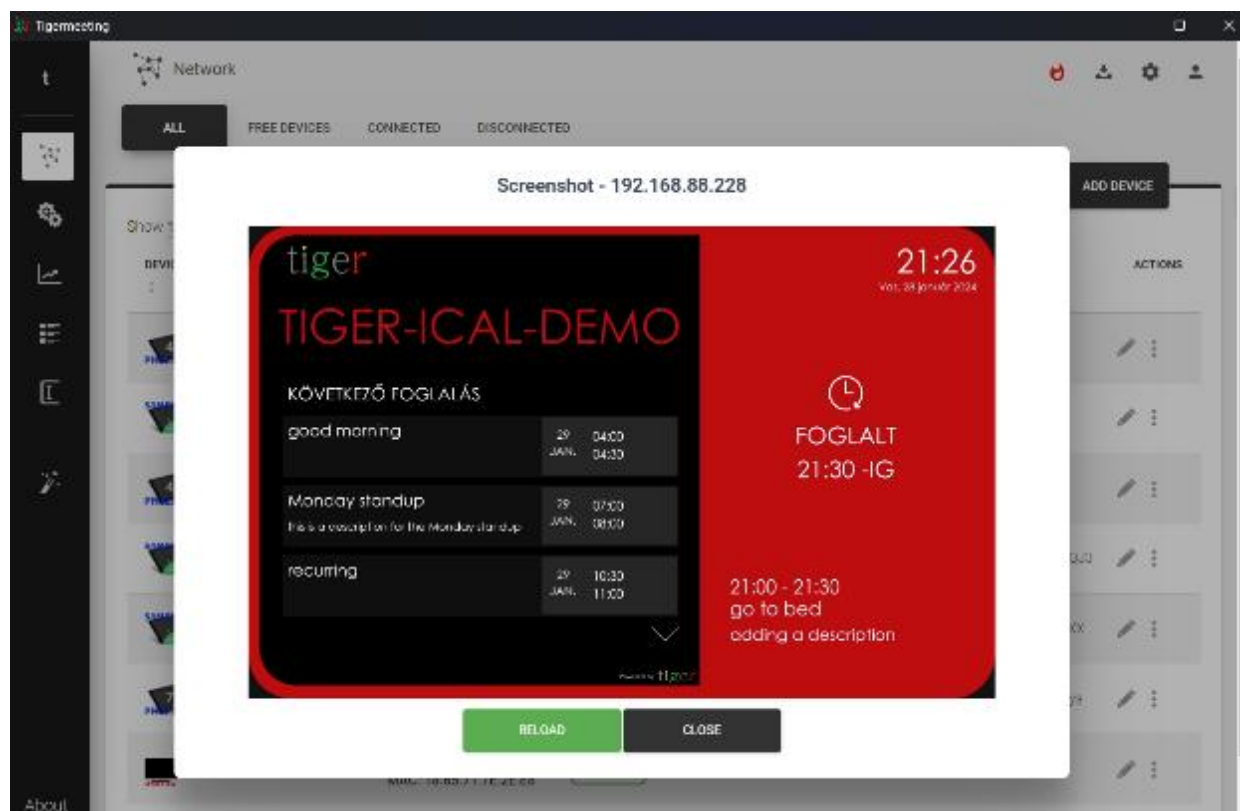
注:iCal ファイルの最大サイズは 10Mb ですが、iCal ファイルは変更できます-設定された URL に到達できる限り、Tigermeeting の予約、および概要画面は、新しいファイルの内容に続いて正常に機能します。



変更を同期して、設定をデバイスに展開します



デバイスのスクリーンショット（または近くにある場合はデバイス画面）を変更して構成をテストします



一般的なカレンダー機能

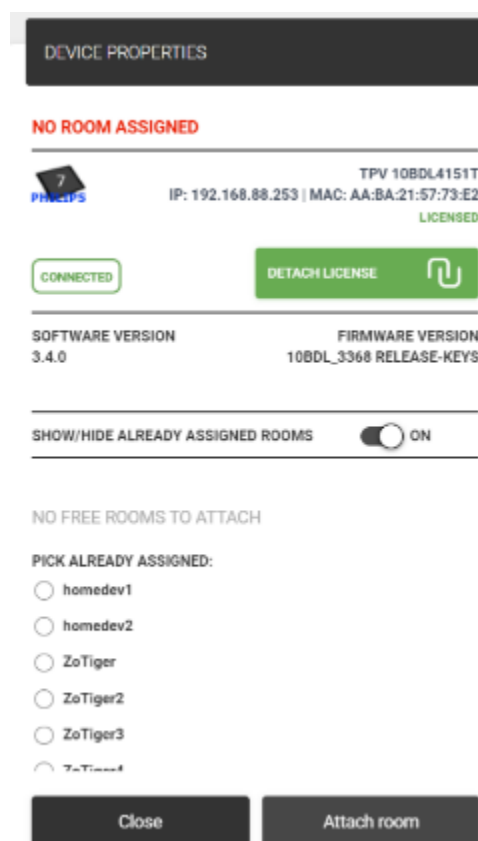
Tigermeeting は、すべての主要なカレンダーと互換性があります。カレンダーには特定の機能がある場合がありますが、Tigermeeting は常にすべてのカレンダーで可能な限り共通の機能セットを提供するよう努めています。

複数の入り口のある部屋

部屋に複数の入り口がある場合がある。複数のデバイスでまったく同じ部屋のステータスを表示することが望ましいです。Tigermeeting は、すべてのカレンダーでこの機能をサポートしています。

まだ会議室が接続されていないデバイスでは、「割り当てられた会議室を表示」を選択します

次に、すでにデバイスが割り当てられている部屋を選択できます。これにより、1つの会議室(カレンダーリソース)に必要な数のデバイスを接続できます



複数のデバイスを同じカレンダー リソースに接続した結果、すべてのデバイスに同じステータス、次の会議などが表示されます

注: いずれかのデバイスで会議がキャンセルまたは確認されていない場合、会社のカレンダーを含むすべてのデバイスで会議がキャンセル/終了します。

ルームの「表示名」

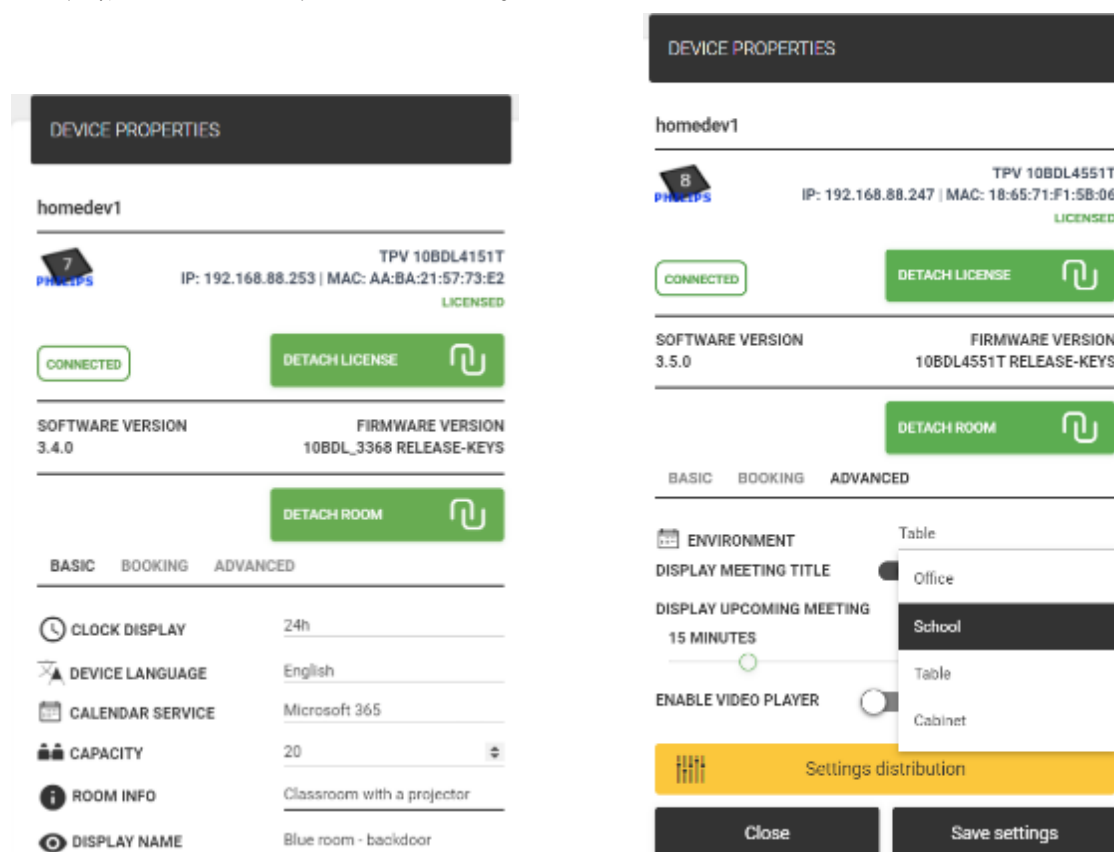
カレンダー リソース名は、組織の LDAP またはディレクトリ サービスの命名規則に従って、非常に不可解で一般的な組織名になる可能性があります。

デフォルト名は、ルームのエイリアス/表示名を追加することで簡単に上書きできます。

編集可能で説明的な「会議室情報」

部屋の説明情報を追加すると、部屋の予約時に適切な部屋を特定または選択するのに役立ちます。

会議室情報は、概要画面にも表示されます。



環境の選択

異なる環境または混合環境で同じソリューションを使用します。オフィスでは会議室を予約し、学校では教室の時間割を表示し、必要に応じてテーブル、机、キャビネットを予約します。特定の環境と目的に最適なさまざまな画面サイズのさまざまなデバイスを自由に組み合わせます。

環境パラメータは、教師用の会議室、生徒用の教室、特別クラス用の予約可能なデスクなど、混合環境を作成する可能性を与えるデバイスに割り当てられます。

専用画面のサポート

市場には、会議室のディスプレイなど、多くの特殊なスクリーンがあります

Tigermeeting は、フィリップス TPV10 インチシリーズスクリーン、ProDVX スクリーン、Aurora マルチメディアデバイス、IAdea、ALLNET、Qbic テクノロジースクリーンなど、それらのいくつかをネイティブサポートしています。

サポートされているデバイスは、ほとんどの操作を実行できますが、サプライヤーやモデルによって異なる場合があります。

- スクリーンショット
- リブート
- LED サイドとバックライト(色の変化、LED のオン/オフ、LED の輝度)
- Tigermeeting ソフトウェア(APK)のアップグレード
- ファームウェアのアップグレード

LED バックライトカラー

LED バックライトとテーマカラーは、ユーザーが部屋の状態を判断するのに役立ちます。

緑色のライトは、部屋が利用可能になったことを意味します。

黄色:部屋が占有されようとしています(時間制限は管理アプリケーションで設定できます)。

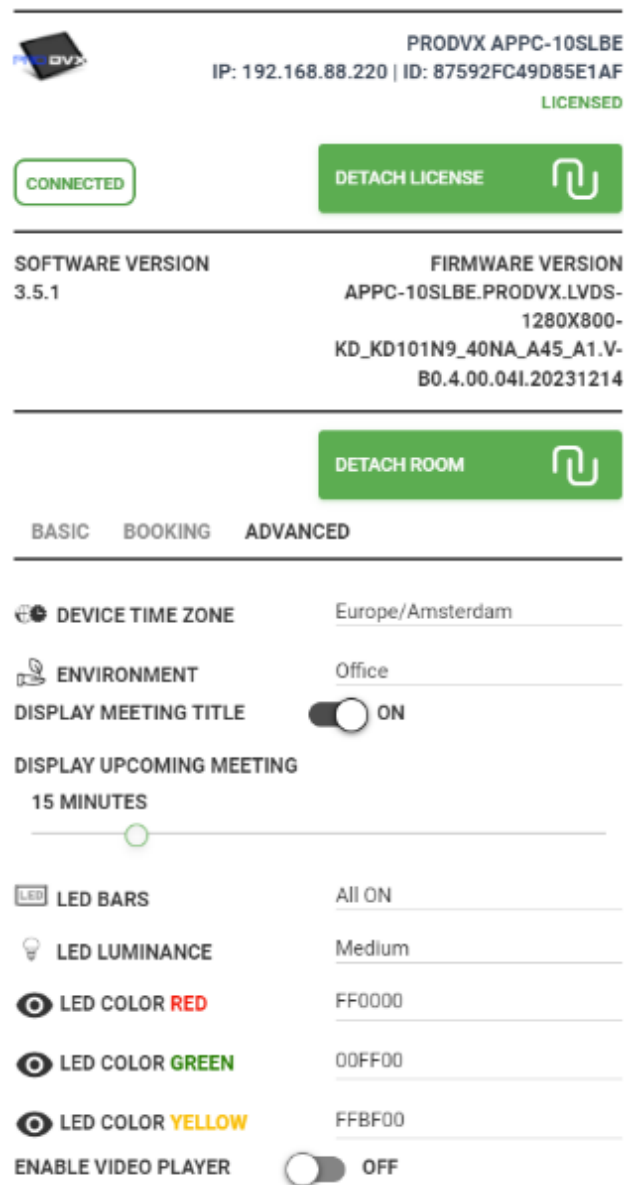
赤は、会議室が混雑しており、予約できないことを示します。ただし、各予約画面で、ユーザーは他の利用可能な部屋のリストを見つけたり、簡単な方法でリモートで会議を予約したりできます。

使用されるデフォルトの LED バックライト カラー コードは次のとおりです。

- **赤:**0xFF0000
- **緑:**0x00FF00
- **黄色:**0xFFDF00

これらの色は、RGB 範囲全体をサポートするデバイスの管理アプリから変更できます。

カラー入力の下の子バーは、入力した値が正しい RGB 値であるかどうかを示します。入力間違っている場合は、デフォルトの色が使用されます。



PROD VX APPC-10SLBE
IP: 192.168.88.220 | ID: 87592FC49D85E1AF
LICENSED

CONNECTED DETACH LICENSE

SOFTWARE VERSION 3.5.1 FIRMWARE VERSION APPC-10SLBE.PROD VX.LVDS-1280X800-KD_KD101N9_40NA_A45_A1.V-B0.4.00.04I.20231214

DETACH ROOM

BASIC BOOKING ADVANCED

🌐 DEVICE TIME ZONE Europe/Amsterdam

🏢 ENVIRONMENT Office

DISPLAY MEETING TITLE ☒ ON

DISPLAY UPCOMING MEETING 15 MINUTES

📺 LED BARS All ON

💡 LED LUMINANCE Medium

🔴 LED COLOR RED FF0000

🟢 LED COLOR GREEN 00FF00

🟡 LED COLOR YELLOW FFBF00

ENABLE VIDEO PLAYER ☐ OFF

LED 輝度

LED バーの輝度/明るさは、低、中、高の間で設定できます。

LED ライトの位置

Tigermeeting は、次の LED ライト位置をサポートしています。

- すべてオフ – すべての LED がオフになっています
- オールオン – 利用可能なすべての LED が点灯します
- 側面のみ – 画面の左右の LED のみが点灯します
- 上部のみ – 画面上部の LED ストラップのみが使用されます
- 前面のみ – 画面上の前面 LED ストラップ/ボタンのみ(QBic や IAdea など)
- 下部のみ – 画面下部の LED ストラップのみが使用されます
- 角のみ – 画面の角のみが点灯します

これらすべての LED 状態を処理できるデバイスの数は非常に限られており、その良い例は ProDVX APPC-10SLBE、S シリーズ、および新しい ProDVX スクリーンです。

PRODVX APPC-10SLBE
IP: 192.168.88.220 | ID: 87592FC49D85E1AF
LICENSED

CONNECTED DETACH LICENSE

SOFTWARE VERSION 3.5.1 FIRMWARE VERSION APPC-10SLBE.PRODVX.LVDS-1280X800-KD_KD101N9_40NA_A45_A1.V-B0.4.00.04I.20231214

DETACH ROOM

BASIC BOOKING ADVANCED

🌐 DEVICE TIME ZONE Europe/Amsterdam

🏢 ENVIRONMENT Office

DISPLAY MEETING TITLE ☒ ON

DISPLAY UPCOMING MEETING 15 MINUTES

LED LED BARS All ON

💡 LED LUMINANCE

👁️ LED COLOR RED

👁️ LED COLOR GREEN

👁️ LED COLOR YELLOW

ENABLE VIDEO PLAYER ☐

Settings display

Close Save settings

重要な注意: デバイスに要求されたすべての LED バーがない場合、または LED バーを地域に分割することがサポートされていない場合、デバイスの LED バーが期待どおりに動作しない可能性があります。その場合は、安全なフォールバックとして All ON をご利用ください。

LED オン間隔

LED が点灯しているときの間隔を選択することができます—この間隔外では LED ライトがオフになります。

オフィスが空いている一晩中、LED ライトが点灯している必要はないかもしれません。
省エネのため、輝度を下げるか、使用しない日中はスイッチを切ることをご検討ください。

 LED BARS	All ON
 LED LUMINANCE	High
 LED COLOR RED	FF0000
 LED COLOR GREEN	00FF00
 LED COLOR YELLOW	FFDF00
 LED ON INTERVAL	00:00-23:59

これはスケジューラではなく、日次間隔セレクタです。
この間隔を過ぎると、LED ライトが消灯します。

注意: 画面モデルが TigermeetingAndroid アプリケーションで完全にサポートされていない場合、LED バーは機能しません。

Tigermeeting カスタマーサポートに相談して、LED ライトがデバイスでサポートされていることを確認してください。

画面オン間隔

画面の ON 間隔は、通常の動作時間枠を指定します。
画面の ON 間隔の外では、画面がオフになります。

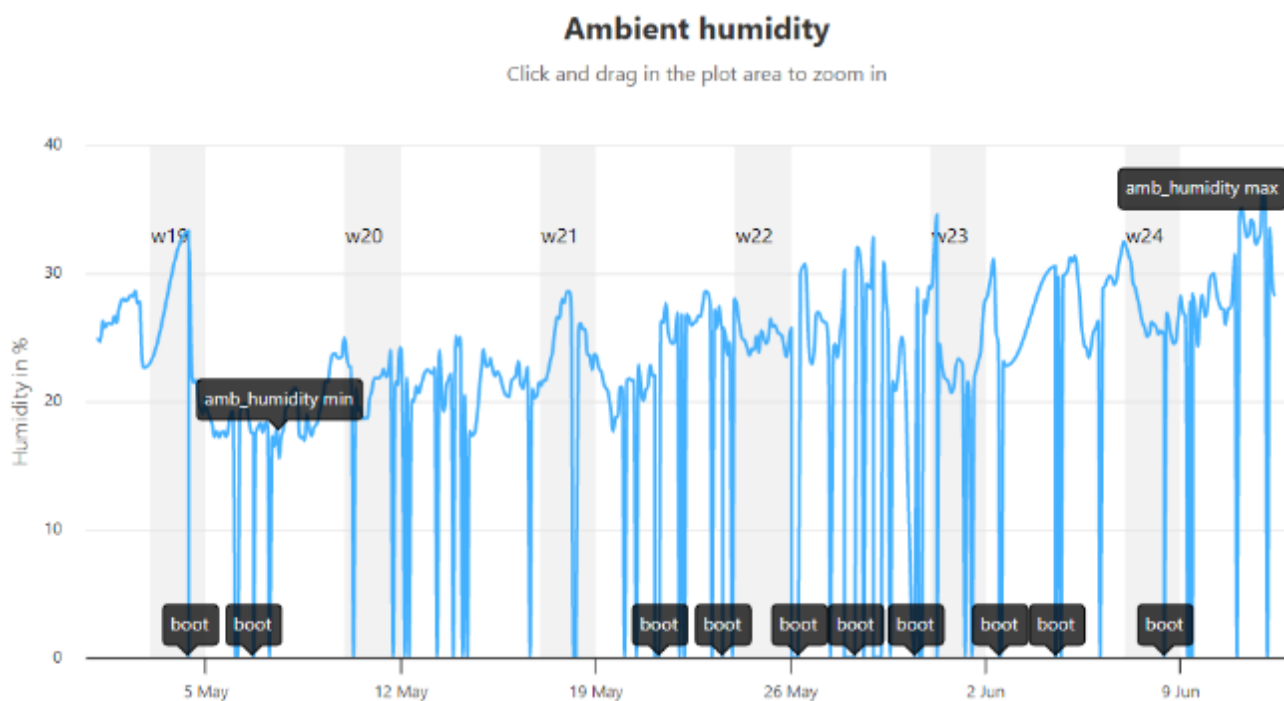
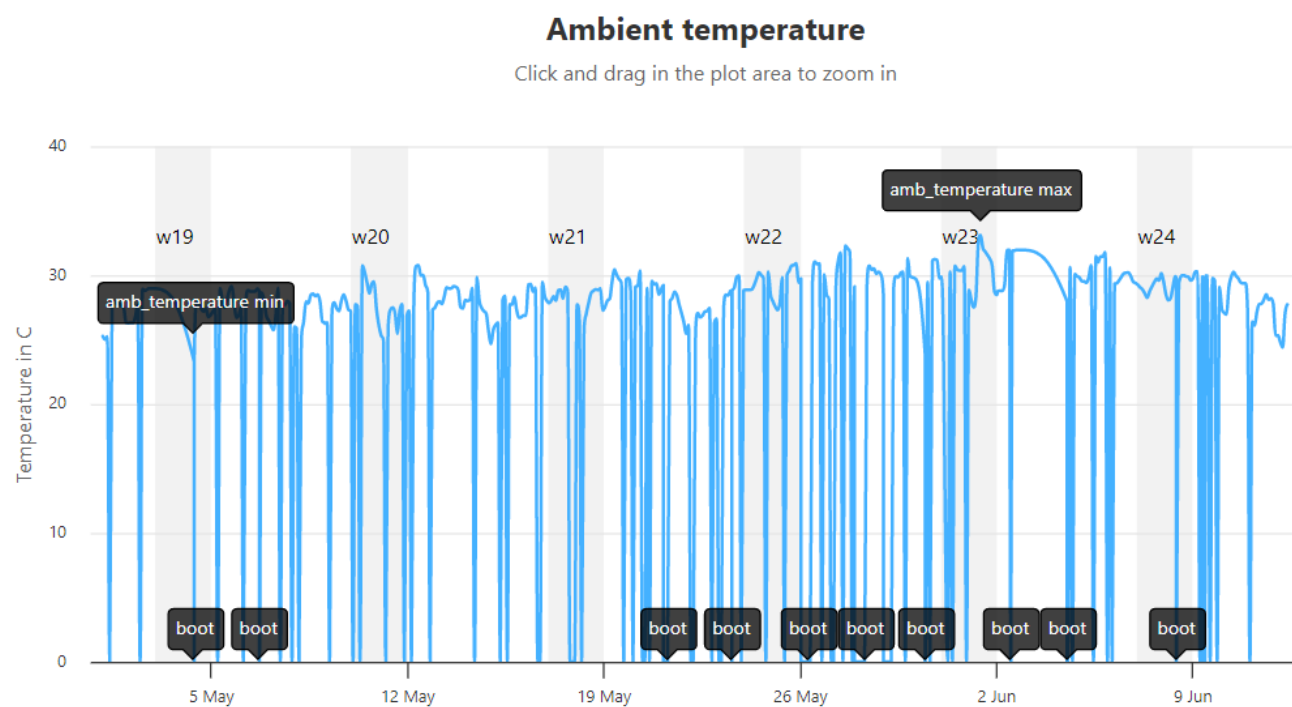
 LED ON INTERVAL	07:00-21:00
SCREEN ON INTERVAL	05:00-20:00
SHOW PRODUCT BRANDING	 ON

注: 会議関連のイベントや画面をタッチすると、画面が短時間起動します。
この機能は、LED が点灯している、画面がオフになっているなど、最終的にオーバーラップすることができます。
これはスケジューラ機能ではなく、毎日のインターバルベースのオン/オフサービスです。

周囲温度と湿度

周囲温度、湿度、その他のセンサーをサポートするデバイスでは、Tiger アプリケーションは

、プレゼンテーションまたは分析の目的でこのデータを読み取り、表示、および収集できます。

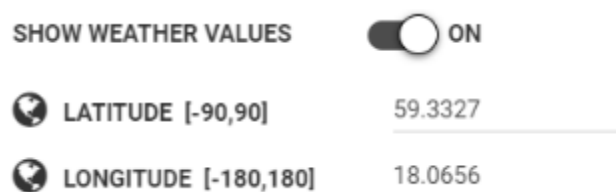


気象情報

周囲温度機能は周囲センサーを搭載したデバイスに限定されていますが、気象情報はすべてのデバイスで利用できます。

この機能には Tigermeeting クラウドへのアクセスが必要ですが、他の外部リソースは使用されません。

「天気の色を表示」オプションを有効にすると、デバイス(または分布全体)の緯度と経度の位置を設定することができます



緯度と経度の座標は、数字を使用して地球上の任意の場所を特定するのに役立つことに注意してください。

緯度は、赤道(緯度 0°)からどれだけ北か南かを測定します。

- 正の数 (+45° など) は、北半球にいることを意味します。
- 負の数 (-30° など) は、南半球に配置されます。

経度は、本初子午線(経度 0 度)から東または西の距離を測定します。

- 正の数 (+120° など) は、東半球にいます。
- 負の数 (-75° など) は、西半球に配置されます。

したがって、「北緯 45 度、西経 75 度」と書く代わりに、単に 45、-75 と書くだけです。

例：

Chicago 41.8781° N, 87.6298° W 	London 51.5072° N, 0.1276° W 	Copenhagen 55.6761° N, 12.5683° E 	Buenos Aires 34.6037° S, 58.3821° W 	Melbourne 37.8136° S, 144.9631° E 
緯度: 41.8781 経度: -87.6298	緯度: 51.5072 経度: -0.1276	緯度: 55.6761 経度: 12.5683	緯度: -35.6037 経度: -58.3821	緯度: -37.8136 経度: 144.9631

温度 (選択した温度単位) と相対湿度 (パーセンテージ) は、テーマの使用法とは無関係にデバイスに表示されます。

プレゼンテーションモードは、主要な温度単位(基本設定)をサポートします。



画面に温度と湿度のアイコンが表示されます。すべてのテーマがサポートされています。



注: 気象サービスは、インターネット接続を必要とするキャッシュされたオンラインサービスです。キャッシュの有効期間は約 15 分であるため、気象値と温度単位の変化(摂氏から華氏、ケルビンなど)が画面上で更新されるまでに約その時間がかかります。

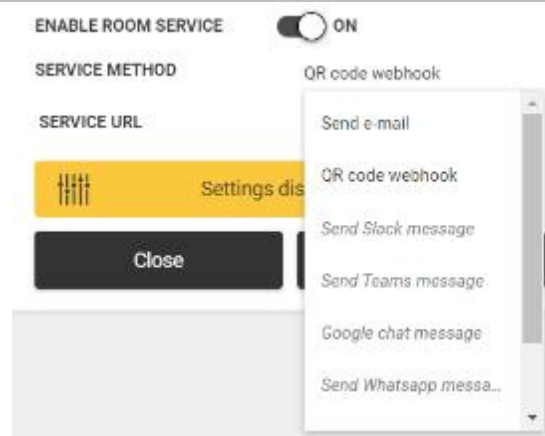
ルーム サービスの構成

会議室、机、教室のメンテナンス、ルームサービス、またはその他の種類の注意が必要なユースケースがあります。

Tigermeeting ルーム サービスは、適切なアクションを実行できる企業のコミュニケーションチャンネルとの統合を可能にすることで、この要件を満たします。

現在サポートされている通信チャンネルは次のとおりです。

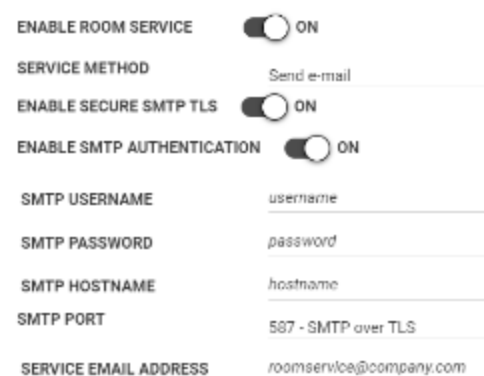
- メールを送る
- QR コードをスキャンする
- Slack メッセージ(まだ統合されていません)
- Teams メッセージ (まだ統合されていません)
- Google チャット メッセージ(まだ統合されていません)
- Whatsapp メッセージ(まだ統合されていません)
- 電報メッセージ(まだ統合されていません)
- WeChat メッセージ(まだ統合されていません)



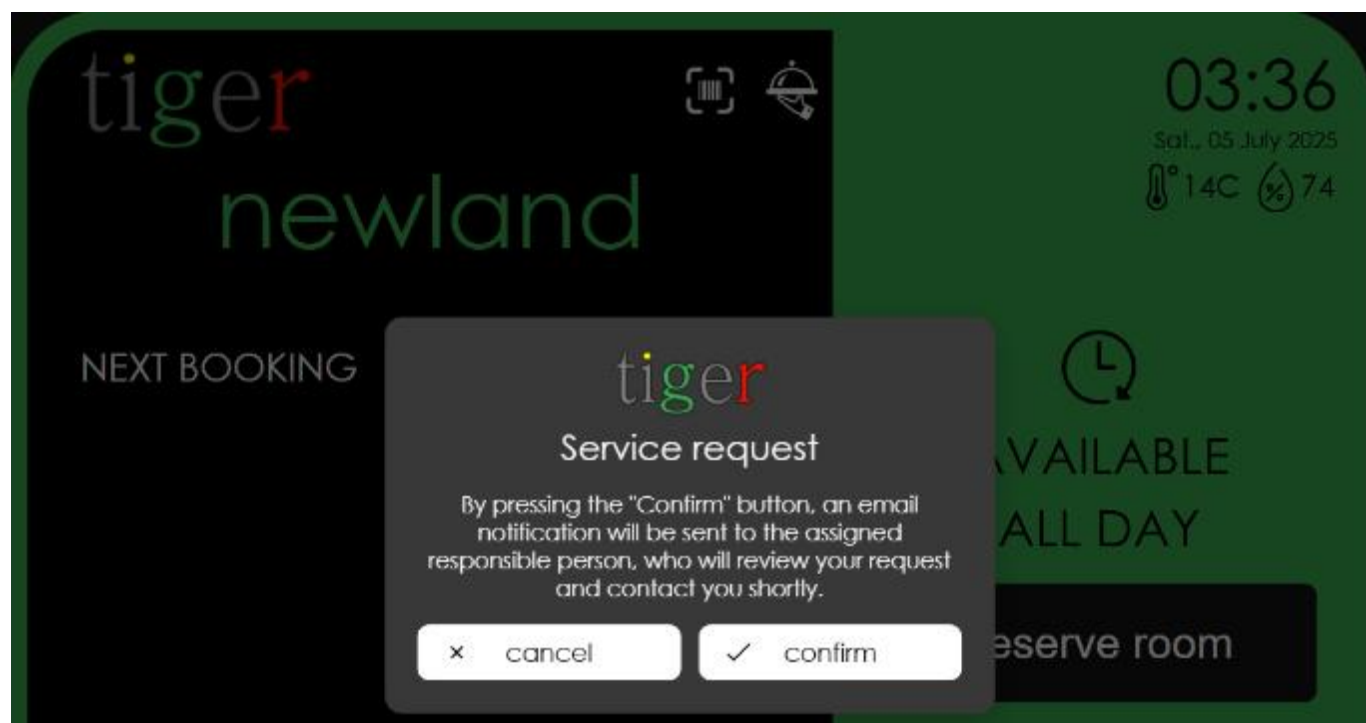
メール送信

カレンダーリソース(会議室、教室、デスク)から設定された電子メールアドレスに電子メールを送信します。

このサービスでは、SMTP サーバー パラメーターを構成する必要があります。



画面に「ルームサービス」アイコンを押すと、ダイアログが表示されます。



ルーム サービス機能は、NFC-SERVICE-AUTH および NFC-SCANNER-AUTH 認証パラメーターに関連付けて、サービスの悪用を回避できます。

QR コード Webhook

会社の Webhook リソースを指す URL を含む QR コードを画面に表示します。

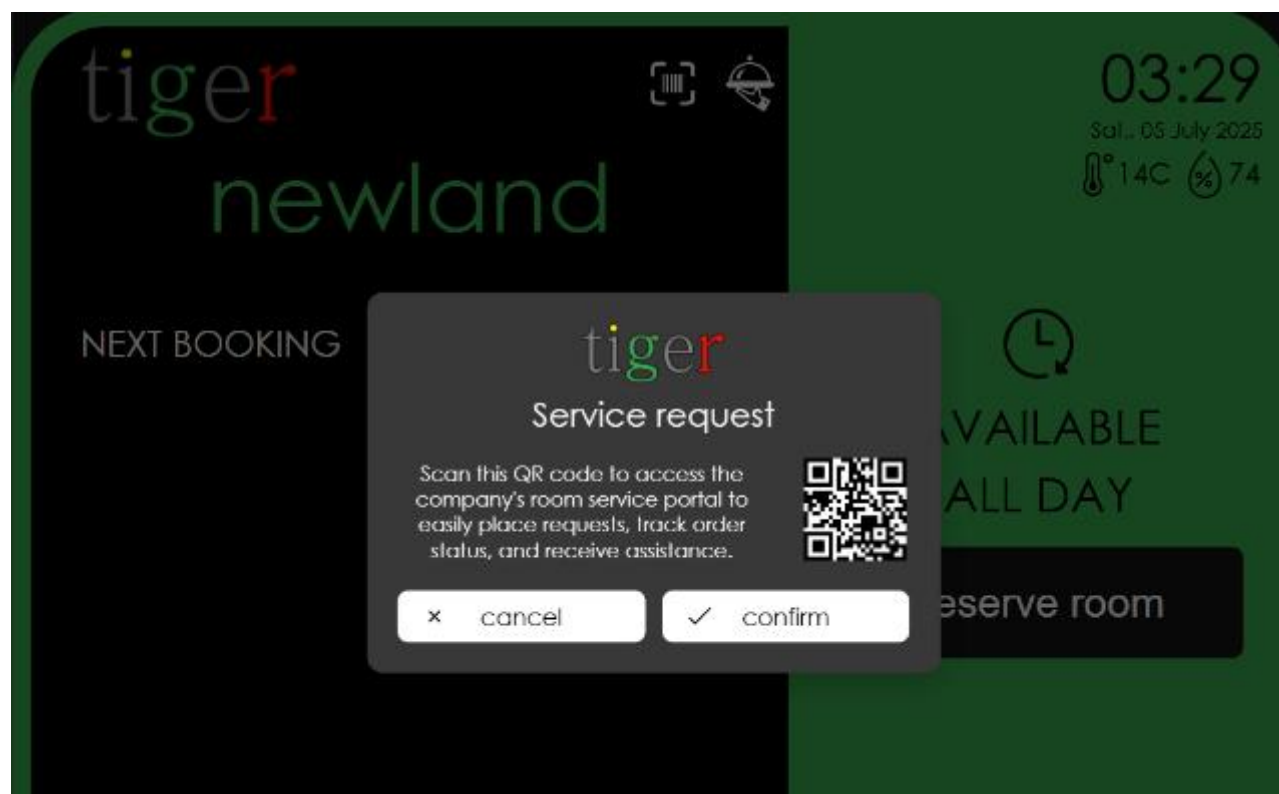
これは、ポータル サイトがユーザー認証、各リソースに関連するサービス オファリングを適切に処理できるため、ルーム サービス機能の好ましい理由です。



注: Tigermeeting は、カレンダー リソース ID を会社固有のサービス URL にパラメータとして追加します。

例: `https://company.com/roomservice/?resource="STHLM-P-Jupiter"`

画面に「ルームサービス」アイコンを押すと、指示付きのダイアログが表示されます。



NFC

NFC (近距離無線通信) は、2 つのデバイスが非常に近い場合 (通常は 4 センチメートル以内) にデータを交換できるようにする短距離ワイヤレス テクノロジーです。

NFC テクノロジーは、次のような広く使用されています。

- 非接触型決済 (Apple Pay、Google Pay、Samsung Pay など)
- スマートフォンをタップしてヘッドフォンまたはスピーカーとペアリングする
- 交通機関カードまたはアクセスバッジのスキャン
- ポスター、パッケージ、または博物館の展示品のスマートタグを読み取る

NFC は、電磁場を使用して、受電デバイス (電話など) と別の NFC 対応デバイスまたはパッシブタグ間の通信を可能にすることで機能します。NFC は RFID と同じ技術に基づいていますが、より安全でインタラクティブです。

Tigermeeting の NFC 認証実装

NFC リーダーがあり、デバイス設定で NFC 機能がオン/許可されているデバイスでは、Tiger アプリケーションは次のテクノロジ タグをフィルター処理して読み取ります。

- **Ndef:** これは、NFC Data Exchange Format (NDEF) メッセージを交換するための標準プロトコルです。ほとんどの既製の NFC タグは NDEF タグとして事前にフォーマットされているため、多くのアプリケーションで非常に一般的です。
- **NfcA** (ISO/IEC 14443 Type A): 非接触通信に広く使用されているテクノロジーで、多くの公共交通機関のカード、アクセス制御バッジ、支払いシステムに搭載されています。ほとんどの MIFARE タグ (Mifare Classic や Mifare Ultralight など) は、このテクノロジーの上に構築されています。
- **IsoDep** (ISO/IEC 14443-4): カード エミュレーションや安全なトランザクションでよく使用される IsoDep は、NfcA または NfcB の上に高レベルの通信プロトコルを提供します。これは、安全な支払いアプリケーションや多くの安全な身分証明書で一般的です。
- **MifareClassic** と **MifareUltralight**: これらは、アクセス制御、ポイントカード、公共交通機関に一般的に使用される独自の実装 (NXP 製) です。通常、NfcA の傘下で動作しますが、メモリ セグメンテーションやセキュリティ機能などの追加機能も提供します。
- **NfcF** (FeliCa): 主に日本などの地域で使用されており、NfcF は FeliCa ベースのシステムをサポートしています。これは、特定の市場の輸送および支払いシステムで一般的です。
- **NfcB** (ISO/IEC 14443 タイプ B): 多くのアプリケーションで NfcA に比べて頻度は低い

ですが、NfcB はさまざまな非接触型カード システムで使用されており、この規格に準拠したタグが予想される場合は追加できます。

NFC の使用

NFC はさまざまな方法で使用できます。

次のリストには、最も一般的な使用例が含まれています。

- 認証されたユーザーの（会議室）ドアを開ける
- 会議の開催者を認証する
- ルームサービス注文前に認証する
- 出席のログ
- 管理者のメンテナンスを許可する

NFC 認証は直感的ではなく、自動的に行われるわけではないことに注意してください。この機能には、顧客側の構成と、Tigermeeting バックエンド サービスとのより緊密な統合が必要です。

NFC 検証サービス

Tigermeeting はオンプレミスサービスであり、通常のカレンダー操作では外部アクセスは必要ありませんが、NFC 認証には、オンプレミスまたはクラウド内の認証サービスへの統合が必要です。

Tigermeeting には、Tiger クラウドでホストされているマルチテナント検証サービスがあり、次のような企業認証リソースと同期できます。

- アクティブディレクトリ
- LDAP サービス
- CSV ファイル
- お客様独自の API REST 検証サービス

検証サービスが Tiger クラウドでホストされている場合は、初期設定を実行し、デバイスが Tiger クラウドにアクセスできる必要があります。

場合によっては、顧客が独自のネットワークで Tigermeeting NFC 検証サービスをホストすることを選択しました。検証サービスは、安全なコンテナで、または任意の Web サーバー上の

サービスとして実行できる軽量サービスであるため、これを行うための制限はありません。

注:NFC タグ、値、およびカード ID は、自然な順序と 16 進数形式で読み取られます。

一部の画面では、数値を 10 進数形式で配信したり、文字列の文字順序を逆にしたりするように NFC リーダーを構成できます。このような場合、検証文字列には、その形式の文字列を正確に含める必要があります。タグの検証は常に文字列比較操作です。

Active Directory/LDAP 統合の手順

組織の Active Directory / LDAP サービスと Tigermeeting 検証システム間の同期を有効にするには、以下のセットアップ手順に従い、要求された情報を提供してください。

このプロセスにより、Tigermeeting 検証サービスシステムは、ユーザー、タグ、および権限のデータを顧客のディレクトリから直接安全に読み取ることができます。

ステップ 1: 読み取り専用サービス アカウントを作成する

セキュリティのため、AD/LDAP には読み取り専用アクセス権を持つ専用のサービス アカウントが必要です。このアカウントは、同期の実行にのみ使用されます。書き込み権限は必要ありません。

ステップ 2: 権限グループの定義

Tigermeeting システムは、AD/LDAP グループ メンバーシップを使用して、NFC/RFID アクシヨンのユーザー権限を管理します。正確な形式に従った名前で特定のセキュリティグループを作成する必要があります。

グループ命名規則: 各グループの名前は、次の構造に従う必要があります。

プレフィックス Context_Name-ACTION_NAME

- プレフィックス: このサービスに関連するグループを識別するために選択する一意のプレフィックス (例: nfc-access-)。
- コンテキスト名: 場所またはデバイスの名前 (例: Main_Entrance、Server_Room)。スペースの代わりにアンダースコア _ を使用します。
- アクション名: 付与される特定のアクション (例: UNLOCK_DOOR、LOG_ATTENDANCE)。

例:

permission_prefix	LDAP グループ名	解析されたコンテンツ	解析されたアクション
nfc-アクセス-	nfc-access-Main_Entrance-UNLOCK_DOOR	「正面玄関」	「UNLOCK_DOOR」
nfc-アクセス-	nfc-access-Server_Room-UNLOCK_DOOR	「サーバールーム」	「UNLOCK_DOOR」
ルームパーマ-	ルームパーマ Meeting_A LOG_ATTENDANCE	「ミーティング A」	「LOG_ATTENDANCE」

ユーザーに権限を付与するには、ディレクトリ内の対応するグループのメンバーとしてユーザーを追加するだけです。

ステップ 3: 構成情報の提供

次の詳細を収集し、同期接続を構成するために Tigermeeting 技術チームに提供してください。

必須情報チェックリスト:

- 'ldap_host
- ldap_port
- bind_dn
- 'bind_password' - 暗号化されたパスワード
- 'base_dn'、
- 'tag_attribute' - NFC/RFID タグ UID の LDAP 属性
- 'email_attribute' - ユーザーの電子メールの LDAP 属性
- 'permission_attribute' - グループメンバーシップの LDAP 属性(例:memberOf)
- 'permission_prefix' - 権限グループのプレフィックス (例: "nfc-access-")

Tigermeeting AD 同期サービスは、AD データを検証データベースと定期的に同期します。

CSV ファイル統合の手順

通常のファイル転送でも同期できます。

予想される CSV ファイル形式は次のとおりです。(ヘッダー付き):

```
電子メール、tag_uid、コンテキスト、アクション
name@company.org,ABDD1234,"ミーティング A",UNLOCK_DOOR
```

Tigermeeting CSV 同期サービスは、定期的にファイルの取得と検証データベースへのデータの

インポートを試みます。

API REST 統合の手順

組織は独自の Webhook を設定でき、デバイスはそれに対して検証を試みます。

検証サービスの URL を定義します。

画面は、POST API リクエストを介して、定義された検証 URL に次の JSON ペイロードを送信します。

```
{
  "tag_uid": "ABCD1234",
  "organization_id": 123456、(Tigermeeting によって割り当てられました)
  "email_address": "user@company.org",
  "context": "会議 A",
  "アクション": "UNLOCK_DOOR"
}
```

予期される応答には http 応答コード 200 が必要で、ペイロードは次の JSON 形式である必要があります。

```
{
  "status": "granted" (または "failure")
  "message": "アクションが拒否されました" (省略可能)
}
```

この API は、誰もが独自の社内認証サービスと簡単に統合できるように、意図的に非常にシンプルに作られており、Tigermeeting の運用をオンプレミスで維持できます。

GPIO 制御

この章では、Android ベースのデバイスでの汎用入出力 (GPIO) について説明します。GPIO を使用すると、ユーザーは単純な電子機器(LED、ボタン、リレー、センサー)を取り付けて、追加のマイクロコントローラーを必要とせずに、それらを直接制御または読み取りできます。

GPIO とは何ですか?

GPIO ピンは、デバイスの回路基板上で構成可能なデジタルチャネルです。

出力モードでは、デバイスはピン HIGH(電圧)または LOW(グラウンド)を駆動して、外付け部品のオン/オフを切り替えます。

入力モードでは、ピンは外部ロジック信号(ボタンの押下やセンサー出力など)を読み取ります。

GPIO の使用例

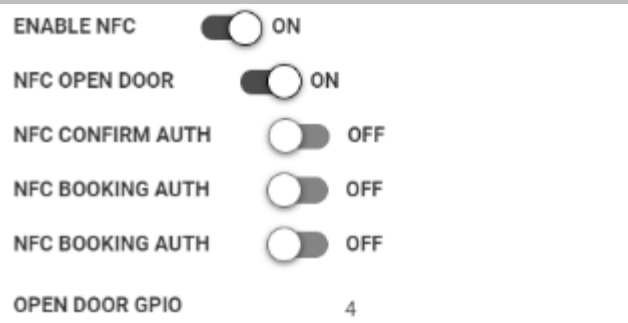
- 接続またはアラートを表示するステータス インジケーター (LED) を追加します
- カスタムコントロール用の押しボタンを接続
- シンプルなセンサー(動き、光、温度)とのインターフェース
- 高電圧デバイスを制御するためのスイッチリレー
- 追加のボードなしで新しいハードウェア機能をプロトタイプ化
- アクセスの管理 - ドアを開けるなど

GPIO ピン/ポート

ほとんどの Android Things またはカスタム Android ボードでは、GPIO はボードの側面または底面にラベル付けされています。ピンの割り当てについては、ハードウェア図を参照してください(例: 「GPIO4」、「ピン 7」)。

詳細な配線情報については、ハードウェアのサプライヤーにお問い合わせください。

Tiger アプリケーションのデフォルトは **GPIO4** ですが、スキャンまたは NFC オープン ドア機能を構成するときに簡単に変更できます。



ドアロックおよびアクセス制御システム

GPIO 制御の最も一般的な用途の 1 つは、Tigermeeting を実行している画面によって駆動されるドアロックアクセス制御システムです。

GPIO コントロールは、NFC または QR コードスキャナー認証機能で使用するよう構成できます。

さまざまなハードウェア サプライヤーからの多数のハードウェア構成が存在する可能性があります。

以下は、Tigermeeting のお客様がよく使用する例です。





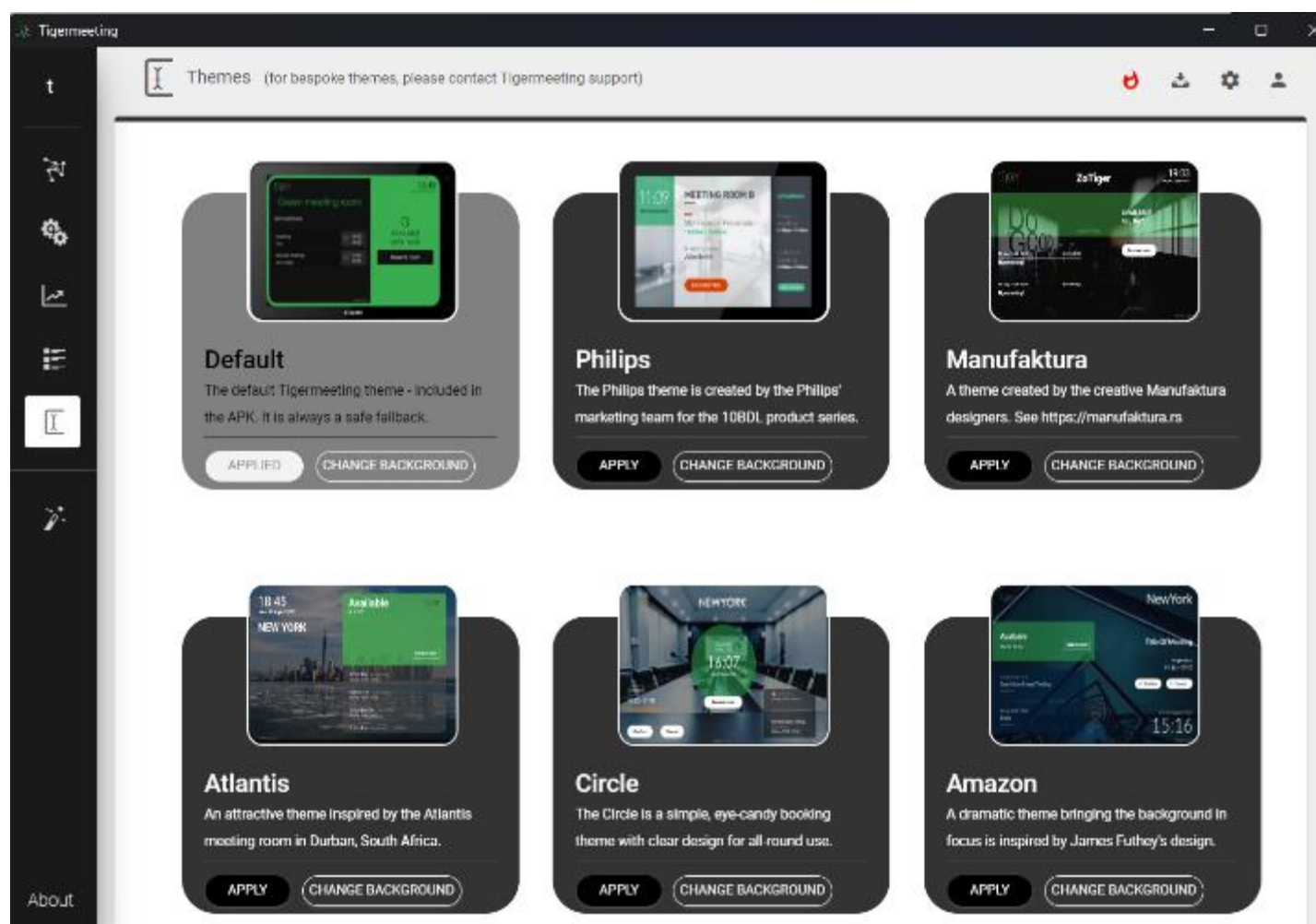
テーマ構成

Tigermeeting スイートを使用すると、顧客はテーマ、背景画像、会社のロゴを変更することで、予約画面のホーム画面のレイアウトを変更し、デバイスの外観を個人的でブランド化することができます。

さまざまなテーマから選択できます - デフォルトのテーマと、世界中の Tigermeeting の優れたデザイナーと顧客のアイデアに触発された他の多くのテーマ。

新しいテーマは、オンデマンドで、または新しいデザインアイデアが浮かび上がったときに、ソフトウェアのアップグレードを必要とせずに、継続的かつ動的に追加されます。テーマのテンプレートと顧客のカスタム背景は Tigermeeting クラウドに保存されるため、この操作にはファイアウォールを介して <https://tigermeeting.app> URL にアクセスする必要があります。

ご要望に応じて、オーダーメイドのテーマを作成して熱心な顧客向けに有効にすることも、すべての顧客に共通にすることもできます。詳細については、Tigermeeting サポートにお問い合わせください。



テーマの背景画像の構成

すべてのテーマは背景画像の変更をサポートしています。

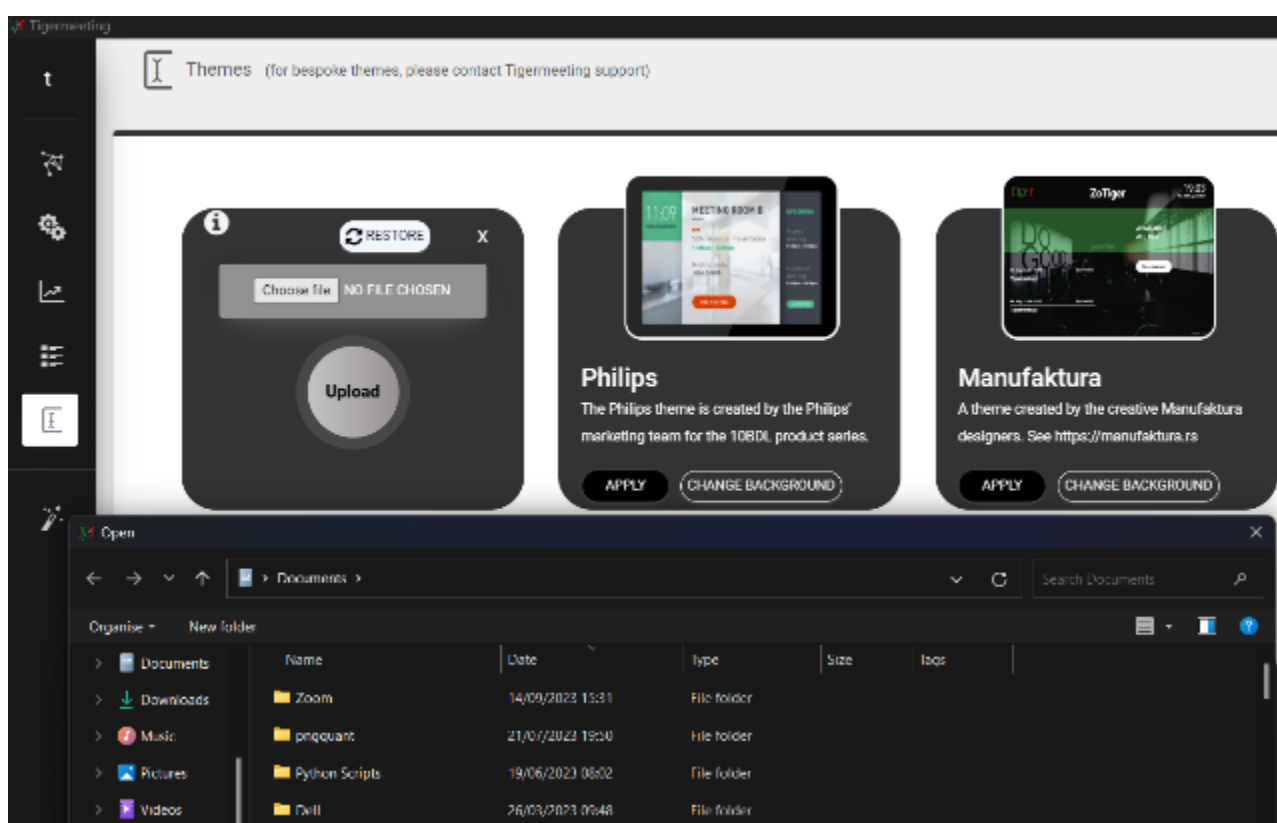
管理アプリで目的の背景画像をアップロードします -> テーマメニュー

画像ファイルの要件:

- PNG 形式
- 最大ファイルサイズは 4Mb です。
- 使用する画面サイズに一致する解像度と比率。

フィリップス、IAdea、Qbic の画面の場合:比率 16:9、サイズ 1280 x 800 ピクセルを推奨します。

その他の Android 端末の場合は、画面のマニュアルを参照し、画面の比率と解像度に合った画像を選択してください。



すべてのテーマには、独自のカスタムの顧客固有の背景を設定できますが、テーマに新しい背景をアップロードすると、そのテーマの以前の画像が上書きされます。

[復元] **ボタン**を使用して、テーマの元のデフォルトの背景画像を復元します。

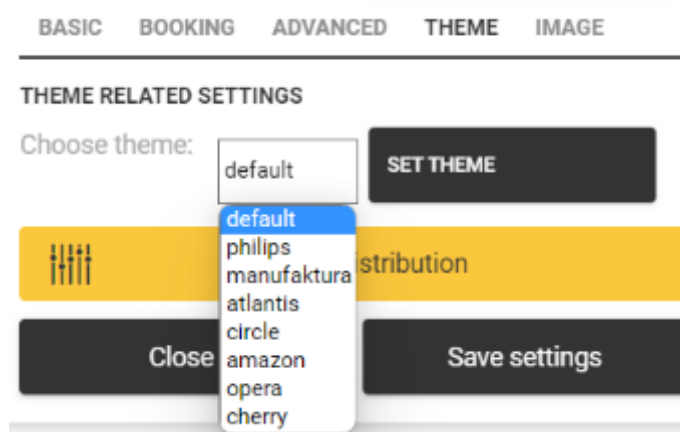
を使用して、すべてのデバイスのテーマの元の背景画像をリセットします。 **リセット** ボタン デバイスと同期して、変更をコミットし、デバイスでテーマ変更プロセスを開始します。デバイスはまずクラウドサーバーからテーマをダウンロードし、適用します。

注: デバイスは <https://tigermeeting.app> クラウドサーバーにアクセスする必要があります。

各デバイスのテーマ構成

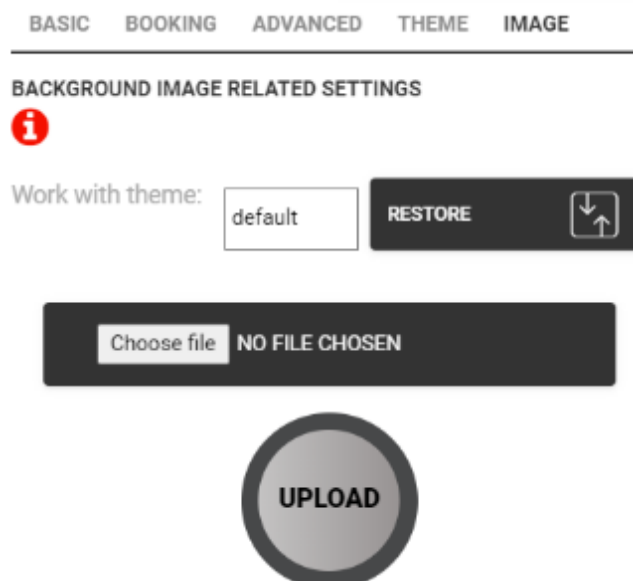
すべてのデバイスは、他のデバイス関連のパラメーターを編集しながら、独自のテーマまたは背景を構成できます。

[テーマ] タブと [画像] タブを確認してください



テーマを選択し、SET THEME ボタンを押します。

背景画像は [画像] タブで変更されます。



テーマを選択し、その特定のデバイスにのみ適用される目的の背景画像をアップロードします。

復元**ボタン**を使用して、このデバイスのテーマのデフォルトの背景画像を復元します。

変更後、変更を適用するには、デバイスとの同期を実行する必要があります。

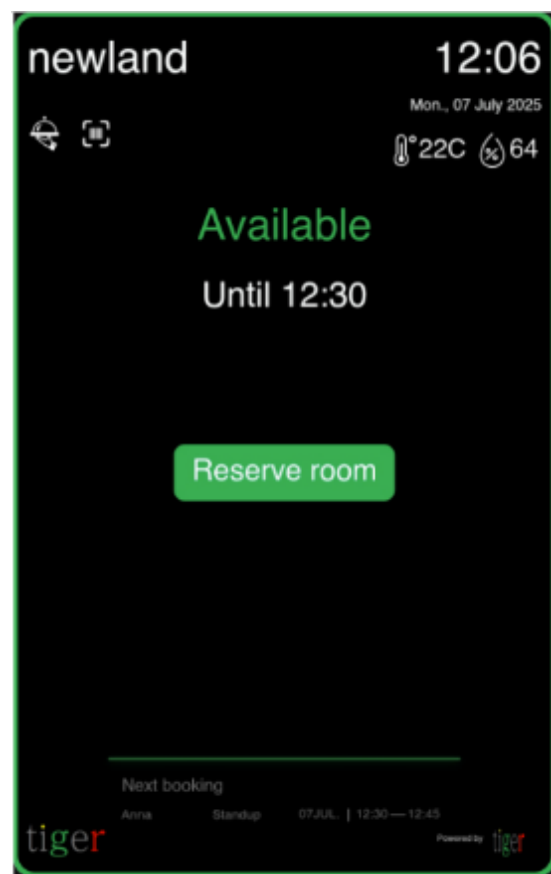
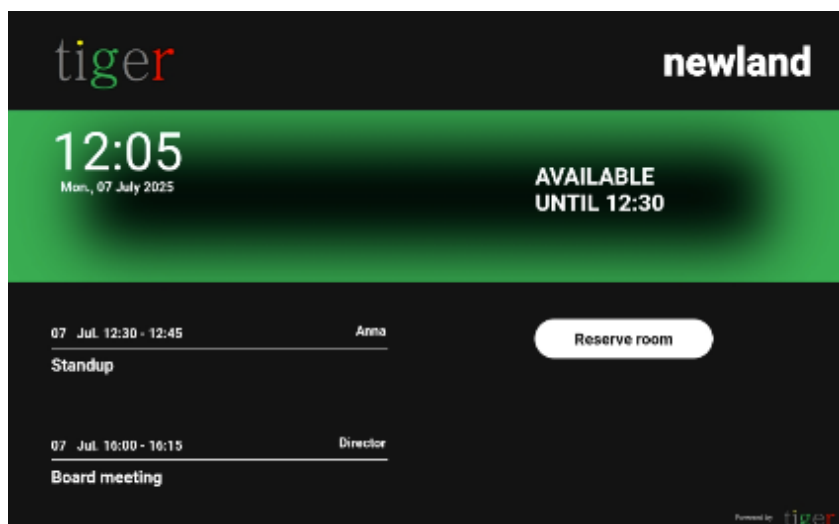
テーマの縦向きと横向き

Tigermeeting は、デバイス センサーに基づく画面の向きの選択をサポートしていません。

Tiger は、サイズ 4 インチから 15 インチまでの他の多くの画面と、Philips、IAdea、ProDVX、Aurora、Qbit、Samsung、Huawei、Xiaomi、Asus、Oppo などの多くのメーカーのサポートを開始しました。

テーマの変更、会社のロゴ、オフィス/学校/デスクモードなどのすべての Tiger 機能で、これらすべての異なる画面サイズと解像度に対応するために、すべてのテーマでポートレートモードをサポートしないという戦略的な決定を下す必要がありました。

ポートレートモードで動作するように設計された「_portrait」サフィックス付きのテーマがあり、Tiger アプリケーションは選択したテーマに基づいて画面の向きを自動的に調整しますが、デバイスセンサーに基づいては調整しません。



ほとんどの汎用デバイスがサポートされていますが、ファームウェアレベルの画面向き設定を使用する特定の Android バージョンまたはメーカーのデバイスでは問題が発生する可能性があります。

詳細については、「トラブルシューティング」セクションを参照してください。

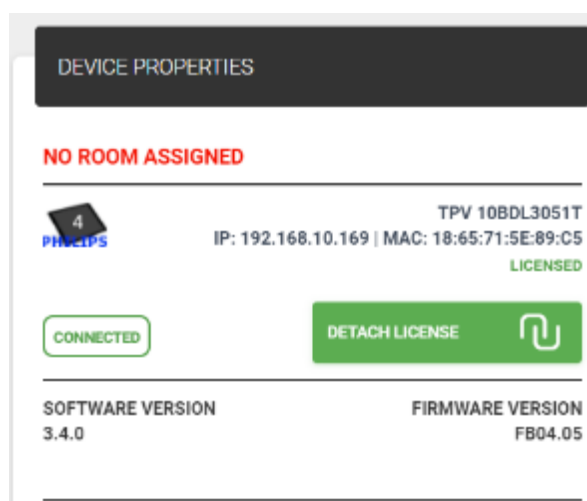
デバイスの変更 - 置き換える

一部またはすべてのデバイスを交換する必要がある状況があります。

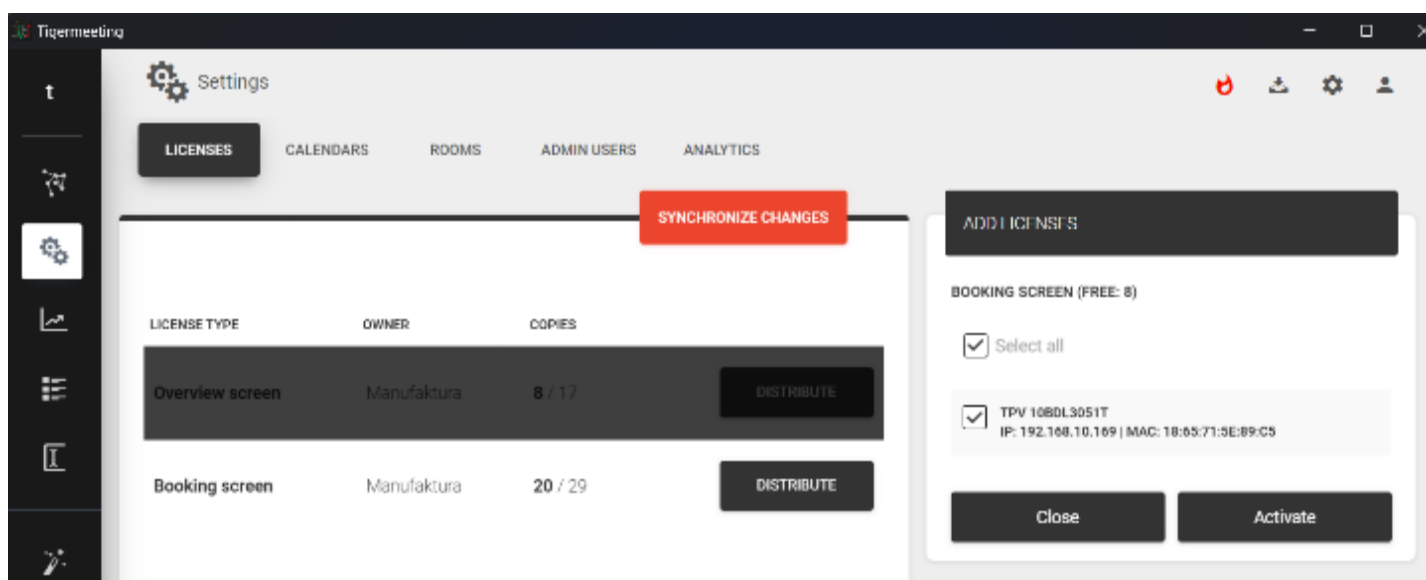
Tigermeeting ライセンスは永続的であり、組織内のデバイスの MAC アドレスまたは Android ID に関連付けられています

組織がライセンスを所有しているため、合計/使用可能なライセンスの数が組織の購入範囲内にある限り、構成されたデバイスからライセンスをデタッチし、同じライセンスを他の新しいデバイスにアタッチすることができます。

- 一. Tigermeeting APK を新しいデバイスにインストールし、管理アプリに表示させます
- 二. [ネットワーク] タブで、デバイスのプロパティを編集し、古いデバイスからライセンスを 1 つずつ切り離します。



- 三. 解放されたばかりのライセンスを、ライセンスのない画面に割り当てます 設定->ライセンスタブ



- 四. [ネットワーク] タブで "ライセンスなし" デバイスを削除します

五. ライセンスされたデバイスを構成し、SYNCHRONIZE で変更を展開します。

ネットワークからデバイスを削除する

場合によっては、デバイスをネットワークから削除する必要があります。
これらのケースには次のものが含まれます。

- デバイスの修理
- デバイスの交換
- 永久除去
- デバイスの工場出荷時設定へのリセット
- 別の環境へのデバイスの移動

このような場合は、Tigermeeting ネットワークから削除しないと、このデバイスは常に切断された状態で表示されます。

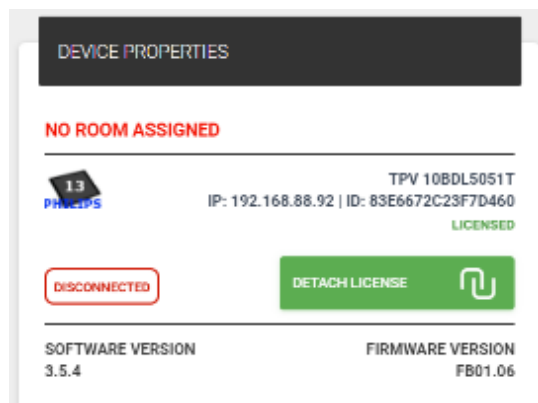
Tigermeeting ネットワークは、MAC アドレスまたは AndroidID によってデバイスを識別します。

Android 8 までのデバイスで使用する MAC アドレスは永続的です。

Android 9 以降を実行しているデバイスでは、AndroidID は工場出荷時設定にリセットするたびに再生成されるため、リセットされたインストール済みデバイスは、ライセンスのない新しいデバイスとしてネットワーク上に表示されます(場合によっては同じ IP アドレス)。

Tigermeeting ネットワークからデバイスを削除する手順:

- 一. デバイスの電源を切るか、ネットワークインターフェイスをオフにして「切断」にします
- 二. デバイスが完全に削除された場合は、ライセンスをデタッチして、他のデバイスで使用できるように解放します



三. ネットワークからデバイスを削除する



メモ: 再起動後、削除されたデバイスは、新しい不明なデバイスとしてネットワークに再度参加

しようします。

デバイスを別のネットワークセグメントに移動する

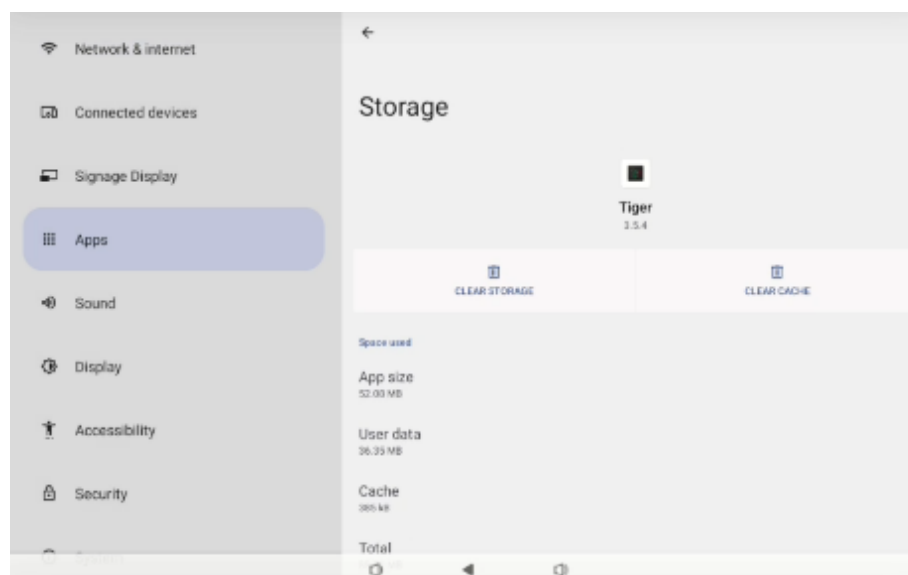
Tigermeeting は、オンプレミスのカレンダー ソリューションとして、VLAN やサブネットなどのネットワーク セグメント上の通信に大きく依存しています。

Tigermeeting で設定されたデバイスがあるネットワークセグメントから別のネットワークセグメントに移動したり、別の組織に移動したりすると、設定に問題が発生する可能性があります。

Tigermeeting アプリケーションは新しいネットワーク構成の使用を開始しますが、特に別の Tigermeeting インストールがすでに構成されている場合は、構成データベースが新しいセグメントの構成と一致しない可能性があります。これはデータベースの競合状態につながります – **避けるべき (必須)**

解決策と推奨プラクティスは次のとおりです。

- 一. 上記の「ネットワークからデバイスを削除する」 **の手順に従ってください**
- 二. Android セットアップメニューにアクセスするために、デバイスをメンテナンスモードに設定します
- 三. ネットワークをオフにする(Wi-Fi とイーサネットの両方)
- 四. [アプリ(アプリケーション)]メニューに移動します
- 五. インストールされている Tiger アプリを見つける
- 六. [ストレージとキャッシュ] に移動します。
- 七. **ストレージのクリアとキャッシュのクリア**



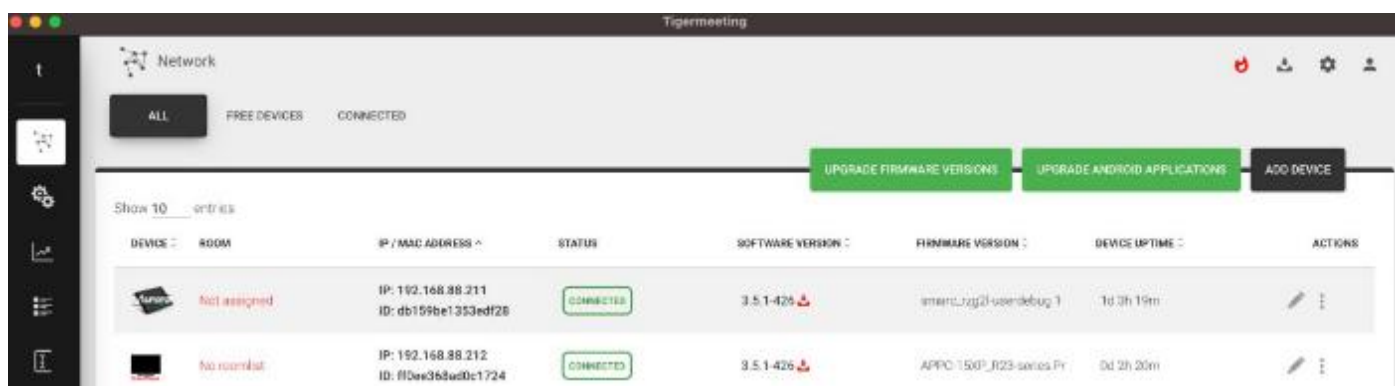
- 八. デバイスを目的のネットワークセグメントに移動します
- 九. ネットワークを有効にして設定します。

注意: 新しいネットワークセグメントに構成された Tigermeeting デバイスが含まれている場合、新しいデバイスは自動的に適応してネットワークの一部になります。管理アプリで設定します。

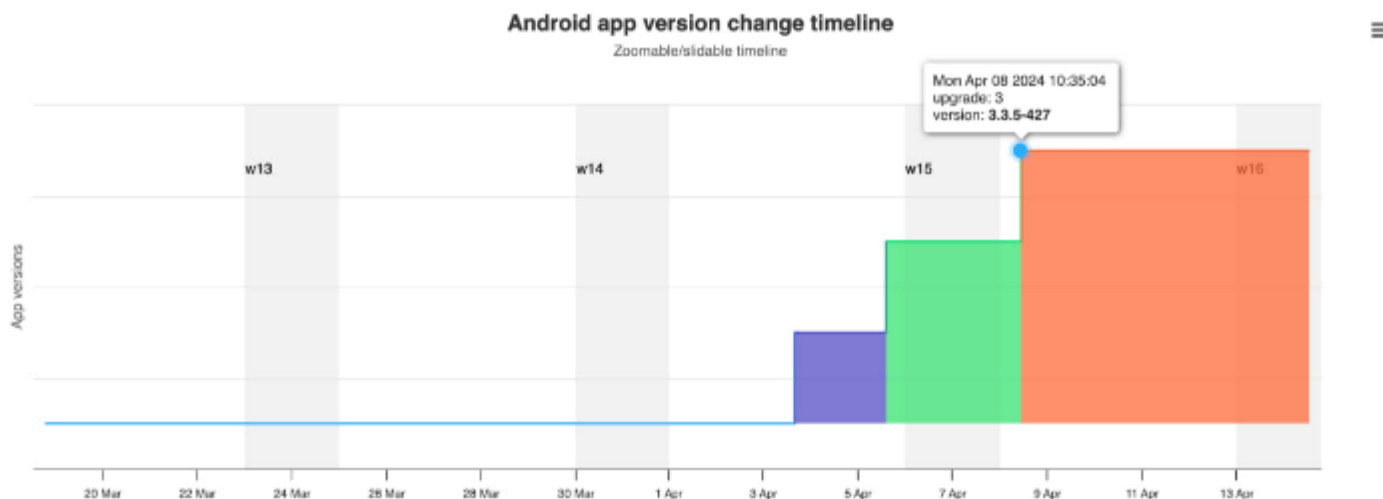
ソフトウェアとファームウェアのアップグレード

ソフトウェアのアップグレード

ソフトウェアのアップグレードはほぼすべてのデバイスでサポートされており、Tigermeeting はすべてのお客様に無料のソフトウェアアップグレードを提供できることを誇りに思っています。



新しい Android ソフトウェアの可用性は、管理アプリの->ネットワークリストに表示され、管理者ユーザーは、1つのデバイス(画面行の赤いアップグレード記号を押す)またはすべてのデバイス(ANDROID アプリケーションのアップグレードを押す)をアップグレードする機会があります。



時間の経過に伴うソフトウェアバージョンの変更は、Analytics -> デバイス ID セレクターで追跡されます。

ソフトウェアリリースノートは、管理アプリケーションの[バージョン情報]メニューで公開さ

れます

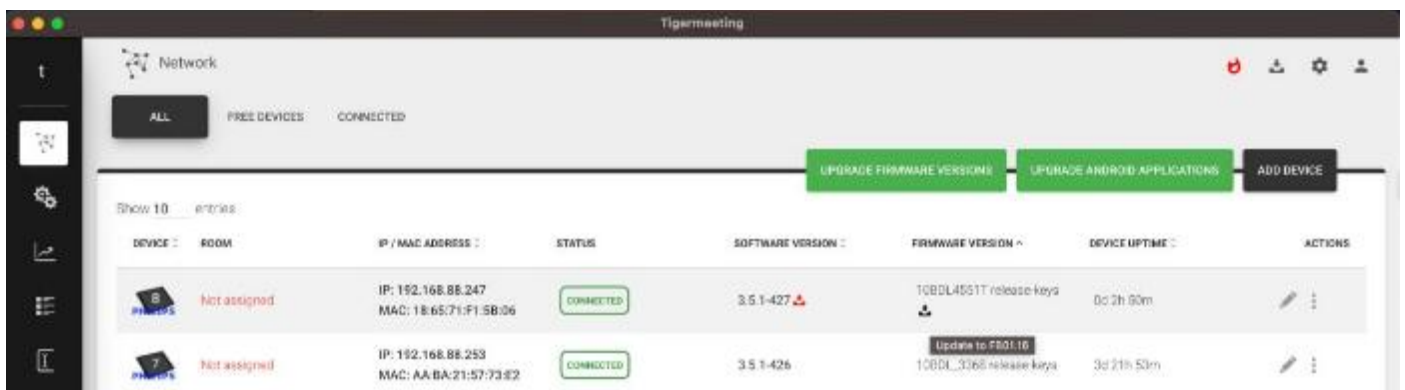
重要: Tigermeeting Android APK は Tigermeeting 署名によって署名されています。この署名は、ソフトウェアのアップグレード中に重要です。管理アプリによって調整されたソフトウェアのアップグレードは、何らかの理由で署名が削除、再署名、または変更された場合に失敗します。

ファームウェアのアップグレード

ファームウェアのアップグレードは、サポートされているデバイスでのみ利用できます。フィリップスの Android ベースの画面もその 1 つです。

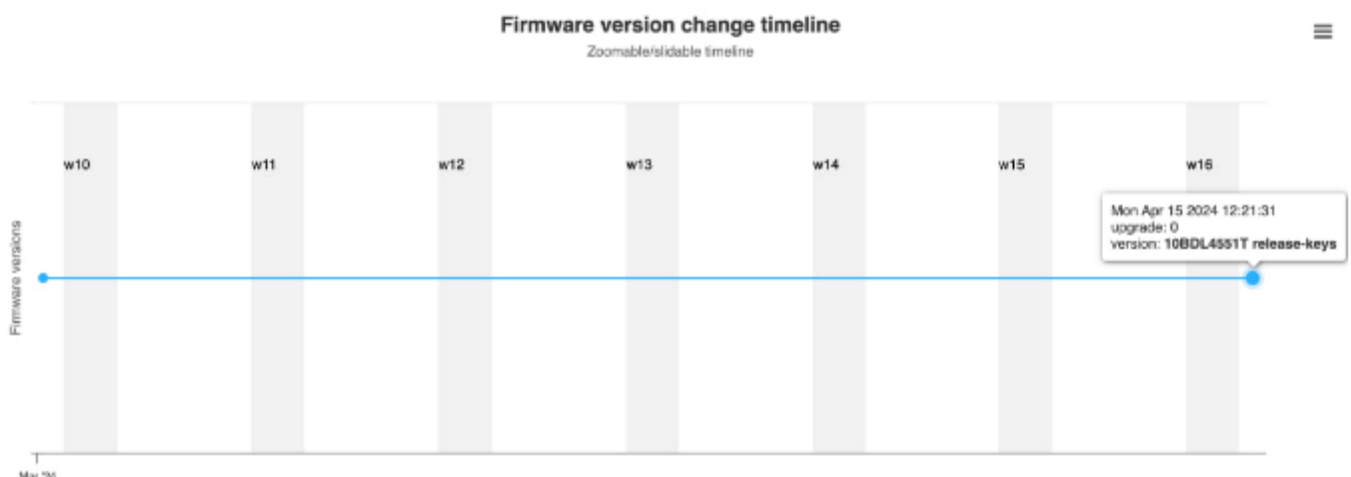
Tigermeeting は、ファームウェアがテストされ、Tigermeeting 品質保証の厳格なテストに合格すると、ファームウェアアップデートをリリースします。

ファームウェアの可用性は、管理アプリの->ネットワークリストに表示され、管理者ユーザーは、1 つのデバイス(画面行の赤いアップグレード記号を押す)またはすべてのデバイス([UPGRADE FIRMWARE VERSIONS]を押す)をアップグレードする機会があります



DEVICE	ROOM	IP / MAC ADDRESS	STATUS	SOFTWARE VERSION	FIRMWARE VERSION	DEVICE UPTIME	ACTIONS
6	Not assigned	IP: 192.168.88.247 MAC: 18:65:71:F1:5B:D6	CONNECTED	3.5.1-427	10BDL4551T release-keys	0d 2h 50m	[Upgrade]
7	Not assigned	IP: 192.168.88.253 MAC: AA:BA:21:57:73:82	CONNECTED	3.5.1-426	Update to F801.10 10BDL_3368 release-keys	3d 21h 53m	[Upgrade]

ファームウェアのバージョンの経時的な変更は、Analytics -> デバイス ID セレクターで追跡されます。



注意: Tigermeeting は、ファームウェアのアップグレードによって生じたいかなる損害についても責任を負いません。ファームウェア自体は、ハードウェア製造元から変更されていない署名済みパッケージです。

詳細については、利用規約のドキュメントを参照してください:

<https://tigermeeting.app/terms-of-service>

タイガーミーティングの建築コンセプト

Tigermeeting の製品アーキテクチャ

Tigermeeting は、**サーバーレス、オンプレミス、モジュール式** で **スケーラブルな** 会議室管理ソリューションです。

これらの特性により、Tigermeeting は、クラウド指向の会議室管理市場の競争においてユニークで傑出したものになっています。

- **サーバーレス:** Tigermeeting のインストールでは、カレンダー操作に専用サーバーは必要ありません。
- **オンプレミス:** Tigermeeting の基本的なカレンダー操作は、クラウド サービスやインターネット接続がなくても完全に機能します。
- **モジュール式:** Tigermeeting インフラストラクチャは、ネットワーク上で論理的に疎結合された Tiger APK と管理アプリを実行するデバイスで構成されます。
- **スケーラブル:** モジュラーアーキテクチャを利用し、Tigermeeting はデバイスを追加または削除することで簡単に拡張できますが、Tigermeeting やネットワークパフォーマンスには何の影響も与えない操作です。

Tigermeeting は、上記の機能を実現するために、最新のネットワーク設計のベストプラクティスと最高のセキュリティインフラストラクチャの原則を利用しています。

最も重要な設計パターンは、ネットワーク セグメントとブロードキャスト メッセージングの使用率です。

ネットワークセグメンテーション

ネットワークセグメントは、ネットワークの他の部分から分離されたコンピュータネットワークの一部です。この分離は、ネットワークの設計とセグメントの相互接続に使用されるデバイスに応じて、物理的または論理的である可能性があります。

ネットワークセグメントに関する重要なポイントをいくつか示します。
(詳細は https://en.wikipedia.org/wiki/Network_segmentation で読む)

一. 定義: ネットワーク セグメントはネットワーク トポロジの特定の部分であり、多くの場合、2 台のコンピューター間の接続、またはルーターやスイッチなどのネットワーク デバイス間の接続によって定義されます。

二. 目的: ネットワーク セグメンテーションは、大規模なネットワークをより小さく、より

管理しやすい部分に分割することで、ネットワークのパフォーマンスとセキュリティを向上させるために使用されます。これにより、輻輳が軽減され、サイバー攻撃の拡散が制限され、機密データが保護されます。

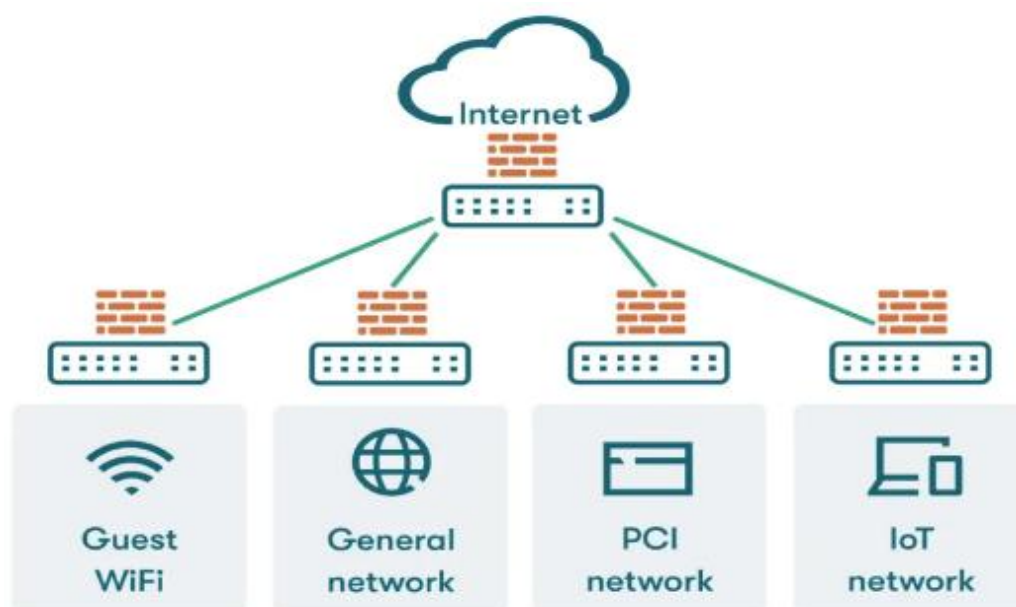
三. 方法: セグメンテーションは、仮想ローカル エリア ネットワーク (VLAN)、ファイアウォール、ソフトウェア デファインド ネットワーキング (SDN) テクノロジーの使用など、さまざまな手段で実現できます。

四. 利点：

- 輻輳の軽減: 各セグメントのデバイスの数を制限することで、ネットワーク トラフィックが削減され、パフォーマンスの向上につながります。
- セキュリティの向上: セグメンテーションにはローカル セグメントへのブロードキャストが含まれ、攻撃対象領域が縮小され、攻撃者がネットワーク内で横方向に移動することが困難になります。
- 強化された制御: これにより、ネットワーク トラフィックとアクセスをより詳細に制御できるようになり、許可されたデバイスとユーザーのみが特定の部分にアクセスできるようになります。

例 1: 企業環境では、管理者はネットワークをセグメント化して財務部門の機密データを一般的なオフィス ネットワークから分離し、許可された担当者のみが財務情報にアクセスできるようにしたい場合があります。

例 2: 異なる都市間または大きな建物間でオフィス スペースを分離する論理的な理由が非常にあります。



ブロードキャスト通信

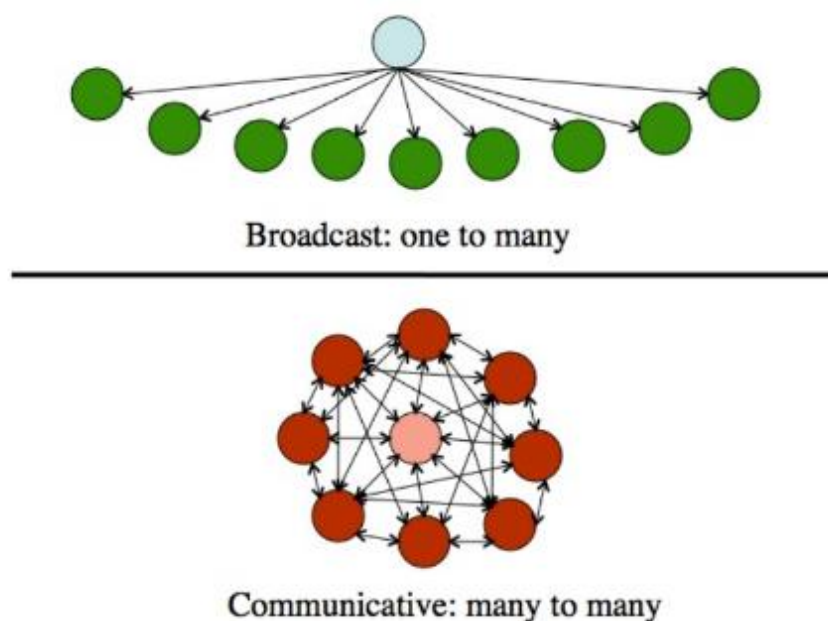
ネットワークセグメント上のブロードキャスト通信とは、そのセグメント内のすべてのデバイ

スに同時にデータパケットを送信することを指します。この方法により、ネットワーク セグメント上のすべてのデバイスが同時に同じ情報を受信できるようになります。

ブロードキャスト通信に関する重要なポイントをいくつか示します。

(詳しくは [https://en.wikipedia.org/wiki/Broadcasting_\(ネットワーキング\)](https://en.wikipedia.org/wiki/Broadcasting_(ネットワーキング)) をご覧ください)

- 一. **定義:** ブロードキャストは、1 人の送信者からネットワーク セグメント内のすべての受信者にメッセージを送信する方法です。これは、ユニキャスト(1 対 1)やマルチキャスト(1 対多)の通信方式とは異なります。
- 二. **ブロードキャスト アドレス:** IPv4 ネットワークでは、ブロードキャスト アドレスは通常、ネットワークの最も高い IP アドレス (ネットワーク 192.168.1.0/24 の場合は 255 など、192.168.1.255 など) で終わり、パケットがネットワーク上のすべてのホストに配信される必要があることを示します。IPv6 では、ブロードキャスト通信はマルチキャスト アドレッシングによって実現されます。
- 三. **使用法:** ブロードキャスト パケットは、アドレス解決プロトコル (ARP) リクエスト、ネットワーク検出、ネットワーク全体のアラートの送信など、さまざまなネットワーク プロセスに使用されます。たとえば、デバイスが IP アドレスに関連付けられた MAC アドレスを見つける必要がある場合、ARP 要求をブロードキャスト パケットとして送信します。
- 四. **ブロードキャスト ドメイン:** ブロードキャストの範囲は、通常、ローカル ネットワーク セグメントの境界によって定義されるブロードキャスト ドメインに限定されます。同じブロードキャスト ドメイン内のデバイスは、相互にブロードキャスト パケットを受信できます。
- 五. **効率と制限:** ブロードキャストは特定のタスクでは効率的ですが、ネットワーク セグメント上のすべてのデバイスがブロードキャスト パケットを処理するため、使いすぎるとネットワークの輻輳につながる可能性があります。



ブロードキャスト通信は特定のネットワーク運用に不可欠ですが、ネットワークを圧倒する可能性のあるブロードキャスト ストームなどの潜在的な問題を回避するには、ブロードキャスト通信を適切に管理することが重要です。

ネットワークセグメントに関するタイガーミーティング

Tigermeeting のインストール(**Tigermeeting の島**)は、1 つのネットワークセグメント上に存在します。

Tiger APK を実行しているデバイスは、ブロードキャスト メッセージを使用して相互に通信します。ブロードキャストメッセージは通常、ネットワークセグメントに限定されるため、またはそうでない場合は、複数のネットワークセグメントをブロードキャストに接続することを意識的に決定します

ネットワークセグメントのアーキテクチャの原則(利点と制限)に基づいて、次の重要な事実が適用されます。

- タイガーミーティング島の事象の地平線は、放送ネットワークの境界です。
- 複数のタイガーミーティング島は、ネットワークセグメントで区切られた組織内で独立して共存できます。
- 各タイガーミーティング島は個別に管理する必要があります。

Tigermeeting アプリケーションは、分散データベースアーキテクチャと独自の高水準点同期テクノロジーに基づいており、オンプレミスの中央データベースまたは外部クラウドデータベースなしで機能しますが、特定のネットワーク要件を設定するローカルネットワーク上のデバイス間のフローレス通信が必要です。

これらの要件の概要は最初の章で説明されていますが、多くの管理者ユーザーはアーキテクチャの概念を深く掘り下げたくないため、複雑なネットワークトピックを扱う場合は、より深く理解することを強くお勧めします。

- **ブロードキャスト要求**は、ネットワークセグメントで有効にする必要があります(アーキテクチャのネットワーク境界に収まる必要がある場合は、ネットワークセグメント全体でも必要です。リモート管理が使用されている場合は VPN 経由でも必要です)
- **UDP ポート: 6024、6025、6030、および 6031** は、ネットワーク セグメントで有効にする必要があります。
- admin->device、device->device、device->admin 通信では、**ネットワーク上のデバイス間で TCP ポート 6026** を有効にする必要があります。
- Google Workspace、Microsoft365、iCal ファイルの外部 URL などの外部オンライン カレンダーを使用する場合は、ファイアウォールを介したこれらのリソースへの通信を許可する必要があります。

Tigermeeting インフラストラクチャの運用に必要な TCP ポートと UDP ポートが文書化され

ています。

https://en.wikipedia.org/wiki/List_of_TCP_and_UDP_port_numbers を参照してください。

タイガーミーティングクラウド

Tigermeeting は、通常のカレンダー操作にネットワークアクセスを必要としません。ただし、限定的なクラウド機能を追加すると、カレンダーの使いやすさ、柔軟性、顧客が望むユースケース、テーマのサポート、バックグラウンドの変更、分析、ハードウェアと会議室の指標、ソフトウェアとデバイスのハードウェアのアップグレードが大幅に向上します。

次の機能には、**TCP ポート 443** を介した **Tigermeeting Cloud-tigermeeting.app** への**オープンな通信**が必要です。

- 管理アプリ:管理者ログイン
- 管理アプリ: パスワードのリセットを忘れた場合
- 管理アプリ: 分析の表示
- デバイスの定期的なライセンス検証
- デバイスのイベントログ(分析機能が有効になっている場合)
- 管理者とデバイスの両方: テーマの設定とバックグラウンドの更新
- 管理者とデバイスの両方:新しいソフトウェアのアップグレードチェック
- 管理者とデバイスの両方:新しいファームウェアのアップグレードチェック
- 気象サービス
- テーマサービス(テーマ変更、背景画像変更)
- ユーザー認証(NFC、スキャナー)

Tiger クラウドとクローズド インターネット、オンプレミスの運用の詳細については、「クローズド オンプレミス環境での Tiger サービス」の章を参照してください。

注: Tigermeeting は、セキュリティを向上させるために、Tigermeeting クラウドに向けた専用のサイト間 VPN 接続設定を提供します。この機能は、営業担当者または Tigermeeting カスタマー サポートにリクエストしてください。

Tigermeeting クラウド – クラスター - は欧州連合内にあります。

Tigermeeting ネットワークの使用状況

Tigermeeting ネットワークの使用状況は、ネットワークセグメント内のデバイスの数によって異なります。

すべてのデバイスは 30 秒ごとにブロードキャスト メッセージを送信します。ブロードキャストメッセージのサイズは、20 バイトから最大 1kb です。

データベースの同期は、デバイスが同期していないか、管理アプリが新しい構成をプッシュしたときに発生します。データベースの一般的なサイズ (暗号化ペイロードを含む) は約 20 KB で、データベース内のデバイスの数によって若干異なる場合があります。

すべてのデバイスはカレンダーに個別にアクセスして、最大次の 7 日間のカレンダーの予約を取得します (スライディング ウィンドウを使用)。このペイロードは、組織のカレンダーの種類と会議室の予約/使用状況によって異なります。

タイガーミーティング運営

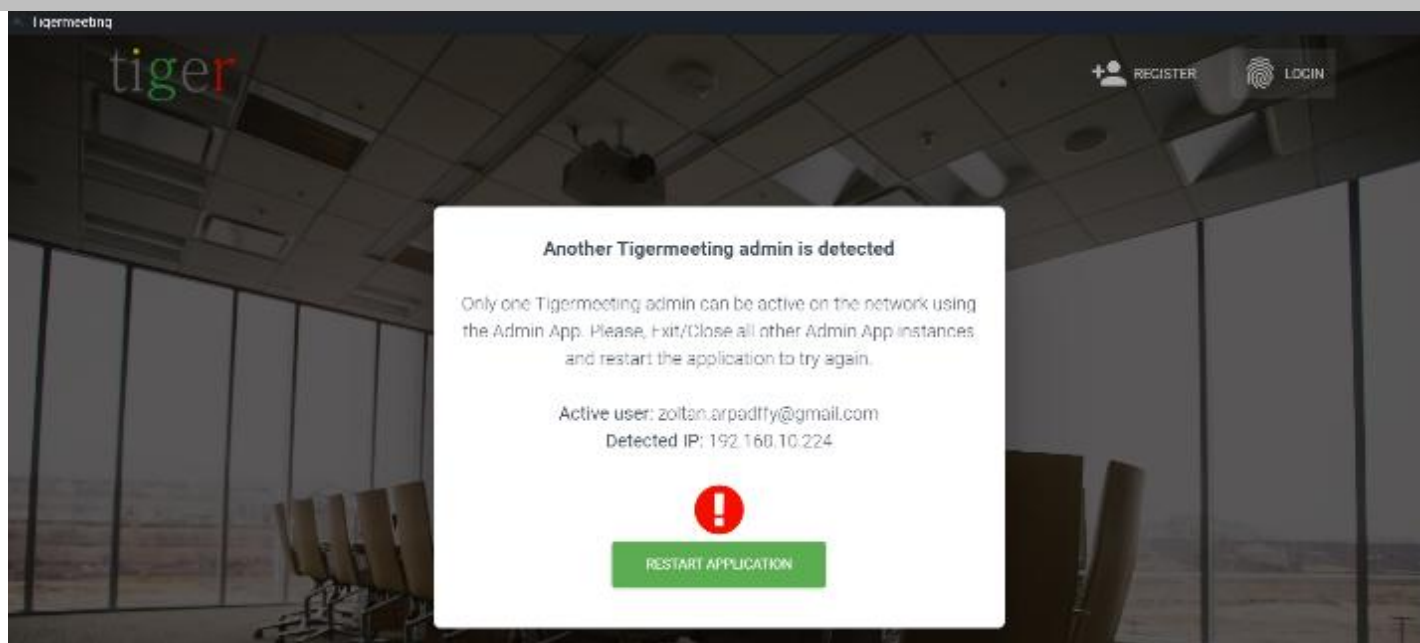
Tigermeeting アプリケーションは、分散データベースアーキテクチャと高水準点同期テクノロジーに基づいており、デバイスはデータベースによって保持されている構成を共有して従うだけです。

構成を変更する必要がある場合 – 管理者は、そのセグメントで管理アプリを起動します。管理アプリケーションは、その特定の Tigermeeting アイランドの一部になり、デバイスによって共有されるデータベースを取得し、構成を編集できるようにします。

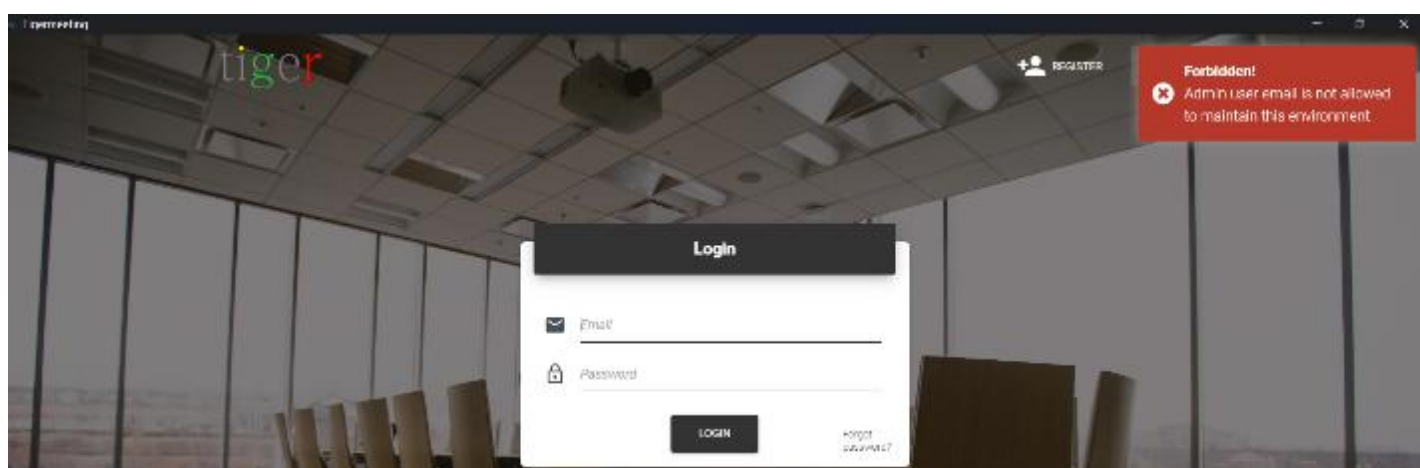
管理者ユーザーは、「SYNC WITH DEVICES」操作で設定をプッシュします。デバイスは新しい設定を受け入れ、すぐに新しい設定の使用を開始します。

制限：

- この章で紹介するネットワークとアーキテクチャの概念に基づいて、複数の管理者ユーザーが同時にネットワーク構成を変更できる場合、互いの変更を上書きすることは明らかです - これが、**Tigermeeting インフラストラクチャがネットワークセグメントで複数の管理アプリを実行することを許可しない理由です。**



- Tigermeeting の管理者は、自分の環境を管理することに制限されていますが、これは明らかな要件であり、何も奇妙ではありません。ただし、Tigermeeting の分散型で疎結合のアーキテクチャを考えると、管理者アプリが管理者ログイン中に管理者ユーザーの資格情報を検証する場合でも、管理者は拒否される可能性があります。設定や保存された構成を持たない管理アプリケーションは、ログイン後に管理される Tigermeeting の島を事前に知らないため、ログインしている管理者ユーザーがその特定の Tiger セグメントを管理する権限を持っているかどうかのチェックは、管理アプリが最初にデバイスからデータベースを取得したときにのみ決定されます。管理者ユーザーが特定の Tigermeeting island ライセンスを所有する組織に属していない場合、管理者はログアウトされ、"FORBIDDEN" メッセージが表示されます。



注: このイベントは、悪用を避けるために両方の組織の管理ログに記録されます。

VPN 接続による管理

「デバイスの追加」機能は、ネットワーク検出の失敗を引き起こすファイアウォールまたはネ

ネットワークセグメント間のブロードキャストが許可されていないすべての場合に必要です。

リモート管理ユーザ操作は、管理タスクが VPN 接続を介してリモートで実行され、通常、標準の VPN 設定ではデバイスの検出が失敗する一般的なケースの 1 つです。

解決策は、ネットワーク検出を支援する既知のデバイスの IP アドレスで「デバイスの追加」機能を使用することです。IP アドレスで 1 つのデバイスにアクセスすると、すべてのデバイスを検出する共有ネットワークデータベースにアクセスでき、Tigermeeting インフラストラクチャの完全なリモート管理が可能になります。



仮想ブランドと仮想ネットワークの概念

Tigermeeting は、異なる Tigermeeting とそのホワイトラベルブランドがまったく同じネットワークセグメントで共存できるようにするために、仮想ブランドと仮想ネットワークの概念を導入しました。

仮想ブランドと仮想ネットワークの割り当ては自動的に行われ、管理者ユーザーのログイン時に生成され、ライセンス所有者組織を識別し、特定のブランドと仮想ネットワークでの管理者ユーザーのスコープを制限します。

これにより、特に複雑なネットワークインフラストラクチャを持つ大規模な組織にとって、オンプレミス構成機能が大幅に拡張され、この概念により、以前の制限が解消され、次のことが可能になるため、

- 同じネットワーク セグメントで異なるカレンダーを使用する
- 同じネットワーク上で異なる Tigermeeting ホワイトラベルブランドを使用する
- デバイスが同じネットワークインフラストラクチャを共有している間、顧客固有の方法でデバイスをセグメント化します
- 複数の独立した組織が、レンタルオフィススペースなど、同じネットワークインフラストラクチャ上で独自の Tigermeeting インストールを管理できるようにします

制限事項: 電子メールアドレスで識別された Tigermeeting 管理者ユーザーは、同じ電子メールアドレスを持つ複数の組織に属することはできません。

通常の利用者はこの制限の影響を受けませんが、サービスインテグレーター、複数の顧客インフラストラクチャおよび Tigermeeting インストールを維持するディストリビューターは、異なる顧客に同じ電子メールアドレスを使用することは許可されていません(Tigermeeting インストール)。

簡単な回避策は、すべての顧客専用の電子メール アドレスを作成することです。

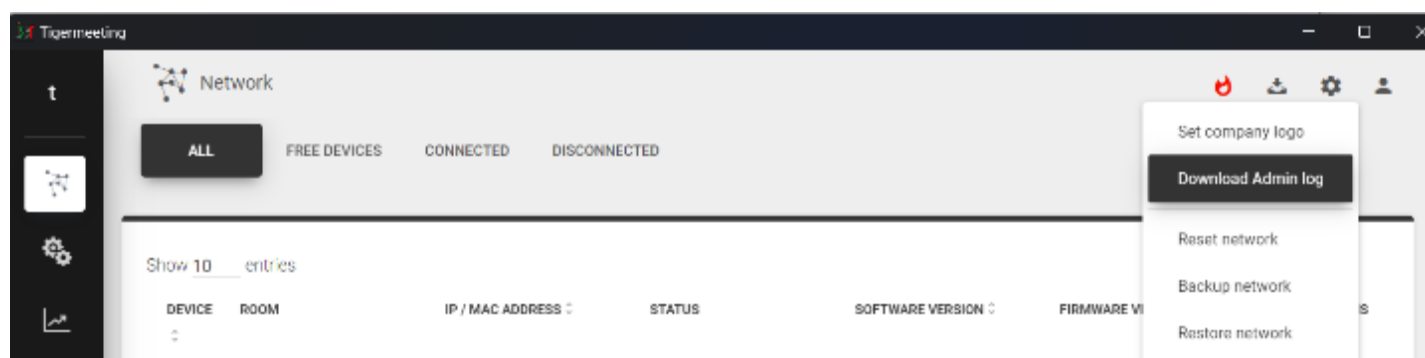
この動作についてご不明な点がございましたら、Tigermeeting カスタマーサポートにお問い合わせください。

トラブルシューティング

管理アプリと各デバイスの両方で、トラブルシューティング ログが有効になっています。これらのログは、最終的な問題のトラブルシューティングを行うときに非常に役立ちます。

管理者ログのダウンロード

設定メニュー(右上隅の歯車記号)から管理アプリのログをダウンロードします。

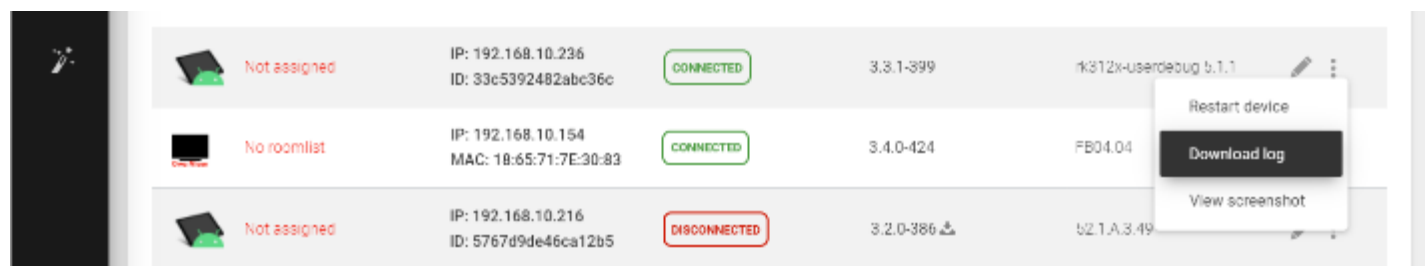


ダウンロードされたログ ファイルには、Tigermeeting-AdminLog-29-02-2024-2343.log などのわかりやすいファイル名が付けられます。ファイルの名前を変更したり、ファイルの内容を編集したりしないでください。

デバイスログのダウンロード

[ネットワーク] メニューからデバイスを選択し、行の最後にある 3 つのドットをクリックして、デバイスログをダウンロードします。

デバイスが「接続済み」状態である必要があることに注意してください。



ダウンロードしたログファイルには、Tigermeeting-DeviceLog-(18-65-71-5E-89-C5)-29-02-2024-2345.log のようなわかりやすいファイル名が付けられます。ファイルの名前を変更したり、ファイルの内容を編集したりしないでください。

ログは暗号化されたテキストファイルであり、電子メールで安全に送信できます。ご要望に応じて、Tigermeeting カスタマー サポートにお送りください。

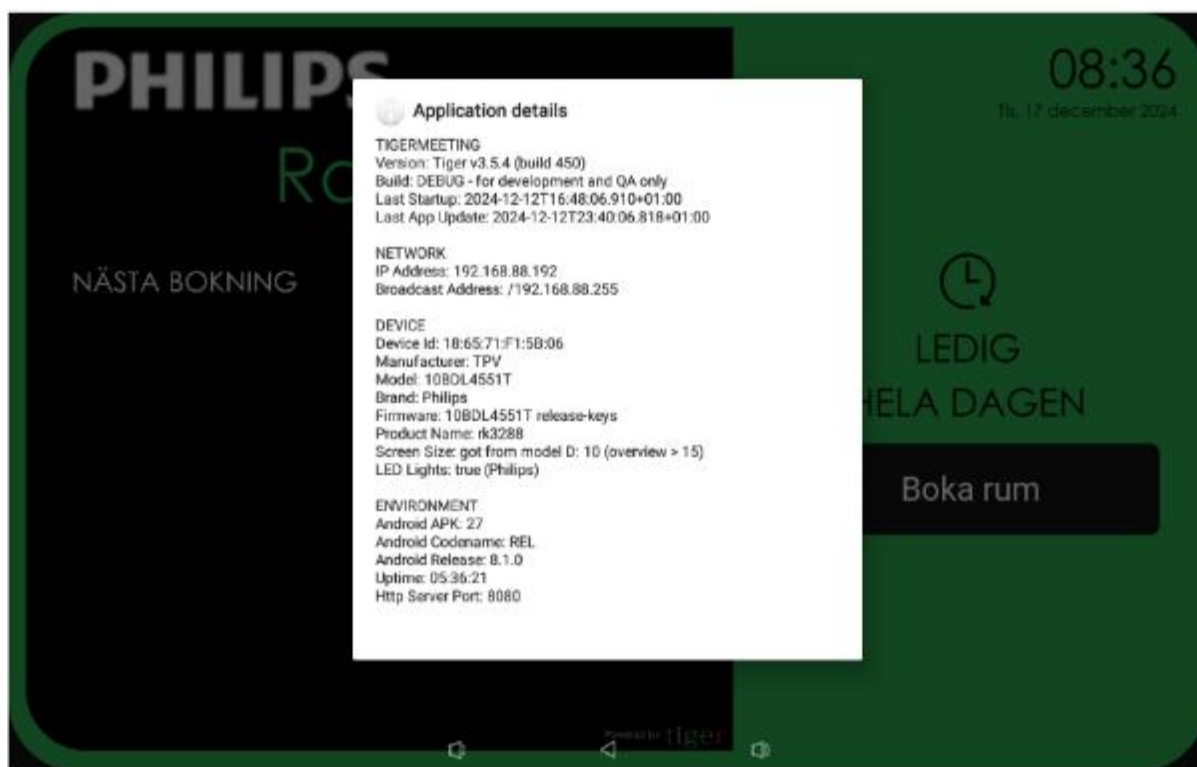
デバイス UID (ユニット識別)

管理者がデバイスを識別する必要がある場合は、デバイス UID (ユニット識別) を使用して、特定のデバイスを簡単に識別できます。UID は、サーバーの前面にあるボタンを押すと、サーバーの前面と背面の両方にある LED ライトを点灯させ、ラック内のサーバーを簡単に識別できるように、サーバーインフラストラクチャー領域で一般的に使用されているテクノロジーです。

	Not assigned	IP: 192.168.88.192 MAC: 18:65:71:F1:5B:06	CONNECTED	3.5.4-450	10BDL4551T release keys	LICENSED	Up 4h 52m	
	Not assigned	IP: 192.168.88.103 MAC: AA:BA:21:57:73:E2	CONNECTED	3.5.4-450	10BDL_3568 release keys	LICENSED	44d 0h 21m	
	Not assigned	IP: 192.168.88.104 MAC: 18:65:71:7E:2E:E5	CONNECTED	3.5.4-450	FED4 04	LICENSED	35d 17h 1m	
	Not assigned	IP: 192.168.88.91 ID: 3a3be43c11a2ff30	DISCONNECTED	3.5.4-450	v3.12.3_020240910.20	LICENSED	1e 0h 32m	
	Not assigned	IP: 192.168.88.240 ID: bfec3651c61b24dc	CONNECTED	3.5.4-450	MVR09MA500RUXU103F1	LICENSED	2d 15h 16m	

- Restart device
- Download log
- View screenshot
- View device info
- Device UID
- Maintenance mode

デバイス UID 要求を使用すると、デバイスは画面上にユニット識別ウィンドウを表示します。



注意: ユニット識別ウィンドウは、次の再起動または画面タッチまで画面を覆ったままになります(デバイスが画面上のタッチが有効になっている場合)。

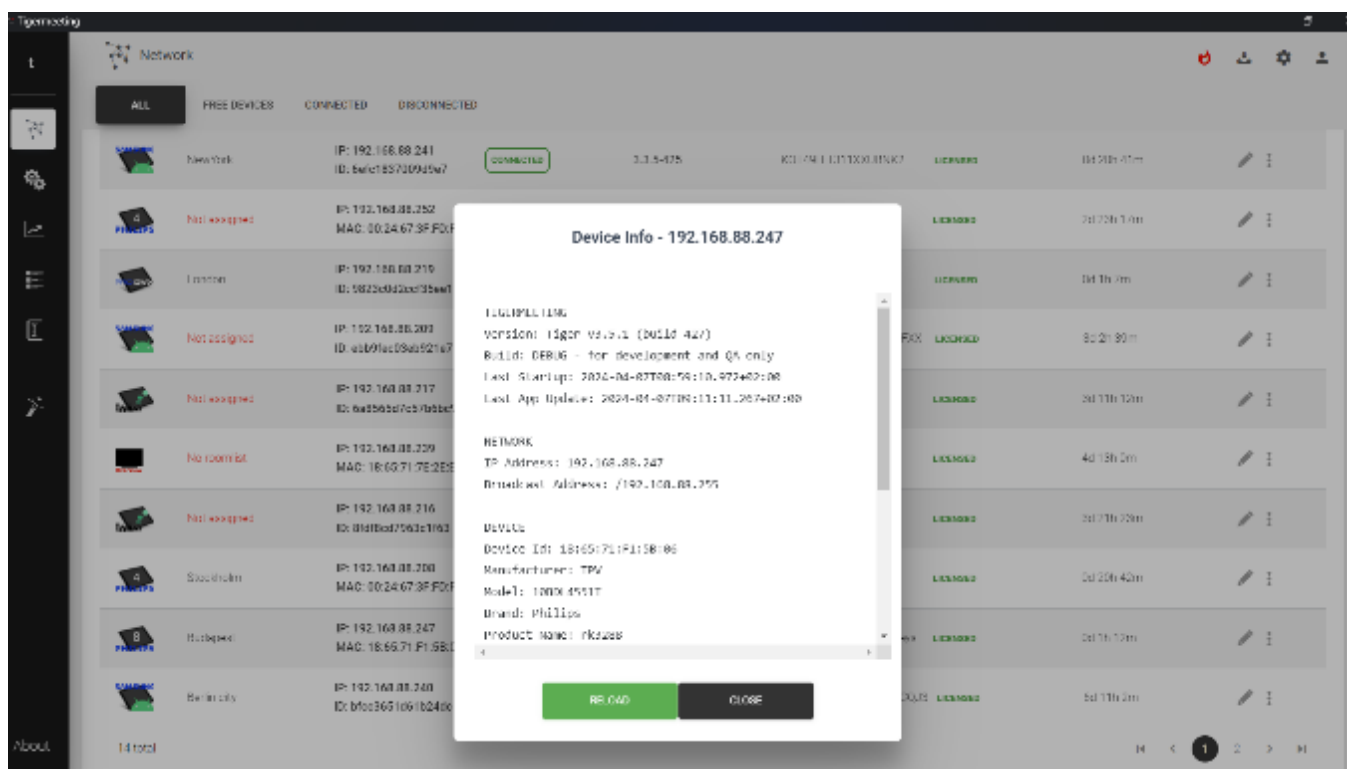
デバイス情報の表示

デバイスの詳細を確認すると便利な場合があります。

関連するハードウェア、ソフトウェア、およびベンダー固有の API 関連情報を収集する機能「デバイス情報の表示」を使用します。



デバイスが「接続」状態の場合、情報はスクロール可能な形式ですぐに表示されます。



この情報には、トラブルシューティング中に役立つベンダー固有の API 情報が含まれています。リクエストに応じて、この情報を Tigermeeting サポートと共有してください。

例：

```
ベンダー API getDeviceInfo = { "status": "OK", "deviceKey": "ProDVXapi",
"deviceManufacturer": "ZDMID", "deviceModel": "APPC-7XPL", "deviceProduct":
"rk3368", "deviceDisplay": "APPC-7XPL.AP6255 です。ProDVX.LVDS-1024x600.HW-
V1.1_1.11.10e です。A23_04", "devicePlatform": "rk3368", "androidSdk": 27,
"androidVersion": "8.1.0", "serialNumber": "7XPL22900181", "ip4Address":
"192.168.88.219", "screenBrightnessInternal": 200, "screenBrightness": 78,
"showSystemBars": false, "touchScreenEnabled": true, "deviceInteractive": true,
"apiAppPackageName": "com.prodvx.api", "apiAppVersion": "1.0",
"apiAppVersionCode": 20, "apiAppSystemSigned": true, "apiAppSystemFlagged": true,
"apiAppSystemUser": true }
```

Tiger 会議室のパラメータ

Tigermeeting インフラストラクチャでは、構成をデバイス間で共有したり(配布を設定したり)、言語から LED や予約の動作パラメータまで、すべてのデバイスに独自の設定を持たせることができます。

[分析 -> deviceId セレクター] の下に、ルーム固有の構成の詳細が表示されます。

Tigermeeting room parameters

key	value
booking_mode	today
clock_type	24h
calendar_sync_interval	10000
check_app_state_interval	1000
check_new_booking_interval	10000
confirm_after_start_interval	600000
confirm_before_start_interval	900000
confirm_interval	900000
default_confirmation	0
default_duration	15
device_id	18:65:71:F1:5B:06
duration_step	5
enable_cancel	1
enable_disable_confirmation	1
enable_reservation	1
greeting_text	Conference rooms
language	en
roll_step	5
screen_saver_interval	3600000
screen_saver_enabled	0
show_title	1
timeline_duration	4
timezone	Europe/Belgrade

この情報は、システムのトラブルシューティングを行う際に役立ちます。

この情報を尋ねられた場合は、この情報を Tigermeeting カスタマー サポートと共有してください。

メンテナンスモード

Tigermeeting ソリューションは公共の場で最もよく使用されており、悪意のある攻撃や画面の悪用を防ぐセキュリティ対策を講じる必要があります。

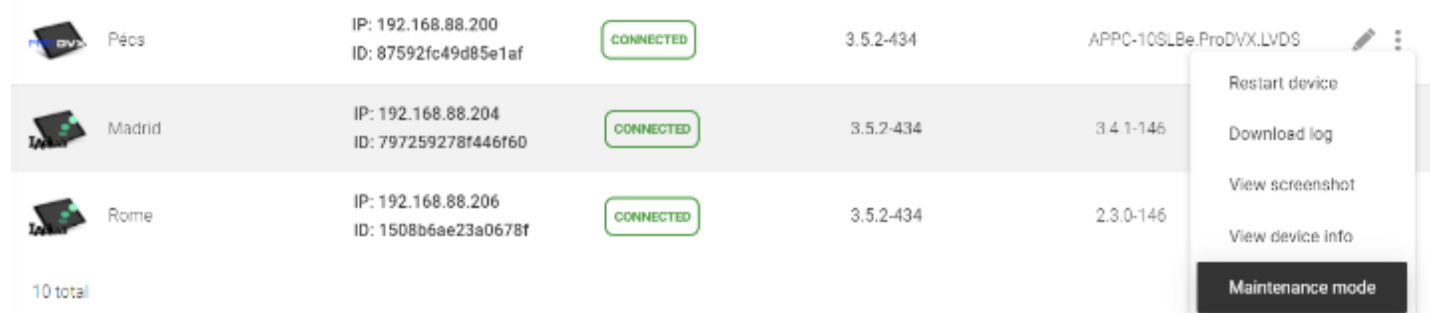
したがって、Tigermeeting アプリケーションは、標準の Android テクノロジーを使用して画面全体を占有し、次のようなアクセスを無効にします。

- SYSTEM_UI_FLAG_LOW_PROFILE: ステータスバーのアイコンが淡色表示されます。
- SYSTEM_UI_FLAG_HIDE_NAVIGATION: ナビゲーションバーが非表示になります。
- SYSTEM_UI_FLAG_FULLSCREEN: ステータスバーが非表示になります。
- SYSTEM_UI_FLAG_LAYOUT_STABLE: 安定したレイアウトを維持するのに役立ちます。
- SYSTEM_UI_FLAG_LAYOUT_HIDE_NAVIGATION: ナビゲーションバーはアプリのコンテンツをオーバーレイします。
- SYSTEM_UI_FLAG_LAYOUT_FULLSCREEN: ステータスバーはアプリのコンテンツをオーバーレイします。
- SYSTEM_UI_FLAG_IMMERSIVE: ユーザーはスワイプ ジェスチャでシステム バーを表示できますが、自動的に再び非表示になります。
- SYSTEM_UI_FLAG_IMMERSIVE_STICKY: SYSTEM_UI_FLAG_IMMERSIVE と似ていますが、システム バーは短時間表示されたままになります。

同様に、デバイスサプライヤーが不要な画面アクセスをブロックするための API インターフェイスを提供している場合、それらも使用されます。

ユーザーは、Tigermeeting がデバイス全体を占有し、デバイスにアクセスできないことを経験する可能性があります。ほとんどの場合、これは真実ではありません。サプライヤーのデバイスマニュアルを調べると、いくつかのボタンの組み合わせ、システムバーを表示できるパスワードで保護されたダイアログ、およびデバイスのメンテナンス操作を実行するためのボタンがあることが明らかになる場合があります。

サプライヤーAPI がメンテナンスをブロックし、画面を解錠するために API 呼び出しが必要な場合があります。(ProDVX および Allnet デバイスは例です)。

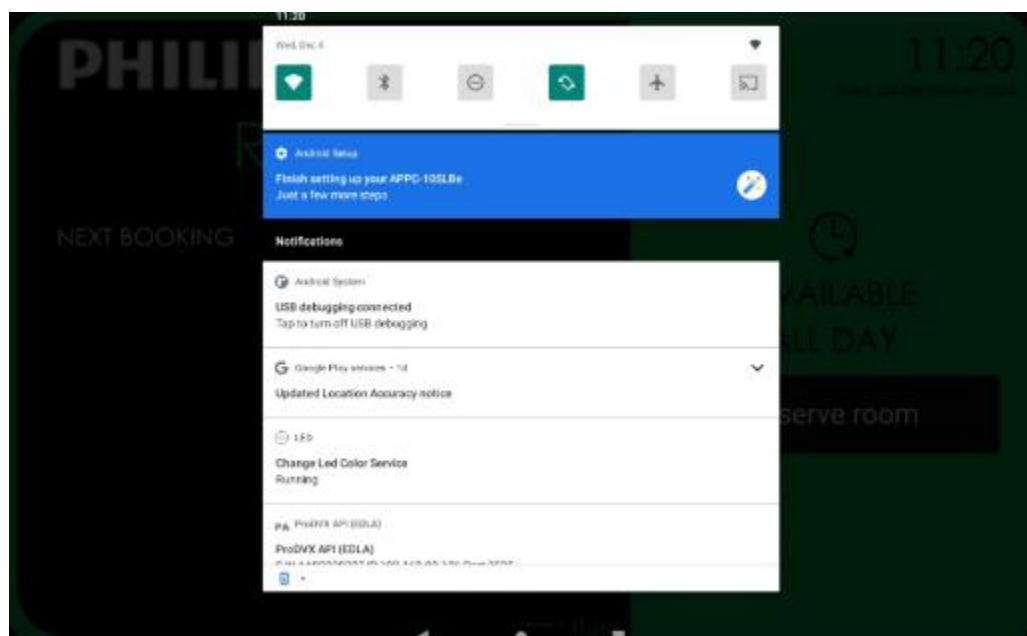


サポートされているデバイスの場合、「メンテナンスモード」が表示されます。

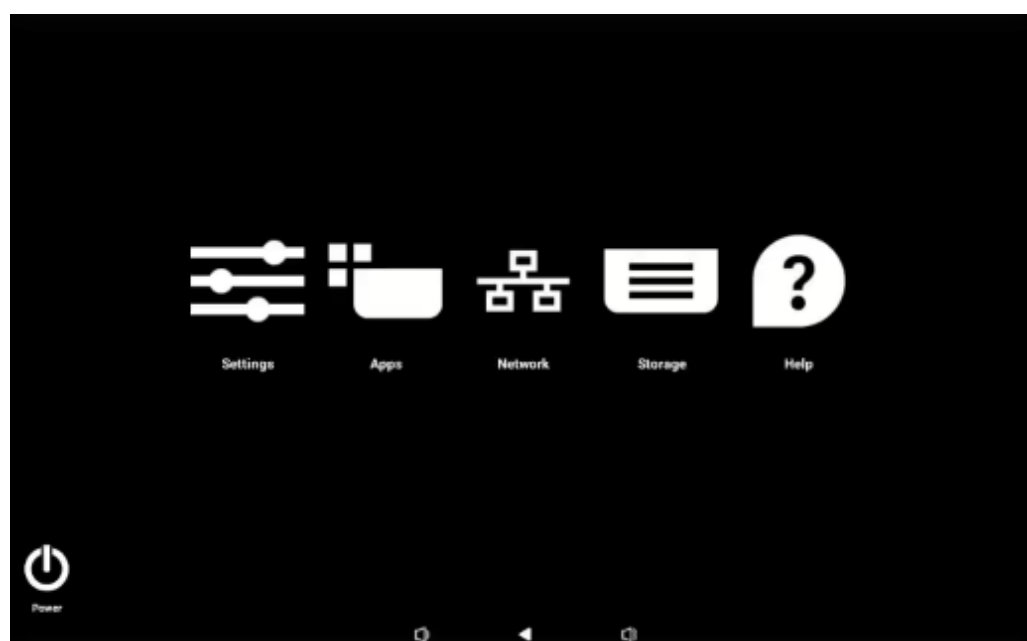
デバイスを周りに置いてください –一部のデバイスでは、システム バーが短時間だけ表示されるか、システム バーが表示されるには画面の上部から下にスワイプする必要があります。Android セットアップ プログラムは、サポートされているデバイスで開始されます。

メモ: セキュリティ上の理由から、アクティブなメンテナンスモードでデバイスを放置しないでください。

上から下にスワイプすると、システムメニューが ProDVX 画面に表示されます。



フィリップス(およびその他の Android 画面)は、パスワード保護なしでセットアップアプリを呼び出します



メモ: メンテナンス後、**保護を復元するには**デバイスを再起動する必要があります。

これは、保護されていない露出したデバイスが悪用されるリスクが高い公共スペースにデバイスを配置する場合に特に重要です。

POST コマンド

POST コマンドは、IAdea、Qbic、Aurora などのサポートされているデバイスで使用でき、ベンダー API により、デバイス上で非常に低レベルのセキュリティ操作が可能になります。API は公開されていませんが、Tigermeeting は、デバイスによって消費される暗号化されたメッセージをプッシュすることにより、デバイスと通信するための安全な方法を可能にします。

	Not assigned	IP: 192.168.88.193 ID: e053e45cebec1c63	CONNECTED	3.5.4-445	23.0-146	
	Not assigned	IP: 192.168.88.192 MAC: 18:65:71:F1:5B:06	CONNECTED	3.5.4-447	10BDL4551T re	
	Not assigned	IP: 192.168.88.101 ID: a0c1cb2fd5c0aa55	DISCONNECTED	3.5.4-445	ALLN-WA8058	
	Not assigned	IP: 192.168.88.95 ID: ec3bdfd1962ab569	DISCONNECTED	3.5.4-444	FB01.06	

Restart device

Download log

View screenshot

View device info

Post command

メッセージが Tigermeeting キーで暗号化されていない場合、またはメッセージのフォーマットが正しくない場合、画面はエラーメッセージで応答します。

Tigermeeting

Network

ALL

FREE DEVICES

CONNECTED

DISCONNECTED

	Not assigned	IP: 192.168.88.201 MAC: 00:24:67:3F:FD:FA	CONNECTED	3.3.6-138	FB01.05	
	Not assigned				FB04.05	
	Not assigned				KOT49HLT311XXUBNK2	
	Not assigned				MMR29M A300HUXU1CR+1	
	Not assigned				smarc_rzg2-userdebug 1	
	Not assigned				23.0-146	
	Not assigned				10BDL4551T release-keys	
	Not assigned				All N-WAR1081-R104V1.1A-	
	Not assigned				FB01.06	
	Not assigned				10BDL 3368 release-keys	

POST command - 192.168.88.193

Screen manufacturers have vendor specific APIs that can be used to push hardware specific service commands like factory resets, low level firmware adjustments and very specific, targeted settings to the supported devices.

NOTE: the command is an encrypted message that can be obtained ONLY from the Tigermeeting support team. DO NOT USE THIS FEATURE ON YOUR OWN. USE ONLY WHEN DIRECTED BY THE SUPPORT TEAM!!

COMMAND for the target device IP:192.168.88.193
Id:e053e45cebec1c63

CLOSE

SUBMIT

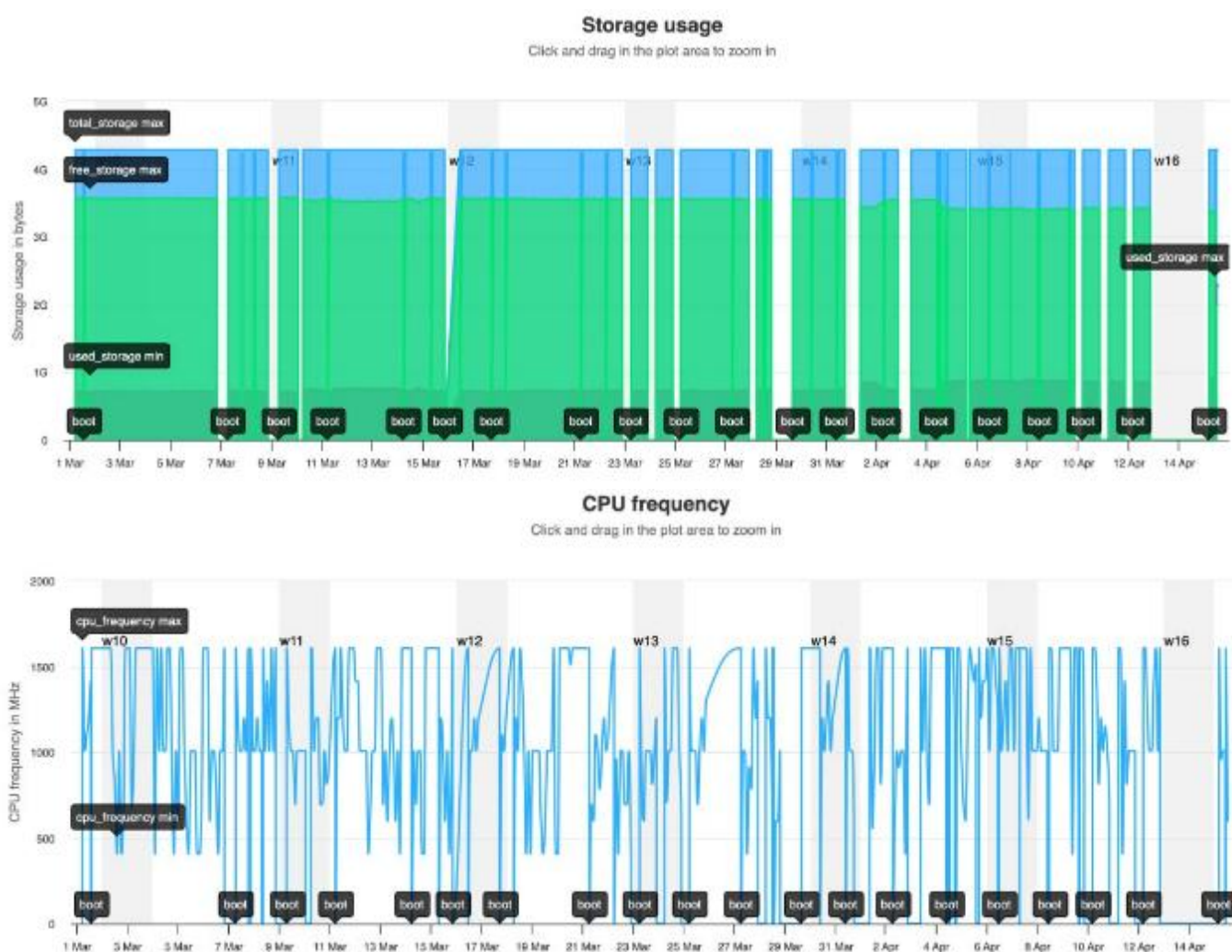
Http failure response for
http://192.168.88.193:6026/post_command: 500 Internal Server Error

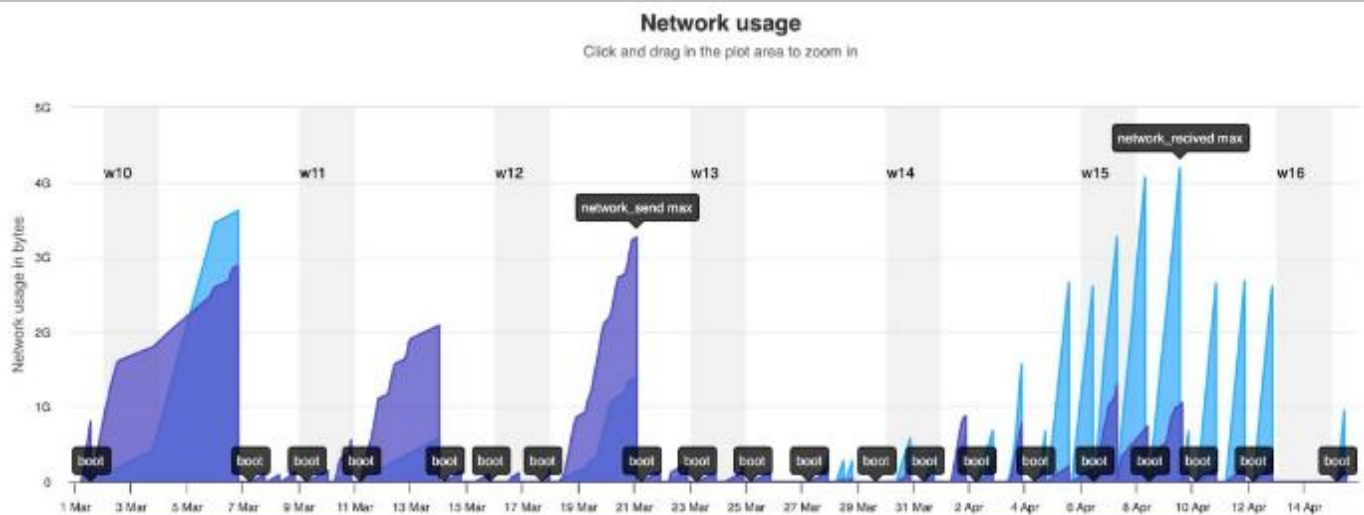
重要な注意:このコマンドは、Tigermeeting サポートチームからのみ取得できる暗号化されたメッセージです。 **この機能を自分で使用しないでください。**

サポートチームの指示がある場合にのみ使用してください!

ハードウェア メトリック

分析機能をオンにすると、トラブルシューティングの目的で貴重なハードウェア関連情報を使用できます。デバイスは、約 2 時間ごと、またはイベントが発生したときに測定値を送信します。この情報は、純粋に MAC アドレスまたはデバイスの Android ID に関連付けられています

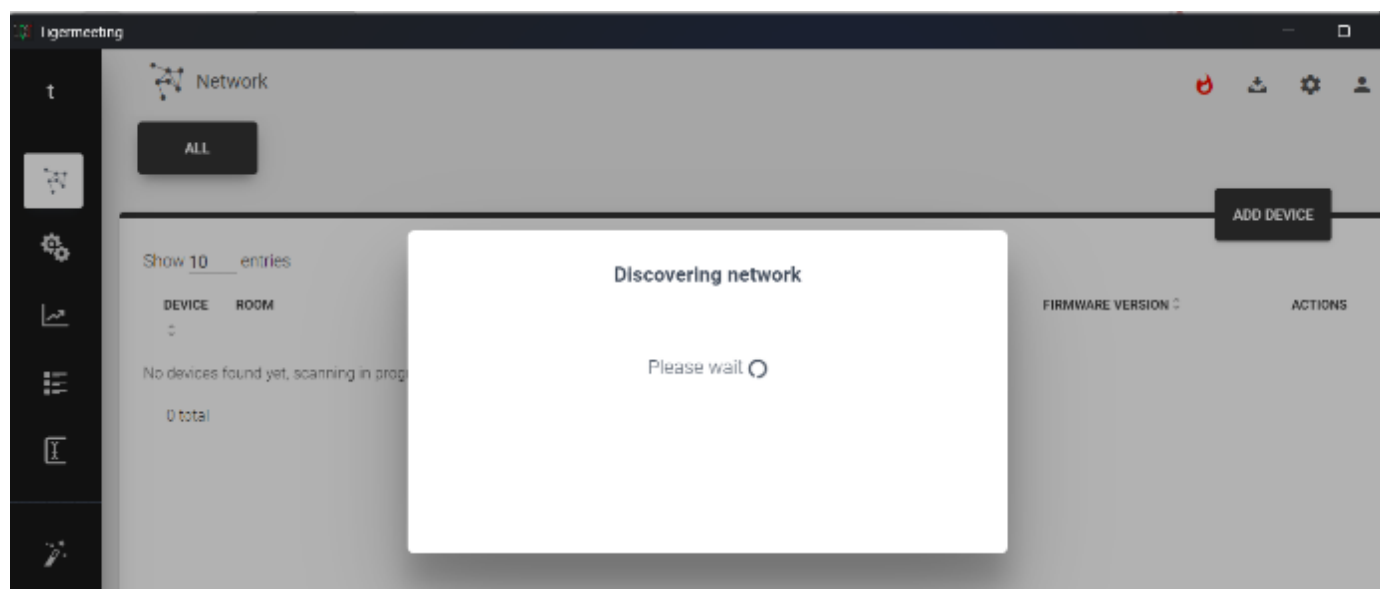




詳細については、プライバシーポリシーと GDPR コンプライアンスのページをご覧ください
<https://tigermeeting.app/en/features/gdpr-compliance>

デバイス検出の問題

Tigermeeting アプリケーションを実行している画面/デバイスと同じネットワークセグメントで管理アプリが起動されると、デバイスは自動的に検出されます。



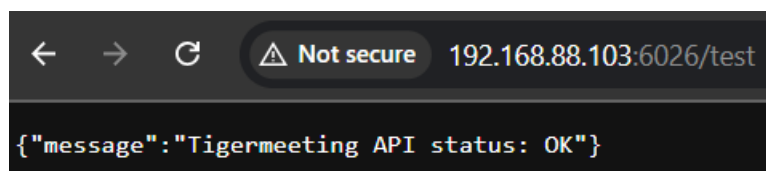
デバイスが検出されない場合は、次のテストを実行します。

- 一. ネットワークがネットワーク要件を満たしている(ドキュメントの冒頭を参照)
- 二. 管理アプリはネットワークの使用を許可されます (Windows ファイアウォールを通過するアプリケーションを許可するために、Windows はこのアクセス許可を要求する場合があります)。
- 三. デバイスがネットワークにアクセスできることを確認します(たとえば、ping コマンドでテストします)

VPN 接続とルータは通常、ネットワーク ブロードキャスト パッケージを転送しません

。このような場合は、**デバイスの IP アドレスを入力して** [デバイスの追加] ボタンを使用してデバイスを追加できます。

デバイスの IP が正しく、Tiger APK がデバイス上で正しく実行されている場合、および管理アプリがデバイスに接続できない場合は、ブラウザを開いて次の URL を入力してください:**http://device_IP_address:6026**。予想される応答は、次のような JSON 形式です。



応答が異なる場合、またはタイムアウトした場合、デバイス上の管理アプリと Tiger APK の間に通信はありません。

分析のために、管理者ログを Tigermeeting サポートに送信してください。

注: MacOS Sequoia (バージョン 15.x) の初期バージョンでは、デバイス検出ですべてのデバイスがオフラインであることを示す問題がありました。

Show 10 entries

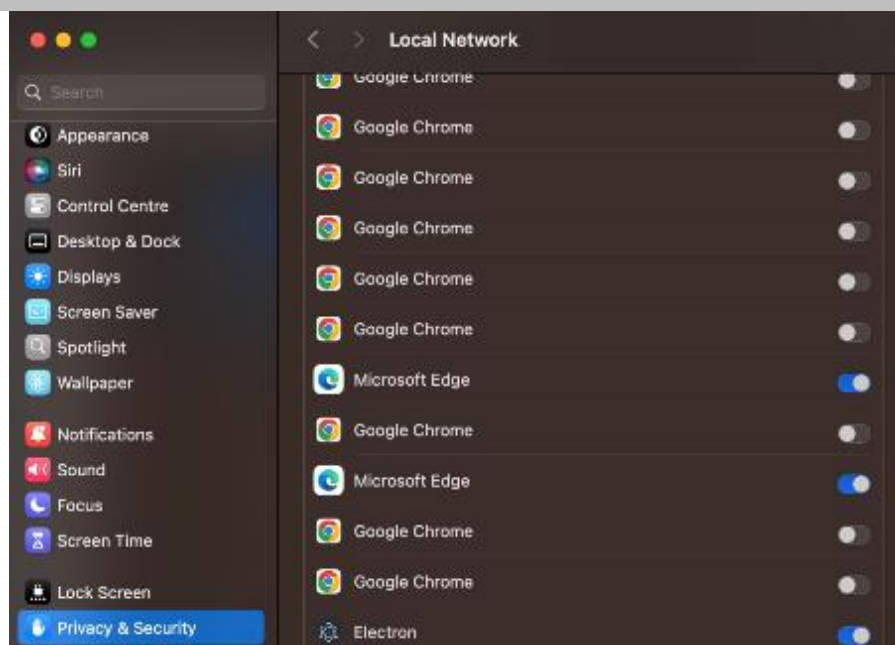
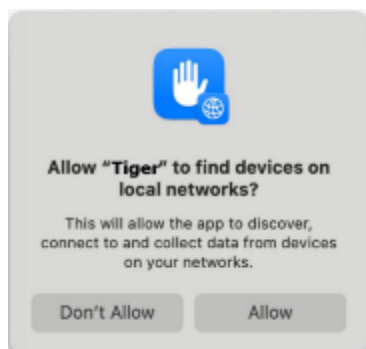
DEVICE	ROOM	IP / MAC ADDRESS	STATUS
 Philips	p_Budapest	IP: 192.168.88.201 MAC: 00:24:67:3F:FD:FA	DISCONNECTED
 Philips	p_London	IP: 192.168.88.208 MAC: 00:24:67:3F:FD:F0	DISCONNECTED
 Philips	p_NewYork	IP: 192.168.88.103 MAC: AA:BA:21:57:73:E2	DISCONNECTED
 Philips	p_Paris	IP: 192.168.88.192 MAC: 18:65:71:F1:5B:06	DISCONNECTED
 Tiger	p_Rome	IP: 192.168.88.193 ID: 1508b6ae23a0678f	DISCONNECTED

この問題は、15.0 から 15.1.x までのバージョンで確認されています

MacOS バージョン 15.2 以降、この問題は解消され、MacOS の最新のオペレーティングシステムのアップデートによって解決されたと考えられています。

MacOS Sequoia から、Tigermeeting Admin アプリは、ローカルネットワークアクセスを必要とする他のすべてのアプリケーションと同様に、**ローカルネットワークアクセス** 権限を持っている必要があることに注意してください。

最初の起動時に許可するか、後で [システム設定] -> [プライバシーとセキュリティ] -> [ローカル ネットワーク] でローカル ネットワーク アクセス許可を許可します。



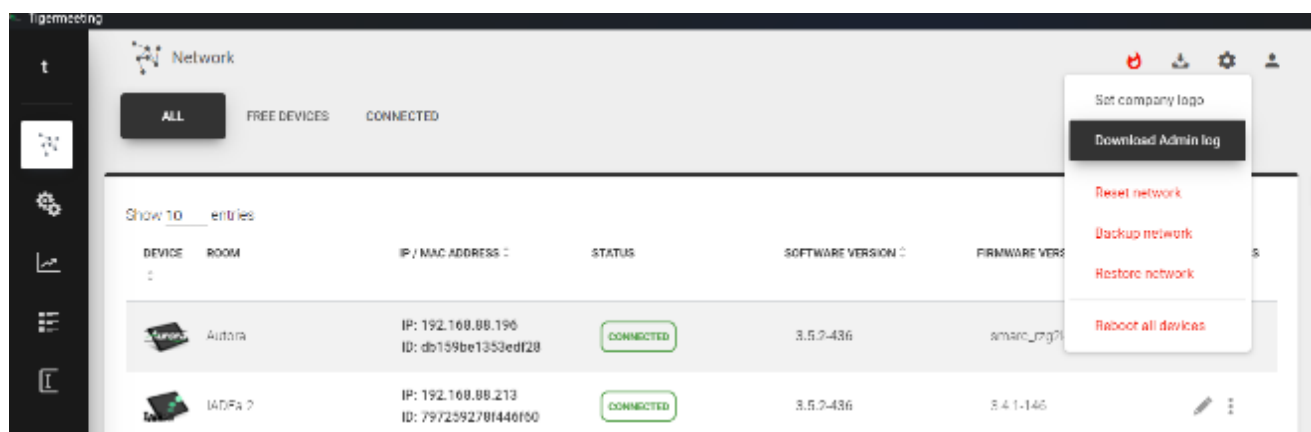
アプリケーション名は、Tiger、Tigermeeting、または Electron の間で異なる場合があります。

ネットワークの再起動

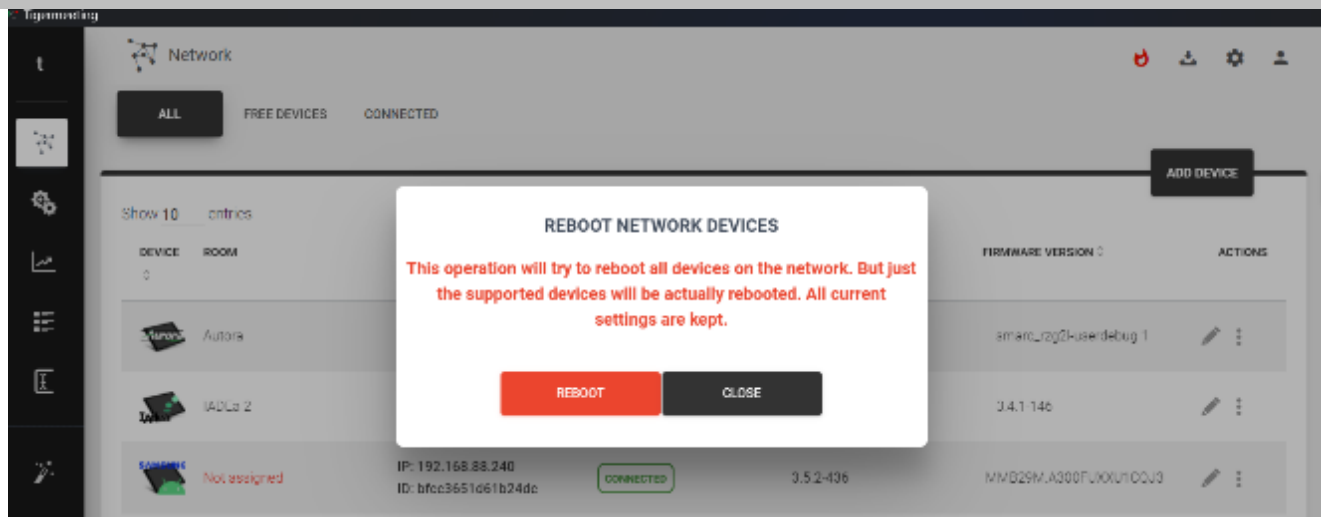
管理者がすべてのデバイスでネットワーク全体の操作を実行したい場合があります。

これらの操作には次のものが含まれます。

- **ネットワークをリセットする** – すべてのデバイスのパラメータを満たす Tiger をデフォルトにリセットします。
- **バックアップネットワーク** – 現在の構成のバックアップを実行します
- **ネットワークの復元** – 以前のバックアップから構成を復元します。
- **すべてのデバイスを再起動する** – すべてのデバイスでインスタント再起動を実行します。



リセット、バックアップ、復元の操作は直感的ですが、再起動には説明が必要です。



このコマンドは設定されたすべてのデバイスをリブートするという顧客の期待ですが、実際には、サポートされているデバイスのみがリブートを実行します。

Tiger Android アプリはルート アプリケーションではありません。ユーザー空間で実行されるため、ベンダーがインターフェイスを提供していないデバイスでシステム操作を実行する権限はありません。

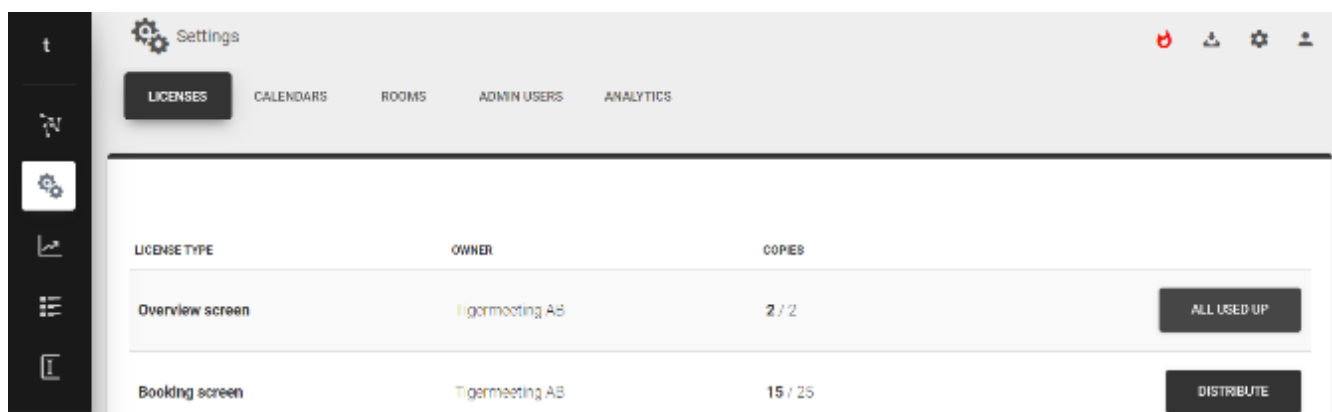
サポートされているデバイスには、すべてのフィリップス、ProDVX、IAdea、Qbic、および Aurora スクリーンが含まれます

ライセンスの欠落

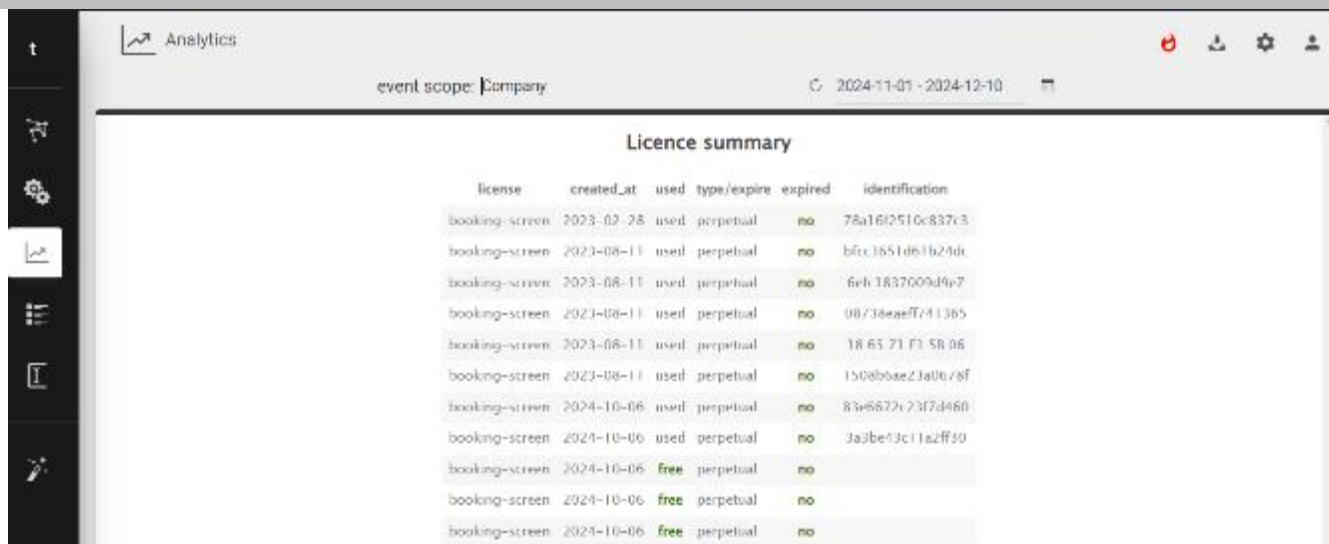
前の章からのリマインダー:

ライセンスは管理アプリで管理されます。

[設定]-[ライセンス]で**ライセンスを表示および割り当て**>



ライセンスの種類、有効期限、割り当てられたデバイス ID を **Analytics->Company** で表示する



license	created_at	used	type/expire	expired	identification
booking-screen	2023-02-28	used	perpetual	no	78a16d2510c837c3
booking-screen	2023-08-11	used	perpetual	no	bfc13651d61b24dc
booking-screen	2023-08-11	used	perpetual	no	66h3837009d9e7
booking-screen	2023-08-11	used	perpetual	no	08738aeff741365
booking-screen	2023-08-11	used	perpetual	no	18 65 71 F1 58 06
booking-screen	2023-08-11	used	perpetual	no	150abbae23a0e78f
booking-screen	2024-10-06	used	perpetual	no	83e6627c237d46ff
booking-screen	2024-10-06	used	perpetual	no	3a3be43c11a2ff50
booking-screen	2024-10-06	free	perpetual	no	
booking-screen	2024-10-06	free	perpetual	no	
booking-screen	2024-10-06	free	perpetual	no	

ライセンスを取得したデバイスが、事前にライセンスをデタッチせずにネットワークから削除された場合、ライセンスは、終了していないデバイスに接続された「使用済み」のままになります。

これらの孤立したライセンスを取得するには、Tigermeeting カスタマー サポートに連絡し、それらのデバイスの ID (MAC/AdID) を提供して孤立したライセンスの取得を依頼してください。

異なる識別で同じデバイスを複数回使用する場合

Tigermeeting は、デバイスの MAC アドレスまたは Google Android ID を使用して、Tigermeeting ネットワーク上のデバイスを識別します。

Android デバイスの MAC アドレスと Android ID はさまざまな目的を果たし、プライバシーと機能に明確な影響を及ぼします。

MAC アドレス:

- 定義: MAC (メディア アクセス制御) アドレスは、物理ネットワーク セグメント上の通信のためにネットワーク インターフェイスに割り当てられる一意の識別子です。MAC は、デバイスのネットワーク ハードウェアのデジタル フィンガープリントです。
- 使用法: LAN 内のネットワーク管理と通信に使用されます。ルーターは MAC アドレスを使用してデバイスを識別し、デバイスと通信します。
- プライバシー: Android 10 以降、Google はプライバシーを強化するために MAC アドレスのランダム化を実装しました。これは、デバイスが接続する Wi-Fi ネットワークごとに異なる MAC アドレスを使用することを意味し、ネットワークが

Android ID:

- 定義: Settings.Secure.ANDROID_ID または SSAID は、最初のセットアップ時にデバイスに割り当てられる一意の識別子です。一度生成され、デバイスを出荷時設定にリセットしない限り一定のままです。
- 使用法: この ANDROID_ID は、デバイスの識別、安全なアプリのインストールの有効化、アプリやサービス全体のユーザー アカウントの管理のために、アプリ開発者によって一般的に使用されます。広告 ID とは異なり、ANDROID_ID は通常、パーソナライズされた広告には使用されません。
- プライバシー: ANDROID_ID はユーザーがリセットできませんが、ユーザーはアプリの権限を管理し、機密性の高いデバイス識別子へのアクセスを制限することでプライバシーを保護できます。さらに、デバイスを出荷時設定にリセットすると、新しい ANDROID_ID が生成されます

ネットワークは常にデバイスの MAC アドレスを使用するため、Android 10 + デバイスでは、ランダムな MAC 変更は Tiger APK によって処理されるようです。

ファームウェアの工場出荷時設定へのリセットまたは意識的な Android ID リセットは、ネットワークが新しい Android ID でデバイスを検出することを示す可能性があります - 新しく検出されたデバイスにはライセンスがありません。

管理アプリ内の問題を解決します。

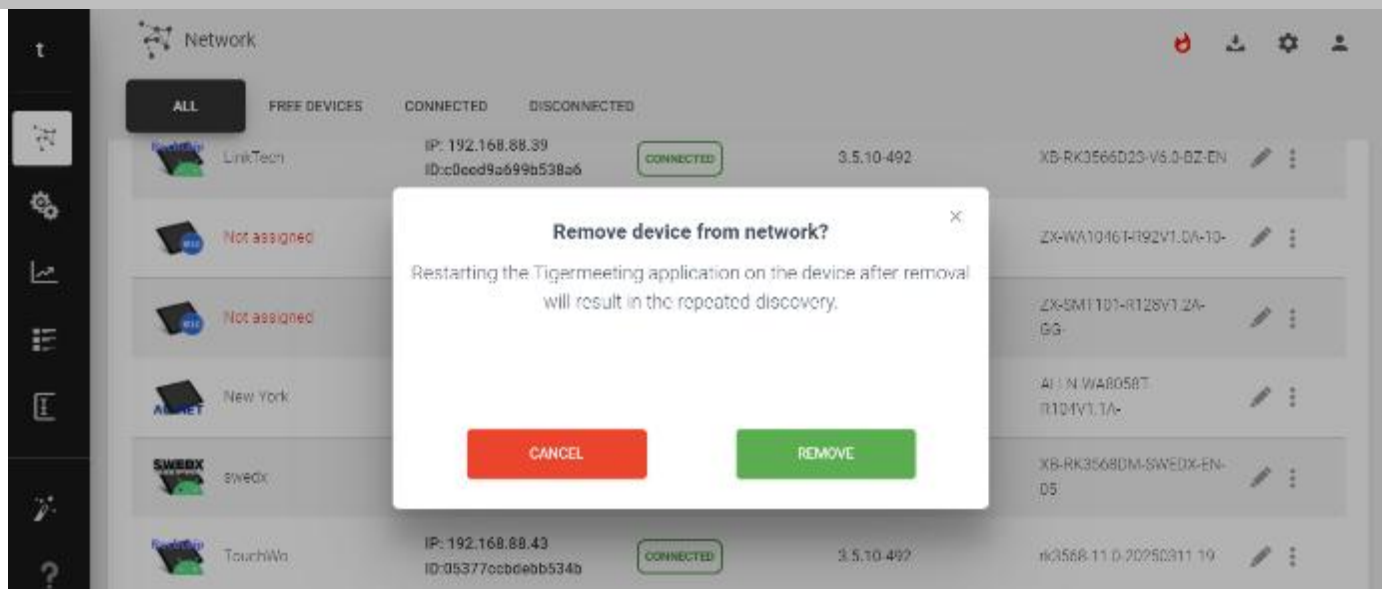
- 古い ID を持つデバイスからライセンスをデタッチし、削除します。
- 新しく検出されたデバイスにライセンスをアタッチし、設定します。

	levinko	IP: 192.168.88.11 ID: b9abf9677da2f519	DISCONNECTED	3.5.10-492	M68-11.0-10.1-XP-YS0.1-		
	Not assigned	IP: 192.168.88.11 ID: 223fa8f6869d65b4	CONNECTED	3.5.10-492	M68-11.0-10.1-XP-YS0.1-		

上記の例では、切断されたデバイスをネットワークから安全に取り外すことができます

	levinko	IP: 192.168.88.11 ID: b9abf9677da2f519	DISCONNECTED	3.5.10-492	M68-11.0-10.1-XP-YS0.1-		
	Not assigned	IP: 192.168.88.11 ID: 223fa8f6869d65b4	CONNECTED	3.5.10-492	M68-11.0-10.1-XP-YS0.1-		

Remove from network



…管理者ログには、削除されたデバイスのライセンスが切り離され、会社のライセンスプールに戻されたことがわかります。

USER	EVENT	TIME	IP	ADMIN
zoli@tigermeeting.app (me)	License detached (b9abf9677da2f519)	2025-07-07 08:25:07	83.251.225.184	Windows (3.4.0)
zoli@tigermeeting.app (me)	Device removed (b9abf9677da2f519 OK)	2025-07-07 08:25:07	83.251.225.184	Windows (3.4.0)

標準的な手順に従って、新しく検出されたデバイスにライセンスを添付してください: **設定 -> ライセンス**

場合によっては、使用可能なライセンスプールに「紛失した」ライセンスが表示されるように、管理者ユーザーがログアウトして再度ログインする必要があることに注意してください。

会社のロゴ、背景画像、ブランディング

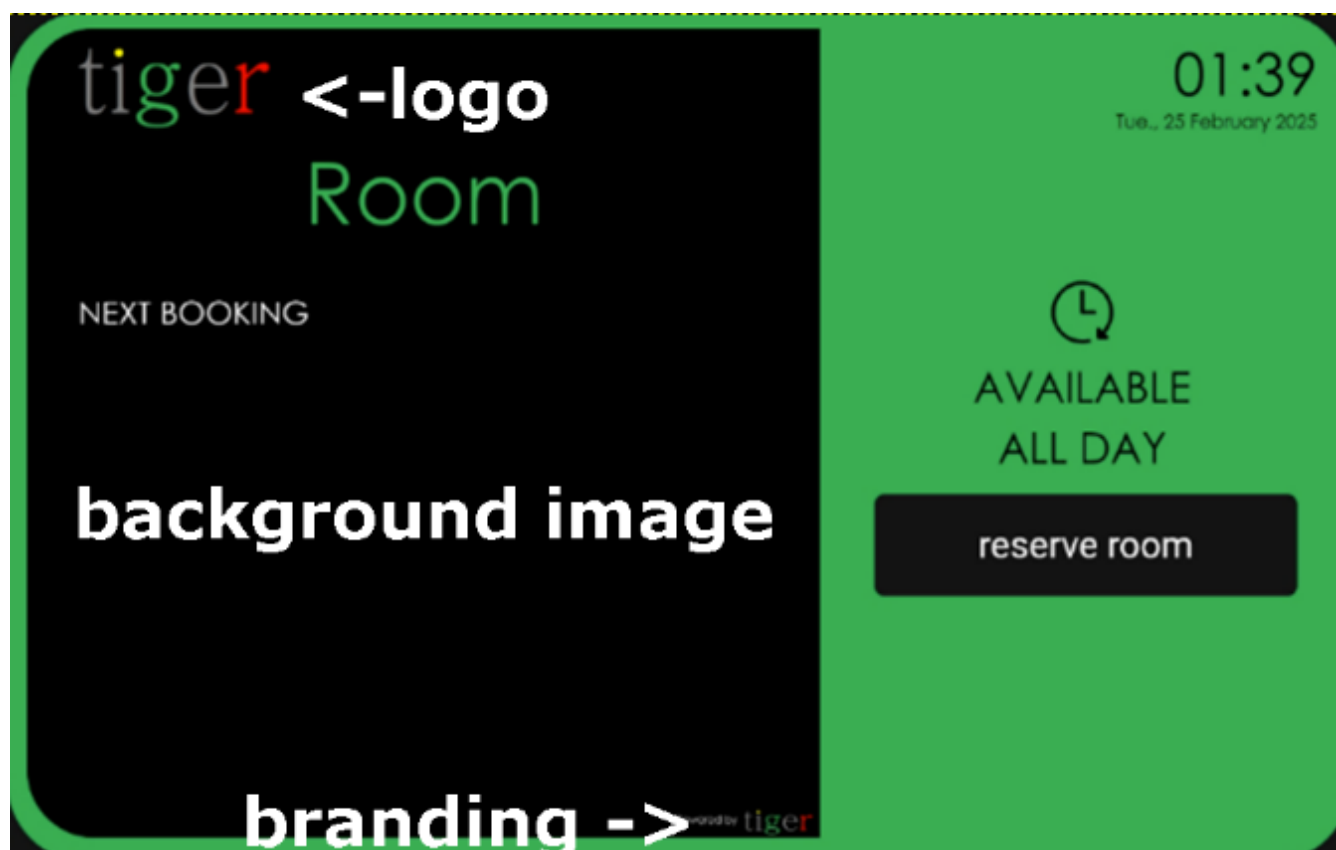
すべての予約画面のテーマには、変更および調整できるグラフィック要素があります。

- 会社のロゴ
- テーマの背景画像
- ブランディングメッセージ(Tiger を提供)。

これらの要素を調整することは、予約画面を会社のオフィスや学校の環境に適合させるために不可欠です。

この章では、それぞれのメニューポイントですでに詳細に説明されているオプションに関連す

るこれらのグラフィカル要素を要約します。



会社のロゴ

- 会社のロゴは、設定(右上の歯車)を押すことで変更できます



- ロゴを 120x60px サイズの PNG 画像形式でアップロードします。背景は透明をお勧めします。会社のロゴはすべてのデバイスで同じになります。
- ロゴを削除する必要がある場合 - 空の透明な PNG 画像 (サイズ 120x60px) を使用するとロゴが消えます。
- サンプル NO LOGO 画像: <https://tigermeeting.app/img/no-logo.png>

背景画像

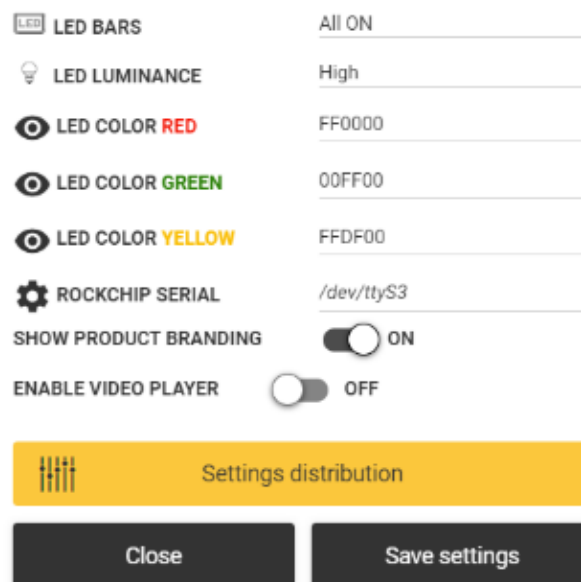
- 背景画像はすべてのテーマで変更できますが、背景画像が表示されている領域、画像の不透明度はテーマに依存し、テーマごとに異なります。
- 背景画像は、最大画像サイズが 4Mb の PNG 形式でなければなりません
- テーマ固有の要素(部屋名、天気情報、次の会議など)を考慮して、背景画像はテーマごとに特別にデザインすることをお勧めします。
- 背景画像には、予約画面のサイズ、比率、解像度を含めることをお勧めします(ほとん

どの場合、比率は 16:9、サイズは 1280 x 800px が使用されます)。

- ほとんどのテーマでは、小さい背景画像が並べて表示されます。
- 背景画像は、テーマに対してグローバルに設定することも、必要に応じてデバイスごとに設定することもできます - 詳細については、テーマ設定の章をご覧ください。

ブランディングメッセージ

- 「powered by Tiger」ブランドメッセージと Tiger ロゴは、管理アプリのデバイス詳細オプションからデバイスごと(またはディストリビューション全体)でオンまたはオフにすることができます。
- 「製品ブランディングを表示」のオン/オフパラメータは、「ルームサービス」など、ブランディングに関連するすべての Tiger ロゴを削除します。



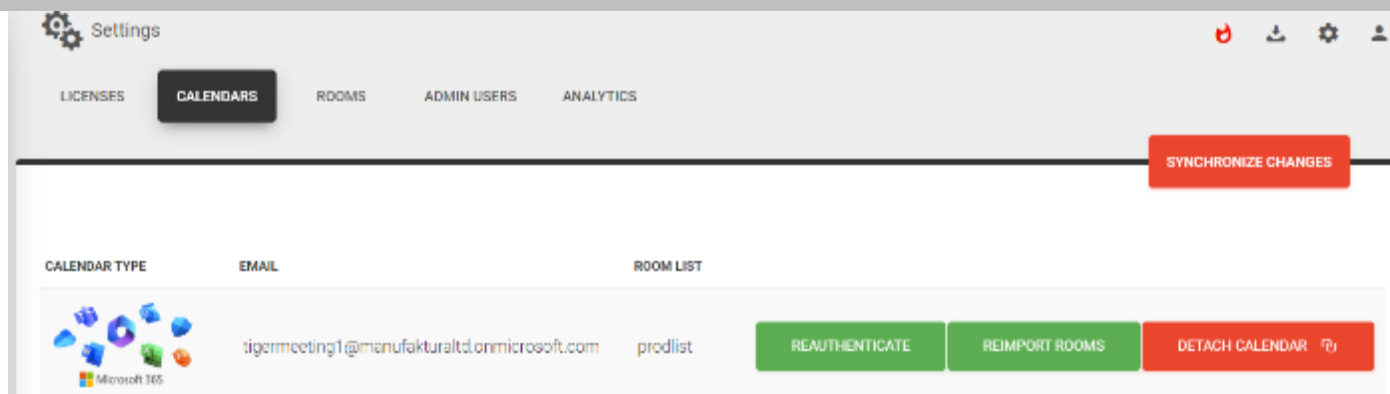
Microsoft / Google 認証トークンの有効期限が切れます

Microsoft と Google の認証トークンには、有効期限が切れるまでに一定の有効期間があります。

会社の構成にもよりますが、数か月の場合もあれば、わずか数日の場合もあります。

画面上の Tigermeeting アプリケーションは、有効期限が切れる 1 時間前に新しいトークンを要求することで、これらのトークンを維持しようとします。

残念ながら、更新が行われようとしているその時点で画面がオンラインでない場合、古いトークンは期限切れになり、将来的には機能しなくなります。再認証により、この問題は解決されます。



...このような状況を回避するために、毎晩または週末に電源を切ったり、ネットワークから切断したり、スリープモードにしたり、すべてのデバイスを一時停止したりしないでください。

オンラインになるには 1~2 台のデバイスで十分です-トークンの更新を行い、再びオンラインになると他のデバイス間で配布されます。

デバイスの時刻は正しいですか？

カレンダーを扱うことは、すべて時間に関するものです。

Tigermeeting 環境のデバイス/画面はすべて、時間を使用して相互に連携する独立したエンティティです。

時刻がコマンドと同期していない場合、更新は無視でき、カレンダーは SSL ハンドシェイクを拒否し、誤動作や誤解につながる可能性があります-ネットワーク内のデバイス間のデータベース交換と、管理アプリがデバイスに送信する変更された構成は、正しいタイムスタンプ(日付と時刻)に依存します。

これらのエラーはエンドユーザー(オフィスの従業員、大学の学生、学校の生徒)には公開されませんが、ログを分析すると、Tigermeeting のインフラストラクチャ管理者にこれらの問題が明らかになります。

ただし、潜在的な不整合を検出し、Tigermeeting 環境での問題を回避する最も簡単な方法は、次のことを確認することです。

- 使用されているタイムゾーンが正しい
- 時刻が正しく設定されている
- デバイスが正しい時刻を表示します

NTP(ローカルネットワーク時刻)を使用したり、タイムゾーンや時刻を明示的に設定したりしても、デバイスが使用している現在の日付と時刻が常に正しい限り、Tigermeeting の観点か

らは違いはありません。

ビデオプレーヤーが起動しない

ビデオプレーヤーが起動しない場合は、ほとんどの場合、満たされていない 2 つの基本要件のいずれかが確認する必要があります。

ビデオファイルの URL

ビデオファイルには、URL 経由でアクセスできる必要があります。この URL は、mp4 ファイルを直接公開しないため、YouTube リンク、Google ドライブ、SharePoint リンクなどにすることはできません。ビデオは Web サーバー経由で公開され、http または https プロトコル経由で直接到達できる必要があります。

内部 (会社のイントラネット サーバーなど) または外部の Web サーバーであれば何でもかまいませんが、要件は URL がビデオ ファイルを直接指していることです (リダイレクトや JavaScript ラッパーなし)

一)悪い例:(有効なビデオですが、Android メディアプレーヤーは「ラップされたファイル」を再生できません)

YouTube:<https://www.youtube.com/shorts/T4IKFKSZvL8>

Google ドライブ

:https://drive.google.com/file/d/1qP91wWHD9SjFDBb3a_BIOrOYq6Ft_OY1

二)良い例: (URL はビデオ ファイルを直接指しています)

<https://examplefiles.org/files/video/mp4-example-video-download-hd-1280x720.mp4>

<https://onlinetestcase.com/wp-content/uploads/2023/06/4.06-MB.mp4>

Android の権限

Android の MediaPlayer は、管理アプリで設定されたビデオコンテンツを再生するために使用されます。

MediaPlayer にはストレージ権限が必要です。Tiger アプリにすべてのストレージ権限があることを確認してください。Android のバージョンが異なれば、用語や文言が異なり、権限も異なります。Tiger アプリによって起動される MediaPlayer は、ストレージにアクセスする必要があります。

[設定]->[アプリ(および通知)]-> [Tiger]-[>権限](または[ストレージ権限])で、すべての権限(ファイルとメディア、ビデオと写真など)が許可されていることを確認してください。および同様の権限)。

アップグレード後（ファームウェアのアップグレードと Tiger APK のアップグレードの両方）で、権限が取り消される可能性があります。

これは、Tiger アプリケーションの単純なバグではなく、Android の権限処理方法の根本的な変更が原因で発生します。

通常、古いバージョンのアプリに付与された権限は、特に主要な Android バージョンのしきい値を超えた場合に、targetSdkVersion を大幅に増やした場合、アップグレード後に取り消されます。

通常の場合では、targetSdkVersion がすでに最新であり、Tiger が機能更新をプッシュしているだけの場合、付与されたアクセス許可は保持されます。表示される失効は、アプリが Android システムに、より新しく、より安全な権限モデルをサポートするようになったことを通知することによって引き起こされる 1 回限りのイベントです。

ビデオプレーヤーが動作し続けるために、ストレージアクセス権限を再度設定してください。一部のデバイスでは、新しい権限設定を使用するために再起動が必要です

横向きモードのポートレートテーマ

Tigermeeting アプリケーションは、Android 内部呼び出しを使用して、選択したテーマに基づいて画面の向きを管理します。

これはほとんどの場合非常にうまく機能しますが、オペレーティングシステムレベルで画面の向きを制御できる画面では、それを上書きできるソフトウェアはありません。これにより、縦向きのテーマが選択され、Tiger アプリが縦向きのテーマに正常に変更されたにもかかわらず、画面が横向きのままであるという症状が発生することがあります。

これは、Android 11 (API 30) を実行しているデバイスで最もよく見られ、このオプションが導入され、後に改良されているため、Android 11 以降では方向が適切に機能します。

また、Android 16 (API 34) では、画面の向きを上書きできない場合に、いくつかのセキュリティ オプションが導入されました。

このような場合、画面の向きを手動で調整する必要があり、Tigermeeting に組み込まれている自動向き変更は使用できません。

画面の向き関連の設定については、Android の設定オプション(ほとんどの場合、[設定]->[ディスプレイ])を確認してください。画面の回転を 90 度変更すると、ほとんどの場合の問題が解決します。

ただし、スクリーンディスプレイビューターにアドバイスやハードウェアサポートを依頼してく

ださい。

ハードウェア固有の設定

Tigermeeting は、可能な限り「工場出荷時の設定」画面を使用します。

ただし、一部の設定はハードウェア モデルによって変更されるか、セキュリティを向上させたり、ハードウェアの動作を微調整したりするためにユーザーによって構成されます。

ProDVX トークン

ProDVX トークンは、ProDVX API を使用するための認証レイヤーとセキュリティを提供します。トークンは静的ですが(Qbic や IAdea API とは異なります)、ProMGR – ProDVX リモート管理ツールで設定される顧客固有のものにすることができます。(リードの詳細については、ProDVX ドキュメントを参照してください)

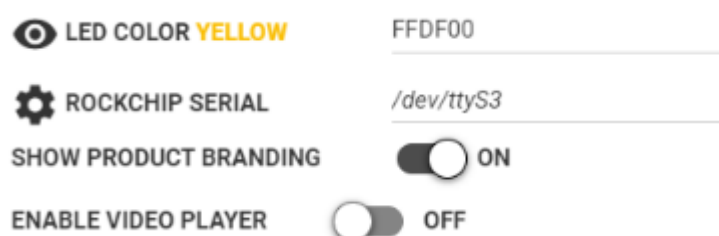
トークンがデフォルトでない場合、LED バーやその他の機能は、画面/メーカー固有の機能が期待どおりに機能しません。

この場合、デフォルトの ProDVX トークンを使用するように画面を工場出荷時設定にリセットするか (トークンが不明な場合)、管理アプリで必要なトークンをデバイスごとまたはディストリビューション全体で構成します。



ロックチップシリアルデバイス

モデルやシリーズによっては、LED ライトやその他の画面機能を制御するために使用されるシリアルデバイスが変わる場合があります。デフォルトは **/dev/ttyS3** です。変更が可能です



ShiMeta シリアルデバイス

Rockchip シリアルデバイスを参照してください。

アプリケーションのデータの消去

このコマンドは、**Settings->Applications->Tiger->Storage->Clear Data / Clear Cache**と同じです。

キャッシュとストレージからすべての Tiger アプリケーション関連データを削除します。

Tiger アプリケーションは、初期インストール直後のように動作します。

注: この機能は、自己責任で使用してください。

画面からすべてのアプリケーションデータが消去されます。

管理アプリがデバイスを回復し、デバイスのライセンスも保持されます。

これらの操作の違いを理解するために、デバイスの工場出荷時設定へのリセットもお読みください。

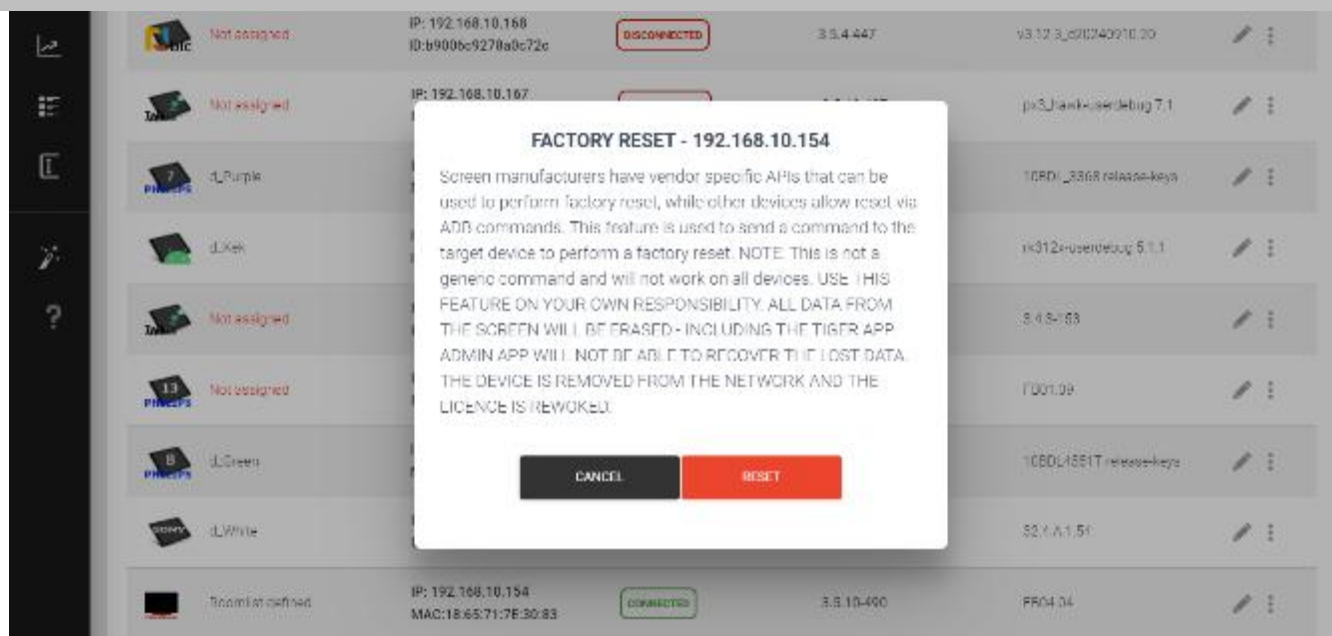
デバイスの工場出荷時設定へのリセット

画面メーカーには、工場出荷時設定へのリセットに使用できるベンダー固有の API がありますが、他のデバイスでは ADB コマンドによるリセットが可能です。

この機能は、出荷時設定にリセットするコマンドをターゲットデバイスに送信するために使用されます。メモ: これは一般的なコマンドではなく、すべてのデバイスで機能するわけではありません。

この機能は、自己責任で使用してください。TIGER アプリを含む画面からのすべてのデータが消去されます。管理アプリは失われたデータを回復できません。

工場出荷時設定にリセットするとデバイスの Android ID が変更される可能性が高いため、添付された Tigermeeting ライセンスが切り離され、デバイスがネットワークから削除されます



重要な注意: 工場出荷時設定のリセットは元に戻せません。デバイスの工場出荷時の設定が復元されます。この操作は、自分が何をしているのかが確実で、自己責任で行ってください。

クローズドなオンプレミス環境での Tiger サービス

Tigermeeting の画面は、Tigermeeting クラウドで提供されるサービスにアクセスせずにオンプレミスで動作するように設計されていますが、多くのお客様は、ソフトウェアとファームウェアのアップグレード、言語の更新、テーマの変更などを取得するハイブリッドアーキテクチャのメリットを享受したいと考えています。

簡単な解決策は、デバイスが Tiger クラウドにアクセスできるようにすることです。

<https://tigermeeting.app> (ホスト: tigermeeting.app ポート 443)。

Tiger ソフトウェアのアップグレード

タイガーミーティングは積極的に開発されているライブ製品です。翻訳の修正、言語の更新、古いテーマの調整、新しいテーマなど、多くのアップデートは Android アプリケーションをアップグレードする必要はありません。

新機能、セキュリティ、バグ修正、改善を含む Android ソフトウェアアップデートは、年に約 3~4 回定期的にリリースされます。

新しいリリースとそのコンテンツは、すべての管理者ユーザーに電子メールで発表され、ソーシャルメディアで、変更はリリースノートで公開されます(管理アプリ->バージョン情報メニューからアクセス可能)

Tiger クラウドにアクセスできるデバイスは、クラウド サービスにクエリを実行し、更新を自動的にプルし、アップグレードの可用性が [管理アプリ>ネットワーク] リストに通知されます。

クローズドなオンプレミス環境では、デバイスが Tiger クラウドをポーリングして利用可能な更新プログラムを取得できなかったという理由だけで、更新通知が届きません。

解決策: リリースノートメールの送信後、いつでも約 2 時間 Tiger クラウドアクセスを開くと、デバイスが Tiger クラウドから最新の更新プログラムを取得するのに十分な時間です。すべてのデバイスの管理アプリにアップデートの可用性が表示されたら、ファイアウォールで Tiger クラウドアクセスを再度オフにして、標準的な方法でアップグレードを実行できます。

手記：

- すべての管理者は、リリースノートを読み、そのリリースにアップグレードするかどうかを決定することをお勧めします。
- Tigermeeting のリリースは累積的です。次のリリースには、以前のすべての機能が含まれます。
- アップグレードは、常に最新リリースのみで利用できます。以前のリリースは公開されていません。

テーマの変更

すべての予約画面テーマ、デフォルトおよび顧客固有の背景画像は、Tiger クラウドから保存および提供されます。

デバイスは定期的に Tiger クラウドにテーマの更新と調整を照会しますが、テーマの変更は管理アプリからの明示的な管理者命令でのみ行われます。画面が Tiger クラウドにアクセスできない場合(または有効なライセンスがない場合)、テーマの変更は行われません。

ただし、テーマがすでにデバイスにダウンロードされている場合、デバイスは引き続きそのテーマを使用します。

クローズドなオンプレミス環境では、テーマを動的に変更したり、背景画像を構成したりすることはできません。

解決策: 管理者がテーマを設定し、テーマがデバイスに落ち着く間にファイアウォールで Tiger クラウドアクセスを短時間開くと(数分で完了可能)、完全にオンプレミスインストールで Tigermeeting インフラストラクチャのテーマ機能を楽しむことができます。

気象サービス

画面上の気象サービスは、Tiger 雲気象サービスを使用して、地球上の特定の場所のリアルタイムの温度と湿度の値を提供します。

Tiger 気象サービスは公共サービスの気象データを使用しますが、このプロキシはセキュリティを高め、第三者の露出から顧客を保護するために意図的に作成されています。

これは完全にクラウドベースのサービスであり、Tiger クラウドへのアクセスがないと利用できません。

NFC / スキャナー認証サービス

Tigermeeting サービスは、NFC / RFID タグを読み取るか、QR コードをスキャンしてユーザーを認証し、認証が必要なアクションを実行するように構成できます。

認証サービスが Tiger クラウドでホストされている場合、デバイスは Tiger クラウド サービスにアクセスする必要があります。

Tigermeeting は、この要件を回避するために、顧客がオンプレミスでホストできる単純なコンテナまたはスクリプト + データベースを提供します。

解析学

Tigermeeting 分析は、ハードウェアの健全性、機器の使用状況、会議室のステータスなどに関する貴重な洞察を提供します。

分析は、画面が定期的に送信する匿名データに基づいています。この機能はオンまたはオフにすることができます。

管理アプリケーションで公開される分析データは、Tiger クラウドで現在利用可能なデータからランタイムで生成されます。

この機能には Tiger クラウドへのアクセスが必要であり、これを回避する方法はありません。

重要な声明

Tigermeeting インフラストラクチャは、完全に分散化されたアーキテクチャを備えています。

Tigermeeting インフラストラクチャのアクターは次のとおりです。

- 予約画面(複数でも可)
- 概要画面(複数でも可)
- 管理アプリケーション (管理対象インフラストラクチャごとに 1 つだけ許可)
- タイガークラウド(1 つだけ)

このインフラストラクチャのすべてのアクターは、Tigermeeting インフラストラクチャの他のメンバーと Tiger クラウド (利用可能な場合) とのみ通信します

Tigermeeting インフラストラクチャの一部は、他のサードパーティまたは外部ネットワークサービスと通信しません。

Tigermeeting のインフラストラクチャは自己完結型であり、すべての機能を提供するために必要なすべてのサービスがこれらの製品にすでに含まれています。

Tiger Cloud はクラスター化されたアーキテクチャを採用していますが、有効な証明書で保護されているエントリポイントは <https://tigermeeting.app> だけです。

Tiger クラウド サービスは常にクエリまたはプルされます。Tiger クラウドから顧客がデプロイした Tigermeeting オンプレミス インフラストラクチャにアクセスする方法はありません

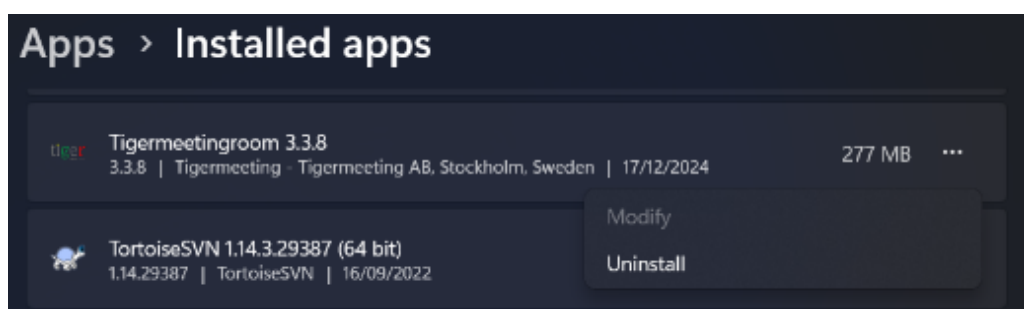
。

Tigermeeting 管理アプリをアンインストールする

Tigermeeting 管理アプリをアンインストールする必要があるユースケースがあります。
に応じて以下の手順に従ってください。 オペレーティングシステムが使用されます。

Windows オペレーティングシステム

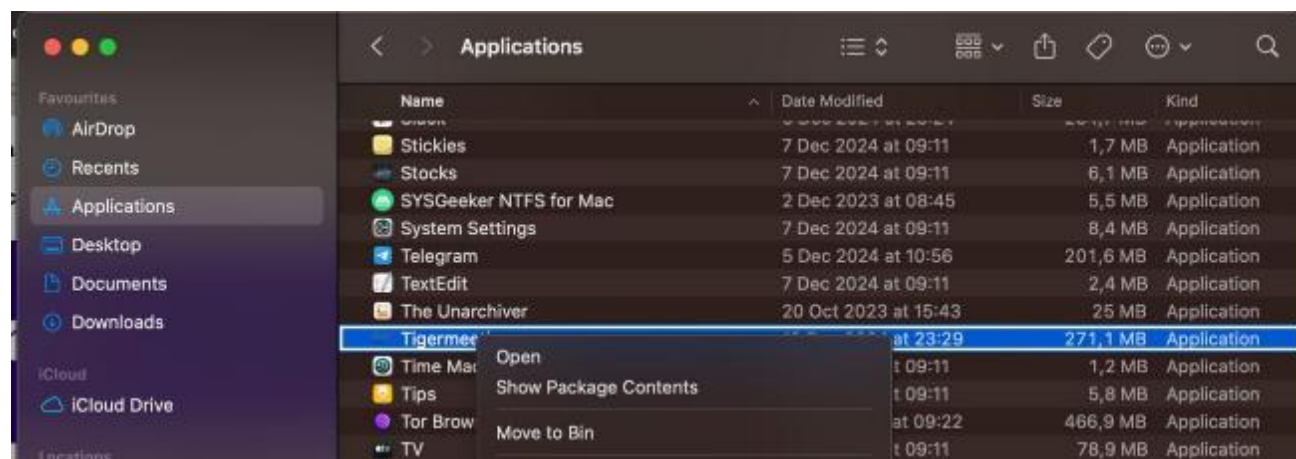
[スタート] から [アプリ->インストール済みアプリ] に移動し、Tiger ロゴの付いた Tigermeeting-admin または Tigermeetingroom (古いリリース) アプリケーションを検索します
ツリドット (...) を押してオプションを表示します。アンインストールを押します



MacOS オペレーティングシステム

Finder -> アプリケーションを開き、Tiger ロゴの付いた Tigermeeting-admin または Tigermeetingroom (古いリリース) アプリケーションを検索します。

Tigermeeting-admin アプリケーションを左クリックすると、オプションが開きます。
プレス: ゴミ箱に移動



Linux オペレーティングシステム

Tigermeeting Admin Application インストーラーは、Linux オペレーティング システム用の 3 つの形式で利用できます。

- RPM パッケージ - Redhat パッケージ マネージャー – RedHat、Fedora、SuSE など用。
- DEB パッケージ – Debian ソフトウェアパッケージ – Debian、Ubuntu、Kali など用
- AppImage ファイル - アプリケーションと、さまざまな Linux ディストリビューションで実行するために必要なすべてを含む Linux 用のポータブル ソフトウェア パッケージ。

RPM パッケージ

ターミナルを開き、スーパーユーザー権限で次のコマンドを実行します。

```
$sudo rpm -e Tigermeeting-admin
```

DEB パッケージ

ターミナルを開き、スーパーユーザー権限で次のコマンドを実行します。

```
$sudo dpkg -r Tigermeeting-admin
```

AppImage ファイル

ターミナルを開き、AppImage ファイルの場所に移動します。

`rm ./Tigermeeting-admin*` の**実行可能ファイル**を削除します。AppImage コマンドを使用します。

FAQ

FAQ は、オンラインで <https://tigermeeting.app/faq> で見つけることができます。

Q: Tigermeeting スイートのインストールを拡張するために、ライセンスを追加購入するにはどうすればよいですか？

A: 通常、お近くの Tigermeeting 再販業者/販売代理店にお問い合わせください。
この情報が入手できない場合、またはお住まいの国に現地販売代理店がない場合は、<https://tigermeeting.app/en/contact> までお問い合わせください。

地元の Tigermeeting ディーラーを紹介するか、再販業者が利用できない場合は、ライセンスを直接販売して、新しいライセンスの購入をお手伝いします。

タイガーミーティングは世界中に発送されます。

Q: デバイスを変更するにはどうすればよいですか？ライセンスは影響を受けますか？

A: 一部またはすべてのデバイスを交換する必要がある場合があります。

Tigermeeting ライセンスは、組織内のデバイスの MAC アドレスまたは Android ID に関連付けられています。

組織はライセンスを所有しています。したがって、構成されたデバイスからライセンスを簡単にデタッチし、合計/使用可能なライセンスの数が組織の購入範囲内にある限り、同じライセンスを他の新しいデバイスにアタッチできます。

ライセンス管理は、Tigermeeting 管理アプリを介して簡単かつ直感的に行われます。

Q: Tigermeeting 管理アプリの費用はいくらですか？ライセンスは必要ですか？

A: Tigermeeting の予約画面と概要画面を構成および管理する中央管理ツールである Tigermeeting 管理アプリは無料の製品であり、Tigermeeting ソリューションに含まれています。

<https://tigermeeting.app/en/downloads> ページからダウンロードできます。

顧客がそれを使用するには、少なくとも 1 つの予約画面または 1 つの概要画面ライセンスを持っている必要があります。

Tigermeeting Admin アプリは Windows、MacOS、Linux オペレーティング システムで実行され、Tigermeeting APK を実行している Android デバイスとのみ互換性があり、他の目的には使用できません。

Q: Tigermeeting 管理アプリは常に実行する必要がありますか？

A: いいえ、管理アプリは画面と Tigermeeting インフラストラクチャ構成の変更にのみ使用されます。変更がコミットされたら、管理アプリは安全に閉じることができます。

詳細については、「**管理アプリの目的は何ですか？**」を参照してください。 **タイ ガーミー**

ティングのアーキテクチャ セクション。

Q: Tiger はポートレート モードをサポートしていますか？

A: Tiger は 2022 年にポートレートモードのサポートを終了しましたが、2025 年に再導入されました。

その理由は、Tiger が 4 インチから 15 インチのサイズまでの他の多くの画面をサポートし始めており、Philips、IAdea、ProDVX、Aurora、Qbic、Allnet、Samsung、Huawei、Xiaomi、Asus、Oppo などの多くのメーカーからサポートされ始めたためです。

テーマの変更、会社のロゴ、オフィス/学校/デスクモードなどのすべての Tiger 機能で、これらすべての異なる画面寸法と解像度に対応するために、Android センサーに基づいてポートレートモードをサポートしないという戦略的な決定を下す必要がありました。

私たちは言いました:市場からの需要があれば、製品部門は将来的に新しい開発を手配することを決定するかもしれません。しかし、画面の選択肢が広く、顧客が画面サイズを選択できること、そして特に同じ環境で異なるベンダーや画面モデルを混在させることができるため、これまでのところ問題にはなりませんでした。

お客様の要望があったため、2025 年にテーマベースのポートレート モードとランドスケープ モードを導入しました。センサーは無視されたままですが、ポートレートのテーマを選択すると、画面はポートレートモードで動作します。管理アプリで利用可能なテーマを確認してください。

互換性のある Android 画面はどこで入手できますか？

Tigermeeting は会議室ソリューションのグローバルソフトウェアプロバイダーであるため、ソフトウェア、ライセンス、サポートは Tigermeeting 自身が処理しますが、Tigermeeting は、しばしば複雑な地域の規制とハードウェアサポート/サービスの義務のために、ハードウェアの販売または配布をまったく扱いません。

一部の国では、Tigermeeting はターンキー Tigermeeting ソリューション(ハードウェア+Tigermeeting ライセンスバンドル)を提供できる地元のハードウェアディストリビューターと契約を結んでいます。

世界の他の地域では、Tigermeeting はハードウェアを販売していませんが、フィリップスやその他のハードウェア再販業者/販売業者と協力しています。

<https://tigermeeting.app/contact> でお客様のニーズと要件について詳しく教えていただければ、お近くのフィリップス、サムスン、レノボ、シャオミ、オッポ、ファーウェイ、アマゾン、モトローラ、Asus、オーロラマルチメディア、Qbic、ALLNET、ProDVX、または IAdea ディストリビューター/再販業者/ディーラーを見つけて、選択したハードウェアを入手するお手伝いをします。

Tigermeeting は、中国の深センにある OEM ハードウェアメーカーと協力しており、独自のハードウェア仕様とブランドで Tiger 互換の Android デバイスを製造できます。

世界中で利用可能なすべての Android デバイスをサポートすることは単純に不可能ですが、さまざまな Android バージョンとほとんどの異なる画面サイズのサポートを可能にする高度なテクノロジーを使用すると、古い Android スマートフォン、タブレット、および Tigermeeting ソリューションをさらに手頃な価格にする安価なブランドを使用する可能性が開かれ、会議室管理製品の最高の TCO を目指します。

Tigermeeting APK はオフィスにあるほぼすべての Android デバイスで実行できますが、Tigermeeting QA チームによってすべてテストしてもらうことはほぼ不可能であることを忘れないでください。

Tigermeeting ハードウェア互換性マトリックス

Tigermeeting は、バージョン 4.1 以降のすべての Android デバイスを、x86、x86_64、armeabi-v7a、arm64-v8a のすべての一般的なアーキテクチャでサポートすることを目指しています。

デジタルサイネージや会議室管理用に特別に設計された、対象を絞った製品があります。ハードウェア メーカーは、多くの場合、デバイスと通信し、それらのハードウェア固有の機能を利用するための独自の API と SDK を提供します。- LED ライトなど

Tigermeeting は、大手デジタルサイネージメーカーのデバイスの一部と統合されています。この統合は、主にベンダー API の機能に依存します。したがって、すべての機能がすべてのデバイスで利用できるわけではありません。

注: ハードウェアに関連しないすべての純粋な Tigermeeting アプリケーション機能は、すべてのカレンダー予約機能、テーマと背景の変更、オンプレミス管理、分析、ログ、管理アプリの互換性などを含むすべてのデバイスで利用できます (Tigermeeting 機能の詳細については、管理ユーザーマニュアルを参照してください)

1	フィリップス 	IAdea 	プロ DVX 	クビック 	オーロラ 	オールネット 	余人 
LED ライト	●	●	●	●	●	●	●
リブート	●	●	●	●	●	●	●
スクリーンショット	●	●	●	●	●	●	●
ビデオプレーヤー	●	●	●	●	●	●	●
デバイス情報	●	●	●	●	●	●	●
NFC/RFID 認証	●	●	●	●	●	●	●
スキャナーの読み取り/認証	●	●	●	●	●	●	●
GPIO 制御	●	●	●	●	●	●	●
事後コマンド	●~	●	●	●	●	●	●
SW/APK のアップグレード	●	●	●*_	●	●*	●*	●*_
FW アップグレード	●	●^	●^	●	●	●	●

ハードウェアメトリック							
イマーシブモード						=	=
メンテナンスモード		+					
アプリストアのサポート							

2	オーペン 	すべて 	ELC の 	アイピーチ 	シメタ 	スウェーデン 	タッチウオー
LED ライト							
リブート							
スクリーンショット							
ビデオプレーヤー							
デバイス情報							
NFC/RFID 認証							
スキャナーの読み取り/認証							
GPIO 制御							
事後コマンド							
SW/APK のアップグレード	*	*					*
FW アップグレード							
ハードウェアメトリック							
イマーシブモード	=	=	=	=	=	=	
メンテナンスモード							
アプリストアのサポート							

3	ググル 	サムスン 	プラスワ 	ファーウェイ 	ニューランド 	飯山 	ロックチップ
LED ライト							
リブート							
スクリーンショット							
ビデオプレーヤー							

デバイス情報	●	●	●	●	●	●	●
NFC/RFID 認証	●	●	●	●	●	●	●
スキャナーの読み取り/認証	●	●	●	●	●	●	●
GPIO 制御	●	●	●	●	●	●	●
事後コマンド	●	●	●	●	●	●	●
SW/APK のアップグレード	● *	● *	●	●	●	●	● *
FW アップグレード	● ^	● ^	● ^	● ^	●	●	●
ハードウェアメトリック	●	●	●	●	●	●	●
イマーシブモード	● =	● =	● =	● =	● =	● =	● =
メンテナンスモード	●	●	●	●	●	●	●
アプリストアのサポート	●	●	●		●	●	●

伝説：

● -OK – 機能がサポートされています

● -NO – ベンダー API は機能を許可していますが、Tiger では実装されていません。

● -n/a -該当なし – 操作を実行するための API またはアクセス許可はありません。

* - SW/APK のアップグレードをトリガーできますが、画面上の承認が必要です

- - シームレスな SW / APK アップグレードは、アプリストアから入手できます

^ - ハードウェアサプライヤーは、Tigermeeting から独立してアップグレードをプッシュしています。

+ - 再起動後、AppStart と対話して再生操作を一時停止します

~ - 代わりに、フィリップスのより優れた CMND テクノロジーを使用してください。

詳細は <https://cmnd.io> で

= - 画面固定の使用（デバイスのマニュアルをお読みください）

互換性マトリックスの注意事項:

- テーブル番号は 1,2,3...参考用であり、リストには優先順位、グループ化、または特定の順序はありません。
- [その他] 列は、他のすべての任意の Android デバイスを表します。これは、Android タブレットや携帯電話を使用して、それらの機能が機能することを期待できることを意味します。これらは汎用デバイスであり、会議室管理目的で明示的に設計および製造されていません (Sony、Asus、Xiaomi、Lenovo

- 、Tecno、Oppo、Vivo、Itel など)
- その他**グループには**、Tigermeeting がまだ完全なハードウェア統合を完了していない他のすべての優れたデジタル サイネージ メーカーのデバイス (Kramer、Black Box、Yealink、Crestron、Harman、Neat、Cisco など) も含まれます。
- **アプリストアのサポート** とは、Google Play、Amazon アプリストア、HUAWEI AppGallery、SAMSUNG Galaxy Store、Xiaomi GetApp / Mi App Mall、VIVO V-Appstore、OPPO Store、Transsion Palmstore、Aptoide、ONE Store などの Android アプリケーションストアのデフォルトまたはオプションの可用性を意味します。

手記：

優れたハードウェアをお持ちの場合は、Tigermeeting がまだサポートしていない魅力的な機能を備えた優れた画面をお持ちです。

私たちに相談してください – 私たちは喜んで統合します – そしてあなたのデバイスのアイコンを Tigermeeting アプリに追加してください

Tigermeeting Android APK は非常にモジュール化されており、優れたソフトウェアアーキテクチャ パターンを使用して慎重に構築および設計されているため、統合はおそらく簡単です。

以前のメーカーの統合中に蓄積された経験と技術的知識は言うまでもありません。

例: Tiger APK は、幅広い Rockchip および ShiMeta チップセットを完全にサポートしており、zigbee_reset、シリアル ポート、jnielc、yuxian API、adwdev ソケットなどの最も一般的な LED コントローラーをサポートしています。オン/オフ、3 色、7 色、およびフル RGB カラースキーマをサポートする他の多くの独自の API。

正確な数値で、Tigermeeting アプリケーションは以下をサポートします。

- 20 種類の Android API(バージョン 16..36)
- 16 種類のハードウェアベンダーAPI
- 8 つの異なる統合 SDK
- 8 種類の LED コントローラー
- 9 NFC/RFID テクノロジー
- 4 つのハードウェアアーキテクチャ
- 7 つの異なる GPIO API
- 8 種類のチップセット
- スキャナー1 台

ニアショア、オフショア、極東のブランドメーカーや OEM メーカーとの戦略的提携により、品質、俊敏性、イノベーションを世界規模で提供することができます。

会議室、オフィス、学校の廊下を一緒に輝かせましょう。

GDPR ステートメント

Tigermeeting 製品は、独自の高水準分散データベース技術を使用しているため、情報と構成自体は、ローカルネットワークインフラストラクチャ内のスクリーンデバイス間のみ分散されます。

オンプレミス、セントラル、または外部データストアは必要ないため、存在しません。

予約画面と概要画面

- カレンダー操作 - 画面での予約や、予約画面と概要画面でのカレンダー イベントの表示などは、表示のみを目的としたオンライン カレンダー サプライヤー (Microsoft や Google など) 間の API ベースの要求/応答タイプの操作です。個人データがデバイスに保存されたり、他の場所に転送されたりすることはありません。

管理アプリ

- Tigermeeting Admin アプリ自体は、管理者がネットワークにログインすると分散データベースの一部になり、管理者のコンピューターには情報が保存されません。
- ただし、管理者ユーザーのログイン資格情報と顧客のライセンス情報は、高セキュリティ暗号化アルゴリズムを使用してハッシュ形式で Tigermeeting クラウド(ライセンスサーバー、呼び方)に保存されます。管理者認証に用いられる情報です。
- お客様が選択した場合、Tigermeeting クラウドを使用して、ネットワーク復元機能に使用されるお客様のネットワークバックアップ(暗号化された形式のインフラストラクチャ設定スナップショット)を保存できます。

解析学

- 顧客がそう選択した場合、Tigermeeting Cloud は、会議室の分析ページに表示される収集された匿名の会議室の使用情報を保存するために使用されます-会議室の使用統計、予約傾向、会社の予約行動を視覚化し、会議室の使用率とハードウェアの健全性自体を向上させるための有用な情報を提供します。
- イベントは匿名であり、ある意味では、デバイスの MAC アドレスまたは Android ID にのみ関連付けられています。
- イベントは、分析/イベントログ機能がオンになり、イベント中にデバイスが動作しているときに、Tigermeeting アプリケーションによって送信されます。詳細については、管理アプリのドキュメントと、各 Analytics ページの下部にある Analytics の免責事項をお

読みください。

ウェブクッキー

- Tigermeeting は、個人データを含む Cookie を使用しません - 詳細については、<https://tigermeeting.app/cookie-policy> をご覧ください。

明示的な要求に応じて、蓄積されたすべてのイベントログとその他の顧客データを提示/配信または完全に削除するように要求できます。

詳細については、GDPR、CCPA、PIPEDA、CDR、LGPD、POPI 規制に準拠した Tigermeeting プライバシーポリシー(<https://tigermeeting.app/privacy-policy>)をお読みください。



オンプレミスアーキテクチャを備えた Tigermeeting は、次のようなデータおよび情報システムのコンプライアンス要件の国の自律性を当然満たします。

- 中国:サイバーセキュリティ法およびデータセキュリティ法により、国家の安全と自律性を維持するために、特定の種類のデータを国内で保存および処理することが義務付けられています
- インド:デジタル個人データ保護法案には、データのローカリゼーションに関する規定が含まれており、重要なデータが国内に残ることを保証することを目的としています。

デモライセンスを依頼する

DEMO ライセンスは、有効期間が限定された、完全に機能する本番ライセンスです。DEMO ライセンスのリクエスト中も、DEMO ライセンスの有効期限が切れた後も、支払いは含まれません。

潜在的な顧客が、自分の機器を使用して、自分の環境で Tigermeeting ソリューションのパワーをテストできるという考えです。

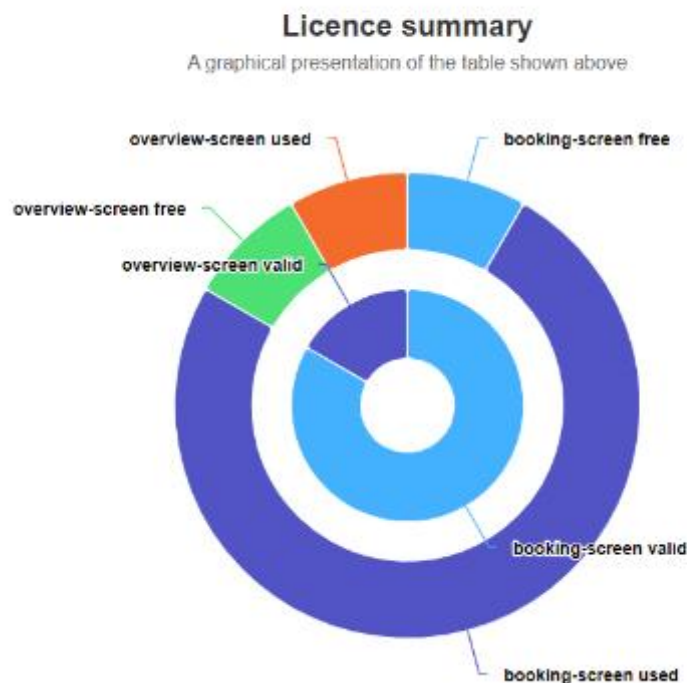
DEMO ライセンスの有効期限が切れたとき。画面はオンラインカレンダーの使用を停止し、最初のデモモードに戻りますが、顧客の環境に害を及ぼしたり変更したりすることはありません。

お客様は、評価/試用期間中、またはデモライセンスの有効期限が切れた後も、いつでも永久ライセンスを注文し、フルパワーと機能を備えた Tigermeeting インフラストラクチャを再び使用し続けることができます。

<https://tigermeeting.app/en/contact> で購入する前に、Tigermeeting 製品を独自の環境でテストするための無料のデモライセンスをリクエストしてください。

デモライセンスは通常 30 日間有効ですが、これはハード制限ではありません。DEMO ライセンスの有効期間は、評価にさらに時間が必要な場合に簡単に延長できます。ライセンスの有効性と配布は、**管理アプリ -> Analytics -> Company.Analytics** レポートで確認できます。

booking-screen licences: 10 total / 9 used / 1 free / 0 demo / 0 expired / 0 deleted
overview-screen licences: 2 total / 1 used / 1 free / 0 demo / 0 expired / 0 deleted



連絡先

Eメール: info@tigermeeting.app

ウェブ: <https://tigermeeting.app/en/contact>

顧客サポート: support@tigermeeting.app

詳細については、管理アプリケーションの「バージョン情報」メニューポイントで入手できます。



ソーシャルメディア

ソーシャルメディアでフォローして、製品ニュースや新リリースに関するイベントの最新情報を入手してください。

LinkedIn <https://www.linkedin.com/company/tigermeeting/>

Facebook <https://www.facebook.com/tigermeeting/>

Instagram <https://www.instagram.com/tigermeeting>

レディット <https://www.reddit.com/u/tigermeeting/>

GitHub <https://www.github.com/tigermeeting>

X(ツイッター) <https://x.com/tigermeeting>

YouTube <https://youtube.com/@tigermeeting>

スレッド <https://www.threads.net/@tigermeeting>

Tik Tok <https://www.tiktok.com/@tigermeeting>

電報 <https://t.me/tigermeeting>

Pinterest <https://www.pinterest.com/tigermeetingroom/>

WhatsApp

<https://www.whatsapp.com/channel/0029VanwIDn6LwHgKMtMF90S>

Weixin / WeChat



Tigermeeting は Tigermeeting AB の商標であり、その他すべての商標はそれぞれの会社が所有しています。